

同盟旬報

(No. 10) 第十號 第一卷

(昭和二十年九月下旬號)

主 要 目 次

支那事變

廣東大爆發	三
空爆と各國動向	四
國府戰時委員體制	四
英・產業聯盟權益決議	五
平津治安維持會聯合會	五
南京大爆發	七
中國共產黨政策宣言	九
滿城高地占領	二
支那毒ガス使用	三
違法發券三千萬元	四
保定・滄州・平地泉占領	一五・一六
羅店鎮前而軍進出	一七
米・亞細亞艦隊殘留	一九
將外人記者に泣訴	三三
漢線爆撃	三七
支那モスクワに泣訴	三六
シヤング擊沈虚報問題	三九
東光・獻縣占領	四三
陸戰隊進擊開始	四三
英、對支軍用機輸出許可	四六
代州平原占領	五七
外紙論調	五八

國際聯盟

北樺太利權壓迫聲明	四八
南京空爆抗議回答	四九
英大使負傷事件回答	五〇
五月末國庫現計	五〇
貿易審議會開設	五一
工場事業場管理令施行	五二
船舶管理委員會開設	五三
事業資金調整標準	五九
經濟團體聯盟結成	五九
眞崎大將無罪判決	五三
新義線・白溫線開通	六三
英佛伊三國會談	六七
三國軍事專家會議	六七
伊・地中海協定承認	六七
獨伊獨裁王交驩	六八
兩獨裁王獅子吼	六八
廿三國委員會	六九
日本空爆非難決議	七三
各國代表演說	七四
小委員會設置	八四
對支技術委員會	八五
帝國反駁聲明	八五

部門別目次

宮廷	一
支那事變	二
樞密院	三
一般政治	四
外交	五
内政	六
財政	七
國防	八
司法	九
教育	十
産業行政	十一
交通・通信・航空	十二
拓殖	十三
政黨	十四
人事	十五
經濟	十六
社會	十七
オリンピック	十八
滿洲國	十九
歐洲諸國	二十
英佛伊三國會談	二十一
獨伊獨裁王交驛	二十二
ソ聯邦	二十三
米國	二十四
國際聯盟	二十五
海外日本人	二十六

昭和十二年
九月下旬

重要日誌

九月廿一日

- ◇皇后陛下、臨召遊家族に對し、御歇並に御下賜金を賜ふ。
- ◇第一回資金調整委員會開會、調整標準決す。
- ◇經濟團體聯盟成る。
- ◇海軍大舉二回に亘り、廣東爆撃を敢行す
- ◇我海軍機の南京空爆に對し、英米佛ソ各國より抗議を提出。

同 廿二日

- ◇平漢線軍、滿城占領。
- ◇津浦線軍、大城占領。
- ◇平津治安維持會聯合會成る。
- ◇海軍機南京及び廣東大爆撃を續行す。
- ◇支那共產黨新政策宣言。
- ◇英佛伊三國軍事專門家會議開催決定。

同 廿三日

- ◇秩父宮殿下、カナダ御到着。
- ◇蔣、支那共產黨宣言に答ふ。
- ◇駐英英大使負傷事件に對し、我政府回答を發し、圓滿落着を告ぐ。

同 廿四日

- ◇帝國、廿三國委員會不出席を回答す。
- ◇平綏線軍、平地泉占領。
- ◇平漢線軍、保定占領。

同 廿五日

- ◇津浦線軍、滄州占領。
- ◇上海軍、羅店嶺前面の攻撃を開始す。
- ◇米國アジア艦隊殘留發表。
- ◇英佛伊三國會談開催決定。

同 廿六日

- ◇内閣情報部創設。
- ◇海軍、黃大崎、虎頭兩島占領。
- ◇海軍機、南京及び廣東大爆撃を敢行。
- ◇真崎大將に無罪の判決下る。
- ◇南米チリ、無電開通。
- ◇ムツソリーニ首相(ミンヘン)に到着、ヒットラー總統と交驛を遂ぐ。

同 廿六日

- ◇伏見宮博義王殿下、上海戰において御負傷遊ばさる。
- ◇大阪中ノ島公會堂に於て、國民精神總動員の第一聲揚る。

同 廿七日

- ◇工場事業場管理令施行。
- ◇貴族院北支皇軍慰問團出發。
- ◇日退國交五十年記念式行はる。
- ◇貿易調整法施行、貿易審議會開設さる。
- ◇平漢線軍、新樂を突破す。
- ◇上海線軍、無電臺占據。
- ◇海軍機埠漢口占領。

同 廿八日

- ◇廿三國委員會、日本空爆非難決議を行ふ。
- ◇政府、時局に鑑み官吏増員及び海外留學生を中止す。
- ◇陸軍服役及び在營期間延長さる。
- ◇日波大使交換發表さる。
- ◇平綏線軍、茹越口占領。
- ◇廣東空襲海軍機、英商船に救助さる。
- ◇ロイテル、我潜水艦の支那ジャンク擊沈虚報を傳ふ。
- ◇六日本婦人國體聯盟成る。

同 廿九日

- ◇平綏線軍、繁峙縣占領。
- ◇津浦線軍、東光縣及び獻縣占領。
- ◇上海隨戰隊、一齊に進撃を開始す。
- ◇帝國政府、南京空爆抗議を提出せる英、米、佛に對し、我眞意を回答す。

同 三十日

- ◇國民精神總動員中央聯盟結成。
- ◇陸軍士官學校本科、神奈川縣座間村に移轉。
- ◇所澤飛行學校廢止、所澤陸士分校設置。
- ◇船舶管理委員會設置さる。
- ◇平綏線軍、代州占領。

皇后陛下御歌

【宮内省発表】皇后陛下には今次支那事變に際して出征及び應召の軍人遺族並びに家族に對し深く御心を垂れさせ賜ひ左記の御歌を賜はりたり

皇后陛下御歌

なつかめむことの葉もかなたかひの
にはをしのひてすくすやからを

皇后陛下御下賜金

【宮内省発表】今次支那事變に際して出征及び應召の軍人遺族並びに家族を扶助するの目的を以て諸團體相協力してこれが援助の實を舉ぐる趣聞し召され皇后陛下より金十萬圓下賜相成りたり

皇后陛下御下賜

【宮内省発表】皇后陛下には皇軍戦傷病者に對し廿二日晝にて御下賜の御沙汰あり陸軍省小泉警務局長は午前十時皇后陛下に出頭廣幡大夫を経て拜受有難き御沙汰に恐懼感激して退出した

三内親王様大御所御成

【宮内省発表】照宮、孝宮、順宮三内親王様には廿二日午後一時分吳竹葉御出門大宮御所に成らせられた、皇太后陛下の御機嫌を伺はせられし御團圓の後四時頃御歸還になつた

秋季皇靈祭の御儀

【宮内省発表】秋分の廿三日宮中に於ては午前十時天皇陛下御親祭のもとに秋季皇靈祭並に神威祭の御儀を行はせられ神慮を慰め給ひ非常時局に際し神慮の御加護を御祈念あらせられた、天皇陛下には黄櫨葉御袍御束帶、笏を執らせ給ひて内陣の御座に御進玉車を捧げ給ひ親しく御拜禮

告文を奏せられ次いで皇后陛下御直拜遊ばされ各皇族方の御拜禮諸員の拜禮あつて十一時過ぎ終了した

ボリウイア公使に賜詔

【宮内省発表】新設ボリウイア國公使館に初代理公使として着任したホセ・エドワード・ゲラ氏は廿四日午前十一時参内宮中鳳凰ノ間に於いて天皇陛下に謁見仰付られ親任の挨拶を言上次いで夫人同伴大奥桐ノ間に於いて皇后陛下に謁見を仰付られた

皇族懇話會戦況御聴取

【宮内省発表】九月の皇族懇話會は伏見宮御主催で廿五日午後三時から霞ヶ關離宮に於いて開かせられ高松宮殿下を始め御在京各皇族方御参集あらせられた、支那事變下の御集りのこととして特に軍司令部第一課長福富繁大佐を召され「日支事變に於ける我が海軍航空隊の活躍」と題しての講演を約一時間に亘つて御聴取あらせられ種々御談話の上同五時頃御散會になつた

参謀總長宮寺内司令官に御祝電

【宮内省発表】開院参謀總長宮殿下には北支に於ける皇軍の敏速なる作戦特に保定及滄州の敵陣地陥落を嘉せられ廿五日午前寺内軍司令官に左の如き御懇切なる祝電を發せられた

博識王御機嫌に御見舞

【宮内省発表】輝かしい武勳を樹てさせられた伏見宮博識王殿下の御機嫌に就いては畏くも天皇陛下には武官府よりの奏上をつぶさに御聴取あらせられたが兩陛下には特に御見舞ひとして青果その他御下賜の御沙汰あらせられた、また御父宮伏見軍令部總長宮を召し始め博識王妃殿下にも御見舞申上げることとなり同事務官は兩陛下の御見舞品、御兩親宮殿下からの御見舞品を奉じて廿六日午後三時東京醫院上海に向つた

丁抹皇帝に御祝電

【宮内省発表】天皇陛下には廿六日デンマーク國皇帝陛下御慶辰につき御祝電を御發送あらせられたがこれに對し廿七日御答電があつた

滿洲國大使に御陪食

【宮内省発表】天皇陛下には廿八日午後零時半より去る七月着任した滿洲國大使阮振鐸氏を宮中豊明殿に召され午宴會の御催しあらせられた、梨本宮殿下にも御臨席松平首相、廣田外相、百武侍從長、宇佐美武官長以下御近衛等も召され大使を中心に一同に對して御陪食御付けられ陛下には二時過ぎ入御大使は光榮に感激して宮中を退下した

皇后陛下大宮御所行啓

【宮内省発表】皇后陛下には廿八日竹屋女官長御陪廣幡大夫以下を従へさせられ午後一時十五分宮城御出門御久方振りに大宮御所に行啓皇太后陛下の御機嫌を御伺ひ遊ばされた、畏くも御自身統後の御一人として疊き籠を垂れさせ給ふ皇后陛下には事變以來初めての行啓にて皇太后陛下の御機嫌を伺はせられ戦線將兵統後民草の上に關し種々御物語りなどあらせられ午後四時御所御出門還啓あらせられた

電を御發送あらせられた

軍令部總長宮殿下海軍病院御成

【宮内省発表】伏見軍令部總長宮並に伏見宮博識王妃殿下には卅一日午後一時卅分横須賀海軍病院に成らせられ同病院に戦傷病者として送還加療中の將校准士官下士官兵等を親しく御見舞あらせられ田中病院長にありがたき御言葉賜はり諸員奉送裡に御歸京あらせられた

久邇宮多嘉王殿下御重慶

【宮内省発表】神宮祭主宮久邇宮多嘉王殿下にはかねて腎臓病のため京都市上京區櫻町の御別邸にて御療養中の處この程御病狀募らせられ宮家職員一同御慶慮申上げてゐる、殿下には御年六十三に亘らせられた皇后陛下の御叔父宮に當らせられる、久邇宮朝嗣王殿下には卅日午前九時東京驛御機嫌御見舞のため御西下あらせられた

震災内閣親任式の圖御下賜

【宮内省発表】我が國未曾有の災害大正十二年九月一日關東大震災に際し畏くも天皇陛下には攝政宮として赤坂離宮廣之の御茶屋に於て二日夜山本震災内閣の親任式を行はせられたが「震災内閣親任式の圖」は和田英作畫師御作申上げ嚮に獻納申上げてみたところ陛下にはこの度内閣及び當時の關係者一同に對し右圖の複製四つ切大寫真二枚一組をそれらへ御下賜の御沙汰あり一同は卅日午前十一時侍從職に出頭百武侍從長を経て拜受した

秩父宮御動靜

▲兩殿下英國御出發
ロンドン【宮内省発表】秩父宮、同妃兩殿下には十八日ロンドン御出發カナダ經由一踏御歸國の途につかせられた、十八日午前十時六分兩殿下御出發のウオタロー驛頭には英國皇帝ジョージ六世陛下御名代

ゲイ子爵を始め首相、外相代理其他英人多數及び在留日本官民百五十餘名が御見送り申上げ兩殿下にはこれ等の人々とお別れを惜しまれつゝサザンブトンに向はせられた、吉田大使、富井参事官、辰巳陸軍武官等はサザンブトン迄御伴申上げ兩殿下は午後一時出帆のエムプレス・ブリテン號に御乗船カナダへ向はせられた、尙秩父宮を寄せられ松平式部長官より言上する戰況ニュースを聞き召され御熱心に御研究あらせられてゐると承る

ケベック御着

ケベック【宮内省発表】秩父宮同妃兩殿下には去る十八日クイーン・メリー號に御乗船廿三日午後七時卅分ケベックに御到着遊ばされた、廿五日迄ケベックに御滞在の御豫定である

トロントへ御出發

トロント【宮内省発表】秩父宮同妃兩殿下には廿五日午後列車でケベックからトロントに御到着直ちにトロントに向け御出發遊ばされた

ナイアガラ御成り

ナイアガラ【宮内省発表】秩父宮同妃兩殿下には廿六日午前十一時モントリオールからナイアガラ・フォールズ市へ御到着遊ばされた、驛頭に於て警備駐米大使、竹内カナダ公使館付海軍武官並びにナイアガラ公園監理委員長T・J・マクエスアン氏等御出迎へ申上げたが兩殿下には直ちにクイーン・ヘンリー發電所を御見學後ナイアガラ公園監理委員會御招待の午宴會に臨ませられ次いで米加兩國を繋ぐ平和橋に成らせられカナダ側からナイアガラ瀑布の壯觀を御觀賞遊ばされた、かくて兩殿下には御機嫌遊ばされ午後七時十分トロントに向け御出發あらせられた

支那事變

九月廿一日

北支情勢

張家口邦人歸還開始
天津(支三) 張家口は皇軍の入境と共に治安次第に恢復しつゝあるので天津に避難中の張家口居留民は復興の意氣に燃え我が領事館、警察署員の歸任に先立つて早くも歸還を開始した

雲南石佛保存令發布

大同(支三) 皇軍各部隊は戦火により貴重な支那文化遺蹟が毀損されるのを防止する爲萬全の手段を講じつゝあるが大同に入城した〇〇部隊長は雲南(大同西北七哩)の石佛が戦鬪の混亂に乗じ不逞の徒により續々北支方面に搬出され漸次荒廢に歸しつゝある現状に鑑み廿日文化保存の見地から佛像保存令を發布し竊盜者は嚴罰に處する旨を布告した
雲南の石佛は今を去る約千五百年前北魏時代の遺物で印度西域式的手法を取入れ天然の岩石に大小無數巧緻に彫刻されたもので河南龍門の石像と共に支那古代美術の粹を爲し遠く歐米よりも來觀者の絶えなかつた貴重な藝術品である

高治維管長傷兵に寄附

天津治安維持會會長高俊書氏は廿一日天津軍病院を訪問今次事變傷病兵を慰問のため金一千元を寄贈した

平綏戰況

舊平地泉占領

官村(支三) 平綏線に沿ひ北進中の千田部隊は廿一日午前舊平地泉(平地泉の南方四キロ)前面の堅固に據る敵を攻撃激戦二時間の後これを擊退先遣部隊は十一時廿五分完全に舊平地泉を占領した引續き平地泉に向つて攻撃中

平漢戰況

保定攻撃開始

▲安田部隊保定に迫る 天津(支三) 平漢線方面の我が第一線安田部隊は廿一日未明より徐水の線を突破し西南方五里の保定に迫りつゝあり、此方面の敵は旬日に亘る我軍の猛襲に戦意を喪失し南方に向け潰走しつゝあり
▲空軍も呼應擾撃 天津(支三) 涿州平原百里の中央を美事に突破した我が〇〇快速部隊の先鋒部隊は廿日晝間に固城外日夕刻に至り長驅保定北方約二里半の漕河頭に迫り敵に猛烈なる砲火を浴びせつゝあるが空軍も今朝來保定及び敵陣地に爆撃を加へ前面の敵を壓しつゝあり、保定陥落は目睫の間に迫つた

陸軍發表

▲陸軍發表(支三) (午後五時卅分發表) 平漢線方面の戦況は更に有利に發展し昨夕概ね塘湖鎮(安縣西南方十四村)姚村(易縣南方十四村)徐水(保定北方廿村)の線に追撃進行中なり

▲司令部發表 北平(支三) (午前十一時卅分發表)
一 平漢線方面の我が部隊は敵の抵抗を排除し廿日午後十時徐水に入城更に今朝九時頃十里堡(徐水南方約四村)附近を南下中なり
二 我が飛行隊は廿一日拂曉保定を爆撃敵に多大の損害を與へたり

津浦戰況

滄州攻撃開始

▲我軍行動開始 興濟鎮(支三) 津浦線滄州の敵主陣地を占領突破すべく午後二時頃我が〇〇部隊は行動を開始し各方面に協力一齊に砲門を開き茲に事實上の滄州攻撃の序幕戦が切つて落された
滄州砲軍の配備は第四十九軍の新鋭五萬と馬廠の戦團に一敗地に塗れた第九軍敗殘兵約一萬が主陣地の防禦に當つてゐる、又滄州附近には山東省編復築軍の一小部隊が中央に對する申譯的に配備されてゐるが全く戰意なく問題とならない、尙ほ滄石線路盤地帯減水河附近には中央軍其他を奮戦してゐる、而してこの滄州陣地は昭和十年九月頃より中央軍の命により計畫され種來約二年に亘つて構築されたトーチカを有する堅陣が蜘蛛の巣の如く張られて居り加ふるに迫撃砲以外に野砲高射砲數門を有する有力なものである

空軍出動

▲空軍出動(支三) 中富部隊の〇〇機、島谷部隊の〇〇機は〇〇機編隊を以て廿一日朝〇〇根據地を出發津浦線要地滄州附近に集結中の支那軍に對し果敢なる爆撃を加へた
▲興濟鎮(支三) 我が空軍〇〇機は廿一日午後五時半頃より約四十分亘つて敵滄州陣地を爆撃し敵陣地に命中爆撃する音響物凄く八キロを隔てる興濟鎮市街の民家も震動してゐる

上海戰況

陸軍部隊漸進を續く

▲羅店鎮前面軍進出 羅店鎮(支三) 羅店鎮、月浦鎮を連ねる線に命を含んで待機中であつた〇〇部隊は廿一日午前八時半を期し折からの篠々雨を衝いて砲兵隊の天地を搖がす砲撃掩護の下に細見戰車隊を先陣として姉姪十キロに亘る〇〇部隊前面の敵陣に向つて壯烈な總攻撃を開始した、激戦三時間の後早くも羅店鎮東南方の蔣家宅、金家宅、北朱宅、小張宅、張家宅、小堂子、鎮家灣の線に驚異的な進出を爲し羅店、劉行鎮を連ねる〇

中南支

▲周家村金家村奪取 上海戰線(支三) 廿一日朝來總攻撃を開始したが〇〇部隊は同夕刻早くも數千米の躍進を爲したが〇〇、〇〇兩枝隊は周家村金家村に陣地を築進し頑強な抵抗を續ける敵大部隊を擊破すべく同夜九時半より漆黒の間を衝いて大膽極まる大夜襲を強行激戦二時間餘りにして兩地を奪取凱歌を擧げた

▲司令部發表 天津(支三) (天津軍司令部午後八時廿分發表)
一 本日午後六時津浦線の上の我が第一線部隊は飛行部隊の協力の下に合庄(滄州北方十キロ)附近の敵陣地に突入り下戰果を擴張中、
二 南長埠縣方面の我が部隊は八里庄安慶屯の敵陣地を略し午後引續き攻撃進行中なり

上海戰況

羅店鎮前方地區に於ける

〇〇部隊は完全に我軍の手に歸し後退する敵に暫しも攻撃の手を緩めず目下猛襲中(午後零時廿分)
▲報告部隊表 上海(支三) (午後六時發表)
一 羅店鎮北方地區に於ける〇〇部隊は今朝來一部を以て頑強なる蔣村附近の敵陣地に對し攻撃をなさしめ主力を以て其南方の敵陣地線を突破し本日午後四時頃には其後方約二キロ沈家宅、蔣家宅、施陸宅の線に進出更に前面の敵に對し攻撃進行中である
一 羅店鎮南方地區に於て我が〇〇部隊は本日午後四時頃蔣家宅、丁家宅、金家村の鐵條網を數線に配備せる敵陣地を突破し蔣家宅、梅大宅、沈陸王の線に進出羅店鎮、劉家行を結ぶ通路東側の堅固な敵陣地に對し攻撃中なり
上海(支三) (午後十時半發表)
一 劉家行、蔣家宅の敵に對し我が〇〇部隊は依然攻撃を續行中にして羅店鎮の敵陣地を突破更に劉家宅及びその北方部露の敵陣地を奪取し劉家行北方の敵陣地に對し猛攻中なり
一 星部隊は羅店鎮に隣接する蔣家宅、小陸宅附近の敵陣地を突破し本日午後劉家宅南方に進出續いて當面の敵を攻撃中なり

▲周家村金家村奪取 上海戰線(支三) 廿一日朝來總攻撃を開始したが〇〇部隊は同夕刻早くも數千米の躍進を爲したが〇〇、〇〇兩枝隊は周家村金家村に陣地を築進し頑強な抵抗を續ける敵大部隊を擊破すべく同夜九時半より漆黒の間を衝いて大膽極まる大夜襲を強行激戦二時間餘りにして兩地を奪取凱歌を擧げた
▲廿五キロの連絡成る 楊行鎮(支三)

羅店鎮を進發せる。○部隊左翼は進撃に
進撃を續け廿一日午後六時半遂に羅店鎮
東南方五キロ陳家宅に於て北上せる膠濟
部隊の一部と完全なる連絡を遂げた。斯
くて我が軍は羅店鎮、楊行鎮、吳松を連
ねる蜿蜒廿五キロに亘る戦線の連絡統一
成り爾後の作戦に一大進展を期し得るに
至つた。

楊家宅占領 上海(九三) 十八日午後八
時月明を利して秋野○隊細田○隊は劉家
行東南の要地楊家宅の猛撃を開始し頑強
に抵抗する敵主力六百餘の中に突入奮戦
敵二百餘を屠り卅名を捕虜とし機銃廿挺
小銃五十餘挺を擄獲し更に潰走する敵を
追つて夜半遂に楊家宅を占據した

▲中根少尉戦死 上海(九三) 廿一日午後
二時劉家行附近宅を確保した石井部隊
の一部に對し榮を恃む敵の有力部隊が突
撃ラツパを先頭に逆襲し來つたので中根
三郎、青野照夫兩少尉は手兵と共に敵よ
り離り出て之れに應戦午後四時半撃退し
た、この白戦に於て敵兵九名を斬り介
した中根少尉は敵弾に腦部を貫通され壯
烈な戦死を遂げた、又青野少尉は左肩部
に負傷した敵は屍體百四十と重機關銃、
小銃等多數を遺棄して潰走した、また同
夜劉家行東部無電氣附近の激戦で石谷部
隊の石川博、野櫻竹次兩少尉は戦傷を
負ふた、なほ○○方面に上陸せる○○部
隊は廿日早朝陳家宅方面の蘇村攻撃を敢
行したが戦闘激烈を極め死傷多數に上り
竹内少佐は重傷を負ひ浦部隊長亦傷つ
き鈴木部隊長は壯烈なる戦死を遂げた

支那軍の非行

上海(九三)○○當局談
一 我が○○部隊は市政府附近を占據せ
る際敵陣地内に於て多數のガム、彈

を押収せり
二 日支事變以來屢々支那軍の赤十字條
約違反も報せられたがその顯著なる實
例左の如し
イ 八月廿九日病院船朝日丸は患者三
百餘各を收容黃浦江を下航中吳松棧
橋附近に於て敵の砲撃を受け一彈は
後部甲板に命中し看護兵三名を負傷
せしめた

ロ 病院船あめりか丸は患者收容の爲
め郵船碼頭に到着した所敵は之に砲
火を集中兵火の下に患者の收容作業
を爲せり、同日病院船室戸丸もあめ
りか丸に續航して上海に赴いたが敵
の集中砲火を受け埠頭に墜留するを
得ず空しく吳松へ引き返した

ハ 八月廿三日○○部隊の先遣隊は吳
淞附近に上陸せる際その附近に收容
所を開設し赤十字旗を掲げて衛生機
關なることを明示せるも敵は逆しこ
れを目標として連日砲火を集中せし
るため擔架兵二名即死、數名の負傷
者を出し山岡軍醫は重傷を負へり
ニ 尚この外戰場に於て衛生部員が明
瞭な記章を着けて通行中これを狙撃
せる事實は枚擧げに遑なく八月廿五日
長華濱で我が擔架兵が敵の擧撃を跳
び越えた際擧撃隊内に潜んでゐた敵兵
は銃剣を以て擔架兵を刺殺せり

上海情勢

支那上空飛行禁止申入拒否

上海(九三) 日支兩國軍飛行機は租界上
空飛行を差控へられたとの英、米、佛
伊、蘭五ヶ國海軍當局の十五日附申入に
對し支那側代表熊鴻鈞は廿日附を以て左
の如き奇矯なる理由の下にこれを拒絶す
る旨の回答を發した

租界に危険を及ぼす根本原因は日本軍
が租界及び黃浦江の中心區域を軍事根
據地としてゐる爲で支那側は防衛上自
己の領土上空に飛行機を使用するは止
むを得ざることである

西部邦人紡被害状況

上海(九三) 楊樹浦方面の東部工場地帯
にある邦人紡績の兵火による被害は可成
り著しいものがあるが一方西部工場地帯
にある邦人紡績は列國の共同防衛區域内
にあり英、米、伊等の軍隊が配備され邦人
社員と共に警備についてゐる關係から支
那側も手を下し得ず今迄のところ最先端
倉庫一棟全焼の厄に遭つた外は何等被害
はない、併し内外補第三第四工場のように
はクリークの橋出した地點に突出してゐ
る關係から、三十メートルの近距離を
距て、三方から敵陣に包圍され危険に曝
されてゐる

南支戦況

八萬山砲撃 我軍艦は今朝九時頃又もや
香港(九三) 赤嶺附近の八萬山を砲撃し支那軍の陣地
構築作業に大打撃を與へた

海口再砲撃

香港(九三) 廣東に達した情報によると
去る廿一日海南海口は我が軍艦により
再度砲撃され軍事據點は破壊され多大の
損害を受けたと

空襲

廣東大爆撃
▲第一次大爆撃 香港(九三) 廿一日午
前六時半わが海軍航空隊○○轟は大量編

隊を以て廣東に飛翔し飛行場軍事機關に
對し大爆撃を敢行し同七時半引揚げた、
支那軍事機關所在地附近は全く無煙に包
まれ凄惨な光景を呈し市中も亦大混亂に
陥つた

香港(九三)

廿一日午前六時半過ぎより
約一時間に亘つて敢行された廣東大爆撃
は從來に見ない壯烈なもので廣東郊外の
飛行場、軍需工場、兵舎、政府機關等は
悉く爆撃の雨に見舞はれ黒煙燦々として
午後に至るも鎮火せずその損害莫大なも
のと見られる、この日午前六時半分頃我
が海軍空襲部隊が澳門港外上空を通過し
たとの警報に接するや廣東ではけたま
しいサイレンを鳴らし廣東空軍戦闘機數
機も機雲を運んで我が海軍部隊に挑戦し
たが我が○○機は敵戦闘機を蹴散らし
些も編隊を亂さず廣東上空に襲来し高射
砲高射機關銃の齊射を物ともせず急角度
ダイビングを以て約一時間に亘り爆撃
を繼續空襲の目的を充分に達し敵機數機
を撃墜した上悠々歸還の途に就いた

香港(九三)

今朝の廣東空襲により天河
白雲山兩飛行場の損害最も甚たく軍需
工場地帯も各所に爆撃の洗滌を受け火の
手は收拾出來ざる状態となり市内にも各
所に爆撃痕跡も飛煙軍官學校は爆撃のため
焼失した、又廣東郊外專漢橋附近にあ
る官有セメント工場にも爆撃痕跡も火災を
起してゐるが同所は線路に近ず或は破壊
されたのではないかと見られてゐる、な
ほ廣東には無電氣が數ヶ所にあるがこれ
等も連環の爆撃により破壊された

上海(九三)

第二艦隊報道班午後八時半
發表
本日午前八時頃雷雨及び驟雨を衝いて廣
東上空に到達せる日本海軍航空隊○○機
は敵飛行機十數機と交戦し十一機を撃墜

し完全に敵を潰走せしめ悉く廣東郊外天
河白雲兩飛行場格納庫其他を爆撃し敵に
多大の損害を與へたり、我軍は全機無事
基地に歸着損害無し

【九三】(午後九時五十分海軍省公表)

本廿一日午前我○○海軍航空隊は其の
數十機を以て折柄の密雲を衝いて大舉廣
東を空襲し廣東上空に於て敵機十數機と
雲間を縫ふて壯烈なる空中戦を交へ其の
十機以上を撃墜し午前九時前後遂に天河
白雲の兩飛行場及増歩火藥廠を發見爆撃
を執行し増歩火藥廠の一部を爆破せる外
天河飛行場に於ては格納庫一棟兵舎及庫
外飛行機六機を爆破し又白雲飛行場に於
ては格納庫二棟其他他燃料庫を爆破し大
爆撃に次ぐ大火災を惹起せしめ別に地
上の敵機一を銃撃破壊し多大の戦果を収
めたり、我の損害皆無なり

▲第二次大爆撃 香港(九三)

今朝の第
一回空襲に大混亂を呈した廣東は更に午
後二時我が空軍の再爆撃により多大の損
害を受け人心慌々避難者は近郊に逃避し
た

【九三】(午前十一時海軍省副官談)

昨廿一日午後三時前後○○方面に於ける
我海軍航空隊は再び其の數十機を以て
廣東を空襲し敵の「カーチスホーク」型
戦闘機約十機と交戦し其の六機を撃墜し
更に猛烈なる防禦砲火を冒して天河飛行
場東側格納庫五棟及倉庫一棟及兵舎を爆
破炎燒せしめ更に庫外にありたる敵の中
型飛行機五機を爆破せり、本空襲に於て
我○○機一機は機體に大なる損傷を蒙り
たるも僚機全部と共に無事歸還せり

連雲港再爆撃

○○(九三) 第○艦隊所屬飛行機○○機は
本日午後一時半再び○○基地を出發臨海
線の起點たる連雲港の機橋その他主要造

機油の空爆を敢行した、昨日爆破された...

空襲宣言に南京混亂

上海(九三) 我方の南京空襲宣言に今朝...

南京空爆と各國動向

▲空爆通告と英米佛の態度 上海(九三)...

▲米國も異議申入 ワシントン(九三)...

▲英國拒否を通告 ロンドン(九三)...

▲米國も異議申入 ワシントン(九三)...

▲米國も異議申入 ワシントン(九三)...

日の定例会見に於て記者團の質問に答へ...

▲米國も異議申入 ワシントン(九三)...

▲米國も異議申入 ワシントン(九三)...

國民政府

▲米國も異議申入 ワシントン(九三)...

▲米國も異議申入 ワシントン(九三)...

▲米國も異議申入 ワシントン(九三)...

▲米國も異議申入 ワシントン(九三)...

▲米國も異議申入 ワシントン(九三)...

▲米國も異議申入 ワシントン(九三)...

▲米國も異議申入 ワシントン(九三)...

▲米國も異議申入 ワシントン(九三)...

する敵に對し奮戦之を突破して直に南
下して萬全附近の天險に據る敵を強
襲して之を殲滅し堤部隊を以て八月廿
三日夕刻家莊に其他の主力を以て八月
廿四日夕刻家莊西南方石門屯附近の高
地に進出して平緩鐵道を分斷せり、此
を以て敵は退路の障礙を打開せんとし
て大舉反撃し來り八月廿五日午後より
翌廿六日朝に亘り部隊は優勢なる敵の
四周よりする包圍攻撃を受け激戰に
致命的打撃を與へて之を退走せしめ廿
七日午後以來張家口附近に敵影を見ざ
るに至り茲に部隊の任務を先達し引續
き一舉其主力を宣化沙城子方面に進め
て〇〇部隊と連絡せり、部隊攻撃開始
以來約十日間堅忍持久疾風迅雷當面
敵を擊破したるのみならず察哈爾省內
に在りし優勢なる敵をして鐵道に依る
こと能はずして潰亂疾走遠く南方蔚縣
方面の山中に逼算するの已むなきに至
らしめて支那駐屯軍の作戰を容易に
し關東軍作戰の目的を遺憾なく達成し
得しめ其武功特に拔群なり

仍て茲に感狀を授與す
昭和十二年九月九日
關東軍司令官 植田 謙吉

戰死將校氏名

【廿一日發表】〇〇方面に於ける戰死將
校左の如し

▲和知部隊

中尉 濱田 保
少尉 近藤 實貴

國民支援

外務省慰問使出發

【二三】廿一日午前十一時神戸出帆の日
華連船長崎丸で外務省派遣の上海島軍
慰問使村上義温公使など一行三名の他高
野山の慰問使菅長代理福岡琢明師外一行

三名が約二週間の豫定で上海に向つた
衆議院慰問團臺北へ
【二三】上海第一線の皇軍慰問の旅を終
へ廿日長崎に歸來した衆議院上海派遣軍
慰問使西岡竹次大代議士以下十一名の一
行中西岡、平野、信太、川崎、西川の五
代議士は同夜來福榮旅館に一泊したが
廿一日午前十一時廿分雁ノ巣飛行場發空
輪會社内臺灣線終極で臺北に向つた

將校婦人會の恤兵

【二三】全國陸海軍の將校の家庭婦人よ
りなる將校婦人會では酷寒に向ふ支那各
地で善戰苦闘する皇軍將兵の爲に此の度
慰問品として冬仕度の毛織又はスコッチ
の靴下を贈る事になり廿一日午前十時か
ら牛込若松町の本部に黒木會長以下幾人
幹事會を始め各將星の夫人等二百數十名
集合一針々々に銃後の熱をこめて靴下編
を始めたが此の舉を聞石された各富家で
も若干の御引受を仰出され又武蔵野女子
學院高等女學校でも編み方申出る等實用
的な冬仕度恤兵の企ては着々と進められ
てゐる

第三部會獻金

【二三】上野東京美術館に開催された
第三部會第三回展覽會は十八日閉會した
が同會では廿一日彫刻報國の赤誠を披露
して今回の入場料全額及會員出品賣約品
の半額と同會積立金中の一部を加へて金
一十圓を恤兵金額として七百圓を陸軍省
へ、三百圓を海軍省へ夫々獻納した

鹿兒島に空爆忠魂碑

【二三】暴風雨の中長驅渡洋爆撃を敢行し
世界戦史に比類なき戦果を収めた〇〇航
空部隊所屬將兵の偉勳を永遠に讃へ名譽
の戦死を遂げた海軍將士の忠魂を慰める
ため鹿兒島縣鹿屋町に忠魂碑を建設すべ
しとの議が擡頭し町當局を中心に計畫進

行中で發起者一同は廿一日縣廳に知事を
訪問し打合せの結果廣く一般から寄附金
を募集しこれが建設費に充てることとな
つた

海外動向

英産業聯盟權益擁護決議
【二三】英國産業
聯盟は来る廿九日總會を開
き對支權益擁護に關する共
同對策を協議することとな
つたが其の下打合せの意味で廿一日午後
支那關係商社の首腦部九十名が會合協議
の結果左の通り意見一致した

一 英國人の財産が日支兩軍により一時
的若しくは永久的に占據されたため生
じた損害に對しては責任の所在により
夫々日支兩國政府へ速かに賠償を要求
するやう外務省へ請願する
二 保險會社に對し廣九鐵道によつて運
搬される貨物の戦時保險を實施するや
う要求する
三 外務省に對し日本政府と交渉し上海
以北に於て抑留されてゐる貨物の釋放
を圖るやう要求する
四 對支貿易業者代表を以て二個の委員
會を組織し極東の事態の推移を觀察す
ると共に之に對する適當な方策を講ぜ
しむること

米上院顧問中立法要望

【二三】米國上院軍需工業特
別調查委員會の顧問として令名あるステ
イブ・ロシエンツシュ氏は廿一日
日政府が日支紛争に對し中立法を發動し
ないのを攻撃左の如く演説した

政府が中立法を發動しない爲米國は極
東で何か冒險を企てゝゐるのではない
かとの懸測を生んでゐる、政府は世界
大動亂の危機に直面して「盲目遊戲」

九月廿二日

北支情勢

北支維持會聯合會
天津【二三】北平、天津に
於ける治安維持會は組織以來順調に發達
し各方面に著々その實を擧げ來つたが右
兩機關の機能は夫々北平、天津のみに局
限せられ兩地の共通事項處理に關し兩市
共に不便を感じつゝある爲め今回兩都市
委員中より各二名を選出し聯合會機關を
組織し行政機能を擴大之が圓滑なる處理
に當ることとなり北平廿二日午後一時より
天津治安維持會に於て北平地方治安維持
會聯合會の發會式を舉行した、尙冀東自
治政府に於ては本趣旨を實し聯絡の爲め
同會に代表者一名を列席せしめた、委員
顔福左の通り

△天津側
高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥

△北平側
同 鈕傳善
同 冷家驥
同 周蔭祥
冀東自治政府聯絡員
任國梁

△天津側
高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥

△北平側
同 鈕傳善
同 冷家驥
同 周蔭祥
冀東自治政府聯絡員
任國梁

△天津側
高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥

△北平側
同 鈕傳善
同 冷家驥
同 周蔭祥
冀東自治政府聯絡員
任國梁

△天津側
高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥

△北平側
同 鈕傳善
同 冷家驥
同 周蔭祥
冀東自治政府聯絡員
任國梁

△天津側
高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥

△北平側
同 鈕傳善
同 冷家驥
同 周蔭祥
冀東自治政府聯絡員
任國梁

△天津側
高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥

△北平側
同 鈕傳善
同 冷家驥
同 周蔭祥
冀東自治政府聯絡員
任國梁

△天津側
高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥

△北平側
同 鈕傳善
同 冷家驥
同 周蔭祥
冀東自治政府聯絡員
任國梁

△天津側
高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥

△北平側
同 鈕傳善
同 冷家驥
同 周蔭祥
冀東自治政府聯絡員
任國梁

△天津側
高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥

△北平側
同 鈕傳善
同 冷家驥
同 周蔭祥
冀東自治政府聯絡員
任國梁

△天津側
高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥

△北平側
同 鈕傳善
同 冷家驥
同 周蔭祥
冀東自治政府聯絡員
任國梁

凌壽氏を委員長に選舉し左の宣言を可決
し午後二時散會した
△平津治安維持會聯合會
成立に關する宣言
事變勃發するや従來の公務員は逸早く
逃亡し行政の機能は一時全く停止し治
安は攪亂し物資の流動は停止し敗兵不
逞の徒の掠奪など眞に見るに堪ざる
ものありき、友邦の絶大なる援助によ
り慘禍を極小に止め得たるのみならず
平津兩市先づ治安維持の機關を設定し
逐次之を近隣に及ぼし行政機構の整備
又漸く其の緒に就かんとしつゝあるは
寔に同慶の至にして深くその仁義に感
激するところなり、然るに平津地方は
もと一體不離の關係にあり、従つ
てその方針一途に出でざれば民生得て
歸する能はざるのみならず百害を後世
に貽す惧あり、對外事項の處理又一個
の代表機關あるを痛感するの情勢あり
り、依つて茲に平津治安維持會を組織
し冀東政府又平津と密接なる關係ある
を以て良くと提携し相共に必要なる
措置を爲すことを宣言す
中華民國廿六年九月廿二日
平津治安維持會
聯合會主席代表

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

高凌霨
鈕傳善
冷家驥
周蔭祥
任國梁

日未明一齊に火蓋を切り壯烈なる保定攻撃の前哨戦が開始された

▲司令部發表 北平【九・三】(午前十一時廿分發表) 平漢線西方地區を追撃中なりし我部隊は今朝保定(大册河右岸保定北方十六キロ)附近の敵を攻撃中なり

▲陸軍省發表【九・三】(午後三時半發表) 一 平漢線方面に於ける我が軍はその第一線をも以て東龍門(瀋陽)の北方十六キロ

大册河(瀋陽東北四十キロ)千坊(徐水西南約十キロ)の線に達し白屋(東龍門南方二キロ)瀋陽、保定附近の敵を攻撃中なり

二 涿州附近の會戦に参加せる敵の兵力は瀋陽海軍(一師半)馮福麟軍(三師)第十四軍(二師)第卅軍(二師)第三軍(二師)の合計十二ヶ師の外に若干師を加へたるもの如く會戦間に於ける我が猛撃及十九日廿日に於ける我が追撃により多大の損害を蒙りたるものゝ如し

▲大册河渡河 徐水【九・三】 岡本部隊の一部は午後五時半北樓村の東側にて大册河を渡河し前岸に進出した

▲瀋陽高地占領 大册營【九・三】 保定をめぐす我部隊の最前線たる石黒部隊は廿二日曉を破つて勇躍進撃を開始した、敵は大册河を挟んで瀋陽北方高地に陣を布き地の利を利用して我に向つて猛烈な砲撃を加へ必死に防戦を試みたが我精銳は之を物ともせず敵前渡河を行ひ僅か一時間にして同七時右高地を完全に占領した、敵は此の高地こそは大丈夫と頼む堅陣だったが片端しから我軍に撃破され退却の用意も向も滅茶々々となり多量の武器と屍體を残して算を亂して遁走した、我軍は尙も追撃の手を緩めず一氣に瀋陽を攻略更に進んで附近の敵を攻撃中である、同地は保定を距る西方十六キロ被破なる高地で敵が難攻不落と頼んでゐたが我

軍の急襲の前には一溜りもなく陥落した

▲黃村占領 大册營【九・三】 遼山部隊は大册河岸村附近の敵陣地を攻撃午前七時早くもこれを占領敵は約三百の死體を遺棄して保定方面に潰走した

▲司令部發表 北平【九・三】(午後零時廿五分發表)

一 易州城東南方々面より南下進撃中の我部隊は本廿二日未明午前二時頃瀋陽東北地區に於て頑強なる敵の抵抗を排除し大册河を渡河該河右岸既設陣地を突破し午前十時頃黃村(保定西北凡そ十六キロ) 越山(瀋陽北方三十キロ)の線に進出せり

一 敵の一部は瀋陽より保定銅城方面に退却中なり

▲空陸呼應爆撃 ○○【九・三】 瀋陽鎮攻撃の地上部隊に協力すべく園田部隊の○機○機は午前六時折柄の密雲を衝いて一齊に出動七時前後瀋陽鎮上空に達したが朝來保定一帶は密雲低く垂れこめ地上の状況は判然せぬため各機一齊下げ舵をうつて二百メートルの低空飛行を敢行敵の頭上から陣地目掛けて猛烈な爆撃を行ひ敵陣地を粉碎して同八時半根據地に歸還した

○【九・三】 平漢線瀋陽鎮の敵は有力なる對空火器を擁して我が軍空襲と見るや小窟にも各陣地より一齊に砲門を開き空襲部隊との間に壯烈なる戦闘を展開したが其の際園田部隊機は機體に敵砲を蒙り又藤井隊長、能澤軍曹の一機は前後左右に炸裂する敵砲の中で奮戦中不幸敵彈命中し友軍と敵地の中間に不時着したまゝ消息を絶つた

▲敵陣浮足立つ ○○【九・三】 飛行機の偵察報告によると破竹の勢で南進中の我が地上部隊は前面の敵を蹴散らし保定

方面に向け猛撃中で敵は保定北方大略十キロの瀋陽鎮の陣地に據り同地北側を流れる河川を橋に頑強に抵抗中、敵隊に互り堅固に構築された陣地と有力なる火器を擁して死物狂ひの防戦を續けてゐるが今朝の我が空襲により多大の損害を被り早くも浮足立つてゐる

北平【九・三】 敵の北支戰線最後の一線と待む大册河南岸の保定陣地は我が軍の息もつかせぬ猛進撃の前に瀋陽黃村と相次いで破られ我が最前線は瀋陽城(保定)へとあと十キロに迫り敵は味方の退却掩護のため必死の抵抗を試みつつあるが既に保定占領は時間の問題となつた(午後三時)

北平【九・三】 今朝我軍は大册河及び保定縣陣地の雲をなす瀋陽高地を突破して既に保定まであと三里の間に迫り保定陥落は文字通り目睫の間に迫り豫て豫想された保定大會戦は遂に實現を見ずして我軍は保定の線確保することとなつた

之は涿州大會戦に於て我軍が大勝利を得た結果敵の戦意を完全に挫き遂に保定會戰を完全に解消する結果となつたものである

津浦戰況

▲司令部發表 北平【九・三】(午後零時廿五分發表)

一 易州城東南方々面より南下進撃中の我部隊は本廿二日未明午前二時頃瀋陽東北地區に於て頑強なる敵の抵抗を排除し大册河を渡河該河右岸既設陣地を突破し午前十時頃黃村(保定西北凡そ十六キロ) 越山(瀋陽北方三十キロ)の線に進出せり

一 敵の一部は瀋陽より保定銅城方面に退却中なり

▲空陸呼應爆撃 ○○【九・三】 瀋陽鎮攻撃の地上部隊に協力すべく園田部隊の○機○機は午前六時折柄の密雲を衝いて一齊に出動七時前後瀋陽鎮上空に達したが朝來保定一帶は密雲低く垂れこめ地上の状況は判然せぬため各機一齊下げ舵をうつて二百メートルの低空飛行を敢行敵の頭上から陣地目掛けて猛烈な爆撃を行ひ敵陣地を粉碎して同八時半根據地に歸還した

○【九・三】 平漢線瀋陽鎮の敵は有力なる對空火器を擁して我が軍空襲と見るや小窟にも各陣地より一齊に砲門を開き空襲部隊との間に壯烈なる戦闘を展開したが其の際園田部隊機は機體に敵砲を蒙り又藤井隊長、能澤軍曹の一機は前後左右に炸裂する敵砲の中で奮戦中不幸敵彈命中し友軍と敵地の中間に不時着したまゝ消息を絶つた

表) 津浦線方面の我が部隊は廿一日前線攻撃以來夜半十二時までに赤柴部隊をもつて合庄南端、沼田、長野部隊をもつて馬落坡(合庄東方六キロ)の敵陣を占領せしめ續いて攻撃進行中なり

▲竇店占領 興濟鎮【九・三】 廿一日夜半より前面の敵陣地に向つて果敢なる夜襲を行つた我が沼田部隊は敵數十數時間後廿二日午前三時に至り津浦線東側に構築された竇店の敵陣を占領した

▲姚官屯占領 興濟鎮【九・三】 長野部隊は廿二日正午姚官屯附近一帯の敵陣地を完全に奪取しその一部を以て午後三時半疾風迅雷涿州一番梁を目標して進撃した

▲第一線陣地突破 姚官屯【九・三】 涿州前面陣地攻撃に呼應してわが空軍○○機も今早曉涿州前面陣地に飛來し姚官屯西方の東花元及び西花元陣地の爆撃を行ひわが赤柴部隊は敵のひるむに乗じて突撃午前九時過東花園を占領し更に強引に急追中である、かくて赤柴、沼田、長野等各部隊の猛進撃は姚官屯を陥れ馬落坡を抜き敵の第一線陣地は完全に覆滅しわが先鋒部隊は早くも涿州を去る五料の地點に近迫した

▲砲聲深夜に及ぶ 興濟鎮【九・三】 入合庄、姚官屯、馬落坡の第一線陣地を突破せる沼田、長野、赤柴各部隊は廿二日午前勇躍追撃に移り夕刻涿州を取巻く水濠陣地に肉薄し午後六時半を期して更に猛烈な集中砲火を浴びせた、右水濠は幅約十メートル、南運河の水を引いて西より東にかけ敷料に及びその後方に堅固な陣地を築き之に據る廿九軍は中央軍警部隊の監視の下に死物狂ひで抵抗した、沼田、長野兩部隊による砲撃は午後十時半に至るも尙猛烈に進行され彼我の撃ち合ふ砲聲は股々として夜の涿州縣城に響き渡つたが午後十一時過ぎに至り敵陣左翼方面は我が砲撃により先づ沈黙し右翼敵陣地も次第に火蓋をへつゝある

▲宋哲元行方不明 天津【九・三】 赤柴部隊は廿二日夕刻までに早くも東花園に進み更に涿縣々城に肉迫しつゝあるが空中偵察によると涿縣城内は一面の水浸しとなり敵の陣營亦苦戦を重ねて居り廿九軍總帥宋哲元は我が涿州攻撃開始と共に又もや何れへか姿を消した模様である

▲大城占領 ○○【九・三】 廿二日午後三時半中富部隊隊尾部隊の○○機、倉持部隊の○○機は○○根據地を出發中部戰線大城一帯の敵に對し前後四面に互つて爆撃を敢行した

天津【九・三】 津浦線右翼方面の○○部隊は南超扶鎮附近の敵陣を抜いてより潰走する敵を擊斃しつゝ西南方に進撃東買庄五里屯を抜き先鋒赤柴部隊は廿二日拂曉河北中原の要衝東買庄の西北大城(馬廠西北四里)の敵陣地に猛撃を開始し午前十時遂に之を占領河北平原中心部に突入した

▲大城南方位點占據 天津【九・三】 于牙河右岸地區に在りし野田部隊は八里庄、(大城鎮南方三キロ)の西端を占領した

天津【九・三】(軍司令部午後八時發表) 責庄(大城南方位一キロ)に進出せる我が助川部隊は引續き五里屯(大城西南方位三キロ)附近の敵陣地を攻撃し本日午後五時同地を占領せり

天津【九・三】 軍司令部午前八時廿分發表) 一 于牙河左岸に於て廿二日午前十一時頃赤柴部隊は敵陣地の要點たる大城の敵を驅逐せしめ占據せり

二 津浦線方面の赤柴部隊は廿二日午後七時頃西花園(涿縣北方六キロ)を占據す

中南

上海 戰況

全線進撃續く

劉家行砲兵連隊 揚行隊に壓迫され後退しつゝあつた敵砲兵隊は...

▲周家宅確保 周家宅(九三) 廿一日午前十一時周家宅を占據した富田部隊は...

▲梅宅宅朱家宅攻略 〇〇(九三) 蔡家宅、吳宅の線に進出した安達部隊は...

▲所定線に進出 〇〇(九三) 羅店鎮前陣砲隊により馬路塘クリクの線を完全に軍中に収めた...

新鋭部隊上陸開始

上海(九三) 〇〇報道部午後八時発表 我が新鋭なる...

▲浦東敵陣地爆撃 上海(九三) 我が海軍航空隊機は...

▲大場鎮敵陣地爆撃 上海(九三) 廿二日夕刻わが海軍航空隊の數十機は大場の野砲陣地を襲ひ...

▲支那軍交撃 〇〇部隊の連日に亘る猛撃に中央軍の精銳第十四師はその過半数を失ひ...

▲上海四大學移轉 上海(九三) 上海近傍にある支那の復旦、大同、光華、大夏の四大學は何れも日支交戦區域にあるため...

▲南京第三次大爆撃 南京(九三) 我が空軍の精銳〇〇機は正上海(九三) 我が空軍の精銳〇〇機は正

午南京を空襲、國府、軍官學校その他凡ゆる軍事機關に徹底的な損害を與へた...

▲第一回空襲 上海(九三) 廿二日正午頃南京上空に到着せる海軍航空隊〇〇機は...

▲第二回空襲 上海(九三) 廿二日午後零時半海軍第三次空襲部隊〇〇機は再び南京上空に現れ...

▲敵二機を撃墜 上海(九三) 敵の空軍カーチス・ホーク戦闘機は白相大尉の率ゐる第二次空襲部隊が南京上空に差しかゝる頃小隊にも應戦し來つたので...

▲第三回空襲 上海(九三) 我海軍空襲部隊は廿二日午後引續き三度南京空襲を決定した...

▲南京大動搖 上海(九三) 十九、廿二日と既に三日に亘り我が海軍空襲部隊により連續的大爆撃を受けた首都南京は國民政府、參謀本部、中央黨部等軍事政治の各中樞機關及び軍用飛行場、富貴山砲臺、兵工廠、各防空陣地等軍事施設を爆破され...

▲南京空襲と各國動向 支那奸計を弄す(九三) 我が當局の入手せる情報によれば南京に於ける各種軍事施設の徹底的爆撃の預告を受けた支那側は第三國にすがつて極力日本軍の攻撃を牽制しやうと死物狂ひになつてゐるが先には「日本軍の墜落機内にあつた地圖には外國公館を爆撃目標として記入し

中 海軍空襲部隊は江陰砲臺附近に碇泊中の支那軍艦三隻を爆撃しこれを大破した(九三) 我海軍航空隊が江陰砲臺附近に於て爆撃した支那軍艦は巡洋艦寧海、平海の二隻と砲艦數隻であるが前者のうち一隻は火災を起し他の一隻は大破したことが確かめられた...

▲江陰砲臺爆撃 上海(九三) 我海軍空襲部隊は本日正午頃折柄の密雲を衝いて揚子江を扼する敵の重要要塞たる江陰砲臺を襲撃猛爆撃を加へこれを潰滅した

▲軍艦三隻爆撃 上海(九三) 本日午前

▲空襲詳報 上海(九三) 我が海軍航空隊の白相大尉、田中一太尉の指揮する航空部隊は廿二日正午頃田中太尉を先

▲空襲詳報 上海(九三) 我が海軍航空隊の白相大尉、田中一太尉の指揮する航空部隊は廿二日正午頃田中太尉を先

▲空襲詳報 上海(九三) 我が海軍航空隊の白相大尉、田中一太尉の指揮する航空部隊は廿二日正午頃田中太尉を先

▲空襲詳報 上海(九三) 我が海軍航空隊の白相大尉、田中一太尉の指揮する航空部隊は廿二日正午頃田中太尉を先

▲空襲詳報 上海(九三) 我が海軍航空隊の白相大尉、田中一太尉の指揮する航空部隊は廿二日正午頃田中太尉を先

▲空襲詳報 上海(九三) 我が海軍航空隊の白相大尉、田中一太尉の指揮する航空部隊は廿二日正午頃田中太尉を先



空襲

であつた等と如何にもまことしやかに吹聴してゐる様子だが更に入手せる情報によれば愈々苦しまぎれの非常手段として日本軍飛行機の南京空襲に對し日本海軍機に偽裝した支那機を以て故意に第三國の公館或は艦船等を爆撃するの陰謀を企てゐる由であつて我が當局は中央、出先共に夫々至急第三國官憲に對し注意方を申出でゐる。

【三】 廿二日午前十時陸軍省に到達せる情報によれば

南京軍事委員會に於て外國就中英、蘇方面の干渉を誘致せんが爲め日本軍の南京空襲時を利用して支那軍飛行機により英、蘇等の大使館の爆撃を企圖しある模様なり

▲英國南京空襲を重讀 ロンドン【三】英國政府はヒューゲッセン大使事件に關する帝國政府の回答に完全満足はしてゐないが大體納得した模様で英國朝野の關心は今や轉じて南京空襲に向けられてゐる、英國官憲でも日本の南京空襲には相當感情を害してゐる模様でアヴァス通信社ロンドン支局は英國官憲の意向として次の如く報じてゐる。

ヒューゲッセン大使事件に關する日本の回答は英國政府にとつて完全に満足すべきものとはいへないが日本は損害賠償の用意ありと歸されるから大體納得し得べきものである、今や問題は寧ろ日本の南京空襲に移つた観があり此の方を大使負傷事件より重要視して居る様だ、殊に大使負傷事件に關する日本の回答中に「非戦闘員に對する損害危険を出来る限り局限せんとするものは日本政府の方針で在支軍隊に對し非戦闘員に損害を與へぬやう再度訓令したと述べてゐるに拘らず非戦闘員の多數存在する都市爆撃を敢行したに對し

憤慨の意を演じてゐる、英米佛の異議申入れは今日の情勢に於ては餘り効果ありとは期待されないが英國政府は飽く迄外交手段を以て非戦闘員の生命財産の尊重を主張すると共に英國居留民の保護に萬全の策を講ずるの決意である、同時に英國外交使節館海軍兵力及び英國居留民の權利を主張するもので支那に於て第三國の命令や勸告を受ける筋合ではないとの見解を保持してゐる模様である

▲米國再度異議申入 ワシントン【三】ハル國務長官は廿二日定例共同會見に於て米國政府は日本空軍の南京爆撃に對し東京駐劄大使ジョセフ・グルー氏を通じて再度廣田外相宛に申入れを行つた旨發表した

▲米國再度異議要旨 ワシントン【三】米國政府は廿二日東京駐劄グルー大使を通じて日本軍の南京空襲につき日本政府に重ねて申入れを行つたが申入れの要旨左の通り

一 米國政府は各國居留民並に非戦闘員一般の生命を危殆に瀕せしめること及び南京駐在の米國大使館員並居留民を濫殺せしめる様との警告に對し異議を有す

一 米國政府は平和的事業に従事する多數人民の居住する廣汎な地域に於て一般的空襲を行ふことは許されず且つ人道並に國際法の諸原則に反すると思惟する

一 更に現在の事態に於て日本の通告せる引揚猶豫期間は短きに過ぐ
一 南京は支那政府の所在地であり、米國大使始め米國各機關亦南京に於て重要職務に従事してゐる事情に鑑み米國政府は米國大使以下米國居留民が居住を撤収するか乃至停止つて重大危険に

曝されるか、何れかを選ばざるを得ない事態が惹起されることに對し強く反對する

一 米國政府は空襲が南京全市に亘るやも知れずとの通告を以て日本政府の意向を表明したものと信じて難い
一 以上の如き理由に基き米國政府は南京地方に於ける日本軍の軍事行動によつて惹起されることあるべき損害に付ては米國並に米國居留民のために凡ゆる權利を留保するものである、同時に米國政府は南京及びその附近に於いてこれ以上の爆撃が行はれぬ機切望するものである

▲米國第二次申入事情 ワシントン【三】ハル國務長官は廿二日去る廿二日口頭に依る申入れに次いで廿二日更にグルー駐日大使をして南京空襲に對する警告を日本政府に手交せしめた旨を聲明之が全文を發表した、ハル長官が第二次申入れを行つた理由については種々推測が行はれてゐるが消息通の意見では廿一日ハル長官が新聞記者團に語つた内容が各種に解譯され殊に「ハースト系新聞の如きは極端に事實を歪曲し誤つた印象を米國民に與へた爲といはれる、警告の内容を注意して讀めば米國政府の眞の意圖が主として道德的地に立つと共に南京空襲を出来るだけ軍事施設に局限するやう希望を述べたものなる事が窺へるであらう、米國政府としては日本軍が今更南京爆撃を中止しやうとは思つてゐない様だが非戦闘員に對する危害を極力避けるやう希望し米國人の財産に對する權利留保を通告したものと見られてゐる

▲ハル長官談 ワシントン【三】ハル國務長官は廿二日新聞記者團との定例會見に於て日本軍の南京爆撃に對し重ねて申入れを行つた旨を言明左の如く述べた

米國政府は廿二日東京駐劄グルー大使を通じて日本軍の南京空襲に關し日本政府へ重ねて申入れを爲したが今回の申入れは廣田外相宛文書による正式通牒の形式を採つた點で第一次の口頭申入れと異つてゐる、第一次申入れに付て日本外務省から或種の回答を受けたが内容に付ては今何とも申上げられない、公軍によれば日本軍飛行機の南京空襲の際米國大使館内に爆弾一個炸裂したが幸ひ米國財産に損害無く在留民の負傷も無かつた模様だ、ルーズヴェルト大統領は西部諸州視察旅行中も絶えず國務省と連絡し極東及び歐洲の情勢に付き報告を受ける筈である

▲須磨參事官日本の眞意説明 ワシントン【三】ワシントン駐在帝國大使館參事官須磨彌吉郎氏は廿二日ハル國務長官が南京爆撃に關し日本へ第二次申入れを行つた直後新聞記者と會見し日本は非戦闘員を攻撃する意思は毛頭ない旨を強調南京爆撃の眞意を説明した

▲米大使歸還 上海【三】我が海軍航空隊の南京爆撃に際し南京駐劄米國大使ネルソン・ジョンソン氏は、揚子江上の米艦ルンソン號に避難したが爆撃終了後大使館員と共に上陸大使館に歸來した

▲ニューヨーク【三】南京廿二日發AP電報によれば南京駐劄米國大使ネルソン・ジョンソン氏は長谷川第三艦隊司令長官の各國居留民撤收勸告に従ひ大使館員と共に砲艦ルンソン號に避難してゐるが廿二日日本軍飛行機の空襲終了と共に再び南京米國大使館に歸還したと云はれる

▲佛も異議申入 パリ【三】長谷川第三艦隊司令長官の南京各國居留民避難勸告に對しフランス政府は廿二日東京駐劄大使シャルル・アルセーヌ・アンリー氏を通じて日本政府に對して抗議の申入れを行

つた、申入れ要旨と解される所左の通り
一 日本軍飛行機の爆撃目標は南京に於ける軍事的施設にのみ局限せられぬ
一 日本政府がフランス政府代表、フランス居留民並にフランス軍艦に對し南京引揚を要求する權利があるとは認め難い
一 日本軍飛行機の南京空襲により蒙ることあるべきフランス居留民の生命財産上の損害に對しては賠償請求權を留保する

第二次廣東大爆撃

▲第一回空襲 香港【三】我が海軍航空部隊は廿二日午前二時間を衝いて廣東空襲前後四時間に亘り主要軍事營造物に徹底的爆撃を加へた

▲第二回空襲 香港【三】廿二日午前六時四十分我が空軍は再度廣東を襲ひ矢張り早の爆撃を行つた

▲第三回空襲 香港【三】本日午後一時我が〇〇機〇〇機は又も廣東を空襲し白雲山、天河飛行場に大々的爆撃を敢行し未だ破壊を免れたる建物其他軍事施設に對し爆撃を投下し次で息づく暇もあらせず高射砲陣地に對しても勇猛果敢なる爆撃並に地上掃射を行ひ航空軍並に防

空襲に對し熾烈の打撃を與へた、支那軍は我が餘りにも連續的な且つ組織的な爆撃による防空陣地の破壊と空軍の大打撃に漸く戦意を喪失しつゝあり我が實力の前に茫然たる有様で中山大學附近の兵舎省政府その他重要軍事機關等は焼失したと傳へられ國民革命發祥の地として排日氣勢最も熾烈なり廣東市内は今や擧げて大混亂に陥つてゐる

▲第四回空襲 上海(九三) 我海軍航空隊の廣東空襲は午後に至り第四次の爆撃を敢行長時間に亘り廣東上空を旋回しつゝ飛行場、格納庫、兵營、軍司令部に爆撃の雨を降らした、一日間に四回もの空襲を受けた廣東市は混亂の極に達してゐる

▲廣東大混亂 香港(九三) 我が空軍の連續の大爆撃に廣東市民の逃避するもの數十萬に達し汽車汽船は超満員で香港澳門等に向け續々避難中であり、群衆殺戮して大混亂を極めてゐる

▲我軍パンフと傳單配布 (九三) 〇〇海軍航空隊〇〇機は廿二日早朝廣東空襲に際し東洋平和の爲日支和平一致協力を勸告した繪入り漢文綴りのパンフレット十萬部及支那空軍全隊の眞相をつづつた「憐むべき中國空軍」と題する繪入り傳單數十萬枚を南文一帶上空より撒布した

▲報道班發表 上海(九三) (第三艦隊報道班午前八時四十五分發表) 昨日午前の大空襲に續き我海軍航空隊は午後三時再び廣東を空襲折からの悪天候に立籠る密雲を昇して廣東上空に大團の姿を現はし飛行場その他軍事上の要地を爆撃激撃せんとする敵戦闘機多數を撃墜した、昨日二回に亘る我が大空襲に敵空軍の被害は次の如き甚大な數に上つてゐる

△擊墜

戰國機 十九機
△機上爆撃により 七機
大破 五機
中破 卅一機
計 三機
△格納庫炎上 六機
同 大破 二個
△燃料タンク炎上 二個
尙我方に損害なし

▲海軍省副官談 (九三) (午後十時五十分發表) 我〇〇海軍航空部隊は本廿二日午前八時半前後其の數十機を以て廣東を空襲し白雲飛行場に於ては前日の我が空襲に爆撃を免れたる格納庫其他施設の大木及地上の敵飛行機四機を爆撃し又新に從化方面に飛行場を發見し格納庫を二棟、兵舎及地上機を一機を爆撃せり、本空襲中廣東上空敵影を認めず尙白雲飛行場に於て斷雲を突破して低高度の肉薄襲撃中我が一機は敵の猛烈なる防禦砲火を浴びて壯烈なる最期を遂げたり

▲南京廣東爆撃公表 海軍省副官談 (廿三日午前十一時十五分發表) 一 廿二日我〇〇海軍航空隊は前後三回に亘り各數十機を以て南京を空襲し中央黨部、航空署、防空委員會及南京停車場を爆撃し數箇所は火災を生ぜしめたり尙當方面に於ては敵は既に戦闘機の大部を失ひたるものゝ如く僅に其の數機を以て抵抗したるのみなるも我軍は更に其の四機を撃墜せり

二 廿二日我〇〇海軍航空部隊は午前引續き午後二時頃再度其の數十機を以て廣東を空襲し虎門飛行場の格納庫及兵舎を爆撃せり、又〇〇海軍航空部隊は之と相呼應天河飛行場、製彈廠、兵工廠を爆撃し夫々機破炎上せしめ特

に兵工廠には潰滅的損害を與へたり 三 廿二日海軍航空部隊は其の〇〇機を以て敵海軍根據地江陰を空襲し鎗海型巡洋艦一隻に火災を起さしむると共に同地水雷工場を爆撃せり 四 以上各空襲を通じ我方の損害は南京攻撃を行ひたる〇〇航空部隊に於て行方不明機一機を生じたるのみなり

▲海軍省副官談 (九三) (午後十時五十分發表) 九月十九日以來同廿二日に至る南京及び廣東方面空襲に於て支那軍飛行機に與へたる損害は左表の通りなり

南京	擊墜 四〇〇	〇二	四二
廣東	擊墜 一〇〇	七二	一七八
計	六六	一一	七七
△格納庫	約四八		
△機破	二二〇	七	二二七
計	二七二	二二	二八四
確實	稍々不確實	計	
擊墜	一五二	五	一五七
機破	一一〇	七	一二七
計	二六二	一二	二七四

まゝ敢然敵陣に突入り搭乗者阿部、梅澤兩一等航空兵曹は壯烈なる戦死を挙げた (旅順要港部隊發表) 昨日の兗州の空襲に於て壯烈なる戦死を遂げた阿部、空曹、梅澤一空曹は約九百米の高度にて爆撃運動中銃火を受け黒煙に包まれて急降下の姿勢をとつたまゝ目標に向けて衝突したものである

▲山口部隊長談 (〇〇艦上九三) 徐州空襲隊指揮官〇〇艦隊山口義隆部隊長は爆撃状況を左の如く語つた

我が部隊は青年日本を象徴するが如き若人揃ひで翻志勃々一踏目的地に轟進したが連雲港方面の高角砲は早くも火を吐くものゝ如く海上にボツ／＼と白煙を認めた、津浦線及び隴海線の要路たる徐州停車場に集中する敵の軍用列車及びその他軍事機關を自がけて爆撃を投下するやよく命中し見る／＼黒煙を吐き木葉微塵に飛び散つた、勇猛果敢な青年航空隊は思はず快哉を叫んだかくて完全に目的を果した我部隊は再び隊形を整へ、明月を浴びて歸來する氣持は何と云へなかつた

府政民國

に黨として最善を盡すべき事を誓ふ 二 中國共產黨は、イ 暴力による國民政府の顛覆ハ 土地の強制買収の三者を目的とする總ての方策措置を遂に廢棄することに決定した 三 中國共產黨は中國ソヴェト共和國政府を解消し中國の行政的諸機關を統一する意圖の下に中國の爲民主的形式の政府樹立を支持することに決定した 四 中國共產黨は紅軍を解消することに決定した、右革命軍は軍事委員會の命令の下に前線に於て國防事務に服する用意あり

右陣地に於て發せられたる中國共產黨の新政策に關する宣言は八一宣言に實行され來つた抗日統一戰線の政策を更に一歩進めたもので之により中國共產黨自體の獨自の存在は別として政治、軍事の兩面に亘り完全に南京の方途に合流しその指揮に服する旨宣言したものである、本宣言は西安事變以來屢々傳へられた國共合作に一新紀元を劃するもので國民黨中國共產黨の完全なる提携合作が完全に宣言せられたものに外ならない 天津(九三) 國民政府の容共政策は西安事變にあつた國共妥協以來急速に具現されつゝあるが日支事變勃發後二ヶ月の九月下旬國民政府の内部改組と中國共產黨の政府内部喰ひ入りは完全に成功するに至つた、然し乍ら最近列國の視聽は支那の共產化に集中し歐米列強より猜疑の目を以て見られるに至つたもので之が回避のため遂に中國共產黨は蔣介石の要請に應じ廿二日膺陳(陝西省中部)に於て左の如きカムフラージュ宣言を發表するに至つた、宣言要旨次の通り

中國共產黨新政策宣言 上海(九三) 本日陝西省北部共產黨の本據地より南京に到着した公電によれば中國共產黨中央執行委員會は今次の國難に當り國民の統一を確保せんが爲に黨として一大轉換を爲す新政策を採用するに決定した

一 中國共產黨は中國の再建設には孫總理の三民主義は不可欠のものである事を認め三民主義の完全なる實現の爲め

現時軍大なる國難に際し我等この中國の危機を救ひ和平統一、變侮の爲共に國難に赴かんとす、茲に中國共產黨は全國同胞に我等奮闘の目標を提唱す即ち

- 一 支那民族の獨立自由を獲得する爲速に民族革命戦を發動し失地恢復、領土主權を完整すること
- 二 民權自治獲得のため全國々民大會を招集し憲法制定及び救國方針を決定すること
- 三 國民の福祉を實現する爲天災を救濟し國民生活を改善すること

右は中國に於て目前の急務にして我が黨は右目的實現の爲國民の誤解を解き敢て左の宣言をするものである

一 孫文の三民主義は現下の支那に對して必須のもので我が黨は之が實行に努力す

二 國民黨政權を顛覆せしめるが如き一切の暴動政策、赤化運動を取消す

三 現在の中國、ソヴェト政府を解消し全國政權の統一を期す

四 共產黨の名義を取消し國民革命軍に改編し國民政府の指令に基き抗日戦に服務する、即ち我等は目下之等の約諾中輕視し實行してゐない條項例へばソヴェト區の取消し共產黨の改編を直ちに實行強敵に當らんとするものである

國府の赤色外交變化

天津(六三) 最近國民政府の聯ソ容共政策を見るにソ聯の南京に對する武器その他飛行士技術家の配給は借款の形式をとり之を金額に換算すれば一億ルーブル以上のものと稱され、而して之等事業の振興に便する爲ソ聯は高級武官を南京參謀部に派遣する外コミンテルン最高幹部を南京外交部の顧問に入れ中國の外交を完全に赤色外交に塗染へんとする意圖の如くである、かくて南京政府は聯ソ政策

により一途共產化の一途を辿りつゝあるは確實である

宋美齡武器購入に策動

天津(六三) 蔣介石夫人宋美齡は去る十八日夜南京より自動車にて上海に到着したが英米佛各國軍需會社方面に武器購入の策動を爲しつゝある模様である

在留支那人引揚

【横濱電】 廿二日午前十一時横濱出帆の英國汽船ナンキン號で東京及び横濱在住中國人百十七名が歸國した

帝

厚き御恩召に全將士感激

上海(六三) (軍當局談) 皇陛下におかけられては上海方面の作戦につき御軫念あらせられ戦傷兵に對し特に綑帯を御下賜あらせらるるとの御沙汰あり、陸軍省に於ては副官を宮内省に出頭せしめ御恩召の綑帯を拜受し廣島及び小倉病院に收容せられたる戦傷兵にこれを分ちこの旨九月九日軍司令官に傳達せられた、又皇太后陛下にかせられては上海方面に作戦する我が將兵の勞苦を御心にかげせられ特に全將兵に對し御下賜品を賜つた右御下賜品は十六日軍司令官に到着したので軍司令官は謹んでこれを各部隊長に傳達し部隊長より全編隊なくこれを分ち與へた、將兵一同はこの御仁慈の厚きに感激泣氣益々昂つてゐる

陸海兩相御禮言上

【六三】 杉山陸相は廿二日午後一時廿八分、米内海相は同二時四十二分々々宮中に參内廿一日應召家族御救恤の恩を御恩召を以て皇后陛下より御内帑金及御歌の御下賜を拜したについて御禮言上の記載をなし退出した

戰死將校氏名

【廿二日發表】 ○○方面に於ける各部隊戰死將校の如し

▲和知部隊 大尉 河原 久彦

▲野田部隊 大尉 大橋 毅郎
少尉 北村 忠夫

▲平緩線平地線南方附近に於いて戰死 大尉 西中 新一
大尉 駒居 吉三

▲田上部隊 大尉 川那 銀二

▲藤森部隊 大尉 高橋 英男

▲去る十九日南京空襲に際し句容上空空戰で敵機を追つて行方不明となりし岡島敬大尉は戰死と認定さる

關北會獻金

天津(六三) 天津の邦人乘馬俱樂部關北會は廿二日軍馬慰問のため金一十圓を恤兵金として軍當局に獻金した

負傷した工廠員の獻金

横濱實業軍工廠造兵部砲塲工場勤務の滋賀縣若林竹藏さん(四六)は七月九日自分の職場を整理中事故を起し左足に負傷し遂に八月十三日迄休業治療する事になつたが自己の不注意で此の非常時に勞働報國の實を擧げる事の出来ぬのを遺憾に思ひ治療費のかさむけなしの財布から金百圓を國防費に獻金した

國民支援

英國漸次實情を認識

ロンドン(六三) ヒューゲツセン大使事件が英國政府最初の調子から見て比較的穩かに解決したので從來強硬派の新聞界でも寧ろ案外

の態であるが英國政府としてはこの程の發事件で拔差ならぬ破目に陥るを愚としてクレイギー駐日大使の斡旋に信頼したものといはれる、その眞意はやはりチエンパレン首相以下既に支那に於ける軍事行動終結後の事局收拾に關する建設的考慮を廻らして居り極東の實力者としての日本との協力以外に途無しとの實際の見地に立つてゐる爲と見られる、即ち英國としては在支權益が破壊されつゝある現事態を無論快しとしないが、さりとて一般新聞界の如く純理論乃至感情論一點張りの態度も執らず一日も早く支那に於ける軍事行動終結を齎らし其上で事局收拾に日本と協力せんとする用意ありといはれ此の點は「シナイ」方面有力筋でも一致した意見である、從て今次の解決は從來日英關係悪化に怯えた「シナイ」方面に好影響を與へるものと見られる、尙在支權益に直接關係する「シナイ」方面では日本の軍事當局者が上海其他で外國權益嚴重に細心の注意を拂ひつゝある點を充分認識し大いに多として居りこの點新聞のセンセイショナルな態度とは異つてゐる「シナイ」方面では日本は今支事變で相當外國財界方面の信用を損じたが軍事行動を速かに終結せしめ善後策に眞實な態度を執り英國と協力すれば信用恢復は案外迅速だらうと英人有力側では見てゐる

米國平和團體中立法要望

ワシントン(六三) 日本の南京空襲は米國の平和團體に異常な衝動を與へ全國六平和團體は廿二日共同聲明書を發表し「ソヴェット大體に對し中立法の即時發動を要望した、右聲明書要旨左の通り

南京爆撃が敢行されたにも拘らず大統領が依然日支間に戰争は存在しないと主張し、中立法を發動しなれば大統領は故意に國民の意見と議會の精神を無視するものと言はねばならぬ

三角山占據

黃村(六三) 平地泉西南方五キロの地點五蘇水を確保した千田部隊の主力は廿三日午前七時を期し三角山に向つて勇壯なる攻撃を開始した、敵陣地は名にし負ふ岫々たる陰山山脈を天然の城壁とした要害の地で最新線の我が歩兵部隊は敵からは丸見えの甚だ不利な低地に居りながら砲兵隊の適確な掩護射撃の下に勇敢に進撃し先づ敵の第一陣地を攻略更にもつかせず敵の第二陣地に迫り激戦五時間の後遂に平地泉西南の敵陣地に日軍旗を揚げた、時に午後三時半

平緩線戰況

陣中新聞發行

天津(六三) 第一線に活躍してゐる將兵が一番知りたがるのは内地の様子や外の戰線の状態等である、天津軍司令部では今回支那事變陣中新聞を週一回發行することに決し廿二日附で其第一號約三萬部を發行各戰線や部隊等に發送した、普通新聞紙大頁各戰線毎に全般的戰局を總括的に掲載しこの内外地「ニュース」や學生の慰問文まで収録してある、陣中でこの種の新聞を斯くの如く大任掛けで印刷配布するのは世界でも初めてのことである、この新聞は切り切りは大きいたのだがそれにも増して戦線では非常な好評を博してゐる

九月廿三日

支 北

陣中新聞發行

天津(六三) 第一線に活躍してゐる將兵が一番知りたがるのは内地の様子や外の戰線の状態等である、天津軍司令部では今回支那事變陣中新聞を週一回發行することに決し廿二日

敵陣雨飛の中に進撃した千田部隊主力は廿三日午後十一時廿分平地泉の西北約一キロの線に進出した、暗夜と霖雨の戦場に彼我兩軍の猛烈に打出す銃砲聲は平地泉一帶の盆地に萬雷の如く轟き一方内蒙古軍總司令李守信將軍は商都を撃破して蒙古軍騎兵部隊を率ゐ廿三日月夕刻平地泉北方約一キロの地點に進出し支那軍の退路を遮断するため霖雨と暗夜を利用して某方面に向け進發した

平漢 戰 況

▲保定三キロに迫る 北平【二】 昨夜大册河を強行渡河せる我が前線岡本、安田兩部隊は夜陰に乗じ前進又前進廿三日午前九時保定北方約三キロの地點にまで進出した、敵は保定の南方に向け敗走せる模様である

▲滿城陥落 北平【二】 滿城は廿三日朝の我が猛攻撃により完全に陥落した、斯くて我軍は今朝十時南奇村に進出し滿城は既に我軍の遙か後方に殘され附近に敵影を見ない

▲保定城壁に迫る 徐水【三】 午後一時半保定城一途乗りを目指す我が岡本、安田兩部隊は遂に城壁に迫り北側城門に據つて必死の防戦抵抗を續ける敵と交戦中である、一方南奇村方面より進撃せる石黑部隊は午後一時半保定を眞西に距る八キロの地點より保定城に向ひ進撃中、城内支那軍は極度の混亂状態に陥つた

▲保定軍裝の鼠となる 北平【三】 平漢線を南下せる我が岡本、長谷川、安田の各部隊は廿三日午後五時に至り遂に保定包圍の體形を完成した、即ち○○、○兩部隊は城壁北側地區の郭庄、張莊の

線に、○部隊は遠く東を迂回して右側城壁に迫り南大園に進出し坂西、石黑、森田、渡山各部隊により政行された平漢線の完全遮断と相俟つて我軍の包圍陣は僅に東方地區の濕地帯を刺すのみであるしかして南北兩面よりの我が攻撃は猛烈を極め逃げ遅れた敵兵は必死の防戦に努め我が迫撃砲、機關銃の亂射を浴せ保定城周圍に銃砲聲が々々轟き渡り凄壯の氣満ちてゐる

▲保定に最後の爆撃 天津【三】 昨夕濃霧を衝き○部隊の○砲と密接な協力の下に再度保定を爆撃多大の損害を與へた我が○機は更に今朝○根拠地を出發湖と化せる河北平原を飛翔目的地保定上空に到着正に落城せんとする保定に最後の爆撃を政行した、地上部隊は空軍の協力の下に午前十一時頃正に保定に入城せんとする體勢を示しつつあり、而も敵は五百、一千と集團的に保定西南方に向け續々潰走保定以前の各驛及び道路上は之等敗殘兵で充滿してゐる

▲敗走部隊を爆撃 北平【三】 廿三日午後二時○根拠地を銀雲を連れて出發した我が飛行隊鹽田上田各部隊長の指揮する○○機○○轟は保定南方二キロの院庄、張登の間に敗走中の敵部隊約一千を發見直ちに空爆を政行し更に保定西方約十七キロ方圓噴、望都間の敵敗走部隊約八百に爆撃を行つたが此の爆撃により敗走中の敵は人馬諸共空中に舞上り再び起つ能はざる打撃を受けた

▲司令部隊表 北平【三】 (午前十時五十分發表) 北師保定北方約十八キロ附近に於て敵の抵抗を排除し大册河南岸陣地を突破せる我部隊は廿三日午前九時半頃保定北方一キロの各庄附近に進出敵は南方に向け敗走中なり

北平【三】 (午前十一時五十分發表) 昨

廿二日早朝、滿城東北地區に於いて大册河南岸陣地を突破せる我が部隊は今年前十時頃南奇村東西の線を保定西南方地區に向ひ南下中

北平【三】 (午後七時三十分發表) 本廿三日夕刻の保定戰線狀況左の如し

一 保定北方地區を南下進撃せる我が部隊は南北より保定城を包圍し目下攻撃中なり

一 滿城東北より南下進撃中の我が部隊は保定西南方地區に於て平漢線を完全に遮断せり

津浦 戰 況

▲張儀馬に進出 天津【三】 (廿三日午前十一時軍司令部發表) 子牙河左岸地區を占領せる吳克仁の第七百七、八百旅は我が攻撃により潰亂し西南方に向け退却中なり我が助川、野田部隊は所在に於て抵抗する敵を撃破し今朝張儀馬(大城西南方約八キロ)西端に進出せり

▲空軍掩護 天津【三】 本日早朝○○機を飛出した我が○○機は折柄の朝霧を衝いて大城鎮以西に蟠居する敵大部隊に對し地上部隊の掩護投擲をなし更に滄州縣城を目標に果敢なる爆撃を政行地上部隊は泥沼と闘ひつゝ包圍體形をとりひしひしと肉迫中である、滄州後方は大混亂を呈してゐる

▲東花園爆撃 ○○○○ 中富部隊の○○機○○轟は廿三日正午滄州北方東花園附近の敵陣地に對して猛烈な爆撃を政行地上部隊に協力した、敵は東花園附近に三線に分れた堅固なる陣地に據つて頑強に我に抵抗を續け滄州を護つて居り我が空襲部隊に對して猛烈な對空射撃を爲したが我が爆撃の威力物凄く敵陣地は紛碎

され大損害を蒙つた、我軍も敵の猛射に機體に數十發の敵弾を受けたが○機編隊にて午後一時全部歸還した

▲大城西南方攻撃 天津【三】 (天津軍司令部午後十時四十分發表) 子牙河方面の野田、助川部隊は敵を驅逐しつゝ前進し西劉各庄、劉各庄、權村(何れも大城鎮西南方四里)の線に陣地を占領せる敵に對し午後三時頃より砲撃準備中なり

▲敵線突破 北平【三】 (軍司令部午後八時十分發表) 津浦線方面滄州北方堅固なる陣地に據る敵を本日午後五時以來攻撃中なる我軍は午後六時卅分敵線を突破敵を南方に追撃中なり

陸軍省發表(北支戰況)

【廿三日午前十一時發表】

一 平漢線方面の敵は保定附近の設備陣地に據り頑強なる抵抗を繼續しあり、我が軍は廿一日以來此の敵を力攻中にして廿二日朝大册河の強行渡河を政行して福山(滿城北方四キロ)附近より以東の大册河南岸に進出し敵に強壓を加へつゝあり

二 涞源附近に進出しあり我が部隊は廿一日既にその東方長城線の要點浮圖峪及び白石口を占領せり

三 津浦線方面に於て滄州附近敵陣地の第一線を占領し依然攻撃續行中なり

【廿四日午前十時四十分發表】

一 平漢線方面に於ける我が部隊は九月廿三日正午頃保定周邊一帶の敵陣地を略し城内に蟠居し抵抗中なる敵を掃蕩すと共に敗退する敵を南方に急追中なり

二 津浦線方面に於ても我軍は力攻遂に頑強なる敵の抵抗を排除し滄州北方の敵陣地を突破し南方に向け追撃中なり

▲抗潰戰成功 羅店鎮【三】 羅店鎮南方の小野部隊の正面にある鐵筋コンクリート造り一丁四方の大白雲館に立籠り去る八月九日我軍の羅店鎮入城以來約一ヶ月に亘つて我方の砲臺並びに空軍の爆撃にも怯まず頑強に抵抗してゐた敵の第五十一、第五十五兩師の根拠地は廿三日午後三時半秋李皇靈祭のよき日を期して○○機の爆撃に始まり豫て四千米の坑道を掘りこの日待ちかまへてゐた山内工兵隊の爆撃によつてさしも頑強な敵陣地

上海 戰 況

陸軍部隊漸進

▲奚家宅金家宅奪取戰 上海【三】 ○○部隊總攻撃第三日目の廿三日午前二時

連日の敵戦に柳かも怯まず○○、○兩部隊は奚家宅、金家宅を撃つ線を取らずべく大夜襲を開始した、これに先立ち山内、阪口部隊は折柄の上潮と霖雨のため濁流堤を溢れ稻田浸水浸しとなつた幅舟米の大クリータに全隊一齊に跳び込み暗黒下の決死的架橋に成功した、この挺身的架橋に力づけられた兩○部隊は直ちに壯烈なる突撃體形に移れば敵部隊は迫撃野砲陣地の掩護射撃を頼りに頑強な抵抗を試みたが敵は自軍の猛威に支え切れず午前四時遂に○○、○○方面に潰走し我方は當面の企圖を完成した

▲空軍と呼應 上海【三】 羅店鎮方面の○○部隊は廿三日午前九時暗雲低く垂れ幕める雨空に果敢なる爆撃を試みる陸海兩空軍と呼應して一齊に三度總攻撃を開始した、かくて○○部隊は敵前上陸滯一ヶ月目のこの日敵方面軍司令官陳誠麾下の最精銳軍隊たる第十一師第五十九師と我が精銳○○、○○、○○各隊との歴史的な激戦の機が熟するに至つた

も天地を揺がす大轟音と共に殘敵諸共一瞬にして潰滅に歸し黒煙天に押し爆破作業は完全に奏功した小野部隊は午後四時敵陣潰ゆと見るや機を逸せず壯烈なる突撃に移り小野部隊長自ら一ヶ月に亘る隱忍の陣太刀をひきつけ越智部隊と協力し劉行鎮、劉河鎮を貫く大道を占據日の丸の大旗を同道路上に翻へし戰史上輝かしく歩工合作攻撃の一頁を飾つた

▲石井部隊逆襲軍を撃退 上海(三)

廿二日午後五時より廿三日午前三時にかげ王宅を占據せる石井部隊の一部に千五百餘に上る敵大部隊の五回に亘る逆襲あり、我軍は必死勇を鼓して奮戦力闘の後之れを撃退したがこの日敵は喇叭笛を吹き鳴らして士氣を鼓舞しつゝ我が陣地前三十米前までに肉迫し來り機銃、小銃、手榴弾を浴びて來た、我軍將兵は皇軍の眞面目を遺憾なく發揮し十數倍に餘る敵に多大の損害を與へて撃退した、この戰間に於ては磯村和一、森下保兩少尉、土屋香軍曹、大村正喜伍長は何れも敵弾に仆れ負傷廿餘名を出した、我陣地前面に敵の遺棄した死體は累々と残されてゐる

▲石井部隊更に奮戦 金家灣(三)

石井部隊は廿三日午前十一時半王丸房東部の敵を攻撃午後一時半完全にこれを掃しテエコ機銃卅挺を擄獲前進中であるがこの戰間に於て石井部隊の青木芳太郎立石丈之助、杉山久男の三少尉は壯烈な戦死を遂げ越智通博中尉(愛媛縣出身)土屋良房、榊原豊作兩少尉、曙月末太郎准尉はそれぞれ名譽の重傷を負ふた

▲砲兵陣地攻撃 楊行鎮(三)

我が砲兵部隊は支軍と密接なる聯絡の下に楊行鎮前面の敵砲陣、砲兵陣地等に對し廿三日早朝より終日猛烈なる射撃を加へ一發一發に敵の砲陣を破壊しつゝあり、更に夕刻に至るや敵の最重要地點の探索成り

一齊に砲門を開いて之に砲火の集中を行つてゐる

陸軍省發表(上海戰況)

【廿三日正午發表】 上海方面の戰況は逐次進展しつゝあり、即ち北正面に於ては當面の敵を撃退し廿二日李家宅(羅店鎮東南一軒) 附近より王家宅附近に亘る鉄道クリーク東岸地區に進出し又梅宅附近に於ては頑強なる敵の抵抗を排除し遂に其の一部を占領せり、南正面に於ては戰況大體變化なきも金家灣、孟溝、王丸房、寶宅附近に於ては敵の猛火を膺し敵前三四十米の線に進出し壯烈なる肉彈戰を交へつゝあり

【四日正午發表】

一 北方地區において廿三日鉄道クリークを渡河し當面の敵を撃破し羅店鎮南端より金家宅間並びに王家宅、梅宅間間のクリークの線を占領せり、又南方方面においては金家灣及び高橋を占領せり

二 敵は劉行鎮附近において毒ガス弾を使用せるものゝ如し

浦東敵陣爆破 上海(三) 我が海軍航空隊(機は秋雨降りしきる中に本日午後二時頃より六時半頃まで浦東上空を悠々旋回浦東公墓を中心とする敵軍砲兵陣地並に敵密集部隊を發見しては機撃を敢行した、之に對して敵砲兵も虹口方面に向つて砲撃を加へ來つたので我が江上砲隊は飛行機と呼應して敵軍に砲撃を雨と降らせた

支那軍毒ガス使用

上海(三) 連日に亘る我が猛撃に支へ兼ねた敵は廿二日夜途に國際公約上嚴禁されてゐる毒ガス弾を使用するの舉に出でた、右敵機は性能充分ならざりし

ためと我が將兵の機宜を得たる防毒處置に依りガス被害より完全に免かれるを得たが右真相は次の如くである

廿二日午後九時五十分頃飛行機三臺は〇〇西北の我が田上部隊の上空に現はれパラシュートを用ひた照明弾數個を投下し敵砲兵陣地と信認しつゝあつたが次で午後十時頃より劉家巷、大場鎮方面より我が〇〇部隊に對し約五十發の砲彈を集中した、右五十發の砲彈のうちには炸裂音の緩慢なるもの多數あり、奇異の感を抱かしめたが突如我が前線將兵中に異様な惡臭のため呼吸困難を覺ゆる者あり、配屬のため呼るガス専門將校は直ちに窒息性のホスゲン毒ガスの疑ひありとして全員に防護措置を執るやう命令した、一方手を盡してガスの性能を調べたが右十數個のガス弾は多數の野榴散弾と前後して落下したため毒ガスの特性を發揮するに至らず且つ敵ガスの性能充分ならざるものと推定されるに至つた、ガス襲來の報告を受けた我が〇〇〇〇では直ちに技術官をして専門的な調査をなしつゝあるが性能は未だ判明せざるも毒ガス弾を使用せる事は明白で我が將兵は等しく極度に憤慨してゐる

前線に投降者續出

上海(三) 上海前線〇〇部隊には最近支那軍の投降者續出し毎日各前線部隊より五人八人と送られて既に百五六十名に達してゐるが彼等は日支戰動發するや各方面より強制徴集されて飢と幹部に對する反感から我軍に投降し來つたものである、投降者は人夫、飯袋、雑役に使用され一律に日給三錢程度を支給されてゐるため彼等は日本軍に對し衷心より感謝してゐる

日本兵を倒せば一級昇進

楊行鎮(三) 楊行鎮前面の敵は連日新し手を入れて更に砲火を集中して小賢しくも我れに潰滅し來りつゝあるがその度に我が迅速なる反撃に遭ひ多數の死體を戰場に遺棄して居り既に發見されたものゝみでも百數十に達してゐる、敵捕虜の言に據れば敵は日本兵三名若くは將校一名を狙撃して之れを斃したる者は即時階級一級を上げると云ふ支那式の懸賞規則を作り大いに士氣を鼓舞してゐると云ふ事も判明した

上海情勢

江口方面開業者漸増

上海(三) 事變發生以來上海居留の邦人が極度の危險に曝されこれが爲軍當局及び領事館當局は日本引揚げの居留民及び新たに上海に渡來せんとする邦人の嚴重統制を行ひつゝあつたが皇軍作戰の進展に伴ひ邦人居住の危險も漸次薄らいで來たので業務上、家庭上其他他正當の理由で日本内地と往復し又は避難先より歸還希望者に對しては總領事館にて身分證明書發給の上自由に行復せしめ且つ營業を開始せしむる事となつた、現在上海へ留の邦人は全部の危險を脱したと云へぬが事變當初に比すれば比較的安全となり且軍需品の必要その他から物資の需要を増加したので虹口方面の商店開業者の數も漸次増加しつゝある

上海の物價暴騰

上海(三) 事變勃發以來當地の日用品物價は著しく暴騰を來し就中食料品の如きは供給不足と商人の暴利のため騰貴率最も甚しく工部局の調査に依れば八月十日と事變勃發後の十七日との肉類の小賣値段は牛肉一封に卅六錢から五十錢に又豚肉は四十四錢から七十錢にそれぞれ

南支情勢

南支方面情況

廿三日午後某所着情報による南支方面の情況を綜合するに左の通りである

- 一 廣東、汕頭、厦門各方面は我が空海兩軍の勇猛果敢なる攻撃によつて軍事施設其他の不安に陥つてゐる、一方各軍隊は我が偉大なる武力に恐れ戦いてゐる模様で廿二日我が空軍が一般民衆に撒布した勸告ペラは豫想以上に効果を収めた模様である
- 二 一方周到綿密なる海上航行遮断は徹底的効果を現はして居り各地ともジャンク船の如きは海岸に引揚げてゐる状態である



廣東軍政機關を潰滅

香港(三) 我が海軍航空部隊は廿三日午前一時廿五分より同八時まで前後三回に亘つて廣東爆撃を行つたがこの結果市政府其の他軍事機關、政治機關に大損害を與へた、尙天河、白雲山兩飛行場の格納庫も破壊され最早使用に耐え得る程度にまで爆撃を加へられた模様である

四五割方の暴騰をなし今日に至るもこの値段を持續してゐる

上海で慰靈祭

上海(三) 廿三日は彼岸の中日本ので西本願寺では午後三時より倉永大佐以下陸軍職將士の英靈を弔ふ事變以來最初の慰靈祭が舉行された、陸海軍將士、大使館員、總領事館員以下多數の在留民參列日本佛敎團の讀經裡に燒香、しめやかな中にも盛大に執り行はれた

上海(九三) (第三艦隊報班發表)

一部航空兵力は廿三日二回に亘り廣東を空襲して敵のカーチス・ホーク戦闘機二機を撃墜飛行場、兵舎等の爆撃を執行し機は火薬庫に命中之を大爆発せしめたり我に損害なし

江陰砲臺爆撃

上海(九三) ○○海軍航空隊は本日午後四時頃江陰砲臺に對し空中より砲撃攻撃を開始した

上海(九三) 海軍航空隊の江陰砲臺は田中部隊を先頭に下田部隊に續き井口部隊を勤め折からの密雲と秋雨の悪天候を物ともせず江陰上空に現はれ午後三時半過より約一時間に亘り猛撃を加へた、敵の盲滅法に亂射する防空砲火と闘ひ乍ら爆彈の雨を浴びせ要塞に大打撃を與へると共に警備砲洋艦一隻は我が爆彈四發を浴びて沈沈沈沈に擱坐した、尙悪天候の爲低空爆撃を敢行したが我方の損害は皆無で全機悉く○○基地に無事歸還した

▲報道班公報 上海(九三) (第三艦隊報班) 道班午後七時發表) 海軍航空隊は本日細雨を衝いて長江隨一の險江陰砲臺を執行し下田少佐、田中大尉、井口大尉の率ゐる各部隊は各々大爆撃をもちて午後三時より約一時間に亘り江陰砲臺、兵舎、並に江陰在泊軍艦を爆撃狼狽の極急退出港せんとする警備砲洋艦を爆撃、擱坐せしめると共に他の三艦にも夫々火災を生ぜしめて大損害を與へたり

上海(九三)

本日の江陰砲臺の戦果は要塞、兵營を爆撃して多大の打撃を與へ巡洋艦「平海」はブリツヂ後方に爆撃命中した。支那海軍幹部は多数殉難者を出せるものゝ如く又舊艦「海海」は火災を起してゐること確實となつた

▲井口大尉談 ○○(九三) 本日我が海軍航空隊の江陰砲臺砲撃の戦果は長井口兼夫大尉は○○基地歸還後本日の戦況につき左の如く語つた

昨日南京空襲の歸途江陰砲臺附近に敵の軍艦四隻が碇泊してゐるのを認めたので本日これに空襲を加へた、先發隊の砲臺爆撃に驚いたのか警備砲洋艦一隻が錨を巻いて南京方面に向け逃走しつゝあるのを發見直ちに之れを追跡爆撃を加へたところ二發は上甲板に二發は艦橋の後方に命中した、爆撃を受けるや敵艦は黒煙を吐き乍ら自力を以て江岸にのし上げ擱坐した、それに又一弾を投じた、更にもう一隻の敵艦は黒煙を上げつゝジグザグに航行しつゝ南京方面に遁走した

南昌飛行場爆撃

上海(九三) (第三艦隊報班) 廿三日夕刻海軍航空隊は江西省の南昌を空襲し飛行場及びその修理工場等諸施設を爆撃工場三棟を全滅せしめ多大の損害を與へたり、我に損害なし

▲旅順要港部發表 ○○(九三) 十九日以來龍海機操隊の空襲を敢行しつゝありし我が○○艦隊航空隊は廿三日更に○○機を以て兗州を爆撃軍事輸送關係施設及び堅固な防禦陣地を有する兵舎等を跡方なきまでに破壊せりこの間敵は濃々たる煙幕の張張と砲火を以て猛烈に反撃せるもわが方に損害なし

連興港軍用列車爆撃

旅順(九三) 第一○○艦隊所屬○○は廿三日午後連興港外において孫家山附近より西方に移動せんとする敵の軍用列車に猛烈な砲火を浴せその全部を撃破した、敵はその際海等の南方陣地に及ぶ露遊山

徐州再爆撃

▲旅順要港部發表 ○○(九三) 十九日以來龍海機操隊の空襲を敢行しつゝありし我が○○艦隊航空隊は廿三日更に○○機を以て兗州を爆撃軍事輸送關係施設及び堅固な防禦陣地を有する兵舎等を跡方なきまでに破壊せりこの間敵は濃々たる煙幕の張張と砲火を以て猛烈に反撃せるもわが方に損害なし

連興港軍用列車爆撃

旅順(九三) 第一○○艦隊所屬○○は廿三日午後連興港外において孫家山附近より西方に移動せんとする敵の軍用列車に猛烈な砲火を浴せその全部を撃破した、敵はその際海等の南方陣地に及ぶ露遊山

西方陣地より砲機銃を以て猛撃したが我方はこれを反撃沈黙せしめた、われに損害なし

各地爆撃海軍省公報

【海軍省副官談廿四日午前十一時卅分發表】 一 昨廿三日我○○艦隊所屬飛行機數十機は夜暗を利用し午前三時より同六時に亘り廣東を空襲し白雲飛行場、天河飛行場、軍司令部及軍官學校を爆撃し之に多大の損害を與へたり、之に引續き午前八時頃我○○海軍航空隊は更に其の數十機を以て大舉同地を空襲し茶頭火藥廠及増歩火藥廠を爆撃し兩廠共に數十發の命中彈により連環數度の火爆を起し構内營造物は殆ど其の原形を止めざる迄粉砕せられ潰滅に歸したり

南京空襲と各國動向

▲米對日申入れの真意 ワシントン(九三) 米國政府が日本の南京爆撃通告に對し日本政府へ強硬な申入れをなした真意に關し消息通間に種々の解釋が行はれてゐる、一部では單に米國の申入れは日本が爆撃の目標を嚴格に軍事施設に限定し、苟も米國民に損害を與へ若しくは日米關係を阻害する如き行動を行はぬやう希望したものだとしてゐるが左の如き解釋も行はれてゐる

南京空襲と各國動向

▲米對日申入れの真意 ワシントン(九三) 米國政府が日本の南京爆撃通告に對し日本政府へ強硬な申入れをなした真意に關し消息通間に種々の解釋が行はれてゐる、一部では單に米國の申入れは日本が爆撃の目標を嚴格に軍事施設に限定し、苟も米國民に損害を與へ若しくは日米關係を阻害する如き行動を行はぬやう希望したものだとしてゐるが左の如き解釋も行はれてゐる

南京空襲と各國動向

▲米對日申入れの真意 ワシントン(九三) 米國政府が日本の南京爆撃通告に對し日本政府へ強硬な申入れをなした真意に關し消息通間に種々の解釋が行はれてゐる、一部では單に米國の申入れは日本が爆撃の目標を嚴格に軍事施設に限定し、苟も米國民に損害を與へ若しくは日米關係を阻害する如き行動を行はぬやう希望したものだとしてゐるが左の如き解釋も行はれてゐる

南京空襲と各國動向

▲米對日申入れの真意 ワシントン(九三) 米國政府が日本の南京爆撃通告に對し日本政府へ強硬な申入れをなした真意に關し消息通間に種々の解釋が行はれてゐる、一部では單に米國の申入れは日本が爆撃の目標を嚴格に軍事施設に限定し、苟も米國民に損害を與へ若しくは日米關係を阻害する如き行動を行はぬやう希望したものだとしてゐるが左の如き解釋も行はれてゐる

南京空襲と各國動向

▲米對日申入れの真意 ワシントン(九三) 米國政府が日本の南京爆撃通告に對し日本政府へ強硬な申入れをなした真意に關し消息通間に種々の解釋が行はれてゐる、一部では單に米國の申入れは日本が爆撃の目標を嚴格に軍事施設に限定し、苟も米國民に損害を與へ若しくは日米關係を阻害する如き行動を行はぬやう希望したものだとしてゐるが左の如き解釋も行はれてゐる

南京空襲と各國動向

▲米對日申入れの真意 ワシントン(九三) 米國政府が日本の南京爆撃通告に對し日本政府へ強硬な申入れをなした真意に關し消息通間に種々の解釋が行はれてゐる、一部では單に米國の申入れは日本が爆撃の目標を嚴格に軍事施設に限定し、苟も米國民に損害を與へ若しくは日米關係を阻害する如き行動を行はぬやう希望したものだとしてゐるが左の如き解釋も行はれてゐる

破炎せしめ全機無事歸還せり

南京空襲による外人損害皆無

上海(九三) 我が機隊の空襲の後死のどんまりの一夜を明かした南京は今朝來秋雨がシトシと降り濛濛で視界は極めて狭いが市民は戦々兢兢と空のみを仰いでゐる昨日の爆撃による死傷者は片つばしから運び出されたためその正確な数は判明しない、中央黨部の如きも五つの爆撃が命中し建物はいくつか破壊されたが外人財産の被害は英國系の國際輸出會社の船が沈没した位のものである、尙アジア石油支配人マンロー・フォア氏は本日支那新聞記者團との會見に於て同社の南京事務所はあくまで従前通り繼續存置する方針だと語つた

南京空襲と各國動向

▲米對日申入れの真意 ワシントン(九三) 米國政府が日本の南京爆撃通告に對し日本政府へ強硬な申入れをなした真意に關し消息通間に種々の解釋が行はれてゐる、一部では單に米國の申入れは日本が爆撃の目標を嚴格に軍事施設に限定し、苟も米國民に損害を與へ若しくは日米關係を阻害する如き行動を行はぬやう希望したものだとしてゐるが左の如き解釋も行はれてゐる

南京空襲と各國動向

▲米對日申入れの真意 ワシントン(九三) 米國政府が日本の南京爆撃通告に對し日本政府へ強硬な申入れをなした真意に關し消息通間に種々の解釋が行はれてゐる、一部では單に米國の申入れは日本が爆撃の目標を嚴格に軍事施設に限定し、苟も米國民に損害を與へ若しくは日米關係を阻害する如き行動を行はぬやう希望したものだとしてゐるが左の如き解釋も行はれてゐる

南京空襲と各國動向

▲米對日申入れの真意 ワシントン(九三) 米國政府が日本の南京爆撃通告に對し日本政府へ強硬な申入れをなした真意に關し消息通間に種々の解釋が行はれてゐる、一部では單に米國の申入れは日本が爆撃の目標を嚴格に軍事施設に限定し、苟も米國民に損害を與へ若しくは日米關係を阻害する如き行動を行はぬやう希望したものだとしてゐるが左の如き解釋も行はれてゐる

南京空襲と各國動向

▲米對日申入れの真意 ワシントン(九三) 米國政府が日本の南京爆撃通告に對し日本政府へ強硬な申入れをなした真意に關し消息通間に種々の解釋が行はれてゐる、一部では單に米國の申入れは日本が爆撃の目標を嚴格に軍事施設に限定し、苟も米國民に損害を與へ若しくは日米關係を阻害する如き行動を行はぬやう希望したものだとしてゐるが左の如き解釋も行はれてゐる

南京空襲と各國動向

▲米對日申入れの真意 ワシントン(九三) 米國政府が日本の南京爆撃通告に對し日本政府へ強硬な申入れをなした真意に關し消息通間に種々の解釋が行はれてゐる、一部では單に米國の申入れは日本が爆撃の目標を嚴格に軍事施設に限定し、苟も米國民に損害を與へ若しくは日米關係を阻害する如き行動を行はぬやう希望したものだとしてゐるが左の如き解釋も行はれてゐる

南京空襲と各國動向

▲米對日申入れの真意 ワシントン(九三) 米國政府が日本の南京爆撃通告に對し日本政府へ強硬な申入れをなした真意に關し消息通間に種々の解釋が行はれてゐる、一部では單に米國の申入れは日本が爆撃の目標を嚴格に軍事施設に限定し、苟も米國民に損害を與へ若しくは日米關係を阻害する如き行動を行はぬやう希望したものだとしてゐるが左の如き解釋も行はれてゐる

の海外派遣使節が近く日本を出發せんとするに際し米國政府が日本へ強硬な申入れをなしたことは極めて注目すべきである

▲米對日申入れはゼスチュア

ワシントン(九三) ハル國務長官は廿二日日本の南京爆撃に對し第二次異議の申入れを行つたが右は政府がジョンソン駐支大使に對し避難命令を發したことを新聞が攻撃し國內の輿論を刺激した爲を緩和せんとする一種の對内的ゼスチュアで從來の中立的態度を放棄して日本に對し干渉がましい態度に出やうとしてゐるのではないと信ぜられる、各新聞はハル長官の申入れに對する日本の回答を注意してゐるが政府は従つて單に日本から申入れを受領した旨の儀禮的回答を期待してゐるに過ぎないと解される、一方上海方面からの報道によれば支那國民は今大變に對する米國の態度に憤慨支那に反米熱が昂まつてゐると言はれ米國民の注意を惹いてゐるが目下の處米國政府が從來の極東政策を變更する様子は觀望されな

蔣共產黨宣言に答ふ

上海(九三) 蔣介石は廿三日日附を以て既報中國共產黨の宣言に答へて重要聲明を發表した、要旨次の通り

中國共產黨の今回發表せる宣言は民族意識が一切に超越せることを例證するものである、該宣言中に掲げた合同政策と赤化運動の拋棄、ソヴェト區域と紅軍の取消の如きは何れも國方集中による救亡禦侮の必須條件にして且つ本黨三民主義會議の宣言及び決議案と完全に一致するものである、更に共產黨は三民主義實現の爲め奮闘すべきことを聲明せるは今日の中國にとつて唯一の實力の方向あることを表

府政民

府政民

府政民

府政民

府政民

府政民

府政民

府政民

府政民

府政民

明するに足る、余思へらく吾人が革命の爲に争ふ所のものは個人の意志權にありずして三民主義の實行にあり此の危急存亡の時に當り過去に於ける一切の行がかりに拘泥することなく全國民をして余然新出發點に立つて國家の生命と存續の爲め一致團結奮闘せしめるのみ、而して中國々民は唯三民主義を信奉することによつて國を救ひ得べく政府は過去の如何を問はず國內に於ける如何なる派閥に對しても唯誠意を以て國民革命抗敵救國の旗幟の下に共同奮闘せんことを願ふ者に對しては誠意を以て之を容納し本黨の指導下に一致團結努力せしめるであらう、今中國共產黨が既往の政見を捨て、國家の獨立と民族の重要性を確認したる以上その宣言内に列舉せる諸點を忠實に實踐し禦侮救亡のスローガンの下に全國同胞と一致奮闘して國民革命の使命を完成せんことを冀ふ。

共産軍参加を支那紙報す

上海【九三】 中國共産黨の宣言に答へた蔣介石の聲明は共産黨と國民黨の完全な合作を公然と表明したものである、他方八月廿二日附の朱德、彭德懷の通告は第八路軍改編の際中央側より武器彈藥の補給を受けた共産軍が愈々北部陝西の根據地より綏遠山西の戦線に向つて出動を開始せんとするに當つて發せられたものであるが各支那新聞は兩三日來俄然平綏沿線で共産軍が得意の遊撃作戦行動を展開したことを廣々報ず、特に北部山西の戦闘には一部共産軍が既に参加してゐると報じてゐる。

違法發券三千萬元

上海【九三】 軍費の膨脹による財政窮迫から國府の紙幣發行は漸く亂脈を呈するに至り最近遂かに民間銀行の既發行の舊紙幣が多數市中に現はれ始め不安を愈々増大せしめてゐる、右は幣制改革以來政府銀行に回收されてきたものを窮餘の策として再發行したものでこの額だけ所定の發行準備に對して二重發行となつてゐる譯である、このため外國銀行では漸次民間紙幣を敬遠する方法として右の中には預金の預入にも之を忌む向もあるから今次第で交換の決済には一切民間銀行紙幣を認めないことを申合せ最近まで同様に取扱つてゐた政府銀行紙幣と截然取扱方を區別してゐる、今後此種紙幣の通行が更に旺盛となれば發行銀行を異にする事によつて紙幣の市場價值に相違を生ずるに至るは明らかで幣制の紊亂は到底免れぬと觀られてゐる、尙ほ民間銀行紙幣は減少傾向を示してゐたのであるが支那金融界の權威エドワード・カーン氏の調査によれば最近の流通額は先月末に比し逆に三千萬元の増加を示し總額一億元と推定されて居る、此の増加分だけが違法發行となつてゐるわけである。

借款償還に喘ぐ

上海【九三】 財政窮迫の折柄國民政府の外債償還に就ては深甚なる注目を拂はれ殊に我が國に對する債務履行に就ては頗る問題視されてゐたところ一九一三年善後借款の九月分償還額及び利子合計十二萬六千磅の支拂に當り國民政府は英佛兩國の支拂を行つたが我國の受取分三萬一千磅に對しては交戦國の故をもつて支拂を拒否せんとし國民政府内部の方針も殆んど不履行に決定してゐた、然し我國受取分の償還金は右公債を所有する外國人にも償還さるべき性質のものであつて若し國民政府が我國への支拂を履行せざる場合に支那公債全般に頗る悪影響を及ぼすのみならず國民政府の對外信用を失墜する虞れもあるので鐵道部長張公權等は之れに反對し香港上海銀行等の斡旋もあつて遂かに方針を變更この程支拂を完了した、今年中の残額は尙卅八萬磅(約六百五十萬元)あり戦費膨脹により財政破綻の豫想されてゐる折柄國民政府今後の外債處理方針は極めて注目されてゐる。

官吏俸給半減

上海【九三】 戦局の擴大と帝國海軍の航行遮断によつて都市重要産業の運籌を停止せしめられ主要稅收の大半を失つて財政基礎の脆弱性を遺憾なく曝露政府は尙大戦時財政を維持すべく救國公債の強制募集や華僑團體の寄附勸誘に全力を盡す一方所要經費の節約に躍起となつてゐる、然し國民政府財政の窮乏は最早蔽ひ難く即ち廿三日南京より齎らされた確實な消息に據れば各政府機關及び黨部職員に對する俸給の如き全國を通じて一律に平時の半額に減額し更に軍隊に對する給與は上將八十元、中將六十元、少將四十元、上校卅元、中少校以下少尉に至るまで平均廿元と切り詰めてゐる、兵卒に對しては上海事變以來月額七元乃至十二元の給料までも全部支拂を停止し軍に所屬部隊より食糧を給するのみだが政府は長期作戦でより以上財政の窮乏を來せば官吏、黨部員及び上級軍人に對する給與を更に減額する筈であると謂ふ。

彈藥補給に苦しむ

天津【九三】 財政破綻に類し戦費調達に苦慮しつゝある南京政府は救國公債の賣行不良に悩まされ強制募集に努めてゐるが窮餘の一策として今九月より政府官吏の月俸を三ヶ月分割拂ひとし月俸の三分の一を支給額を救國公債買上金に充當するに決定した、これがため下層官吏級の政府に對する非難の聲も々々たるものがある。

宋哲元極禁說傳はる

天津【九三】 北支戰線指揮の總帥宋哲元の所在に就ては種々取沙汰されてゐたが蔣介石から戦況報告の爲め南京に招致されたまゝ敗戦の責を負ひ監禁されたとの報道頻りに行はれ第九軍内部は最近動搖の色顯著である、即ち南京政府御用機關と中央通信は廿二日の通信に於て「宋哲元は招電により南京に來てゐる」と報じてゐるが確實するに宋哲元は蔣介石の詰責面罵に對して「廿九軍は最善を盡したのだが日本軍の毒瓦斯の爲め慘敗した」などと事實無根の辭解を爲し卑怯にも皇軍を認ぶる態度に出たが蔣介石は宋哲元の子供關心的な甘言に乘らず有無を言はずに懲罰してしまつたと言はれる。

廣西に七路軍新設

香港【九三】 第五路軍參謀長李品仙は最近第七路軍總指揮に任命された、之で廣西省内には第五、第七の兩路軍が設置されたわけである、なほ廣西省内には最近編成された三箇師があり現在九江附近に出動してゐる廣西軍も南方の形勢次第では廣西に引返す機微であるが李品仙は日本軍の來襲を懼れ目下桂林にあつてその對策に腐心してゐると言はれる。

戰死將校氏名

【廿三日發表】 北支永定河渡河大激戦に於ける戰死將校左の如し
▲坂西部隊
大尉 尾野 義郎
中尉 赤松市五郎
同 成島 榮一
少尉 齋藤 貞一
同 水 沼 啓

赤柴部隊

【廿三日發表】 〇〇方面に於ける戰死將校左の如し
少尉 長野 清雄

て激怒し從來仲の悪かつた兩者間に一層確執を深めてゐると
韓復榘絶體となる
天津【九三】 膠濟線の濰縣から膠東一帯に亘り麾下六萬の軍隊を集結し大局的狀勢の推移を監視してゐる山東省主席韓復榘の態度は最も注目されるに至つたが津浦線北段に於ける皇軍は破竹の勢を以て山東省境より六十哩の地點に達し同方面に於ける中央軍は愈々近く濰縣の外なき狀勢となり而も我が第〇艦隊の空軍は濟寧、兗州の省内中央地區の軍事施設の爆撃を敢行するに至り大勢今や逡巡を許さぬ狀勢となつたので洞ヶ時をきめ進んだ彼も愈々絶體絶命の境地に迫り込まれるにいたつた
▲赤柴部隊
少尉 長野 清雄

▲長野(義)部隊 少佐 上野要二郎
 【廿三日發表】 廿二日〇〇爆撃の際戦死
 將校左の如し

大尉 吉澤 政明

國民支援

陣中の獻金續出

上海(三) 上海に上陸してより身は戰
 陣に包まれながら零細な小遣錢を醸出す
 る陣中獻金が醸出して皇軍の幹部を感激
 せしめてゐる。九月十七日河合部隊の須
 田班長以下班員全部はポケットマネーを
 醸出して合計廿三圓を軍費としてお使
 ひ下さいと河合部隊長を通じて軍首腦部
 へ獻金し來たりまた服部部隊の大西、田
 中、畑田、伊藤の諸兵は計廿六圓を又
 獻金した、更に坪藤幸一上等兵は廿二日
 金二圓を軍に醸出した、各部隊長に於て
 は刻苦奮戦に従事する將兵は與へられた
 る給料を以て少しでも煙草、菓子等の慰
 安にするやうにと獻金の如き聲ろ押しと
 める方針を取つてゐるのであるが之を推
 し切つて是非にと云ふ將兵の皇軍を思ふ
 熱意に獻金額は少ないながらも痛く感激し
 てゐる。

東華紡織同業會

上海(三) 在華日本紡織同業會事務理
 事船津辰一郎氏は廿三日午後原田陸軍武
 官を訪問紡織同業會を代表して上海方面
 の傷病將士慰問の爲慰問品代金として金
 一萬圓を贈呈した

英國退役中佐の獻金

秋季皇親祭の廿三日午後陸軍省恤兵部に
 英國人夫妻が訪れて小さい紙片に書いた
 手紙に添へて英國銀行の小切手で卅磅、
 (邦貨換算五百十圓)を皇軍恤兵金として
 獻金した。この英國人夫妻は過般來朝し
 て丸の内ホテルに滞在してゐる蘇格蘭の

退役陸軍中佐 C. H. グレブス夫妻で
 非常な親日家であり今次事變に於ける皇
 軍の聖戦に暖い援助を贈り近く歸國する
 に當つて「僅かばかりであるが皇軍のよ
 り以上の成功を祈つて」と獻金して行つ
 たので同夫妻は去月廿日にも獻金をし
 て居り陸軍省では單なる異邦人の暖い理
 解に感激してゐる

海外動向

極東會議招衆說

ジュネーヴ(三) 英國政
 府は日支紛争處理の爲九ヶ
 國條約の發効を考慮してゐ
 ると傳へられるが A. P. 通
 信社の報道によれば英佛兩
 國政府は英、米、佛、獨、伊、ソヴェト
 オランダ、濠洲、ニュージラランド等の
 共同主催の下に極東會議開催を企圖し目
 下米國側の意向を打診してゐると言はれ
 る。然し米國は未だ之に對し意見を表明
 して居らず右は全く計畫の範圍を出ない
 と言はれる

ロンドン 共產黨員の示威

ロンドン(三) 廿三日夜半約二百名の
 英國共產黨員がグロヴナー・スクエアの
 帝國大使官邸前に押しかけ南京爆撃反
 對、對支同情の示威を行つたが警官隊が
 嚴重警戒に當つた爲め大事に至らず解散
 した

極東會議に米賛成意向

ワシントン(三) ジュネーヴ來電によ
 りは英佛兩國は日支問題處理の爲極東國
 係會議の開催を企圖米國の意向を打診
 してゐると傳へられるが右は未だ單なる
 希望に過ぎないので米國政府當局は態度
 の表明を避けてゐる。然し米國官邊では
 平和的手段による限り極東の危機を解決
 せんとする企圖には協力する意向に傾い
 てゐる様子である、只問題は右會議にソ

九月廿四日

北支 平綏戰況

平地泉占領
 平地泉東方(二) 平地泉
 北方約二キロの三角山を占
 據した千田部隊は廿四日午
 前四時折柄の豪雨を肩して今日こそ平地
 泉を落さんと前進を開始夜明けと共に精
 悍な蒙古騎兵とも連絡をとりつゝ猛撃を
 加へ七時五十分には我が〇〇機が敵陣
 地を爆撃空陸呼應して敵を壓迫し全線に
 互り激戦中である。平地泉にある敵は約
 三千であるが退却するにも後方鐵道線路
 は我方のため徹底的に破壊されてゐるた
 め進退兩難に陥つてゐる。平地泉の市街
 は徐つて雨を通して間近に見え陥落は日
 臆に迫つた

ヴエトを参加せしむるや否やで消息通方
 面ではソヴエトは極東に重大利害關係を
 有してゐるが日ソ兩國の關係に鑑みソ
 ヴエトを會議に参加せしむることは日本を
 刺戟するに過ぎず會議の成功は到底望東
 ないから將來會議開催が具體化した場合
 此點が難關となるだらうと觀測してゐる

平地泉(二) 陰山山脈の險を越えて南
 下せる我軍の平地泉略に協力した内蒙
 古軍の一部は廿四日平地泉西北方に潰走
 する綏遠軍を急追し陶林に向つて進撃中
 である、一方同軍別部隊は商部より西方
 に直線距離を取り陶林に向け前進中

平地泉(二) 平地泉東門に進撃した一
 ノ宮部隊は平地泉停車場に於て綏遠軍五
 百名を捕虜とし直ちに武装解除した

平漢戰況

平地泉(二) 我が陸軍の空襲部隊〇機
 は廿四日午前八時十分より平地泉の要衝
 及び四方の鐵路を爆撃し敵列車の退路を
 遮斷一方村澤部隊は停車場の敵裝甲列車
 客貨車十數輛を鹵獲した、斯くて綏遠軍
 が不逞の要害と恃む平地泉の堅陣も我軍
 の攻撃開始後僅か六時間にして陥落した

平地泉(二) 平地泉攻略の先陣を承つ
 て奮戦綏遠軍の不落と恃む敵陣の本據を
 潰滅武動を樹てた岩根部隊は廿四日午前
 二時廿分行動を起し敵の本據陣地の直前
 に達したが敵は深さ五米、幅六米の外壕
 を前に抵抗せる爲決死隊を組織歩兵自ら
 勇敢なる犠牲作業を敢行し、數個の突撃
 路を開いて敵陣に突入り手榴彈、銃劍を
 以て猛烈果敢なる肉彈戰を演じ敵陣地の
 突角たるベトン製掩蔽壕に突入り砲陣二
 ケ所、迫撃砲陣地十二ヶ處を破壊、敵二
 千を潰滅せしめ多數の鹵獲品を得て午前
 六時遂に敵の本據を撃滅雲崩れ打つて平
 地泉城内に進入殘敵を掃蕩した、一方廿
 三日夜來平地泉、八蘇木間鐵道破壊の使
 命を帯びて平地泉西南方白西澤より敵地
 に潛入した大關部隊は廿三日午後十時平
 地泉より三キロの目的地點に達し完全に
 鐵道を爆破して敵の退路を絶ち引續き平

平地泉(二) 平地泉城内に在つた綏遠
 軍の敗殘兵は我軍の爲め完全に掃蕩され

平地泉(二) 平地泉東方北方より進撃し
 た坂倉部隊は廿四日午前九時廿分内蒙古
 軍とともに北門より堂々平地泉に入城し
 目下城内の敗殘兵を掃蕩中である

平地泉(二) 我が千田部隊は廿四日午
 前九時五分平地泉を完全に占領し南門よ
 り堂々入城した

平地泉(二) 平地泉城内に在つた綏遠
 軍の敗殘兵は我軍の爲め完全に掃蕩され

平地泉(二) 平地泉城内に在つた綏遠
 軍の敗殘兵は我軍の爲め完全に掃蕩され

平地泉(二) 平地泉城内に在つた綏遠
 軍の敗殘兵は我軍の爲め完全に掃蕩され

▲我軍保定を包圍 北平(二) 昨廿三
 日夕刻以來岡本、長谷川、坂西、石黒の
 各部隊を以て保定城外一帯を包圍の儘夜
 を徹した我が精銳は今廿四日明けと共に
 岡本、長谷川兩部隊は東及び北を、石
 黒、坂西部隊は以て西部の領有に歸
 き城外一帯は全く我が各部隊の領有に歸
 した、目下城内に立籠る敵は我が迅雷的
 な包圍に逃避れた第五十三軍團殘敵の約
 一ヶ師と推定され我が完全な包圍陣を知
 つて最後の壯を極めたものゝ如く昨夜來
 より今曉にかけて抵抗は頗る猛烈を極め
 高さ十五米の城壁に據つて迫撃砲、機關
 銃、小銃の亂射を浴せた、我が包圍軍も
 未明より一齊に砲門を開き廿四日午前八
 時頃には我が砲聲により再び城内に大火
 災起り保定城は黒煙漲々と包まれ砲聲、
 機關銃、小銃の音言語に絶せる凄愴な攻
 城戰を展開しつゝある

▲支那軍南門より退却 天津(二) 東、西、北の三方面よりする猛烈なるわ
 が軍の追撃に保定城内の敵は昨夕必死奮
 闘を打つて退却し中央軍警隊は必死と
 なつてこれが阻止に當り隨所同志討を

漢出してゐるが大勢は如何ともならず血路を通斷された今は唯一の逃路たる南門から徒歩或はトラックを奪ひ合ひ算を亂して南へ南へと敗走し保定より白城及び張店に連する道路はこれら敗残兵によつて埋められてゐる

▲先頭部隊城壁占領 北平【九二二】 廿四日午前九時四十五分南本部隊の先頭部隊は我が砲撃數百發を浴びて崩れ落ちた保定城北突角に向つて敵追撃砲、機關銃猛射の真唯中を穿透し幅二十米の城壁下水壕を渡り高さ十五米の城壁にかがり上り城壁上の敵機關銃の猛火の中に敢然日章旗を打立て、城内城壁上の敵と激戦中

▲城壁より殘敵猛射 北平【九二三】 午前九時四十五分城壁突角上に攀ち登りわが方は日章旗を城壁上に打ち立てると共に東西兩城壁より射ちかける敵を殲滅すべく直ちに崩れ落ちた個所より機關銃を擔いで攀ち登り幅五米の城壁上に掲えつけろるや否や兩側の敵に猛烈な火蓋を切り銃身も焼けよとばかり亂射に亂射をつづけてゐる

▲各部隊城内突入 北平【九二四】 我が決死隊の保定城西北兩門突入に次ぎ午前十時卅分兩崗本、長谷川、神田各部隊の城内突撃開始され北西兩側より東南にかけて敗殘兵の一齊殲滅に移つた、此の勢ひに及ぶも敵は戦意を喪ひ固く閉した南門を破つて南大、東馬池、金家庄方面に雲霧をつつて逃走を開始したが保定城を距てる南方一里には昨夜來要地を占領せる我が遠山、石黒、森田、坂西の各部隊あり、此の方面に於て殆んど殲滅せらるゝものと見られる

▲保定城占領 天津【九二四】 午前十時保定城内に進入せる我部隊は鏡意城内の殘敵掃蕩に當り午後一時卅分完全に保定城を占領した

▲主力部隊入城 天津【九二四】 廿四日未明保定縣城を西方から包圍壯烈なる攻略戰を展開する事數時間城内の敵を殲らす掃蕩更に南方地區の敗兵を殲滅して徹底的の勝利に凱歌を揚げた我が部隊主力は燦たる秋の陽を浴びて午後二時廿分城頭高く翻る日章旗の下に先頭部隊に迎へられ歩武堂々歴史的入城をなした

▲敗殘兵追撃 天津【九二二】 保定縣城を須臾にして陥れた勇猛無比のわが軍はさうに息をもつかせず保定城南方に猛進正午頃の敗走部隊を包圍して殲滅的打撃を與へ我が敗走の極に達し蜘蛛の子を散らすが如く算を亂して西南方に敗走した

▲保定占領公報 北平【九二四】 (軍司令部 廿四日午前十一時卅分發表) 午前九時四十五分保定城北方より攻撃中の我が部隊は砲兵協力の下に敵の猛火を瀆り保定城壁の一角に突入り日章旗を揚げたり

北平【九二三】 (軍司令部午後零時卅五分發表) 保定城壁の一角を占領せる我部隊は頑強な敵の抵抗を排除し午前十時過保定城の北門及び西門を確實に占領せり

北平【九二四】 (軍司令部午後二時發表) 一 西北兩門を占領せる我が部隊は午前十時半頃城内に進入殘敵を掃蕩中なり

一 保定城を固守せる敵は殆ど戦意を喪ひ南門外に向ひ敗走中なり

て我が有に歸する事を得たり

天津【九二四】 (天津軍司令部午後八時十分發表)

一 平漢線方面我軍主力は午後二時卅分保定縣城外に退却せる敵を通過する

二 保定縣城外に退却せる敵を通過する爲め我軍は宋莊(保定南方六キロ)北溝頭、富昌(保定西南方六キロ)の線に展開し激戦中なり

三 其の他の部隊は依然追撃中にして正午頃保定東西の線を南方若くは西南方に前進中なり

▲糧餉軍費ゆ 北平【九二四】 保定城壁を取り巻く運河は河中四十米から五十米水深一米卅に及ぶので城壁西南角は斷崖をなし實に要害堅固を極め城内にあつて抵抗を試みた約三千の敵は北支戰線における最優秀部隊と稱される第五十二軍第二師鄭洞國の部隊で保定來城直前蒋介石より保定を死守すべしと致命を受けた部隊である、なほ戦前における同軍は總兵力一萬二千、小銃八千と追撃砲並に機關銃八百を有してゐたといはれる

▲敵の戦死傷者一萬以上 天津【九二四】 今次の保定大會戰に於て我が敵に與へた損害は詳細尚不明なるも敵の死傷者一萬を下らざるものゝ如く我軍の損害輕微である

▲戦略を誤まつた敵軍 天津【九二四】 房山、固安、永清の二線に破れて以來わが怒濤の如き急進に追ひまぐられた敵軍は敗走を重ねること十二日間今またその根拠と目し保定をも眺ぐも放棄し一路正定を自さして潰走し去つた、敵軍今大の保定會戰に於ける餘りにも脆い、大敗の原因は既に早く永定河の戰闘に胚胎してゐたといはれる、即ち保定は東に西院の大湖を控へ西に山西省を縱する太行山脈の峻嶲あり前面は滹河、清河等西院に注

ぐ河川を横たへて河北平野中における最も要害の地であるから當然この二線に據つて必死の大會戰を挑んで来るものと考へられてゐたが保定、拒馬、琉璃河等の各河川における無益な抵抗によつて多大の兵力を損じた涿州平野においても袋の鼠となつて殲滅的打撃を蒙り天與の好防禦陣と頼む保定城を僅か一日の攻撃で抛棄するのやむなきに至つた、保定は人口八萬餘河北省の重要都市であるばかりでなく保定軍官學校の所在地であり保定落城は單に軍事上だけに止まらず精神的にも支那側に大打撃を蒙らしめたものと観られる

▲寺内司令官より祝詞 天津【九二四】 (天津軍午後三時十分發表) 寺内軍司令官より第一線兵團長にせし祝詞左の如し

各兵團長の勇戦奮闘により敵の北支に於ける重要根據地保定附近を占領し且つ敵軍に多大の損害を與へ皇軍の武威を宣揚し得たる段誠に慶祝に堪へず

▲北平居留民祝賀會 北平【九二四】 待望の保定陷落の第一報が北平市内に傳へられた瞬間スル／＼と上つたアドバレンは「一日軍占領保定」と大書してある、全居留民は忽ち嵐の如き感激と歡呼の渦を巻き起し東門三條胡同の民會公會堂へは哄と斗りに響扉を打つて押しかけ萬歳々々の聲と共に雲は夢中になつて落ちた萎ちた喜びの言葉を交はした、全市邦人住宅には軒並に用意の赤い提灯を掲げ東單牌樓附近には祝旗大アーチがまたたく間に立てられ全北平市内は祝勝の渦に包まれてゐる、なほ全居留民は午後二時より花自動車先頭に爆竹の音も勇ましく旅行行列の大打進が市内を練り歩き午後五時よりは公堂において祝宴を開き更に夜は提灯行列を行つた

▲涿州占領公報 天津【九二五】 (天津軍司令部廿四日午後十時五十分發表) 我が長野野部隊は本日午後六時廿分涿州線上の要地涿州を占領せり

▲潰走兵を擧撃 天津【九二四】 我が〇〇機は廿四日午後又も涿州上空に飛び友軍地上部隊の涿州縣城内溝に掩護を行ひつゝ裏手に廻り涿州縣城南門より道路上を南に向つて蜘蛛の子を散らすが如く潰亂する敵に爆撃を敢行し殲滅的打撃を與へた

▲水中の騎行軍 大城【九二五】 子牙河北岸の泥濘地帯を猛進中の我が野田部隊は依然として執勁なる支那軍の水攻め戦法を物ともせず果敢なる躍進を續けてゐるが敵は我が軍の急撃に退却の速さ(ななく子牙河の堤防を潰決して)我軍の追撃を阻み辛じて全滅的野地を脱してゐる有様である、然し我が野田部隊の腰のあたりまで没する連日の水中行軍の難澁さは實に想像以上で各部隊將兵は疲勞の爲休息するとすく睡魔に襲はれ中には敵の敗殘兵の浴せる銃砲火をものともせず泥濘中の小島に大の宇になつて暫時の草枕の夢を

▲滄州陷落

▲一齊攻撃開始 興濟鎮【九二五】 滄州陣地の最前線で勇戦してゐる我軍各部隊は廿四日一齊に陣地一帯に連續せる敵のトイチカに向つて猛攻撃を加へつゝある

▲敵軍退却 天津【九二五】 (午後二時廿一分軍發表)

▲滄州附近の敵は東南方及び南方に向ひ退却中なり

二 赤梁、長野、沼田各部隊は本日河新庄、趙官屯、張新庄の地點に達し敵の抵抗を排除して前進中なり

▲滄州占領公報 天津【九二五】 (天津軍司令部廿四日午後十時五十分發表) 我が長野野部隊は本日午後六時廿分涿州線上の要地涿州を占領せり

▲潰走兵を擧撃 天津【九二四】 我が〇〇機は廿四日午後又も涿州上空に飛び友軍地上部隊の涿州縣城内溝に掩護を行ひつゝ裏手に廻り涿州縣城南門より道路上を南に向つて蜘蛛の子を散らすが如く潰亂する敵に爆撃を敢行し殲滅的打撃を與へた

▲水中の騎行軍 大城【九二五】 子牙河北岸の泥濘地帯を猛進中の我が野田部隊は依然として執勁なる支那軍の水攻め戦法を物ともせず果敢なる躍進を續けてゐるが敵は我が軍の急撃に退却の速さ(ななく子牙河の堤防を潰決して)我軍の追撃を阻み辛じて全滅的野地を脱してゐる有様である、然し我が野田部隊の腰のあたりまで没する連日の水中行軍の難澁さは實に想像以上で各部隊將兵は疲勞の爲休息するとすく睡魔に襲はれ中には敵の敗殘兵の浴せる銃砲火をものともせず泥濘中の小島に大の宇になつて暫時の草枕の夢を

▲滄州占領公報 天津【九二五】 (天津軍司令部廿四日午後十時五十分發表) 我が長野野部隊は本日午後六時廿分涿州線上の要地涿州を占領せり

▲潰走兵を擧撃 天津【九二四】 我が〇〇機は廿四日午後又も涿州上空に飛び友軍地上部隊の涿州縣城内溝に掩護を行ひつゝ裏手に廻り涿州縣城南門より道路上を南に向つて蜘蛛の子を散らすが如く潰亂する敵に爆撃を敢行し殲滅的打撃を與へた

▲水中の騎行軍 大城【九二五】 子牙河北岸の泥濘地帯を猛進中の我が野田部隊は依然として執勁なる支那軍の水攻め戦法を物ともせず果敢なる躍進を續けてゐるが敵は我が軍の急撃に退却の速さ(ななく子牙河の堤防を潰決して)我軍の追撃を阻み辛じて全滅的野地を脱してゐる有様である、然し我が野田部隊の腰のあたりまで没する連日の水中行軍の難澁さは實に想像以上で各部隊將兵は疲勞の爲休息するとすく睡魔に襲はれ中には敵の敗殘兵の浴せる銃砲火をものともせず泥濘中の小島に大の宇になつて暫時の草枕の夢を

津浦戰況

結ぶ家路者も見受けられ今までのところ不思議なことにはこれらの眠れる武者は決して敵陣にあつたためめしがないので何時しか敵前の一眠りは全軍の覆除けとさへ呼ばれるに至つた

▲中間地帯敵軍を爆撃 ○○機島谷部隊の○機は中部戦線に於ける地上部隊の前進攻撃に協力のため廿四日午前九時半出動凡そ一時間に亘り津浦、平漢兩線の中間地帯河間及び獻縣附近に退却集結中の萬福麟軍に對し猛烈な爆撃を加へ敵に多大の損害を與へて歸還した

中 南 文

上海 戦 況

羅店鎮前面軍進出

▲空軍爆撃 上海(六) 日本午後一時陸軍航空隊林原大尉指揮の陸軍機○機は密雲を衝いて地上部隊と相呼應し羅店鎮南方の敵大部隊に對し猛烈な爆撃を加へた

▲羅店鎮南方攻撃 上海(六) 羅店鎮にある○○、○○兩部隊主力は本日午後一時陸軍航空隊○機の掩護爆撃の下に羅店鎮南方の敵に對し攻撃を開始した

▲沈家宅進出 楊家宅(六) 連日大夜襲に堅固な敵陣地を次々と奪取しつゝある總攻撃第三日の廿三日午後九時淺間部隊は西馬宅西北の幅十メートルの萩澤大クリークの線確保すべく壯烈なる夜襲を敢行太田部隊の決死的敵前突撃の入橋を踏んでクリーク對岸十數個の機關銃座を運べる敵陣主力方面に向つて田中少尉橋本伍長以下四十名は彈丸の如く銃劍を閃かせて突入敵の亂射亂撃を物ともせず遂に敵前渡河に成功し續いて後續部隊が敢然敵陣上に躍上り縱橫無慮に敵を散らし敵陣一時間對岸陣地を完全に

占據して廿四日拂曉には早くも羅店鎮東方約一軒の沈家宅に進出廿四日午後一時羅店鎮、劉家行を結ぶ大道東側には全く敵影なく軍工路は完全に我が方の手に歸した

▲楊家宅占領 羅店鎮(六) ○○部隊の總攻撃開始以來連日猛攻を續ける安達部隊は廿四日午後六時黃昏の雨を含む薄暮を利用して楊家宅を襲撃し白兵戦を演じ敵を斬り捲り一氣に上海街道を突破し同八時薄暮に達するの大殊戦を樹てたが楊家宅はこの方面の敵の根據地らしく死體百八十、機關銃卅、小銃彈藥無數を遺棄してゐた。尙この戰鬪に於て敵の九十師二百六十八旅二百五十六團の團旗を擷獲した

▲報道部發表 上海(六) ○○報道部午後六時發表

一 ○○部隊は羅店鎮西側より南方に亘る堅固なる敵陣地に對し連日霖雨を肩して猛攻中なりしが昨廿三日和知部隊正面に於て鐵條網を數層にめぐらし最も頑強なる抵抗を持續せる高家宅北側の無名部落に對し坑道掘進により爆藥を裝填し大爆破を敢行せる結果敵に多大なる衝動を與へ午後六時頃蹶然起つて攻勢前進し沈家宅、高家宅、李家宅の線に進出し我○○部隊戰鬪の端を開けり

二 ○○部隊は今朝來全面に亘り攻勢前進を開始し羅店鎮より劉家行に連する道路東側クリークの線に據る頑強なる敵陣地を突破し本日午後四時、該道路を越えて前進し概ね和知部隊を聯挽し李家宅、陶家宅、蘇陳宅の線に進出し更に當面の敵に對し攻撃前進中なり、なほ劉家行東側の敵陣地を攻撃中なる田上、石井兩部隊正面に於ても頑強なる敵陣地の要點に對し對據作業により

肉薄中なり

三 九月廿三日夜頗十時附近に於る田上部隊に對し敵は普通彈と共に嚙性ガスを混用せり、之が爲野崎准尉以下若干のガス中毒者を發生せり

支那軍に投降勸告

朱家宅(六) 楊行鎮前面の敵は我が田上、石井、鷹森及び中島の諸部隊の連日の猛襲により漸次後退の止むなきに至り且つ食糧物資の補給不十分、給料不渡等の爲め兵卒の不平不満濃厚化した折柄並數日來の我が飛行機からの投降勸告ビラの撒布により支那兵士官の動搖が顯著なるものあり上官の脅迫的阻止にも拘らず勸告ビラの正當なる理由に共鳴し自國軍隊の行動に漸く疑ひを持ち來つた傾向が見られる。廿三日の田上部隊への傷病兵以外の正規兵が十四名投降したのを初めとし各部隊への投降者が續出して來た。投降者は何れも我が軍の庇護の下に安んじ國民政府の非を唱して居る所から我が軍は更に廿四日投降勸告ビラを全線に亘つて撒布した

▲卅名投降 上海(六) 廿三日夜番里にある山田部隊に約卅名の敵が暗夜に紛れ敵陣地脱走し我が軍に投降して來た。我が軍はこれ等投降者に何等の辱しめを加へず直ちに飲食を給し優遇してゐるが敵兵は皇軍の恩愛に感泣してゐる

支那軍部情勢隱微

上海(六) 支那側は國內情況及び各戰線の敗退を第一線將兵に知らしむるを極度に警戒して居るが廿三日○○部隊に捕虜となつた敵將兵の自供を綜合すると

一 江南に於ては十八歳以上の男子は一戸より一人宛軍團に強制的に徵發を受け之を拒むものは處斷されて居る

一 兵隊同志の對談時に戰況に關しては

嚴重に禁止され之を犯したものは處斷される

一 部隊は夜間移動し後方からの來援部隊の集結も亦夜間行はれて居る

一 嘉定附近には中央よりの新部隊六個師が到着した

尙最近ではこれら將兵も戰況の實相を漸次察知し動搖を來しつゝあると

支那軍公海に水雷敷設

上海(六) (午後二時海軍報道班發表)

廿三日午前九時四十五分長崎丸は北緯廿一度廿七分、東經百廿四度十二分(崇明島東端より百廿マイル東)において小型浮流水雷らしきものを認めたり、同方面航行一般船舶は注意を要するものと認む

▲公海水雷浮流に外國側も憤激 上海(六) 本日午前七時上海入港の日支聯絡船長崎丸が支那側浮流水雷を發見した地點は揚子江口東方沖合公海上にして支那側が領海を越えて遙か公海上に水雷を浮流せしめてゐることは國際的に由々しき不法行為であり外國側も支那側の無法な行動に憤激してゐる

上海一般狀況

廿四日海軍省に達したる上海方面一般狀況の如し

一 我南京、廣東空襲に依り支那側は俄に狼狽してラヂオの日本語放送振りも各漢字紙の論調も列國に哀願し日本の干戈を一日も早く治めさせやうとする悲觀的態度に急變した、殊に我南京空襲警告に關する米國の態度に對しては頼みの綱の切れた思ひを以て捨筋的憤慨の狀を示して居る

二 虹口、楊樹浦方面は益々明朗化して居り去る十七日には補助營兵が解散せ

新任英國總領事着任

上海(六) 新任の英國上海總領事ハーパー・ライツ氏は英國より長崎經由本日當地に着任デビッドソン總領事代理より事務引継ぎを受けたがこれにより英國の現地外交陣容は一層の整備を見るに至つた

上海 情 勢

られ次で一昨廿二日からは自警團も廢止せられ平時の通り領事館警察及工部局警察で治安維持を擔當することとなつた、蘇州河以南にはコレラが今尙蔓延し患者は既に二〇〇〇名に達したが虹口楊樹浦方面は防疫役を奏して未だ發生しない

三 蘇州河以南租界内の交通は略々回復したが尙所々に土襲を備へて列國の軍隊が警備して居り開店したダンスホールに對し時々支那青年が恐嚇をするものある等人心はまた安定するに至らない、我海軍航空隊の目覺しい活躍以來邦人に對する外人の態度は變化し畏敬を増して來たことが感ぜられる

四 物價は一般に騰貴し殊に鹽は四倍に達したが米は西貢米の輸入及蘇州河で搬入せられるものが多く野菜、鶏卵等と共にさしたる騰貴を示して居ない、米價は一畝約十四非以内である

漢口、南昌大爆撃

上海(六) 廿四日午後六時我が海軍の○○航空隊は惡天候を衝いて突如漢口を空襲し制鐵廠、兵器廠等軍事上の要點に爆撃を加へ挑戰し來つた敵戰鬥機二機を撃墜し大損害を與へ更に一部海軍航空隊兵力は午後七時薄暮を衝いて敵の空軍根據地南昌を空襲し新舊兩飛行場修理工場兵舎を爆撃し直に火災を起し飛行場は火

空 襲

漢口、南昌大爆撃

上海(六) 廿四日午後六時我が海軍の○○航空隊は惡天候を衝いて突如漢口を空襲し制鐵廠、兵器廠等軍事上の要點に爆撃を加へ挑戰し來つた敵戰鬥機二機を撃墜し大損害を與へ更に一部海軍航空隊兵力は午後七時薄暮を衝いて敵の空軍根據地南昌を空襲し新舊兩飛行場修理工場兵舎を爆撃し直に火災を起し飛行場は火

桶に包まれた我が方の損害皆無である

【六二四】(海軍省公表廿五日午前十一時十五分發表) 廿四日我〇〇航空部隊は其の數十機を以て折柄の悪天候を待して長臨漢口及南昌を急襲し其の軍事施設に對し夫々左記の如く大損害を與へたり

漢口 兵器廠、製鐵廠に十數彈を命中せしめ之を大破し更に空中戦闘に於て敵艦兩機二機を撃墜す

南昌 新舊兩飛行場を爆撃し修理工場兵舎に多數彈を命中せしめ格納庫六棟及出動準備中の飛行機數機を爆破し數個所に大火災を起さしむ

廣東爆撃續行 上海九二四 〇〇海軍航空隊は今朝五時又復廣東を空襲し軍官學校及び軍總司令部を爆撃した

南京空爆と各國動向 英第二次申入訓令 ロンドン九二四 日本軍の南京、廣東連續的空爆は英國新聞紙上に大々的に報道せられ殊に非戦闘員の被害が誇大に傳へられるため英國國民の神經を痛く刺戟して居るが英國政府は去る廿一日の申入れに重ねて日本軍の南京廣東爆撃に付日本政府へ申入れを行ふ機廿四日東京駐劄大使サー・ロバート・スレーギー氏に訓令を發したといはれる、

申入れの骨子と解される所左の通り 一 最近の南京廣東爆撃に際し日本軍飛行機は非軍事施設を爆撃し多數非戦闘員の死傷者を出した 二 日本政府は過日ヒューゲッセン大使事件に關する對英回答中に於て一般非戰鬥員攻撃は之れを避くる方針なる旨言明したが其後南京廣東の爆撃は右言明と矛盾する

尙右スレーギー大使宛訓令内容は參考用として直ちに米國政府へも傳達されたといはれる

▲王大使日本の爆撃を非難 ワシントン

【六二五】ワシントン駐劄支那大使王正廷氏は廿五日新聞記者團と會見、日本軍の南京空爆を非難してハル國務長官の對日申入れの文句を其儘使用しながら左の如く語つた

日本軍飛行機は戦闘に關係なき無防備の民衆に對し故意に爆撃を行つてゐる余は此の事實をハル國務長官に通告して注意を喚起する積りである

記者團から 米國政府に對し援助を懇請する議訓令を受けたか 質問したに對しては 斯る事實はないと否定した

▲支那惡宣傳で米の輿論惡化 ワシントン 【六二六】日支事變勃發以來米紙の報道振りは決して日本に好かつたとは言へぬが政府が南京爆撃に對し對日通告を發したの前後後して一層惡くなつた、殊に上海方面からの米國記者の報道は支那側宣傳をその儘受繼ぎ日本の爆撃が無辜の婦女子にその危害を加へてゐる如く傳へ軍事施設の損害等毛頭も觸れてゐない、上海方面からの報道は對日感情を刺戟する最も大きな根拠でこれが大きな見出しで煽情的に取扱はれるのだから米國民に對する影響の程も想像される、こゝ二三日に來新聞の調子は殊に亂調子になつたかに見受けられる、政府は從來の方針を持續せんとしてゐる點は明瞭に觀取されるが懸念される點は敢らずく反日的輿論に引摺られはしまいかといふ事である、一方北支方面の進展に對しては何等非難の聲が無いが中支方面の戦局進展と共に米國の對日態度は相當注視すべきである

▲佛伊大使館員一時避難 ニューヨーク 【六二七】最近日本軍の南京空襲に際し米國大使ネルソン・ジョンソン氏が最早く米砲艦ルソン號に避難したと支那側及び一部米國輿論の非難を招いてゐるが廿四日UP 南京特派員の報道によれば右空襲の際には米國大使宅でなく佛伊兩國の大使館員も全部揚子江上に避難し強硬態度を傳へられる英國大使館でも一部避難したことが判明した、即ち

一 フランス大使館員はルシアン・コラ 書記官を除き全員スループ艦アマール・シヤルネ號に避難した

一 イタリア大使館員は全部イタリヤ汽船に避難した

一 英國大使館員は既に一部避難してゐたが空襲中は殘餘の館員も砲艦ビー號に避難した但しハウ代理大使及びラヴオトフレーザー陸軍中佐は大使館に居残つた

一 ソヴェト大使館員は居残つたが大同大使館は費用一萬二千弗を投じて築造した高さ四呎のコンクリートで以て蔽はれた地下庫を作つてゐる

▲國府兵力補充に努む 上海九二四 北支會戰で大敗を喫し更に上海附近の戰鬪で無慮數萬の將兵を損じた南京軍事當局は前線部隊の補充に大軍である、即ち

四川の劉湘は蔣介石よりの矢の如き督促で愈々四川軍を上海戦線に参加せしめる事に決定廿一軍長唐式遵は所屬三箇師を率めて廿三日重慶發下江の途に就いた、更に中央側は雲南の龍雲、薛岳等に對しても諸路軍の出動を督促中と云はれ江西第七軍二箇師は目下漢口經由下江中である、又陳廉承(軍官學校教育長)は中部動員指揮官として九江に駐屯し湖北、安徽、江西の三省駐屯軍の前線待出しに躍起となつてゐる

▲陳誠持久戰勝利を説く 上海九二四 麗下の第十八軍を中心に入節師の大軍を率ゐて嘉定、太倉、劉河一帶に苦戰中の陳誠は廿四日支那記者に對して

日本に對抗するに消耗持久戰により百折快まず三、五年間持ち堪へるべきで二、三陣地の喪失の如き虚勢にかくるに足りない、

と皇軍の猛撃に後退又後退の自己軍隊の立場をカムフラージュした後 精神的團結力、經濟上の持久性、國際輿論の傾向は何れも支那側に有利で最終の勝利は必ず我に屬する

と大見得を切つてゐる、但しこの抗日將軍も流石支那軍間に行はれる寄附金、慰問を纏る不正事實に就ては

國內外の寄附金慰問品は民衆より届けられてゐるが往々不必要品の分配に陥り戦地の實用に適合せず浪費に均しい又金錢の寄附を受けても個人のポケットに入り兵士は何等恩恵に與らないが今後先づ中央に届けたる後適宜各隊に分配して貰ひ度い

と金品分配の不公平購置事實を訴へてゐる

▲支那互援助密約計畫 上海九二四 ソ支不可使協定締結を契機として親ソ派分子の擡頭暗躍は國民政府の聯ソ的傾向と相俟つて逐次熾烈となり中國共產黨とコミンテルンの聯携の下に對日ソ支共同防衛の地下工作が暗黙裡に計畫されつゝあり目前の日支抗戰對策を前提として全面的ソ支相互援助を目的とする密約が秘かに考究されつゝあるが今日までに判明した内容は左の如きものである

一 ソ支兩國は對日秘密共同防衛委員會を設け本部を外蒙首都ウランバートル(庫倫)に設く

二 兩國は共同して左の目的を遂すべく凡ゆる工作を爲す

(一) 防共協定破壞を目的とする東洋又は歐洲での紛争惹起

(二) 日本兵力をソ滿國境、外蒙國境、北支、中支、南支に分散せしむべき

(三) コミンテルンに依る日本國內思想界の攪亂

(四) 本工作の主なる擔任區域はソ聯のため北支、ソ滿國境、滿蒙國境、中國のため上海を中心とする中支及び南支一帯

(五) 聯邦は左記に依り兵器軍需品及び必要に應じ義勇兵技術家を中國に派しこれを援助す

(六) 中國はソ聯より提供する軍需品代金の半額をソ聯國營銀行に供託す

(七) 支那は義勇兵技術家に對し給料を支給しソ聯はゴストラハ(國立

府政民國

支那ダムダム彈購入

支那ダムダム彈購入

支那ダムダム彈購入

保險)に保險を附す

(ハ) ソ聯から中國に交付すべき兵器軍需品の引渡しは九月下旬乃至十二月迄に第一段を實施す、輸送経路は外蒙、新疆經由とす

(ニ) ソ聯より支那に對する兵器の第一次交付品目は左の如し

各種飛行機三百六十二機、高射砲百門、加農砲二百門、迫撃砲十二萬發、小銃十五萬挺、小銃彈六千萬發、戰車五百臺、裝甲車千五百臺、牽引車千五百臺、自動自轉車二千五百臺、馬匹五千頭、荷馬車二千臺

四 支那はソ聯の援助に對し交換的に左記事項の實行を約す

(イ) 支那はコミンテルンの最高方針に従ひその中國に於ける活動を許容す、但しその實行の方法は支那の決定に從ふ

(ロ) 外蒙に於けるソ聯の政治的經濟的自由活動並にその結果を容認す

(ハ) 支那はソ聯に對しシベリアより外蒙、新疆、甘肅を經由支那本部に通ずる鐵道敷設設備其他北支に於ける利權を賦與す

(ニ) 對日工作成功の時はソ聯の援助によりソ聯以外の諸國の在支勢力を逐次驅逐す

知日派に極端な壓迫

【本報】日支事變發生以來南京政府並に黨部内の知日派要人は極端な迫害を蒙りつゝあるが情報に依れば對日強硬派は壓制的勢力を占め政治方面では共産黨の巨頭周恩来の活躍をまじしく軍事方面では白崇禧が中心となつて抗日氣勢を煽り従つて從來多少なりとも對日好意を示したる名士は漢奸狩りの名目の下に逮捕銃殺されたものが多數に上つて居る、即ち知日派と目されてゐる高宗武亞洲司長は最近一週間位消息を絶つてゐるが既に處刑



保定占領陸軍當局談 (廿四日午後三時發表) 九月廿四日我が軍は遂に保定を占領した、時を同じうして滄州も亦我が手に落ちるものと思はれる、保定、滄州の陣地は支那軍が對日作戰上北方に於ける第一線陣地の據點として數年間研究に

されたとの噂もありまた汪兆銘も今の處身體の自由は保障されてゐるがその行動は非常に警戒されてゐる、特に汪一派の豬民澄、管仲鳴、彭學沛等は監禁同様の状態にある、又蘇州では何澄は一週間前逮捕處刑され居卓然、周作人は家族と共に香港其の他の方面に逃れてゐる等情勢極めて險惡なるものがある、従つて南京では漢奸狩りの危険のみならず赤化勢力の増大著しく財産の危険を感ずるので有力者の大半は安全地帯を求めて逃亡しつゝあり、ために上海南京方面では有力者又は穩健分子はその所在をぐらましてゐるが警備司令部は各機關を動員して細密なる密偵網をめぐらし此等逃亡者を追及しつゝあるので宛然恐怖時代を現出してゐる状態である

研究を重ねたる末一昨年九月決定の對日作戰計畫に基き石家莊、隴海線沿線の陣地と共に昨年初頭に以來長時日を費し眞面目に構築した堅陣であつたが我が軍が統帥の靈策と訓練の精到により克く寡少の兵力を以て數倍の敵に對し更に天候、地形の極めて不利なる諸條件を克服し力戰惡闘頑強なる敵の抵抗を排除し之を潰滅に陥らしめ遂に日章旗を城頭高く懸したことは古來の戰史に稀なる戰績である、而して之が占領は次の如き意義を有するものとして特筆に値す

- 一 支那軍は北支作戦に完全に失敗したこの方面に於ける支那軍間に於ける戰敗の印象は蓋し徹底的である
- 二 保定滄州の要線占領は北支に於ける支那軍の死命を制したもので支那軍は之に依り北支に對する凡ゆる戰略的企圖の放棄を餘儀なくせられる
- 三 我が軍は南方に對する進軍の據點を確保し將來の作戰を有利ならしめることとなつた
- 四 山西、山東方面に對する戰略的影響も亦少くない

以上のような重大なる意義を有するものではあるが本作戦の成功は本次事變の緒戦の勝利を確定したるに過ぎないのであつて未だ支那側に反省の色が見えないのであるから吾人の努力を要するのは全くこれからである、古語の如く益々一勝つて兜の緒を締め一暴支膺懲の一途に邁進したいものである

戰死將校氏名

- 【廿四日發表】 大册河東莊附近並に拒馬河附近の戰鬪に於ける戰死將校氏名左の如し
- ▲戸澤部隊 中尉 根岸理三郎 少尉 島田 茂助 中尉 關口 義作
- ▲坂西部隊 同一 生方藤太郎

- ▲石黒部隊 中尉 岡崎 三郎
- ▲森田部隊 中尉 岡崎 仁市 准尉 新井 義照
- 【廿四日發表】 ○○○○方面の戰鬪に於ける戰死將校氏名の左の如し
- ▲澁間部隊 少尉 美馬 清
- ▲永津部隊 同 四十宮英雄
- ▲出之内部隊 同 圭保 玄一 准尉 藤岡利八郎 准尉 菅野 鶴松
- ▲田上部隊 中尉 入山 邵 少尉 木内 治夫 少尉 永田 隆

前線將兵の軍刀修理奉仕

天津を以て北支皇軍將兵の軍刀修理サービスのため大日本刀匠會會長栗原彦三郎氏以下六名の皇軍慰問軍刀奉仕團一行は廿四日來津したが天津神社に鍛錬所を設け同神社奉納及び寺内軍司令官に獻納の刀二振の製作を終つた後前線に赴き各將兵の軍刀無料修理を行ふ豫定である

出動將士歡送に全市の公園開放 【本報】東京市公園課では支那事變に出動する將士の歡送式場として全市百四十餘ヶ所の公園の廣場を自由に使用出来るやう開放した、使用を希望する人は町會長その他の代表から使用前日までに公園事務所に届ければ良いので出征軍人には非常に便利となつた

米アジア艦隊發留發表

【ワシントン廿四日】米國海軍は廿四日海軍省に海軍參議院會議を開き遠東問題につき重要協議を遂げたが會議で最近確硬化せる國務省の態度を支持するものと認められてゐるが反對に廿四日海軍省聲明と同時に國務省から「英

を支那領海に残留せしめる旨發表した、發表要旨左の如し

アジア艦隊司令長官ヤーネル提督は廿二日所屬全艦艇に對し現下の緊迫情勢に鑑み必要ある場合管下の海軍力を以て在支米國民保護に萬全を盡す標訓令した、右方針は現下の日支紛争が存続する限り不變なるのみならず在支米國民が引揚勸告を受けず又引揚の機會を與へられた後に於ても適用されるものである、現在在支米國民は大部分それが唯一の生計の途たる職業に従事して居り彼等は事業が全然破壊されるか乃至は實際上身邊の危険に迫られるか引揚を餘儀なくされる迄は引揚を欲してゐない、従つて米國海軍としては以上の如き時期が到来する迄はアジア艦隊の撤收は不可能であり若しこれを敢てする時は明かに義務懈怠であり米國海軍の名誉にも關することにならう

▲米海軍聲明の意義 ワシントン【本報】米國海軍省が廿四日突如アジア艦隊の現地殘留に關し強硬聲明を發表したことに對しては各種の見解が行はれてゐるが右が果して國務省筋の意見を表明するものなりや否や、更に進んで聲明發表前に豫め國務省の諒解を得たかどうかも疑問とされてゐる、この點に關し廿四日の國務省定例會見に於て記者團から質問が出たがハル長官は米國政府の政策は累次言明した通りと述べたのみで言明を避けた消息通の観測では去る廿一日南京駐留ジョンソン大使が日本軍の空襲警告に應じ急遽南京から避難したのに對し支那側の非難が高いのでこれが對策としてヤーネル司令長官が今回の様な命令を發したもので見えてゐる、一部には今回の聲明を以て最近確硬化せる國務省の態度を支持するものと認められてゐるが反對に廿四日海軍省聲明と同時に國務省から「英

海外動向

米アジア艦隊發留發表 【ワシントン廿四日】米國海軍は廿四日海軍省に海軍參議院會議を開き遠東問題につき重要協議を遂げたが會議で最近確硬化せる國務省の態度を支持するものと認められてゐるが反對に廿四日海軍省聲明と同時に國務省から「英

國民支援

- ▲田上部隊 中尉 入山 邵 少尉 木内 治夫 少尉 永田 隆

干山を引揚げた米國民百一名は上海に安着した」と見様によつては海軍の聲明に皮肉な發表を行つたことは注目されてゐる

米勞働組合間にポイコツト説擧頭
ワシントン(米)電 支那事變の擴大に伴ひ一部米國勞働組合間に日貨ポイコツト論が擧頭してゐる模様だが米國勞働組合間(ＡＦＬ)及び産業別組織委員會(ＣＩＯ)に於ても夫々近く開かれる年次大會で問題なることを豫想し對策を協議して居ると傳へられる

對日輸入に充當すると共に事變後天津にストックされた多量の日本商品の購入に充てしめて先づ支兩國の商社間の商取引復活の素地を作らんとするもので之が成果は各方面より多大の期待をかけられてゐる

九月廿五日

平津情勢

日支商取引促進運動

天津(米)電 平津地方に於ける諸般の經濟的活動は事變以來中絶の巴むなき状態に立至つたが戰局の長引につれこれが早急の立直しは一般民衆の生活安定上最も必要とされてゐるので關係各方面では治安維持會並に地方自治會と協力しこれが應急策樹立に鋭意努力を重ねてゐるが先づこれが第一着手として河北省産物の對日輸出を促進し以て現地に購買力を興へ一般商取引の復舊を圖ることとなり、目下日本側關係當局と連絡折衝中である然して日本側でも積極的援助を約したので近くこれが實現を見る運びとなつた、即ち河北産物の本年度收穫豫想高は水害の爲め例年に比し六分作の約二百廿萬ピクセルと豫想されてゐるがこの中約五十萬ピクセルの現地消費を除き殘額約百七十萬ピクセル價額約八千五百萬圓を全部日本に輸出し其代金の一部を以て一般必需品の

對日輸入に充當すると共に事變後天津にストックされた多量の日本商品の購入に充てしめて先づ支兩國の商社間の商取引復活の素地を作らんとするもので之が成果は各方面より多大の期待をかけられてゐる

對日輸入に充當すると共に事變後天津にストックされた多量の日本商品の購入に充てしめて先づ支兩國の商社間の商取引復活の素地を作らんとするもので之が成果は各方面より多大の期待をかけられてゐる

河北掃蕩と當局

▲天津軍司令部談 天津(米)電 我軍の保定占領につき天津軍司令部は廿五日午前十時左の如き當局談を發表した

反復燃まさるも支那軍の排日、抗日の暴戻を解怠するため勇武なる皇軍は北支に出動して茲に二ヶ月約熟炎暴を押し遼雨を衝いて軍旗を進め全軍の士氣彌々上り衝天の價は凡ゆる困苦を克服して北支の山野を震盪した、先づ平綏線方面では長城に於ける堅壁を破壊し八達嶺を越へ忽ち察哈爾を占領し更に西北に突入りして皇軍の威武を湖北地に輝した、平漢線方面の威武は凡ゆる要塞等凡ゆる敵の抵抗を除去し或は敵側の永定河奔流を敵然渡河し涿州の野に大奇襲を展開し更に敵を賦迫追逼して敵の本據たる省城保定を占領同方面の敵を撃滅し、津浦線方面では執拗なる敵と天津附近の殘敵を掃蕩しつゝ、遼雨と敵軍の河川堤防決潰による洪水沼澤地區を押し退き、敵を壓倒靜海馬廠、青縣、大城等の要塞を逐次占據し遂に山東に連する聖衝涿州附近の敵を略し各方面の據點を削滅せしめた、右の如く各方面に於て皇軍の向ふ所忍む可邊を壓倒風靡し短期間に河北一帶の敵を破碎して遺殘の敗兵は三々五々群を爲して敗退した、斯くて北支の肅正概ね完成し明朝北支の曙光が輝き長くも御威威遠く北支に赫々たるは塞に同慶の至りである、

▲津浦線兵團に祝詞 天津(米)電 寺内最高指揮官は廿五日天津南方方面地區に貴兵團は各兵團に左の祝詞を送つた

▲津浦線兵團に祝詞 天津(米)電 寺内最高指揮官は廿五日天津南方方面地區に貴兵團は各兵團に左の祝詞を送つた

▲津浦線兵團に祝詞 天津(米)電 寺内最高指揮官は廿五日天津南方方面地區に貴兵團は各兵團に左の祝詞を送つた

と誇稱して自ら頗る恃む所あり、今次事變に際しては多勢を恃んで抵抗するも精銳無比の皇軍一度其の威武を發揮するや脆くも潰れ制表を加ふるに當つては我が威力は遺憾なく發揮せられ寧ろ北支を壓して内外の耳目を聳動せしむるに足るのであつた、彼の敗殘支那兵に至つては過去に於ける驕慢の非を恥ぢ皇軍の威武に戰慄を禁じ得ぬであらう、若しそれ無賴の徒殘存しては抵抗を續けるものあらんか皇軍は固より征討を緩めず徹底的殲滅を容赦せず、以て中國の抗日迷夢を覺しその反省悔悟を見れば止まぬこと勿論である、然るに南京當局は未だその非を覺れず第三國と秘かに締結し赤化勢力を容れ自ら毒穴を甞るの非あるは寧ろその愚を憐れむべきであらう、吾等は斷乎中國に於ける赤色勢力を破壊し東洋の平和を確保せん事を期して居る、吾等は今後皇軍の出動轉戦に當り北支戰場の夏草を鮮血に染め護國の鬼と化した戰歿將士の忠靈に對し謹んで哀悼の意を表すと共に愈々皇軍出動目的達成の爲め奮闘努力以て聖明に副ひ奉り一億國民の負託に副はん事を期する次第である

▲津浦線兵團に祝詞 天津(米)電 寺内最高指揮官は廿五日天津南方方面地區に貴兵團は各兵團に左の祝詞を送つた

▲津浦線兵團に祝詞 天津(米)電 寺内最高指揮官は廿五日天津南方方面地區に貴兵團は各兵團に左の祝詞を送つた

▲津浦線兵團に祝詞 天津(米)電 寺内最高指揮官は廿五日天津南方方面地區に貴兵團は各兵團に左の祝詞を送つた

▲津浦線兵團に祝詞 天津(米)電 寺内最高指揮官は廿五日天津南方方面地區に貴兵團は各兵團に左の祝詞を送つた

▲津浦線兵團に祝詞 天津(米)電 寺内最高指揮官は廿五日天津南方方面地區に貴兵團は各兵團に左の祝詞を送つた

▲津浦線兵團に祝詞 天津(米)電 寺内最高指揮官は廿五日天津南方方面地區に貴兵團は各兵團に左の祝詞を送つた

▲故田代中將靈前に報告 天津(米)電 天津駐屯軍では軍司令部高級副官の名を以て廿五日佐賀市水ヶ江町南十間端に住居する前駐屯軍司令官田代皖一郎中將未亡人雪江夫人に宛て左の如き北支戰線の勝報を發し故中將の靈前に報告するところあつた

▲故田代中將靈前に報告 天津(米)電 天津駐屯軍では軍司令部高級副官の名を以て廿五日佐賀市水ヶ江町南十間端に住居する前駐屯軍司令官田代皖一郎中將未亡人雪江夫人に宛て左の如き北支戰線の勝報を發し故中將の靈前に報告するところあつた

▲故田代中將靈前に報告 天津(米)電 天津駐屯軍では軍司令部高級副官の名を以て廿五日佐賀市水ヶ江町南十間端に住居する前駐屯軍司令官田代皖一郎中將未亡人雪江夫人に宛て左の如き北支戰線の勝報を發し故中將の靈前に報告するところあつた

▲故田代中將靈前に報告 天津(米)電 天津駐屯軍では軍司令部高級副官の名を以て廿五日佐賀市水ヶ江町南十間端に住居する前駐屯軍司令官田代皖一郎中將未亡人雪江夫人に宛て左の如き北支戰線の勝報を發し故中將の靈前に報告するところあつた

▲故田代中將靈前に報告 天津(米)電 天津駐屯軍では軍司令部高級副官の名を以て廿五日佐賀市水ヶ江町南十間端に住居する前駐屯軍司令官田代皖一郎中將未亡人雪江夫人に宛て左の如き北支戰線の勝報を發し故中將の靈前に報告するところあつた

▲故田代中將靈前に報告 天津(米)電 天津駐屯軍では軍司令部高級副官の名を以て廿五日佐賀市水ヶ江町南十間端に住居する前駐屯軍司令官田代皖一郎中將未亡人雪江夫人に宛て左の如き北支戰線の勝報を發し故中將の靈前に報告するところあつた

▲故田代中將靈前に報告 天津(米)電 天津駐屯軍では軍司令部高級副官の名を以て廿五日佐賀市水ヶ江町南十間端に住居する前駐屯軍司令官田代皖一郎中將未亡人雪江夫人に宛て左の如き北支戰線の勝報を發し故中將の靈前に報告するところあつた

▲陸軍省發表 一 去る廿一日靈邱(蔚縣西南方五十五軒)を占領せる我が部隊は昨廿四日夕靈邱西方廿軒にある長城城壁及び其の西北方にある標高一千九百卅米高地を占領せり

▲陸軍省發表 一 去る廿一日靈邱(蔚縣西南方五十五軒)を占領せる我が部隊は昨廿四日夕靈邱西方廿軒にある長城城壁及び其の西北方にある標高一千九百卅米高地を占領せり

▲陸軍省發表 一 去る廿一日靈邱(蔚縣西南方五十五軒)を占領せる我が部隊は昨廿四日夕靈邱西方廿軒にある長城城壁及び其の西北方にある標高一千九百卅米高地を占領せり

▲陸軍省發表 一 去る廿一日靈邱(蔚縣西南方五十五軒)を占領せる我が部隊は昨廿四日夕靈邱西方廿軒にある長城城壁及び其の西北方にある標高一千九百卅米高地を占領せり

平漢戰況

保定入城式

保定清苑城明けの入城式は廿五日午後華かに行はれた、此の日我が○部隊長は午後二時廿五分涿州よりの列車にて到着○部隊宿營に於て小憩後同二時四十分指揮部隊長を先頭に各部隊長以下諸將兵威風堂々隊伍を整へ鬨々たる喇叭の響き、はたたく日章旗と共に入城豪華隊綸巻を展開した、次いで午後四時五分壯麗なる河北省政府視察に於て大勝祝賀式を舉行○指揮官の祝辭に次ぎ空も裂けよと許り「天皇陛下萬歳」を高唱した

支那軍損害一萬八千

【九三】(廿五日午後五時陸軍省發表)九月十四日以降永定河畔より保定占領に至る會戰に於て敵に與へたる損害は廿四日までの調査によれば一萬七八千を下らざるものゝ如し

津浦戰況

捷地占領

天津【九三】(午後四時十五分軍司令部發表)一滄縣を占領せる我部隊は(本日午前十一時捷地(滄縣南方八キロ)を占領せり

二滄縣附近の戰鬪に於ける敵の損害は凡そ二千人なり

三子牙河方面の我部隊は本日午前十時宋張吉(劉各庄橋南方一キロ)を通過し敵を西南方に追擊中なり

娘子河南方に進入

天津【九三】(軍司令部發表)津浦線方面のわが第一部隊は廿五日午後五時概ね娘子河南方に進入し續いて南方に向ひ敵を追擊中なり

馮玉祥司令に任命

【九三】(午前十時其分陸軍省發表)津浦線方面に作戦中の我軍は廿五日午前十一時滄州南方八キロにある捷地を占領せり尙當方面に對し敵は逐次その兵力を増加しあるものゝ如く諸情報綜合するに新に此の方面の總司令として馮玉祥の任命を見たるものゝ如し

上海戰況

文南

羅店鎮前面軍進出

▲一齊前進開始 ○○廿三日朝來羅店鎮前面全線に亘つて激烈なる總攻撃を續け敵要地を續々奪取した○部隊は廿五日朝空、歩、砲、共同作戦も美事に更に敵砲火部隊(十一師、九十師)左翼部隊を擊滅すべく○部隊及び和知、淺間安達各部隊一齊に前進を開始した

▲王家宅附近奪取 上海【九三】(午後六時卅分)○報道部發表)羅店鎮附近に於ける○部隊は昨廿四日夜に入るも攻撃を續行し前面の要點を奪取し今朝に至り○部隊は王家宅附近の敵陣を奪取更にその西方陣地向ひ攻撃中なり、爾餘の諸部隊を以て小堂子、陶家宅附近の堅壁を突破し本日夕刻迄には袁家宅、沈家橋の線に進出し更に當面の敵に對し猛攻撃戰中なり

▲王九房西側占領 上海【九三】廿五日早朝来の降雨を衝いて石井部隊の一部は行動を開始し泥濘々の水中に敵二百を追い込み金將士萬歳々々を連呼しつゝ突撃騎風の勢ひで抵抗する敵と壯烈なる白兵戰を演じてこれを殲滅せしめ午前九時頃王九房西側を占據した

開北浦東を爆撃

上海【九三】海軍航空隊は今早朝より開北の北停車場、商務印書館その他敵陣地を終日反復爆撃を敢行し更に一方○機は浦東側敵陣地に對し午後一時頃より夕陽迫る頃迄爆撃を行ひ敵に多大の損害を與へた

上海【九三】(第三艦隊報道班午後八時半發表)田中大尉及び西岡中尉等の指揮する部隊は本日終日に亘り江甯の秋空に銀翼を輝かせながら開北各地の敵陣に對する猛烈なる爆撃を敢行した

上海【九三】赤隊隊長として勇名を轟かせた陸隊隊各村利正大尉は廿五日午前九時開北青雲路附近で敵の機銃弾を浴び胸部に貫通銃創を受け重傷を負ふた

黃大嶼、虎頭島占領

上海【九三】(第二艦隊報道班午後八時半發表)下村少將の率ゆる○戰隊は本日黎明黃大嶼島及び虎頭島(浙江省温州南方海上)を襲撃し我が陸隊は疾風の如く上陸攻撃、午前八時頃兩島を完全に占據し敵の監視所屋上高く軍艦旗を翻へした

上海情勢

上海金融界益々逼迫

上海【九三】上海の金融界は今や滙割實を中心にして一大難關に逢着してゐる。即ち國民政府は非常時辦法として銀行の預金拂出を制限右に依つて生ずる滙割拂底の對策として滙割の發行を許可してから滙割の流通は次第に増加するに至つたが此の振替通貨とも稱すべき滙割は銀行勘定には顔面通りで取扱はれてゐるがこれを現金に兌換する事が出来ないため工部局

を始め公共機關ではこれが値受けを拒絶し鐵道方面では從業員の月給支拂及び消費品仕入れ等に要する現金の入手困難から非常な苦境に陥つてゐる、就中最も悲慘なのは一般輸入業者で輸入品の引渡と同時に支那人から受取る銀行手形は普通一、二ヶ月乃至數ヶ月先拂となつて居りこれが今回のモラトリアムのため現金化されずにある上に手持滙割は増加する一方でその總額は無慮一千万以上に上ると云はれる、支那側でも此の情勢を憂慮し最近漸く眞剣にその對策を考慮しはじめ先づ一着手として關稅の一部分を滙割で納入し得る事にして、しかしこれも一日最高一千金單位までの關稅に滙割はその半額以上に上るべからずと限定されてゐる、更に他の方法としては滙割を輸出業者に割引して賣ることが考へられて居るが異地からの物産出廻りが全く停頓状態にある今日この方面には滙割の纏つた捌け口を求めるには大した期待はかけられて居ない

ヒューゲツセン大使退陣

上海【九三】奇禍に遭つて負傷した英國大使ヒューゲツセン氏はカントロー・ホスピタルで療養中であつたが傷も漸く快癒に近付いたので約一ヶ月振りに廿五日午前十一時退陣し大使館に入った、廿五日同大使は來月四日上海を出發香港經由爪哇に療養に向ふ豫定である

南京大爆撃

▲午前の空襲 上海【九三】海軍航空隊は廿五日午前十時より正午迄三回に亘り南京の大爆撃を敢行した、第一陣高橋大尉の率ゆる部隊は市黨部、市政府を爆撃粉砕した、第二陣田中大尉の率ゆる部隊

空襲

▲報道班發表 上海【九三】(第三艦隊報道班午後八時半發表)海軍航空隊は本日五回に亘り南京の空襲を敢行し敵に多大の損害を與へたがその状況左の如くである

中央通信、放送局爆撃

▲中央通信、放送局爆撃 上海【九三】南京政府の國家通信機關にして且つ抗日宣傳機關たる中央通信社南京本社は我が海軍航空隊の廿五日の南京爆撃に際し機銃三個を喰つて社屋を殆ど全損通信發行困難に陥つたが今日の各新聞に緊急設置として依然通信發行は繼續する旨の通電を發表した、なほ中央放送局も爆撃されたので新しう金陵放送局(XGN)をして放送に當らしめることになつた

南京大爆撃

▲午前の空襲 上海【九三】海軍航空隊は廿五日午前十時より正午迄三回に亘り南京の大爆撃を敢行した、第一陣高橋大尉の率ゆる部隊は市黨部、市政府を爆撃粉砕した、第二陣田中大尉の率ゆる部隊

空襲

▲報道班發表 上海【九三】(第三艦隊報道班午後八時半發表)海軍航空隊は本日五回に亘り南京の空襲を敢行し敵に多大の損害を與へたがその状況左の如くである

中央通信、放送局爆撃

▲中央通信、放送局爆撃 上海【九三】南京政府の國家通信機關にして且つ抗日宣傳機關たる中央通信社南京本社は我が海軍航空隊の廿五日の南京爆撃に際し機銃三個を喰つて社屋を殆ど全損通信發行困難に陥つたが今日の各新聞に緊急設置として依然通信發行は繼續する旨の通電を發表した、なほ中央放送局も爆撃されたので新しう金陵放送局(XGN)をして放送に當らしめることになつた

▲報道班發表 上海【九三】(第三艦隊報道班午後八時半發表)海軍航空隊は本日五回に亘り南京の空襲を敢行し敵に多大の損害を與へたがその状況左の如くである

南京大爆撃

▲午前の空襲 上海【九三】海軍航空隊は廿五日午前十時より正午迄三回に亘り南京の大爆撃を敢行した、第一陣高橋大尉の率ゆる部隊は市黨部、市政府を爆撃粉砕した、第二陣田中大尉の率ゆる部隊

を爆撃粉砕し、第二次部隊は午前十一時頃田中大尉指揮して下關電燈廠を爆破火災を生ぜしめ、第三次は正午頃上海戦の勇士崎長大尉指揮して無電臺、財政部を爆撃せしめ、第四次は午後四時四十五分下關江邊車站及び東浦臺、軍政部を、更に田中大尉は再度第五次空襲部隊を指揮して午後五時交通兵團兵工廠などを爆撃し更に別の部隊は各防空砲臺及び江北車站の軍需品倉庫を爆破炎焼せしめた、本日五回に亘る南京大空襲に敵機は恐れて遂に姿を見せず只防空砲火のみ盛んに我を射撃したが我が海軍航空部隊は敵弾を繰りて自由自在に南京上空を亂舞徹底的に爆撃を敢行した

▲食き犠牲 上海(九・五) 本日の第七次南京空襲に際し田中部隊の一員として参加した坂本大尉は敵の高角砲の爲名譽の戦死を遂げた

▲ソ聯大使館の地下室 上海(九・五) 我が海軍航空部隊の南京空襲に對してソ聯大使館員はボゴモフ大使以下全員止つて我が長谷川第三艦隊司令長官の避難勧告に應じなかつたが外人側情報によるとソ聯大使館は豫て日本空軍の空襲を豫想して一萬二千弗を費してコンクリートで堅固なる地下室を大使館内に構築し空襲警報と共に避難したものでソ聯の用意周到振りに驚いてゐる

▲江陰要塞爆撃 上海(九・五) 寺島大尉及び西岡中尉の率ゆる一部隊は午前十時頃江陰の要塞を襲撃し同砲臺及び兵舎に爆弾の雨を降らし更に上流三十哩に艇泊せる巡洋艦一隻を爆撃之れに火災を生ぜしめた

上海(九・五) (第三艦隊報道班午後八時半發表) 寺島大尉の指揮する海軍航空部隊は午前十時分頃江陰要塞を爆撃し更に

▲廣東大爆撃 香港(九・五) 我が海軍機は廿五日午前四時四十分廣東市上空に現れ江西工業地帯に爆撃を投下し地上の高射機關銃の猛射を尻目に約一時間飛行し無事歸還した

▲海軍省公報(午後一時四十五分發表海軍省副官談) 廿五日我が海軍航空部隊の活動左の如し

一 南京空襲 ○○海軍航空部隊は前日に引續き午前午後連日四回に亘り夫々數千機を以て南京を襲撃し軍政部、交通兵團、北極閣防空砲臺、無電臺等を爆撃し之に甚大の損害を與へたり

二 廣東方面空襲 ○○海軍航空部隊及廣東方面を襲撃し白雲航空學校、虎門飛行場、軍官學校を爆撃し之に多大の損害を與ふると共に岐山上流に於て敵砲艦一隻を爆撃し之を擱坐せしめたり

三 江陰方面敵艦空襲 ○○海軍航空部隊(○)機は江陰附近に於て敵海折型巡洋艦及逸筒型砲艦各一隻を爆撃擱坐せしめたり

▲航行遮斷狀況 波高き支那海海上砲艦千五百隻に亘り航行遮斷の重大使命を帯び奮闘を續けてゐる○○艦隊旗艦○○は廿五日正午○○に入港吉田司令長官は左の如く語つた

出動以來約一ヶ月航行遮斷の重大使命に任じし時は海州連雲港の重要港を鳴撃したが愛國の赤誠に燃える各將兵は好く活躍して呉れた、私は日露戰役にも參加したがわが將兵の士氣はますます向上しつゝあり、世界に絶大な賞讃を博するも當然のことと考へる、今回の航行遮斷は實に立派に行はれてゐるがこれは一に天皇陛下の御稜威によるもので感激に堪へぬ次第である、この航行遮斷の支那に與へる影響は勿論重大で着々効果を奏し支那汽船は勿論海上にはジャンクの影響すら見えない、わが戦間員は平素の猛訓練により奮戦と雖も何等精神の弛緩が見えず頼もしい限りだ

▲犧牲二勇士に感狀 ○○(九・五) 去る廿二日甯州空襲に於て壯絶無比の戦死を遂げた我が海軍航空部隊阿部一等航空兵曹、櫻川一等航空兵の死に對し○○艦隊吉田司令長官は左の如き感狀を授與した

本日の甯州空襲に於ける○○號機は急降下爆撃に轉するや間もなく敵弾により火を發し火桶に包まれ急降下の姿勢の儘目標に突撃せり、同機搭乗員阿部一等航空兵曹、櫻川一等航空兵は死に直面して尚ほ攻撃意思を捨てず、沈着急降下の操縦をなし愛機と共に肉弾爆撃を執行して壯絶なる戦死を遂げた、その行爲は軍人の龜鑑として本職はその忠勇を表彰す

昭和十二年九月廿日

○○艦隊司令長官 吉田 善 吾

▲米は遮斷區域航行を通告 ○○(九・五) 先般支那空軍がダラー汽船プレシデントフーパー號を爆撃し死傷者を出した事件及び我が艦隊の支那沿岸交通遮斷等を考慮したアメリカ當局は將來發生すべき國際間の紛争を未然に防止する爲め今後アメリカ汽船の支那沿岸へ出入する場合は諒み日支兩國に通過通知をなすに決定した、現在支那沿岸を航行する第三國船舶は船腹の兩側に巨大な自國の國旗を記して國籍を表明してゐるが英國船舶が斷然多く米、佛、伊等が之に次いで居る

▲蔣介石外人記者に泣訴 上海(九・五) 蔣介石は宋美齡夫人の通譯で本日外人記者と會見し一問一答を行つたがその内容左の如し

問 米國の對支政策を如何に思ふか、特に支那に對する軍需品の輸送を禁止したる事及び去る廿一日本の南京空襲に對し米國大使が米國軍艦ルソン號に避難した事についての所見如何

答 米國の現在の態度は米國の眞の態度とは考へられない、米國民及び米國政府は過去に於て常に正義法律及び秩序の爲に闘ひ來つた中國と米國との長き

友交關係に鑑み自分は米國々民が日本の侵略に對する支那の闘争に就き充分の同情と支援を支那に與へらるゝものと信する、米國の片手落ちな軍需品輸送禁止及び米國大使の軍艦への避難等に就ては君達記者諸君は現在眼のあたり現地の事情を見て居られるのであるから自分は諸君が自分と同じ所感を有たれて居る事と信する

問 日支紛争に關し米國並びに列強の責任如何

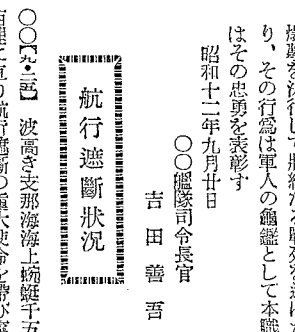
答 中國は自國の生存の爲のみに戰つてゐるのではない、中國の戰ふのは九ヶ國條約と聯盟規約の精神を堅持せんがためである、然るが故にこの中國の闘争に於て中國を援護する事はこれ等諸條約の縮盟國總ての義務である、九ヶ國條約と聯盟規約が有効なる限り日支紛争に關する縮盟國の態度に就ては中立の問題は問題となり得ざるべきである、特に米國はワシントン會議の主權國であり九ヶ國條約及び聯盟規約の成立に主動的役割を演じた國であるからして現在の事態に於ける米國の責任は特に重かるべきで米國は中立的であることは有り得ない筈である、然るに列強が現實に採りつゝある態度は驚くの外なく右諸條約上の義務を懈怠のみならず自ら縮盟國たる諸條約が一片の反古化されつゝある事を傍觀しつゝあると云ふべきである

問 聯盟から中國は多くを期待するか

答 正義は最後の勝利を得ると信する

問 日支間の敵對行為はどの位續くと思ふか

答 日本は侵略に對する中國の抵抗は時間的制限を持たぬ、日本の侵略が繼續する限り又九ヶ國條約及び聯盟規約の規定が實行されぬ以上日支間の敵對行為は續くより外はないであらう、中



米は遮斷區域航行を通告 ○○(九・五) 先般支那空軍がダラー汽船プレシデントフーパー號を爆撃し死傷者を出した事件及び我が艦隊の支那沿岸交通遮斷等を考慮したアメリカ當局は將來發生すべき國際間の紛争を未然に防止する爲め今後アメリカ汽船の支那沿岸へ出入する場合は諒み日支兩國に通過通知をなすに決定した、現在支那沿岸を航行する第三國船舶は船腹の兩側に巨大な自國の國旗を記して國籍を表明してゐるが英國船舶が斷然多く米、佛、伊等が之に次いで居る

蔣介石外人記者に泣訴 上海(九・五) 蔣介石は宋美齡夫人の通譯で本日外人記者と會見し一問一答を行つたがその内容左の如し

問 米國の對支政策を如何に思ふか、特に支那に對する軍需品の輸送を禁止したる事及び去る廿一日本の南京空襲に對し米國大使が米國軍艦ルソン號に避難した事についての所見如何

答 米國の現在の態度は米國の眞の態度とは考へられない、米國民及び米國政府は過去に於て常に正義法律及び秩序の爲に闘ひ來つた中國と米國との長き

▲航行遮斷狀況 波高き支那海海上砲艦千五百隻に亘り航行遮斷の重大使命を帯び奮闘を續けてゐる○○艦隊旗艦○○は廿五日正午○○に入港吉田司令長官は左の如く語つた

出動以來約一ヶ月航行遮斷の重大使命に任じし時は海州連雲港の重要港を鳴撃したが愛國の赤誠に燃える各將兵は好く活躍して呉れた、私は日露戰役にも參加したがわが將兵の士氣はますます向上しつゝあり、世界に絶大な賞讃を博するも當然のことと考へる、今回の航行遮斷は實に立派に行はれてゐるがこれは一に天皇陛下の御稜威によるもので感激に堪へぬ次第である、この航行遮斷の支那に與へる影響は勿論重大で着々効果を奏し支那汽船は勿論海上にはジャンクの影響すら見えない、わが戦間員は平素の猛訓練により奮戦と雖も何等精神の弛緩が見えず頼もしい限りだ

▲米は遮斷區域航行を通告 ○○(九・五) 先般支那空軍がダラー汽船プレシデントフーパー號を爆撃し死傷者を出した事件及び我が艦隊の支那沿岸交通遮斷等を考慮したアメリカ當局は將來發生すべき國際間の紛争を未然に防止する爲め今後アメリカ汽船の支那沿岸へ出入する場合は諒み日支兩國に通過通知をなすに決定した、現在支那沿岸を航行する第三國船舶は船腹の兩側に巨大な自國の國旗を記して國籍を表明してゐるが英國船舶が斷然多く米、佛、伊等が之に次いで居る

▲蔣介石外人記者に泣訴 上海(九・五) 蔣介石は宋美齡夫人の通譯で本日外人記者と會見し一問一答を行つたがその内容左の如し

問 米國の對支政策を如何に思ふか、特に支那に對する軍需品の輸送を禁止したる事及び去る廿一日本の南京空襲に對し米國大使が米國軍艦ルソン號に避難した事についての所見如何

答 米國の現在の態度は米國の眞の態度とは考へられない、米國民及び米國政府は過去に於て常に正義法律及び秩序の爲に闘ひ來つた中國と米國との長き

國は日本の暴力が中國に壓迫を加へる事を甘受するものでない、従つて何時になつたら敵對行為が熾むかと云ふ事は日本及び列強の態度に懸つてゐる國際法及び人類の法を尊厳せざる國民は決して永久に存續し得るものでない

問 南京爆撃の結果如何

答 南京爆撃は戦局に影響するところ皆無である、唯これによつて中國國民及び世界人類は日本の野蠻戰意を益々認識するわけである

問 江陰砲臺爆撃の結果如何

答 日本空軍による江陰の爆撃は江陰の支那要港を破壊しよつて日本軍艦を上流に溯航せしめ南京の砲撃を可能ならしむる目的で爲されたものと考へるが江陰及び其の附近の軍事施設は何等損害を蒙らなかつた

問 日本の攻撃に對する支那の持久力如何

答 今度の戦争が如何に長く續くとも中國は無限に抵抗しうるものと信ぜられる、中國の實力と資源とは全く無際限である

問 日本海軍による沿岸航行遮斷の結果如何

答 日本海軍による中國近海の航行遮斷は第三國に對し重大なる影響を及ぼすかも知れぬが、中國の抵抗力に對する影響は大ならずと信ぜられる

支那人の歸國二千八百名

【九二五】支那事變以來歸國する支那人の數は次第に増加し横濱市中華會館に登録された歸國者の統計には次の如く現はれてゐる

事變發生直後七月十日クローリツチ號で五十一名が乗船歸國したのを最初として各便船毎に五十名、六十名と事變の擴大に伴つて八月中にはエム・ルシア號で二百五十七名の大當歸國國があり九月に入つてからは俄然その數を増しエムルシア號で二百八十二名、クローリツチ號で二百四名、ジャックソン號で百四名、エム・ジャパン號で百八十九名、ナンキン號で百廿一名となつてゐる、なほ横濱驛から出發神戸で乗船歸國した數は百八十五名で總計二千八百卅四名に上つてゐる

帝 戰死將校氏名

【廿五日發表】 滄州攻撃に おける戦死將校左の如し ▲長野(義)部隊 准尉 岡本 春雄

國民支援

大學教授聯盟の時局對策

【九二五】全國大學教授聯盟は廿五日午後一時丸の内日本工業クラブに全體委員會を開催會長北島多一博士、理事長小山雄道、水野鍊太郎、山岡萬之助、大山卯次郎、福土政一、高島平三郎他四十餘名出席 一支那の對日宣戰宣告後の我が國に於ける處置 一 支那に於ける國際法上の問題 一 勝戦後の思想對策及經濟對策 等に關して意見交換の末 一 對支政治外交研究委員會(主席大山卯次郎法博) 二 對支産業經濟研究委員會(主席土方成美經濟博) 三 對支文化工作研究委員會(主席田中義昭) 四 國民精神總動員研究委員會(主席田中寬文博)

の四委員會組織を申合せまたこの際日支大學教授文化協會を組織することとし日本側委員長に水野鍊太郎博士を推薦支那側委員長には湯陽和北平大學總長を推し

就任方を打電した、また同盟盟は近く支那事變の真相と日本の立場を説いた歐文パンフレットを發刊世界各國の大學教授及び知識階級人に送る アルゼンチン邦人の獻納 プエノスアイレス【九二五】アルゼンチン在留日本人の愛國熱は支那事變の進展と共に漸次白熱化しアルゼンチン日本人會は最近愛國機一臺の獻納を決議本年十二月末迄に右資金の募集を行ふこととなつた、又婦人部によつてつくられた慰問袋七百個は十月二日出帆のありぞな丸で母國に送られる

海外動向

英保守黨はポイコトト 反對 ロンドン【九二五】日支紛争の深刻化と共に英國自由黨労働黨内には對日經濟ポイコト乃至經濟制裁の主張が漸次高まつて來てゐるが保守黨方面では對日制裁によつてツツリニ首相のニチオビア政略を阻止し得なかつた許りか英國の對外貿易を不況に陥れた事實を想起して斯る手段に對反對の態度をとつてゐる、政府でも目下の處對日經濟ポイコトなどは全然考慮してゐないが自由黨、労働黨が騒ぎ出せば保守黨は斷乎反對の立場を表明するものと見られる

英共產黨決議

モスクワ【九二五】タス通信社及びブラウダ紙のロンドン特派員は廿五日第三インターの支配下にある英國共產黨中央執行委員會が日本海軍の支那爆撃につき英國の労働黨と全國各労働組合に左の決議を送つたと報道してゐる 一 支那民衆の對日抗争と共同する爲め全面的闘争を展開すべし 一 戦禍に苦しんでゐる支那民衆醫療の爲め衛生團を支那へ派遣すべし 一 英國政府に對し米國政府と共同聯盟規約の制裁規定發動方を要求すべし 一 日本の支那侵略反對意志表示の爲めロンドンで大衆運動を行ふべし 一 英國領土内諸港に於ける日本船舶の荷役罷業を行ふべし 一 支那民衆擁護の國際運動開始の爲め特別委員會を召集してアムステルダム、第二インターと對策を協議即時共同戦線を結成すべし

米艦隊殘留に平和團抗議 ワシントン【九二五】アジア艦隊司令長官ヤネル提督が日支戦間が繼續される限り艦隊を支那近海に殘留させる旨聲明したことは米國の平和團體に異常な衝動を與へ全國の六平和團體は廿五日旅行中のルーズヴェルト大統領に對し重ねて中立法の發動を要望左の如き電報を發した アジア艦隊司令長官ヤネル提督が米國居留民を保護する爲め飽迄支那領海に殘留する旨聲明したことに對し強硬に抗議せざるを得ない、疊に大統領の發した聲明にも明かな通り戰間地帯にある米國居留民を保護し得ないことは明かな事實ではないか、日支兩交戰者が砲火を交へてゐる地帯に米國艦隊を殘留せしめることは結局米國を極東の紛争に捲込み米國人の生命を戦争の危険に曝すことにならう

邦字新聞社へ抗議 ロサンゼルス【九二五】廿五日ロサンゼルス州の加州毎日新聞社に反戰同盟の會員約五十名が押しかけ社長藤井整氏に面會を求め日支事變に關する同紙の報道振りに抗議を爲し社の入口に約二時間頑強ついでやがらせのビケットを行つた

リトヴィノフ、ソ支密約を否定 ジネネーヴ【九二五】ソ支不可條約に隨伴する密約説に付ソヴェト外務人民委員リトヴィノフ氏は廿五日アヴァス通信社記者に對し之を否定して左の如く述べた ソ支不可條約の背後に軍事密約が存在するとの報道が東京からまことしやかに傳へられてゐるが全く馬鹿氣きつた捏造で問題とするに足らぬ

駐露支那大使暗躍 モスクワ【九二五】モスクワ駐露支那大使蔣廷黻氏は支那事變發生以來頻りに暗躍を續けてゐるが廿二日モスクワを出發いづれかへ姿を消した、行先は不明だが南京政府と何事か重要打合せを遂げる爲歸國の途に就いたのではないかと見られる

兩獨裁王日支問題會議 ベルリン【九二五】ヒトラー・ムッソリニ兩獨裁王は廿五日ミュンヘンの總統邸に於て約一時間に亘り第一次會議を行つたが隨從するに右會議に於ては日支紛争並に之を契機とするソヴェトの對支行動積極化問題も重要話題をなしたと言はれる、會議の内容は勿論不明であるが消息通の見解によれば獨伊兩國は從來歐洲文化の擁護を力説し極東に有色人種の大帝國の出現を喜ばぬ建前であり且つ兩國は對支貿易を重視してゐるが此の際防共の大義に則り極東紛争に對しては事態が日本側に有利に展開することを希望するに傾いてゐると言はれる

北 平津情勢 天津教育局排日圖書沒收 天津九二五 天津自治會教育局では北支廢止後に於け

九月廿六日

る思想浄化の爲め市内各圖書館、講堂處
閱報處等に備へられた排日的三民主義的
又は日本との國交を阻害すると認められ
る書籍、雜誌、新聞紙等を沒收焼却しこ
れら排日文書館の根柢を期することとなり
廿五日各圖書館その他に對しこれら圖書
の提出方を命じた

天津の清滯祝賀會

天津(九三) 保定滄州涿州祝賀會は秋晴
れの廿六日午後二時より日本租界大同公
園で民團、共益會、在郷軍人分會共同主
催の下に盛大に舉行された、この日在郷
軍人、國防婦人會男女生徒、一般居留民
約七千會場を埋め來賓として軍幕僚、久
保田海軍武官、堀内總領事、支那側より
治安維持會高凌霨委員長等出席定刻閉會
の辭に次いで國旗掲揚、國歌合唱、宮城
遙拜の後居留民側の皇軍出動感謝文及び
保定滄州涿州祝賀文の朗讀ありこれに對
し寺内軍司令官謝辭を川邊部隊長代讀最
後に兩陛下日本帝國及び帝國陸軍の萬歳
を齊唱同三時過ぎ散會した

寺内司令官謝辭

皇師大義の下を出て北支の野に轉戦する
や諸兵戮力直に敵の綏寧を攻略し城塞を
蹂躪し恃榮驕慢の暴兵爲に潰滅四散し保
定滄州並涿州等威名中外に赫耀し道風
四隣に治むべきの海に故ありと謂ふべし
而も兵馬未だ一日も休まず凱歌高唱の輝
武勳を内に包みて勇進又勇進萬歳を排し
て皇威を異域に伸べ東亞の福源を盡盡し
て友隣和平の丕基を不拔に培はんとす
蓋し之れ超史的偉業たり、これ備に
大元帥陛下御機威の致させ給ふ所將兵協
力にて

上 聖旨に應へ下國民の寄託に副はむ事
を期すのみ、本日祝典に臨み本司令
官は特に國民統後の支役を深謝し就中今
次事變の渦中に在りて老幼を擧げて克く

皇軍に協調しつゝある同胞各位の熱誠に
對し衷心感激に堪へざる所なり
今や我等の日本は國運民命を賭して東洋
平和確立の聖業完全の陣頭に立りて、各
位宜しく之を我光輝ある史訓に照らし皇
威入紘を被ひ皇極大地に驅つた日亦豈
きにあるを想ひ翼くば其に備に堅忍持久
各々臣子の分を竭し以て天壤無窮の皇運
を扶翼せられんことを一言無辭を陳べて
謝辭となす

昭和十二年九月廿六日
天津軍司令官
伯爵 寺内 壽一

平漢 戰 況

支那軍我が南進を阻止

天津(九三) 皇軍の歴史的勝利を以て北
支戰局はその最高點に達し保定滄州涿州
後僅か二日にして我軍は早くも河北平原
中央部深く進出敵に最後の殲滅を與ふべ
き戰機は愈々熟しつゝある、即ち平漢津
浦兩線に於て敵は我が空軍の猛攻に完膚
なき迄打ちのめされ瀋陽、瀋陽、孫
連仲、蔣直系中央軍衛立炮の殘敵は南方
平原中央部に逼りし新たる中央軍の精
銳及び商賣軍と共に我が軍の南進を阻
止せんとし河間、肅寧、獻縣、阜城等の
中央部戰部要地に堅壁を構築し大軍を配
して戰備を整へつゝあるが我が軍は廿五
日既に滄州南方の娘々河の橋を突破し保
定方面ではその南方一帯の敵を驅逐就中
津浦線右翼部隊の進出は目醒しそその先
鋒部隊は南趙扶鎮より西南に矛を轉じ疾
風の如く廿六日遂に河間東南方五里の沙
河橋に迫つて中央部平原に徹敵を叩開し
て居る、一方我が空軍も連日出動五十六
兩日には數度互る河間、獻縣、阜城そ
の他の敵主陣地に猛襲を加へて敵を極度
に潰亂させつゝあり、中央河北平原に於

ける敵に最後の止めを刺す我が軍の全線
攻撃の機刻々と近づきつゝあり
平漢線總指揮は劉峙
天津(九三) 平漢線方面支那軍の總指揮
は劉峙が就任してゐる規模で保定附近に
於いて我が軍の猛襲を阻止せんとした敵
は劉峙の率ゐる第二師第十七師第十八師
と判明した

我軍新築に驚速

天津(九三) 本日午前一時頃我が木村部
隊は平漢線鐵路により新築(保定西南方
凡そ廿里)に突進し激戦の後敵を走らせ
敵の裝甲車一輛、機關車二輛、貨車百輛
トラック五の鹵獲品を得た

津 浦 戰 況

敗退軍追撃

滄州(九三) 廿五日後滄州南方八軒の
娘々河に據つて抵抗する敵を一氣に擊破
した長野部隊は敗退する敵を更に猛追す
る一方赤赤部隊は連河西側に、沼田部隊
は津浦線左側の殘敵を驅逐しつゝ依然進
撃を續けて居る、斯くて滄州陣地を死守
して彈丸も盡盡し食糧も缺乏した敵軍は
戰意全く喪失し抵抗する所か夜に日をつ
いで敗走を續けて居り津浦沿線の敵軍は
全く總崩れとなつた

天津(九三) 津浦線方面の我が軍は

天津(九三) 津浦線方面の我が軍は
大城 攻略後子牙河に沿つて猛進を續け廿五日
劉合庄橋を占據したが更に西南に同地方
の濕地帯を肩しながら中原中央部深く果
敢な猛進を續け遂に廿六日午前十時半頃
沙河橋の線に達した、敵は子牙河を利用
して堅陣を構へ頑強に抵抗壯烈な激戦を
展開してゐる、同地は河北中原の要衝河
間を距ること僅か東五里である
天津(九三) 子牙河左岸地區の敵を猛進

中の我が助川、野田、大野、片桐各部隊
は本日午前九時卅分沙河橋(大城鎮西
南方凡そ十キロ)附近の敵を攻撃目下激
戦中なり

支 南 中

伏見宮博義王殿下は第三驅逐隊司令と
して麾下所隊を指揮せられ重要任務に
御從事中の所昨廿五日午後黃浦江浙江中
上海日本郵船株式會社浦東棧橋附近の倉
庫内に據れる敵を襲撃攻撃中午後三時四
十分頃敵陣のため長くも御左手に御微傷
を負はせ給ひ又部下に若干の戦死傷者を
生じたるも惜へ御奮戦に敵を制壓し當
面の御任務を完ふせられたり、殿下には
御負傷後も極めて御元氣に渡らせられ引
續き艦上に於て指揮をとられつゝあり

上海 戰 況

伏見宮博義王殿下
御負傷
【九三】(海軍省午前十一時
半公表)

堅陣漸攻

▲開北爆撃 上海(九三) 臘月夜に乘じ
敵艦は今曉午前二時十五分頃再び來襲し
たが我が防禦砲火を浴びること約十五分
にして遁走した

▲江鎮鎮攻撃 上海(九三) ○○部隊の
山田部隊は悉々廿六日午前十時一齊に砲
門を開き敵軍が死守する堅壁江鎮鎮に向
つて砲撃を開始労働大學附近の敵陣は火
災を起した

▲王九房左翼攻撃 上海(九三) 石井部
隊の一部は廿四日來王九房左翼の敵を攻
撃中であるが同方面の敵陣地は日露戦役
の二〇三高地にも比すべき堅壁で彼我尙
激戦中であるいま迄に判明せる敵の遺棄
散弾は實に五百に達し他に百六十師中隊
旗一旗、チエツコ式機關銃三十餘、小機
銃三挺、實彈二萬三千餘、拳銃三挺を鹵

▲第三艦隊報班班話
浦東側の殘敵は今なほ後を斷たず諸國人
の建築物の陸に隠れ或は便衣を着して黃
浦江上の我が警備船、共同租界の無辜な
居留民又は上海入港の各國艦船に對し
依然卑劣な射撃を續けて居り我が第三
艦隊の艦船は海軍航空隊と協力して日夜
監視の眼を離さず此の執拗なる敵に對し
陣營の手を加へてゐるが昨日も終日此の
支那軍招商局下棧附近及び日本郵船、東
棧附近より我が艦船に對し射撃を行ひ我
が艦隊は直ちに應酬して此の敵を紛碎し
て沈没せしめた、當時恰も江上警備中の
伏見宮博義王殿下が司令として親しく指
揮し給ふ第○驅逐隊も他艦と協力して猛
烈なる砲撃の一齊射撃を行つて美事なる
戦果を擧げたが殿下には金枝玉葉の御身
を以つて終始最も危険なる艦橋に立たせ

られ敵陣雨下の全隊を指揮遊ばされた、
同隊の奮闘は一段と目覺まし忽ち敵の
密襲部隊を蹴散らして此の日第一の戰勳
と拜察し參られた、此の日の敵の射撃は
今までの戰團中最も猛烈を極め飛彈は殿
下の御身近に飛來炸裂し御微傷遊ばされ
たが御微動だにもあらせられず始終美事
なる御指揮を續けさせられ此の激戦の後
寸暇も無く直ちに○○方面に御出動遊ば
された、軍令部總長とし夙夜海軍作戦を
御總覽あらせられる伏見宮殿下は過ぎ
し日露戦役には廣艦三笠の分隊長として
親しく彈丸雨飛の中に御奮戦遊ばされ今
次事變には博義王殿下を始め華頂侯、伏
見伯、御一統擧げての第一線部隊に御參
戰にて國民一同と共に誠に恐慄感激の至
りに堪へないところである

獲した

▲劉家行攻撃 上海【六】云 敵の死守する瀋陽クリクを攻略更に林家宅、歸家衝を陥入れた艦隊部隊の砲鏡は潰走する敵を追撃しその一部は王殿宅を確保し更に破竹の勢を以て前進中であるが一方何陋里、都家宅、南朱店に進入した敵を南方に壓迫し敵は我猛攻撃に堪え兼ね續々平家橋、劉家行方面に潰走し兩地點を結ぶ道路上に鐵線網を張りめぐらして集結しつつあり、これに對し武田部隊は猛烈砲撃中である、一方花田村に於ては星部隊も艦隊部隊の右翼に沿つて前進中で劉家行陥落も目前に迫りつつある

▲沈家橋占據 ○○【六】云 淑里橋東北地區に進出した快速永津部隊は總攻撃第六日目早くも羅店鎮劉行鎮を結ぶ街道に向つて急速前進を行ひ六クリクを扼する敵の要害を次から次と奪取しつつ廿六日正午西錢宅、金家宅、沈家橋前面に肉薄午後二時半我が砲兵の掩護の下に突撃ラツパと共に喊聲を擧げて沈家橋に殺倒激戦一時前後三時半途に街道を乗り越え沈家橋の要害を占據した

▲報道班發表 上海【六】云 (午後九時) ○○報道部發表 劉家行東側附近の敵陣地攻撃中の○○部隊は昨夕來その右翼方面に於て金田、中島部隊は歸家衝附近の敵陣地に自兵を以て突入格闘の後敵を西方に潰走せしめ本日更にその前面敵陣地を突破し上海街道に肉薄せり、羅店鎮方面に於ては我が○○部隊は昨夕來激烈なる攻撃を續行し○○部隊を以て上海街道に沿ふ地區を南方に戦果を擴張し○○部隊を以てする東王宅、劉家宅方面よりの攻撃と相待つて逐次當面の敵を壓迫しつつあり

後方偵察苦力逮捕 上海【六】云 虹口及び楊樹浦地域に財産

を獲してゐる外人に對し我が總領事館において廿六七兩日を限り財産の搬出を許可したところ本日正午頃ガデン・プリツヂにおいて某外人の引率し來つた支那人苦力のうち三名の便衣隊員を發見し警備中の憲兵隊員が逮捕せんとしたところ一名は矢徑に逃亡蘇州河に飛び込んだ、彼等は浦東にある支那軍隊の關係者である所持してをり便衣隊なること懸然たるものあり我が軍後方の偵察を目的としたもので逮捕した二名は目下憲兵隊において嚴重取調中である、尙右事件により總領事館では今後當分支那人苦力を虹口地區に入れざる事となつた

上海情勢

邦人銀行當座勘定開設

上海【六】云 當地邦人銀行六行代表者は廿六日午後二時より正金銀行に會合時局對策につき協議の結果廿七日より邦人銀行開團による當座預金勘定を開設するに決定した、右は今日まで屢々計畫され乍ら種々の事情に依り殆んど縮退されて居たものであるが今回の事變を機轉に之が實現を見たのは全く阜草の威力發揚と在留邦人多年の勢力扶植の賜で當地邦人銀行開設以來未嘗有の英斷であつて事變後の建設計畫の第一歩である、此の結果今後開建による取引旺盛となり圓の小切手が自由に流通を見る事となる譯で邦人の商取引は頗る圓滑となるのみならず更に一段と促進されるに至るであらう

南支情勢

支那軍物資缺乏に悩む

香港【六】云 我軍のため大打撃を受けた汕頭、潮州市民は近郊に逃避して容易に復歸し來らず、爲に支那軍も物資の缺乏

に困惑し廿四日百五十五師長李漢魂の名を以て兩市市長に對し來る廿八日迄現業に復歸せざるものは治安の紊亂者として財産の沒收を爲し處分すべしとの致命を發した、又汕頭の嶺南防空司令に對して十二ヶ所の空襲避難ヶ所の建設を命じ來月十日までに完成せしめるやう命令を發した

空襲

早曉廣東爆撃

香港【六】云 廿六日午前零時半と午前三時半の二回に亘り我が空軍は廣東を空襲同地軍官學校其他軍事機關に爆撃を加へて歸還した

浙贛鐵道爆撃

上海【六】云 (第二編隊報道班發表) 一 廿六日正午我が海軍航空隊が浙贛鐵道要地を爆撃したがその詳報左の通り
金華鐵路及び貨車數百
衢州停車場、鐵路及び貨車數十輛
上饒鐵路、貨車數百
金江鐵路、貨車數百

海口砲臺爆撃

香港【六】云 我が海軍機は廿六日午前十一時海南島海口上空に飛翔次いで我が軍艦○隻港外に現はれ海空評應して空口砲臺を爆撃敵に大打撃を與へて引揚げた

虎門砲臺爆撃

香港【六】云 廿五日午前我が海軍機○隻は海上警備の爲珠江口を飛翔中支那海防艦を發見しこれに爆撃を加へ更に午後一時十五分虎門砲臺上空に現はれ敵の反

撃を物とせずこれを空標更に附近村落中にある支那軍の假兵舎に爆撃を授け燒拂ひ無事歸還した

泊頭鎮、德州爆撃

○【六】云 廿六日午後我○○部隊の○○機は澄みわたつた碧りの秋色を衝き銀翼に陽光を浴び乍ら悠々泊頭鎮、德州方面に出動右兩要衝へ各爆撃○○個を投下津浦線上の敵軍の作戦に多大の支障を與へた、同部隊は歸還の途次我地上部隊に通信筒により敵情を報告し無事○○根據地に歸還した

外人記者團に爆撃説明

上海【六】云 本海軍武官は本日外人記者團との會見に於て我海軍航空隊の爆撃は支那側が外國に宣傳しつゝあるが如く一般民衆に危害を及ぼすやうなことなき旨を項目を擧げて闡明した、即ち

一 爆撃目標は軍隊、軍事工場、軍事關係、政府關係、軍事關係工場、通信運輸線なり

二 第二國人居住地域及第三國人の財産並に一般支那普通人民を目標とせず

三 我が爆撃の命中正度(正確度)の良好は列國之を認め又編隊爆撃は目標を誤らざる爲めであり且つ南京空襲に際して相當の犠牲を拂つたのも目標以外に損害を及ぼさざる様注意した爲めである

とその爆撃實施前の周到なる考慮を詳述し又外國人に對する避難警告の眞意を明かにし支那民衆に對しても事前に通告を發してゐること等を擧げ最後に支那側が爆撃免除物件を軍事上利用しつつある非人道的好景を指摘した

國民政府

八月中全支貿易激減 上海【六】云 海關發表によれば八月中の全支貿易は事變の全面的擴大により著しき打撃を蒙り輸出入合計一億〇〇六十八萬八千元と前月に比し五割二分方の大激減を示してゐる、輸入總額は五千五百四十六萬五千元と前月より六千八百六十七萬五千元減(五割五分減)昨年同月より一千五百廿六萬七千元減、輸出總額は四千五百廿二萬三千元と前月に比し四千三百五十五萬八千元減(四割八分減)昨年同月に比し一千〇四十四萬四千元減と何れも激減して居り金塊輸入は三萬七千三百卅七元、輸出百一萬九千元、銀塊輸入皆無、輸出七百九十七萬三千元に達し尙九月中の貿易は殆ど完全に停止狀態に陥つて居り國庫の最大財源たる關稅收入の激減は國民政府財政上に甚大なる打撃を與へてゐる

香港流入銀塊二億四千萬弗

香港【六】云 日支事變發生以來廣東を始め支那與地から當地香港銀行本店に輸送せられ來る銀塊は夥しい數に達してゐるが去る十五日より廿二日まで四回に亘り八千四百餘箱金額にして四千二百萬弗の銀塊が中部支那から粵漢線經由香港に到着した、之等洪水の如く流入する銀塊は香港上、東亞、中法、オランダ等各銀行の地下室に收められ既に總計二億四千二百萬弗に達して居ると見られてゐる

全支に亘る食糧不安

上海【六】云 過般南京政府は對日長期抗戰に對處する爲め食糧缺乏の懸念の策として糧食調節委員會の機關強化を圖り無謀に等しい在員登記辦法を制定して國民怨嗟の的となつて居る折柄最近支一帯

を襲ひつゝある未曾有の長期降雨は農作物の分蘖作用を著しく阻害するに至り之が延びては收穫期を前にして米穀額の減收確實となつた、依つて目下國民政府が大重になつて居る糧食缺乏應急対策も水泡に歸し民衆の不安は愈々増大しつゝあり、此の儘推移する場合は今冬前には支那全土に亘つて一大食糧不安より暴動勃發は免れない形勢となつた

英賠償金で救國公債購入
上海【六三】 中央通信社の報道によれば英支團匪賠償金委員會は賠償金の中から卅萬元を割いて救國公債に應募することに決定したと傳へられる、英國の賠償金は支那に於ける建設並に教育事業に使用されることになつてゐるが今回の公債購入は教育費の一部を以て行はれることとなつた

保定、滄州陥落に負荷
上海【六三】 支那側は滄州、保定の陥落をひた隠して隠してゐたが遂に包み切れず本日漸々事實を認めるとともに苦しい負荷しみを左の如く述べてゐる
平漢、津浦の兩線保走、滄州の陥落は北方の戰局に當然重大な影響を及ぼすものである、しかしながら兩要地の放棄は戦略的退却であつて決して我が軍の崩壊を意味するものではない、長期抵抗にこれ位の損失は悲觀的材料にはなり得ない將來來るべき大勝利に備へるべく官兵一致努力すべきこそ今日の問題である



戰死將校氏名
【廿六日發表】 ○○○に於ける戰死將校氏名左の如し
▲野田部隊
大尉 田澤 清
中尉 野崎 武雄

海外動向

米中立法發動躊躇事情
ワシントン【六三】 支那事變の發展に刺戟され中立法發動を要する聲々々喧しくなつて來たに拘らず米國々務省當局は依然として靜觀主義を堅持しルーズヴェルト大統領に對しても中立法發動方勸告を見合せてゐるが國務省がかく中立法發動尙早の態度を採つてゐることにつきワシントンの消息は次の様な觀測を下してゐる

- 同 佐々木 謙
- 少尉 土井 正
- 同 神戶 太郎
- 同 清水 源一
- 同 土井 一生
- 同 山崎 太郎
- 同 喜速 武雄
- 准尉 宮田 鶴松

- 一 國務省は今尙紛爭當國の一方を利するが如き行動は出来るだけこれを避ける方針である
- 一 中立法の發動は自動的に米國政府が戰爭狀態の存在を公認することとなり結局日本に對し或種の交戦構を認めざるを得ぬこととなる
- 一 中立法の發動は支那の憤激を買ひ七千五百名に上る在支米國居留民の生命財産を危地に陥れる惧がある
- 一 中立法發動の結果懸想される米國の權益並びに體面の毀損を恐れる國內各種團體の反對が猶強いこと
- 一 最近廣東の米國居留民の如きはハル國務長官宛中立法發動反對の電報を寄せた

胡適桑港で豪語
サンフランシスコ【六三】 支那事變に關する對外宣傳の重要使命を帯びて支那政府から特に米國に派遣された胡適博士は

廿六日ホテルからサンフランシスコに到着した、博士は一流の負荷しみを發揮し出迎へる記者團に左の如く豪語した
今次の日支紛争に於て日本軍はその脆弱性を遺憾なく暴露した、日本軍は上海、南京其の他の都市を擧撃したが支那の蒙つた損害は極めて輕微で日本軍の空襲は全然失敗である、日本が果して何時迄戰勝を繼續し得るか知らぬが支那は少くとも一年や二年は充分に對日抗爭を續け得る自信がある

津浦戰況
馮家口、沙河橋突破
天津【六三】 午後二時卅分軍司令部發表
一 津浦線方面の我が桑田部隊は本日午前十一時馮家口(滄州西南方凡七五里)に進出し
二 子牙河方面に於ては昨廿六日午後二時頃沙河橋附近の敵陣地を突破し本日午前十時頃我が助川、大野等各部隊は辛庄、南各冰廠縣東北凡四里の線に達し敵を追撃前進中なり
天津【六三】 子牙河左岸を進撃中の我が助川、大野兩部隊は廿七日夕刻沙河高川に達し續いて敵を追撃前進中である、また津浦線に沿ひ追撃南下中の赤柴、長野、沼田各部隊も廿七日夕刻馮家口東西の線に進出し續いて進撃前進中である

支南中
上海戰況
無電臺占領
上海【六三】 甯里方面の敵に接近した田上部隊の一部は昨夜半來細雨を降る漆黒の闇を利用して無電臺による敵の前哨卅米の地點まで近迫作業を行ひ黎明を期して一齊に壯烈なる突撃を敢行午前五時半完全に之を占據した、更に同隊は附近の殘敵を掃蕩と共に福富、垣内兩部隊と協力し細見部隊の戦車○臺の掩護下に又衛堂、十二房方面の敵を蹂躪し劉家行に向け進撃中である

北支

平津情勢
天津治維會の復興策進
天津【六三】 皇軍の威武により漸次平常化してゆく天津津浦線に沿ひ追撃南下中の赤柴、長野、沼田各部隊も廿七日夕刻馮家口東西の線に進出し續いて進撃前進中である

- 一 天津市社會局の手により支那細民救濟を目的とする職業紹介所の設置
- 二 天津市慈善事業團體による細民救濟を目的とする綿服の購買及び食糧問題に對する救濟策
- 三 當市工務局の手による道路工事の復活及び改修への着手等が之である

新樂突破
北平【六三】 我が先頭部隊は廿七日午前五時新樂南方二キロ沙河附近にある敵約

一個連を攻撃してこれを擊破更に幅三百米深さ二米の沙河の強行渡河を執行急追して正午頃新樂南方八キロの地點に達した

河間、感家橋爆撃
○○【六三】 中富、笹尾の兩部隊は廿七日午前八時敵百七師及び百八師の敗殘大隊隊が河間に集結してゐるとの報に接し同地に痛烈なる再爆撃を敢行した、又倉持部隊の○○機も引續き河間を爆撃し敵に大なる損害を與へた
○○【六三】 廿七日數回に亘つて中部敵線河間の爆撃を敢行した我空軍部隊は更に敵の退路を斷ち我が地上部隊の前進を有利ならしめるため午後四時島谷部隊の○○機○○機編隊で河間南方子牙河流域の根據地感家橋の爆撃を敢行した、同地は河間、獻縣の南方で重要地點でありこの爆撃で敵は甚大な損害を受けた

▲報道部發表 上海【六三】(○○)報道部午後九時發表
一 露店鎮方面の○○部隊は今朝來昨日に引續き前面の頑強なる敵に對し攻撃中に於て依然攻撃を有利に進展しつゝあり
二 劉家行方面に於ける我が○○部隊は昨日の攻撃に引續き力行中にして膠縣部隊の第一線は陳家巷附近の敵軍を突破し上海街道に肉薄し田上部隊の第一線は無電臺附近の敵陣地を奪取し文衛堂西側地域に進出し劉家行の敵に對し猛攻中なり、石井部隊の第一線は大

丸尾側無名部落の堅壁を突破し顧家宅の部落の至近距離に肉薄し追撃中なり

九時四十五分より小倉中尉、同十一時より柴田一等航空兵曹、午後一時より駒形中尉が夫々指揮の下に各々開北商務印書館を中心とする一帯の敵陣地に對し徹底的爆撃を加へた

開北敵陣地爆撃

上海【支三】 〇海軍航空隊は本日午前

九時四十五分より小倉中尉、同十一時より柴田一等航空兵曹、午後一時より駒形中尉が夫々指揮の下に各々開北商務印書館を中心とする一帯の敵陣地に對し徹底的爆撃を加へた

上海【支三】 我海軍航空隊は本日午後一時松永兵曹長指揮の一隊を以て劉家行上空を飛翔敵砲兵陣地を爆撃しこれを粉碎した

上海【支三】 開北ボケツト地帯の敵は支那軍前線と租界との連絡の爲め必死となつて陣地の強化を計りつゝあるが我空軍は之に對し廿七日朝來果敢なる反覆爆撃を繰返し轟然たる爆彈炸裂の音は物凄く地響きを伴ひ上海全市を騒がした

上海【支三】 (第三艦隊報道班午後二時發表) 海軍航空隊の一部は開北各地の敵陣地に對し反覆爆撃を加へつゝあり

朱紹良を京滬總司令に

上海【支三】 甘肅總督主任朱紹良は廿六日附て張自中に代つて京滬總指揮に任命され上海地區に於ける抗日軍の最高指揮を執る事となつた、右は張麗下の第一線部隊卅六、八十七、八十八等の蔣介石直系の最精銳部隊が我が軍屢次の猛撃で大損害を被つて後退これと入れ替りに朱紹良所屬の第三路軍(第八十八師孫元良、第一師王耀武、第七十八師丁德傑)等の各部隊が前線配備に就いた爲である、これに依つて上海方面の抗日戦線は左翼(龍華嘉定、太倉、劉行鎮一帶)陳誠、中路

上海情勢

爲替相場引締る

上海【支三】 爲替市場は時局以來中央銀行が法幣不足のためスターリング買相場を一志二月半に下げたためと云ふところ従前の二片四分の一に復活した、之がため爲替は急降下傾向となり對英二片半乃至卅二分の十五賣り、卅二分乃至卅二分の一買ひ對米廿九弗卅二分乃至廿七賣り八分ノ七買ひ、對日百三圓賣り百四圓二分ノ一買ひと何れも引締つた

物價狂騰

上海【支三】 事變勃發後我海軍の支那船航行遮斷以來當地の物資は著しく缺乏を告げ一般物價は暴騰を演じてゐるが取り分け食料品類の騰貴が最も甚だしく米の三割七分高を最低として青菜、鹽の如きは十五割乃至十八割と言ふ法外な騰貴率を示してゐる

支那農民を保護

楊行鎮【支三】 楊行鎮前方にあつて支那兵の惡辣なる掠奪暴行のもとに數日間食ふものもなく戰々就々としてその日を過してゐた支那農民老若婦女子は我が軍の歸家衝を見て喜んだが我が〇部隊は直ちにこれ等農民を本日午後一旦楊行鎮に集め食物を與へ幼兒にはミルクまで與へて勞はつた、この農民等は近く我が軍保護のもとに後方に送り安業の集團生活を営ませることになつてゐる



南京郊外疎濶工場爆撃

上海【支三】 (第三艦隊報道班午前十一時卅分發表) 本日前十時〇〇海軍航空隊は南京郊外にある疎濶工場を爆撃せり

浦口停車場爆撃

上海【支三】 我海軍航空隊〇機は白相大尉指揮の下に本日午後一時四十五分頃再度南京空襲を執行對岸の津浦線浦口驛を爆撃し停車場建物及貨車數十輛を爆撃した、此の日敵機は一機も臨戦し來らず又高射砲の射撃も非常に緩慢で我部隊は悠々と爆撃を敢行し多大の効果を収めて歸還した、我方の損害皆無である

廣東、贛口爆撃

香港【支三】 今朝九時半の廣東爆撃により珠江鐵橋は破壊され次いで廣東市黃沙驛及び橋内の機關庫、修理廠、廣三車站碼頭材料廠、第六、七、八の各倉庫、路警局等何れも破壊焼失し同時刻發車の韶關行き列車より運行不能に陥つた

從化、虎門飛行場爆撃

上海【支三】 (第三艦隊報道班午後七時發表) 我海軍航空隊は午後三時粵漢線連江附近の鐵橋及び從化、虎門兩飛行場を爆撃し從化に於て敵機一機を爆撃せり

粵漢線爆破

上海【支三】 (第三艦隊報道班午前十一時卅分發表) 午前十一時頃我が海軍航空隊〇機は粵漢線路を樂昌、宜章間において爆破せり

香港【支三】 粵漢鐵路局の消息として廣東より當地に達した情報によれば今曉一時より四時迄に我が空軍は廣東省北部銀菱街、大朗兩驛に爆彈十餘個を投下し線路に三十米の大穴を穿ち更に江村、岡站附近の軌上にも爆彈八個を投下し十餘米の大穴を作り琵琶江、江村兩鐵橋何れも橋脚破壊され列車の運行不能となり電信電話線も切斷され輿地との通信聯絡は不能となつた、正午現在廣東西村から北方を望むと黑煙天に押ししてゐる

粵漢線爆破

香港【支三】 今朝九時半の廣東爆撃により珠江鐵橋は破壊され次いで廣東市黃沙驛及び橋内の機關庫、修理廠、廣三車站碼頭材料廠、第六、七、八の各倉庫、路警局等何れも破壊焼失し同時刻發車の韶關行き列車より運行不能に陥つた

從化、虎門飛行場爆撃

上海【支三】 (第三艦隊報道班午後七時發表) 我海軍航空隊は午後三時粵漢線連江附近の鐵橋及び從化、虎門兩飛行場を爆撃し從化に於て敵機一機を爆撃せり

粵漢線爆破

上海【支三】 (第三艦隊報道班午前十一時卅分發表) 午前十一時頃我が海軍航空隊〇機は粵漢線路を樂昌、宜章間において爆破せり

粵漢線爆破

香港【支三】 粵漢鐵路局の消息として廣東より當地に達した情報によれば今曉一時より四時迄に我が空軍は廣東省北部銀菱街、大朗兩驛に爆彈十餘個を投下し線路に三十米の大穴を穿ち更に江村、岡站附近の軌上にも爆彈八個を投下し十餘米の大穴を作り琵琶江、江村兩鐵橋何れも橋脚破壊され列車の運行不能となり電信電話線も切斷され輿地との通信聯絡は不能となつた、正午現在廣東西村から北方を望むと黑煙天に押ししてゐる

し目下延焼中である、尙ほ未入丹名は昨廿六日深更漢口より粵漢線にて避難し來り無事廣東に到着した

南京對岸浦口停車場爆撃

上海【支三】 (第三艦隊報道班午後六時半發表) 廿七日午前十時我海軍航空隊は廣東省琶江口(粵漢橋)の兵工廠及廣東軍官學校を爆撃し之を炎焼せしめたり、我に損害なし

從化、虎門飛行場爆撃

香港【支三】 今朝九時半の廣東爆撃により珠江鐵橋は破壊され次いで廣東市黃沙驛及び橋内の機關庫、修理廠、廣三車站碼頭材料廠、第六、七、八の各倉庫、路警局等何れも破壊焼失し同時刻發車の韶關行き列車より運行不能に陥つた

從化、虎門飛行場爆撃

上海【支三】 (第三艦隊報道班午後七時發表) 我海軍航空隊は午後三時粵漢線連江附近の鐵橋及び從化、虎門兩飛行場を爆撃し從化に於て敵機一機を爆撃せり

粵漢線爆破

上海【支三】 (第三艦隊報道班午前十一時卅分發表) 午前十一時頃我が海軍航空隊〇機は粵漢線路を樂昌、宜章間において爆破せり

粵漢線爆破

香港【支三】 粵漢鐵路局の消息として廣東より當地に達した情報によれば今曉一時より四時迄に我が空軍は廣東省北部銀菱街、大朗兩驛に爆彈十餘個を投下し線路に三十米の大穴を穿ち更に江村、岡站附近の軌上にも爆彈八個を投下し十餘米の大穴を作り琵琶江、江村兩鐵橋何れも橋脚破壊され列車の運行不能となり電信電話線も切斷され輿地との通信聯絡は不能となつた、正午現在廣東西村から北方を望むと黑煙天に押ししてゐる

粵漢線爆破

香港【支三】 今朝九時半の廣東爆撃により珠江鐵橋は破壊され次いで廣東市黃沙驛及び橋内の機關庫、修理廠、廣三車站碼頭材料廠、第六、七、八の各倉庫、路警局等何れも破壊焼失し同時刻發車の韶關行き列車より運行不能に陥つた

從化、虎門飛行場爆撃

上海【支三】 (第三艦隊報道班午後七時發表) 我海軍航空隊は午後三時粵漢線連江附近の鐵橋及び從化、虎門兩飛行場を爆撃し從化に於て敵機一機を爆撃せり

粵漢線爆破

上海【支三】 (第三艦隊報道班午前十一時卅分發表) 午前十一時頃我が海軍航空隊〇機は粵漢線路を樂昌、宜章間において爆破せり

粵漢線爆破

香港【支三】 粵漢鐵路局の消息として廣東より當地に達した情報によれば今曉一時より四時迄に我が空軍は廣東省北部銀菱街、大朗兩驛に爆彈十餘個を投下し線路に三十米の大穴を穿ち更に江村、岡站附近の軌上にも爆彈八個を投下し十餘米の大穴を作り琵琶江、江村兩鐵橋何れも橋脚破壊され列車の運行不能となり電信電話線も切斷され輿地との通信聯絡は不能となつた、正午現在廣東西村から北方を望むと黑煙天に押ししてゐる

口兵工廠及び廣東軍官學校を炎焼せしめたり、我に損害なし

南京對岸浦口停車場爆撃

上海【支三】 (第三艦隊報道班午後六時半發表) 廿七日午前十時我海軍航空隊は廣東省琶江口(粵漢橋)の兵工廠及廣東軍官學校を爆撃し之を炎焼せしめたり、我に損害なし

從化、虎門飛行場爆撃

香港【支三】 今朝九時半の廣東爆撃により珠江鐵橋は破壊され次いで廣東市黃沙驛及び橋内の機關庫、修理廠、廣三車站碼頭材料廠、第六、七、八の各倉庫、路警局等何れも破壊焼失し同時刻發車の韶關行き列車より運行不能に陥つた

從化、虎門飛行場爆撃

上海【支三】 (第三艦隊報道班午後七時發表) 我海軍航空隊は午後三時粵漢線連江附近の鐵橋及び從化、虎門兩飛行場を爆撃し從化に於て敵機一機を爆撃せり

粵漢線爆破

上海【支三】 (第三艦隊報道班午前十一時卅分發表) 午前十一時頃我が海軍航空隊〇機は粵漢線路を樂昌、宜章間において爆破せり

粵漢線爆破

香港【支三】 粵漢鐵路局の消息として廣東より當地に達した情報によれば今曉一時より四時迄に我が空軍は廣東省北部銀菱街、大朗兩驛に爆彈十餘個を投下し線路に三十米の大穴を穿ち更に江村、岡站附近の軌上にも爆彈八個を投下し十餘米の大穴を作り琵琶江、江村兩鐵橋何れも橋脚破壊され列車の運行不能となり電信電話線も切斷され輿地との通信聯絡は不能となつた、正午現在廣東西村から北方を望むと黑煙天に押ししてゐる

粵漢線爆破

香港【支三】 今朝九時半の廣東爆撃により珠江鐵橋は破壊され次いで廣東市黃沙驛及び橋内の機關庫、修理廠、廣三車站碼頭材料廠、第六、七、八の各倉庫、路警局等何れも破壊焼失し同時刻發車の韶關行き列車より運行不能に陥つた

從化、虎門飛行場爆撃

上海【支三】 (第三艦隊報道班午後七時發表) 我海軍航空隊は午後三時粵漢線連江附近の鐵橋及び從化、虎門兩飛行場を爆撃し從化に於て敵機一機を爆撃せり

粵漢線爆破

上海【支三】 (第三艦隊報道班午前十一時卅分發表) 午前十一時頃我が海軍航空隊〇機は粵漢線路を樂昌、宜章間において爆破せり

粵漢線爆破

香港【支三】 粵漢鐵路局の消息として廣東より當地に達した情報によれば今曉一時より四時迄に我が空軍は廣東省北部銀菱街、大朗兩驛に爆彈十餘個を投下し線路に三十米の大穴を穿ち更に江村、岡站附近の軌上にも爆彈八個を投下し十餘米の大穴を作り琵琶江、江村兩鐵橋何れも橋脚破壊され列車の運行不能となり電信電話線も切斷され輿地との通信聯絡は不能となつた、正午現在廣東西村から北方を望むと黑煙天に押ししてゐる

險の及ぶことを極力避ける意味に於て粵漢鐵路の擡撃を今まで控へて居た。今月始め漢口方面からの外國人の引揚げは廿六日正午を以て終了する旨の通告を受け英國大使の希望により日本海軍は今日までこの軍事上重要な鐵路を依然として使用し得るよう残したの

ソ聯も空爆抗議

モスクワ(二十) 日本軍の南京爆撃報告に對し在南京ソヴエト大使館は頑強に反對ボコモロフ大使以下一同特別防備を施した大使館内に立籠り引續き策動を續けてゐるがソヴエト政府は廿六日東京駐劄大使ミハイロフ・ストラウツキー氏を通じて廣田外相宛に日本軍の南京爆撃に對し抗議の通牒を送つた旨廿六日タス通信社から發表した、ソヴエト政府は右通牒に於て日本軍の南京爆撃により生ずることあるべきソヴエト大使館並にソヴエト市民の生命財産その他の損害は日本政府の責任なる旨を述べて居るといはれる

支那側我空爆を誣ゆ

上海(二十) 南京より當地に達した情報によれば支那側では我軍の爲擧げられる飛行機の数が餘りに多いのに困り果て、「日本軍飛行機が往々支那軍のマークを附けて居りこのやうな日本軍飛行機を既に二機射撃した」とのあきれ果てた虚報を發表した、支那側の出鱈目の宣傳はこれ例に止まらず微頭徹尾デマ宣傳ばかりなため最近南京政府がソヴエトの發表が外人間に殆ど信用されなくなつた、このことがいつしか宋美齡女史の耳に這

入り一部の外人筋から直接宋女史に苦情を申出せる者も出て來たので宋女史は昨日政府部内の各要人に對して今後の發表はなるべく真相に近からしめ以て信用の恢復に努むる機命令したといはれる

國民政府

彈壓恐怖時代現出

天津(二十) 南京政府が聯ソ容共政策を採用して以來政治方面には中國共產黨の大立物周恩來、軍事方面には白崇禧兩名の勢力が驕然として昂まつたあるがその反面從來種健派と云はれた親日派乃至は知日派等の勢力減退は勿論漢奸として猛烈なる彈壓を加へられてゐる、即ち外交部對日折衝を一手に引受けてゐた高宗武西州司長は行方不明となり汪精衛の股肱たる曾仲鳴及褚民誼は監禁され汪自身も身邊の危險が傳へられ又日本人間に知人の多い何澄は暗殺された模様で日華重工業協會會長で銀行家の周作民も行方不明で内務次長許卓然は香港方面に逃亡を隠してゐると云はれ今や中國全土は無政府の恐怖時代を現出してゐると傳へられる

乾蘭輸出税引下

上海(二十) 江蘇、浙江兩省内の生糸工場は時局の影響により殆ど全部擧業停止の已むなきに陥つてゐるが一方之等兩省の秋繭は頗る豊作を續け繭の供給過剩を見るに至つたので財政部は本日より乾蘭の輸出税を百キロに就き四十二元から廿八元に引下げの旨發表した

保定、滄州陷落と支那紙

上海(二十) 保定、滄州の陷落に伴ひ上海方面昨日の支那紙は大體に於て兩地の陷落を申請的に輕く掲載してゐるがその内容は全く噓飯に輕く扱つたものがある、その二を列挙すれば

一 保定、滄州の陷落は戰略上の退却で友軍の北上を俟つて新たな陣容及び陣地を構築する爲であると述べ甚しきに至つては滄州は近く支那軍の手で奪取されるであらうと傳へてゐる

二 大公报は保定、滄州の陷落を重大視してゐるが此の新聞とても右は支那軍の企圖する長期作戰の一現象であり我々が山東河南兩省に於て一大決戦を目前に作戦の退却であると報じてゐる

三 上海方面の外字新聞は今回の保定、滄州陷落を有の儘に報道してゐる

山西に共產軍

【二十】(午前十一時半陸軍省發表) 九月十六日山西西北部廣靈附近の戰鬪に於て擊破せる支那軍中に約百名の共產黨徒を著し晋部に赤丸の標識を附し又鄭州附近に於て擊退せる支那軍中には共產軍二百名を混ぜり

帝

田尻書記官歸國 上海(二十) 田尻一筆書記官は中間報告を兼ね本省と打合せの爲め廿七日午後二時出帆の上海丸で急歸國の途に就いた東京滞在は約十日間の予定

戦死將校氏名 【廿七日發表】 九月十五日拒馬河敵前渡河戦に於いて戦死せる將校その後列明せるもの左の如し

- ▲坂西部隊 中尉 成島 榮一 少尉 齋藤 貞一 准尉 生方藤太郎

國民支援

貴族院慰問團出發

【二十】 貴族院派遣北支皇軍慰問使團長西郷從儀侯以下議員は廿七日正午神戸出帆の天津航路長江丸で太浩に向つた、一行は北支各地の戰線を歴訪皇軍慰問を行ひ來月十二日大連において解散の豫定に對し次の如く答へた

海外動向

支那モスクワに泣付く モスクワ(二十) 支那政府は各戰線より頻々たる敗報に狼狽し在外機關を總動員して諸外國に對する哀訴的宣傳に狂奔して居るが廿七日日タス通信社の發表によれば支那政府は果然廿五日モスクワ駐劄支那大使館を通じてソヴエト外務人民委員部に通牒を送り日本軍の行動に關し報告を試みると共にソヴエト政府の干渉を要請したことが判明した、通牒の要旨次の通り

日本空軍は平和的住民に對し爆撃を加ふるのみならず一般避難民、赤十字隊其他文化諸施設の區別なく擡撃を加へつゝあり、日本軍は國際法並に國際道徳を踐躪し野蠻なる全體的戰爭の原理を實行に移さんとして居る、日本軍は支那の文化を破壊し平和的的人民の住屋を破壊し首都の完全なる破壊を目指して南京の外國大使館の撤収すら要求した、今日世界各國の關係は極めて密接で之を概念的各部分に分つことは出來ない、今日極東に起りつゝある事態は明日は世界の他の何れかの部分に起るであらう、人類にしてかゝる擡撃に抗議せず之を放置するならば人類の譽は多大であらう、支那政府はソヴエト政府が非文化的非人道的な日本の行

動を速かに停止せしめるに資する措置を執られんことを要請する

米支那稅關成行を注視 フシントン(二十) 米國政府は日支紛争につき依然中立の態度を維持しつゝ情勢の推移を慎重に注視してゐるが日本が支那の稅關制度に干渉するかどうかにか就ては相當神經を失らせてゐる模様である、ハル國務長官は廿七日の定例會見の際の問題について記者團から質問が出たの

滿洲事變の當時日本軍は滿洲に於ける支那稅關を抑へたが今回の日支紛争に於ても事態が同様の發展を示すか否か多大の關心を以て成行を注目してゐるハル長官はこれ以上言明を避けたが國務省官邊ではハル長官の聲明を敷衍して左の如き意見を洩らした

日本が上海に支那稅關とは別に稅關を設けたとの報道については未だ確報は無い、ハル長官はこの問題だけでなく將來日本軍の軍事行動により響くことあるべき支那稅關の一般の影響につき特に關心を示してゐる、然し日本の支那稅關支配が米國の貿易に及ぼす終局的影響を判断を下すのは未だ時期尚早だらう

九月廿八日

平綏戰況

北 茹越口占領 應縣(二十) 内長城線茹越口の支那軍擊破の命を受けた後藤部隊は廿七日拂曉友軍の砲撃及び空軍の猛烈な擡撃を受けつゝ岌々として險峻な太行山嶺の敵陣

に向つて進撃を開始し天險による敵の迫撃砲並に自動火器部隊を撃破し午前十一時四十分迄臨口の前第一陣地を攻略しその主力部隊は東の高地向その一部は西南方高地の敵陣地向つて追撃した、敵第一線陣地は我が砲弾に穿れた支那軍の死傷甚々として横たはりトーチカ陣地及び塹壕内には長期抵抗の爲めに搬入された敵の彈藥、食料が鮮血の塗れたまゝ多數遺棄されてゐた

臨縣(六) 廿七日内長城線の第一線陣地を攻略した後敵部隊は廿八日午前四時四十分迄猛烈な山岳戦により臨口敵陣を撃破し太原平野を一目に見下す太行山脈の一端内長城線高く日章旗を繚した

臨縣(六) 我軍のため後方退路を遮断された茹越口附近の支那軍約二千五百は廿八日午前四時血路を開かんとして規口前茹越口北方のわが方陣地に遊襲し來つたが後敵部隊のため殲滅された、尙茹越口占領地に於ける我方損害は重傷傷卅五である

臨縣(六) 内長城線の敵陣を撃破すべく第一線に向つた〇〇部隊長は廿七日朝來敵陣雨飛の中に大同南方長城線茹越口(雁門關)と手荆關の中央部最前線に進入自ら第一線部隊を指揮激勵のために全軍の志氣奮が上に舉つた

▲橋本中佐、杉本部隊長戦死 天津(六) 步兵中佐橋本順正氏は去る九月廿五日山西省靈邱縣小寨村附近の戦に於て名譽の戦死を遂げた、また杉本五郎部隊長は十三日未明廣慶路南方千六百高地の敵陣地向突入永久に戦史を飾る壯烈な戦死を遂げた

内蒙軍奮戦 南部を發した李守信司令の率ゆる内蒙軍は廿六日午後六時隔林に

在る綏遠軍と激戦の結果之を撃破して同地を占據一部をもつて西北方に逃走中の敵を追撃中である

平地泉(六) 德化を出發廣漠たるゴビの砂漠地帯を西南に進撃中の錫林郭爾旗及び幼年學校學生隊をもつて編成せる内蒙軍は廿七日拂曉綏遠軍東北戰線の要地錫拉穆林を占領し百餘團に向け進撃中である

五原方面人心動搖 破竹の勢ひを以て綏遠に迫りつゝある日蒙軍の猛撃振りに包圍西北方五原方面の人心動搖し蒙古族の一部は内蒙軍に呼應して起たとする形勢あり省政府は之れが優柔に處心してゐる

津浦戦況

敵艦に迫る

天津(六) 津浦線方面の戦況は引續き活潑なる趨動を見せて居るが同線の我が部隊は滄州占領後強行進撃を續行し廿七日その先鋒は既に馮家口に進出廿八日朝敵を粉砕して南方に進撃山東省境に迫る勢ひで進撃を續けて居る、更に同右翼部隊の先鋒部隊は中央中原奥深く突入する事八千軒南各營、河高橋を穿く間に席巻し無人の野を行くが如く廿八日朝敵家橋(敵艦北方約一里餘)に迫り敵艦は正に目眩にあり、我が空軍も前日に繼いで廿八日朝敵家橋及び敵艦附近の敵陣地に徹底的爆撃を加へて居る、斯くて空陸相呼應しつゝ津浦戦及中部戦線に急速優勢に轉じつゝある

〇〇(六) 數日來河間、獻縣、阜城等中部戦線方面の敵を爆撃した中富部隊は更に廿八日午前九時中部戦線に於て大城沙河橋と子牙河に沿ひ敵艦に向ひ前進攻撃中の我が地上部隊に協力すべく管尾隊

の〇〇機は〇〇臺機隊にて子牙河交通の要點磁家橋を爆撃し地上部隊の進撃を容易ならしめた、磁家橋は敵艦入口の要地で之が數度の爆撃により破竹の勢ひにある我が部隊の爲め獻縣は將に風前の燈の形である

〇〇機は〇〇臺機隊にて子牙河交通の要點磁家橋を爆撃し地上部隊の進撃を容易ならしめた、磁家橋は敵艦入口の要地で之が數度の爆撃により破竹の勢ひにある我が部隊の爲め獻縣は將に風前の燈の形である

▲泊頭鎮占據 天津(六) 滄州占領後引續き南下進撃中の我が長野、沼田、赤柴各部隊長は廿八日滄州南方凡十里の泊頭鎮を占據更に息づく間もなく前進中である

▲居宅、洪家宅占據 上海(六) 高橋部隊は廿七夜來臨店鎮西北の敵部隊を撃滅すべく行動を開始し廿八日朝早くも居宅、洪家宅を占據し丁家橋方面へ退走の敵を追撃中である

支南中 上海戦況

▲寶宅占據 楊行鎮(六) 廿六日より楊行鎮の南方大家宅、大王宅、錢家宅の線に集結中の津田福井兩部隊及び加納部隊は廿八日拂曉砲兵部隊の掩護射撃に猛烈進撃を開始し午前八時早くも敵の最前線寶宅を攻撃次いで附近の老宅、張宅の敵を殲滅中である、午前九時山田砲兵部隊の精神なる集中射撃によつて老宅に火の手が舉がり炎々と煙を吐いてゐる

上海(六) 廿七日拂曉楊家沿に遊襲し來つた敵軍をして二百の死體を遺棄潰走せしめたが新銳津田部隊は今早朝福井部隊と合して意氣軒昂朝敵を衝いて進撃午前八時には早くも敵の第一線寶宅を占領砲兵と密接なる協力の下に無人の野を行くが如く午前十一時半には楊家宅、楊樹頭、胡家宅の線を確認した、敵の遊撃隊は

その間々々側面より奇襲を加へ來つたがその部度之を撃退した

▲劉家行の一角占領 上海(六) 細見部隊陸下戰車〇〇臺は廿八日午後一時半敵の猛攻撃を排し遂に劉家行北部に突入りその一角を占據した

▲空軍掩護 上海(六) 海軍航空隊〇〇機は小倉中尉、柴田一等航空兵曹、北島中尉、胸形中尉等が隊長となり午前十一時より午後四時に亘り南北一帯の敵砲兵及び重砲關陣地に連續爆撃を加へたこの日雲低く敵の高射砲、機銃は亂射を浴せ來つたが我空軍は悠々南北上空を飛翔し美事な水平爆撃を行つた

▲報道部發表 上海(六) 午後九時〇〇報道部發表

一 田上部隊は連日奮闘の結果遂に無電臺西側の陣地を突破し午後三時頃北部劉家行を占領し南部劉家行西方陣地に對し猛撃中なり

二 石井部隊は田上部隊に連繫し北沙宅張家宅及びその西北陣地に對し激戦中なり

三 〇〇部隊はこれに連繫し吳淞クリーク北側地區に於て楊家沿、楊樹頭及びその東方吳淞クリークの線に進出し當面の敵を攻撃中なり

四 細見部隊はその一部分の戰車部隊をもつて劉家行より臨店に通ずる本道上の敵陣地の内部を強行通過し臨店鎮方面の〇〇部隊と完全に連絡せり

支那軍艦爆沈 澳門よりの消息に據ると廿七日我海軍機〇〇機が澳門附近の神灣、磨刀口方面飛翔中神灣に支那軍艦鳳凰が碇泊中なるを發見之に爆撃を加へて擊沈し更に廿八日午前七時虎門砲臺襲撃の際運花山碇泊中の廣東海軍の精銳艦船も我爆撃を受け多大の損傷を蒙り逃亡した

赤灣東砲臺砲擊 廿八日夜我が軍艦は赤灣を砲撃し支那軍が修築を急ぎつゝあつた東砲臺を再度破壊して引揚けた

前線敵兵加速度的に戰意喪失 〇〇(六) 楊行鎮前線に於てはこの數日來支那軍投降者繼出の密況で廿八日午後には田上部隊に中央軍の湖南軍第七十七師所屬敵兵二名が投降して來た、右二名を取調へるの結果判明せる狀況左の如し第七十七師長は連霧で兵士の生活狀態は極度に悪く最初から携帶行糧等全然支給されず食事は一日一回夕刻後方から配給されるがこれとでも全部に行互らず皇軍の砲撃が猛烈な時には全然配給なく飲料水はクリークの泥水を常用するといふ悲惨な狀態で軍の上層幹部に對する怨望の聲はやうやく昂まり部隊の統制隣接部隊との聯絡もやうやく亂れ勝となり兵士は何れも加速度的に戰意を喪失しつゝある模様である

空襲

南京、句容爆撃 上海(六) 我が海軍航空隊〇〇機は和田少佐指揮の下に本日午後一時半頃(日

南京、句容爆撃 上海(六) 我が海軍航空隊〇〇機は和田少佐指揮の下に本日午後一時半頃(日

南京、句容爆撃 上海(六) 我が海軍航空隊〇〇機は和田少佐指揮の下に本日午後一時半頃(日

本時間、南京を空襲し南京の練兵場飛行場たる大校場を爆撃破壊した

上海【九二】連日に亘り南京空襲を飛行

後、の止めを刺すべく廿八日午後一時四十分和田少佐の指揮する部隊は悪天候を冒して南京紫金山麓大校場飛行場を爆撃之を徹底的に粉砕し又一部高橋部隊は同時刻頃句容飛行場に爆撃を加へ格納庫一棟及び同所にあつたカースホーク三型戦闘機二機を爆撃した、我が部隊が南京上空に達するや敵機数機が飛上り挑戦し來つたが空中戦の結果寺松一等航空兵曹の一撃見事一機を射止め浦口松林の中に墜陸し三機は雲間に隠れて遁走した、我に損害なし

廣德飛行場爆撃

上海【九二】海軍航空隊岡村少佐の率ゐる空の精銳は西岡中尉指揮の〇〇隊と共に今朝朝霧を衝いて廣德飛行場を急襲敵の高角砲機銃の亂射の中を格納庫及び兵舎に徹底的な爆撃を加へて無事歸還した

蕪湖飛行場爆撃

上海【九二】和田部隊の南京空襲と相前後して田中大尉の指揮する田中、江草、南郷各部隊は本日午後一時半頃蕪湖飛行場を爆撃した

上海【九二】南京空襲と同時に我が海軍航空隊田中大尉指揮の江草、南郷各部隊は午後二時廿分頃揚子江沿岸蕪湖飛行場を空襲し格納庫及び揚子江の飛行機四機を完全に爆撃し全焼せしめ一機を破壊更に燃料庫を爆撃しタンクは濃々たる黒煙に包まれて燃え上つた、敵は午後二時頃カースホーク三型戦闘機一機が飛び上つて來たが我が南郷隊加藤小隊の猛襲に遭ひ蕪湖東方約十軒の揚子江中に墜陸された

從化飛行場、虎門爆撃

香港【九二】廣東爆撃に於ける我が海軍航空隊の努力は連日連夜息をもつかせぬ奮闘振りて已に廣東市内に於ける敵の空軍は殆んど我に反抗の力を喪失してしまつたが我が空軍は最後の押として本日午前九時十五分から零時五十分に至る四時間の間敵回りに亘り從化的敵空軍根據地を空襲し敵の反撃と勇敢に闘ひつゝ同地の軍用飛行場を爆撃粉砕した、我が軍のため大損害を蒙つた廣東軍は同地に在つた新規購入の飛行機の組立や修理を急ぎつゝあつたもので本日の我が爆撃により廣東空軍は全滅の運命に陥つた、尙本日午前八時より九時迄我が空軍は虎門要塞に爆撃を加へ多大の損害を與へた

香港【九二】我が空軍の虎門砲臺爆撃の際必ず飛來し來り又向ふ敵戦闘機あるを以てこれが根據地を穿明中のあるところ澳門の北廿哩唐家灣に軍用基地あるを探知し本日午前七時總りに爆撃を加へ破壊した同地は元國務總理唐紹儀の出身地である

唐家灣飛行場爆撃

香港【九二】我が空軍の虎門砲臺爆撃の際必ず飛來し來り又向ふ敵戦闘機あるを以てこれが根據地を穿明中のあるところ澳門の北廿哩唐家灣に軍用基地あるを探知し本日午前七時總りに爆撃を加へ破壊した同地は元國務總理唐紹儀の出身地である

粵漢線再度爆撃

香港【九二】廣東は廿八日午前一時半から夜明けまで燈火管制をし我空軍飛行機の轟々たる爆音を雲上高く見送るのみであつたが我が空襲隊は何れも廣東市上空を掠め遠く廣東省北部湖南省の粵漢線を爆撃に向ひしものゝ如くで通信連絡無き爲損害程度不明なるも小坪站は本日再度爆撃され徹底的に破壊された由である尙粵漢鐵路局では破壊されに線路の修理を行ふ爲人夫を強制徴發し北上せしめつゝある

徐州爆撃

上海【九二】(第三艦隊報道班午後八時發表)廣東方面に於ける海軍航空隊は本日從化飛行場、蕪江工廠及び粵漢鐵路を爆撃せり

各地爆撃公報

旅順【九二】(旅順要港部廿八日午後六時發表)數日來某地に待機中の我が第〇〇艦隊航空部隊は本廿八日午前勇躍〇〇機を以て隴海線方面に進軍徐州を爆撃敵の防空陣地より猛射を受けしもこれを反撃し軍需倉庫、軍用列車、停車場を確實に爆撃せり、我に損害なし

隴海線飛行場爆撃

旅順【九二】(旅順要港部發表)廿八日午前隴海線方面に進軍徐州を爆撃大損害を與へたる第〇〇艦隊航空部隊は同日午後更に海州、宿遷、隴陰各飛行場を爆撃兵倉軍需倉庫等に有効なる爆撃を敢行せり、此の間敵の抵抗なく悠々〇〇に歸還せり

各地爆撃公報

上海【九二】(第三艦隊報道班午後八時發表)廣東方面に於ける海軍航空隊は本日從化飛行場、蕪江工廠及び粵漢鐵路を爆撃せり

各地爆撃公報

旅順【九二】(旅順要港部發表)廿八日午後六時、我が海軍航空隊は連日中南支一帶に亘り敵の軍事要點に對し有効なる爆撃を加へつゝあつたが昨廿八日の主要なる空襲經過左の如し

陣地に爆撃を加へ之に多大の損害を與ふ以上各空襲を通じ我方に損害なし

上海【九二】(海軍報道班午後五時發表)廿七日廣東省肇陽方面を攻撃した我海軍航空隊中の一機は同地上空に於て敵戦闘機二機と空中戦を演じ見事に一機を射止め撃墜せしめたが我一機も敵弾を受け故障を生じ歸還の途午後四時頃東莞島嶼附近南方約四十五哩の海上に不時着折柄南近飛行中の英國商船蘇州號がこれを発見搭乗員を救助午後十一時捜査中の我艦逐艦と會合今朝全員同艦に收容された

英船蘇州號が荒天風浪を冒しての救助作

業とその適當な處置に關し我海軍當局は痛く感激してゐる

〇〇【九二】

廿七日粵漢鐵路爆撃の爲第〇〇基地を出發した〇〇海軍航空隊〇〇機中行方不明を傳へられた吉田機の搭乗員六名は廈門沖で英國船蘇州丸に救助され急行した〇〇艦逐艦に收容午前六時根據地に歸還した、搭乗員は左の通りで

一名危篤、三名重傷、生命別狀なし

- 二等航空兵曹 赤池 安行
一等航空兵曹 日貝 整一
一等航空兵曹 吉田 好久
三等航空兵曹 兼子 房吉
一等航空兵 山越 芳平
一等整備兵曹 大石 正則

〇〇【九二】

吉田機乗組員六名の内重傷にて機上意識不明に陥つた大石一等整備兵は遂に戦死したので右追悼會は廿八日午後五時〇〇隊本部に於て和田部隊長以下戰友その他多數臨席の下に行はれた

南京空襲と各國動向

▲佛國大使抗議【九二】外務省消息に依ればナチヤール駐支佛國大使は廿七日川越大使を訪問廿五日の南京空襲の際アヴァス通信の社説が破損を蒙つた事件に關し正式の抗議をなすと同時にフランス政府は損害賠償要求の權利を留保する旨を申し出た

▲ロンドンで爆撃糾弾民衆大會

ロンドン【九二】日本空軍の支那都市爆撃により英國朝野には澎湃なる反日感情が燃まじ注目すべき情勢を示してゐるが英國朝野の最高峰として皇帝戴冠式司會の榮譽を有するカンタベリー大僧正迄が途に動き出し同僧正はニュース・クロニクル紙が來る十月五日アルバート・ホールに於て開く日本空軍の爆撃糾弾の民衆大會に司會の役目を引き受けたと言はれる、同大會に於ては政府に對し文明國に呼びかけて無辜の支那民衆の殺戮阻止延いては戰闘の中止の爲の共同動作をとるやう要請する決議を可決すると見られる

又も共産軍中央軍に改編

上海【九二】蔣政權に對抗し南支に最後迄踏みとどまつて遊撃作戦を續けて居た舊瑞金ソヴエト政府副首席頂英及び軍長陳毅はこの程中央との間に妥協成立し共産部隊を中央軍に改編する事となり國府軍事委員會は廿七日頂陳兩名宛其旨打電し江西省政府との間に改編手續を行ふべき事を命じた



朱德の噴飯宣傳
上海【九二】蘇に中央軍第八路軍に改編された共産軍首領朱德第八路軍總指揮は廿六日附山西北部に於て共産軍と日本軍との交戦に對し左の如く通電を發し共産軍一流の宣傳で民衆の人氣を煽つてゐる、即ち

我が八路軍は廿五日山西西北部平陽縣にあつて敵軍萬餘と激戦數回に亘り白兵戰を交へた後日本軍を撃破して平朔關以北の辛庄關沙東跑地一帶の敵陣地を完全に奪回した。敵は死屍山野を埋めて敗走した。我が軍は自動車タンクの外武器多數を擧げた。

尙ほ朱德は軍事委員會から廿七日付で察綏の抗日前敵總指揮に任命せられた。

自由公債應募額僅か六百萬

上海(六) 國府唯一の軍費調達方法として注目されてゐる五億元自由公債は發行以來一ヶ月を経過するがその應募成績頗る不良で今まで業々しく提灯持を續けて來た申報、新聞報等の支那紙は本日の社説及び記事において「自由公債の應募額は一億五千萬と發表してゐるが實際の支拂は六百萬に過ぎず、是は國民の愛國心餘餘の證左である」と喝破し又上海市にある亞摩放送局は一般から募つた義捐金數萬元を齎して廉により經營者王某は逮捕された旨報してゐる、自由公債の引受強制に對し國民間に怨嗟の聲が漲りつゝある折から支那特有の此の種報道は國民の戰時意氣を著しく沮喪せしめてゐる。

飛行機補充に狂奔

〇〇(六) 當地に達した消息によれば最近我軍の猛烈なる進撃のため敵々に撃破された支那中央軍は遂にソヴエトに泣付き飛行機百臺至急供給方を申出で更に在米支那人の操縦留學生七十名に對し速かに歸國するやう命じたと傳へられて居る、而して之等留學生は大敵中の自國に歸るを希望せず假令飛行機が到着しても操縦者不足で役に立たぬものと観測されてゐる。

廣東海防艦二隻を注文

香港(六) 廣東海軍では海防艦二隻を建造するに決し香港の英國商バレイイ會社に注文直に之れが工事に着手せしめた。

陳濟棠歸國

香港(六) 昨午中央軍のため破れて廣東を逃け出し外遊中であつた前第一集團軍總司令陳濟棠は本廿八日午前十一時伊太利汽船コンテロッツ號で香港に歸着した。

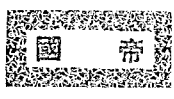
北支軍總指揮に程潛

(廿八日正午陸軍省發表) 北方正面に於ける作戰の失敗に鑑み蔣介石は今般參謀總長程潛を北支各作戰軍の總指揮に任命せるものゝ如し。

支那情勢

〇〇(六) 其所着支那情報左の如し、
一 支那沿岸の全般航行遮断は我が海軍力をもつて愈々嚴密に遂行され居り依然支那船舶は沿岸一帶にその影さへ認めずと云つた有様であるが一方之れが目的達成の爲め粵漢線その他奥地との陸上遮断を爲すべく我が海軍航空隊では目下勇猛果敢にこれ等鐵路の擧撃を行ひつゝあつて逐次その目的を達成しつゝある、海上交通遮断で既に各地とも悲鳴を揚げるところに背後唯一の恃みとしてゐた陸上交通の鐵路を各方面から破壊遮断される事となり支那は各地とも著しき動搖を見せてゐる。
二 先般來支那で募集中であつた救國公債は應募者少くはかばかしくないの、國民政府は窮餘の一策として現在支那國民の銀行其他に預金しある四十億の預金全部をこの公債に振り向けるやう計畫されつゝありと云ふ。
三 支那新聞のデマ連載は依然として連日行はれて居り最も注目すべきは〇〇通信社が帝國軍隊を認めるも甚しき曲筆を弄して諸外國に通信してゐる。

事で、國民はこれに對して多大の警戒を要する。



帝
死將校氏名
(廿八日發表) 滄州附近廿二日以來の激戦における戰死將校氏名左の如し
▲長野部隊
大尉 西川喜久藏
中尉 藤井 新
少尉 楠本 三藏
同 伊藤 光雄
同 内田 滿
同 矢芝 善美
准尉 岡田熊太郎

(廿八日發表) 〇〇に於ける戰死將校氏名左の如し
▲山内(保)部隊
大尉 三谷 安
少尉 木内 治夫
少尉 保木 山開
同 伊藤 信夫
▲和田部隊
少尉 野櫻竹次郎
同 青木 芳郎
上海(六) 廿八日午後の戰死將校左の如し
▲武田部隊
准尉 恒川 銀作

國民支援

大日本婦人團體聯盟成る
(六) 非常時體制下に於ける日本女性の餘後の譏りは益々固きを加へてゐるが時局は更に國民生活の廣範圍に亘つて益々組織的な餘後の活動を要求して居り街頭の千人針に、出征兵士の慰問見送りに遺家族の慰問に、個々別々な活動をしてゐる婦人團體にも漸く大同團結の機運が

萌へ寄々協議中であつたが基督敎女子青年日本同盟、日本基督敎婦人矯風會、日本消費組合婦人協會、日本女醫會、婦人同志會、婦孺獲得同盟、婦人平和協會、全國女の會、全國中等學校女敎員會、全國小學校聯合女敎員會、母性保護聯盟、組織會を持つ自來の婦人團體の代表者達が集まり廿八日午後三時から日比谷松本樓で組織會を開いた結果日本婦人團體聯盟の組織をみるに到り御大の吉岡彌生女史外出協同に移り會長カンドレット恒子副會長上代たの、杉田鶴、書記市川房枝山本琴子、會計押川美香子、大濱英子等各役員の決定をなし非常時餘後の譏りとしての宣言文を發表假事務所を澆濁の日本基督敎婦人矯風會内に置き取りあへず東京中央委員會研究委員會の事務をとる事になつた。

刑務所内の愛國行進曲

刑務所のなかに盛りあがる朗らかな愛國行進曲は横濱市山田町のバンドホテル軍被服の製作に忙殺されその一部作業を横濱、小菅、府中刑務所に依託してゐるが受刑者達は平常工程の半分で仕上げるスピード振りである、且つ賃銀の一部を引出でる者多く當局を感激せしめてゐる。

東支組合陸海軍へ獻金

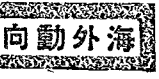
(六) 日本における左翼労働組合として活躍した東京市電氣局従業員の組織する東京交通組合も支那事變を契機として轉向しつゝあり右翼派の山田榮君が發揚したのを機會に從來の左翼思想を放棄し廿八日には山田支部長外代表署名は陸海軍を訪問して國防献金として各百圓宛を寄附した。

蒙古王一千圓獻金

新京(六) 河北に於ける大勝利の輝かしい戦果により皇軍に對する滿洲國民の感謝と畏敬の念は愈々高まり五族協和の獻金語は高らかに奏でられてゐる、廿八日は珍らしく蒙古の王様が關東軍司令部を訪問し感謝の言葉を述べると共に關東軍に五百圓を獻金し又蒙古軍の軍資金として徳王に傳達して下さいと更に五百圓を提出した。この王様が達蘭亭親王、那木濟勒色楞と云ふむづかしい名前の老人で滿洲事變前までは興安南省、興安中旗の酋長として蒙古族のため活躍した人である、事變後は健康が勝れなかつたため職を辭して奉天の寓居に悠々自適の生活を送つてゐた。

亡命露人の獻金運動

(六) 皇軍の勇敢なる活躍に刺戟されて在留亡命露人協會(本部東京市下谷區御徒町一の一黒田ビル内、會長横濱市中區鷺山二五ベトロフ元陸軍少將)では日頃の報恩の一端として東京、横濱、千葉、北海道の同志協會員九十名に機を飛ばし来る十月十四日「皇軍慰問資金募集總會」を横濱市山田町のバンドホテルで開催同夜の収益全部を陸軍部に獻金皇軍を遙かに慰め熱烈な感謝の意を表することになつた。



海外勳向
若杉總領事全米に放送
ニューヨーク(六) ニューヨーク駐在帝國總領事若杉要氏は廿八日午後六時四十五分から十五分に亘りコロンビア放送局より全米に向つて支那に正義の軍を進める帝國の立場を堂々と闡明左の如き熱辭を揮つた
我が日本は過去十五年に亘つて執拗なる支那の排日に抗しつゝ平和的協力を努めて來た、吾人はその通例として茲に三點を擧げやう

(一) 日本はドイツより譲受けた權益を華府會議に於て支那へ返還した

(一) 日本は南滿洲に於て若干の重要
既得權益を拋棄した
(二) 日本は一九二五年の北京會議に
於て支那の要求を支持し治外法權廢
棄の意見を表明した
然るに支那は日本の友好的態度を無視
してポイコト、邦人虐殺、排日教育
等により背信行爲を續けて來た、歐戰
後、上海兩事件は實に支那側の挑戰に
よつて惹起されたもので理下の情勢を
適確に了解する爲には以上の如き背景
を閉却してはならぬ

日本は支那に對し領土的野心は毛頭無
く唯經濟的協力を希望するのみであり
更に東亞赤化の魔手に對して斷乎歸は
んと欲するのみである、又日本は無辜
の支那民衆と戦はんとするのではなく
單に軍事施設及び反日軍隊を粉砕廢
せんとするのみである、然しながら
吾人は確信をたたる戰場廢絶の中から
日支兩國間の恒久的平和、友好的協力
の生れ出づる事を確信し且つ切望する
ものである

ソ聯駐支大使モスクワへ
上海(六) 確報に依ればソ聯ボゴロ
フ駐支大使は本廿八日午前突如飛行機
にて南京發モスクワに向つた

モスクワ急行に關しソ聯大使館は一切の
言明を避けてゐるが右は微妙なるソ支關
係に決定的動向を與ふべき重大要務を帶
びるものなることは一般に信せられる處
である、而して一説には大使今回の歸國
は既にソ支間に重大なる或る種諒解の原
則的成立なりたるものと見られてゐる、
なほボゴロフ大使は歐亞航空会社の旅
客機により新疆を経て四日目にモスクワ
に到着する豫定である

英勞働黨日支問題研究

ロンドン(六) 英國勞働黨は十月四日
から九日迄幹部會を開くが極東の情勢就
中日本が大軍を支那へ派遣してゐる事實
につき檢討を加へ黨としての方針を協諒
する模様である、議會は十月廿一日に再
開する豫定であるが勞働黨は右幹部會に
於て政府の外交方針を質す爲之を十月十
九日に繰上げるやう政府に要請するの
ではないかと見られる、勞働黨議員は政府
がジュネーヴに於て對日經濟制裁のイニ
シアチヴをとらなかつたのを遺憾として
對日強硬論を主張してゐるから勞働黨は
對日ポイコトを支持するだらうと豫想
されるが政府消息通は一九二七年の法令
は資銀及び組合の自由の問題に關する以
外の罷業を禁じてゐるから勞働黨も勞働
組合も資本家が参加を拒否する場合は罷
業を勸告しないだらうと言つてゐる

支那教授英國で遊學傳

ロンドン(六) 英國の國際聯盟協會は
廿八日ウエストミンスター・サタデー
・ホテルに支那事務協議會を開いた
が席上南京政府が對外宣傳の爲歐米へ
派遣された南開大學教授張彭春は日本軍
の行動につき虚傳の事實を述べ立て英國
民の同情に訴へた後左の如く豪語した
支那國民は侵略に對抗して最後迄戦ふ
決意である、今次の事變により支那國
民の國家的意識は愈々昂揚された

シヤンク擊沈
處報問題

英國ク大使へ訓電

ロンドン(六) 廿七日のロンドン各紙
は日本潜水艦が南支に於て支那の漁船を
丹朮から擊沈し三百名餘の死者を出した
旨報道してゐる爲め英國朝野にセンセー
ションを起してゐるが確證するに英國外
務省はクレイグ駐日大使に右報道に關

し詳細な報告方を訓令したと言はれる、
英國政府は大使よりの報道が廿八日中に
到着すれば之を廿九日の定例閣議に附議
する意向と傳へられる

ロイターの虚報

香港(六) 香港ロイタ
ー通信員は支那人であるため事變以來日
本を誹謗するデマ通信を度々發信し今や
通信の機能を失墜しつゝあることは周知
の事實であるが去る廿二日日本の潜水艦
は香港附近に於て支那ジャンクを擊沈し
た運糧せる乗員は折衝通過中の獨逸海船
シヤルンホルストに救助されたと報道
したが我が當局の詳細な調査に依れば
右シヤルンホルスト號は事件が發生した
と報道された廿二日には神戸港に碇泊し
翌廿三日神戸出帆廿七日マニラに入港日
下同港に碇泊中である、尙同船は香港附
近は一切通航せざりしことが明白となり
香港ロイター通信の極めて惡辣なる報道
ぶりに我が關係當局も極めて憤慨して
ゐる

海軍當局無根聲明

外國新聞通信の報道による我が
潜水艦の支那ジャンク擊沈は全くの虚報
で險なる支那側の宣傳に乗せられたも
のであるがこれに關し海軍省では廿八日
午後四時半副官談の形式を以て左の如く
發表した

海軍省副官談

最近南支那方面に於て支那漁船日本潜
水艦に擊沈せられた多數の死傷者を出せ
る旨外國新聞に報道されてゐる趣なる
が右は全く無根の宣傳にして我海軍に
於ては苟も敵意を有せざる漁船ジャン
ク等を攻撃するが如きことなき様數に
注意しあるを以て今日迄潜水艦は勿論
我艦船が無辜の支那漁船を襲撃したる
が如き事實は絕對になし、右は最近廣
東方面に於て我海軍航空部隊の掃撃に

より非戦員に數千の死傷者を出せり
との流言と等しく我方を不利ならしめ
んとする虚傳の宣傳に外ならず、支那
側は英米の輿論を惡化せしめんが爲凡
ゆる努力を拂ひ最も巧妙なる方法によ
り虚傳の事實を流布宣傳しつゝあるを
以て帝國海軍が屢次言明せし通り第三
國並に一般民衆に損害を與へざる様數
善の注意を拂ひつゝある誠意に倚信し
斯る宣傳に迷はざらんことを望ん
で止まず

海軍當局談

上海(六) 香港沖に於ける我潜水艦の
支那ジャンク擊沈云々の外人側の報道に
對し現地我海軍當局は左の談話を發表し
た

海軍當局談

獨逸海船シヤルン・ホルスト號が香港
沖に於て救助せる支那人の言として多
數のジャンクが日本潜水艦のため擊沈
されたとの件に關し慎重なる調査の結
果帝國海軍關係は斯の如き事を爲した
る事實無きことを確めたり、即ち廿二
日朝九龍江沖附近に行動せる潜水艦無
し、日本海軍が支那民衆に對しても
其の生命を尊重せるは艦隊長官の南京空
襲の際に於ける警告及び本田大使館附
武官が去る廿五日外人記者に爲したる
談話に於ても明かなり、帝國海軍各員
は今支那沿岸航行遮斷に於いて左記
を嚴守せり

一 支那船舶にして軍事的行動を爲す
ものを除き一般船舶は之を指定せる
地點に留置することあるべきも我が
方の命に當る場合之を擊沈せざる事
一 沿岸漁業に従事する小艇等は特別
なる場合の外拿捕せざる事
右は充分帝國海軍一般に徹底し之を犯
すものなきを信す、本事件の如き帝國
海軍の公平なる態度を示すが如き宣傳
に乘せらるゝ事なきを望むものなり帝

國海軍は過去に於て支那の宣傳するが
如き虚傳を爲したる事なきは勿論將來
に於てもこれを行ふ事なし

九月廿九日

平級 戰況

朔縣占領

大同(六) 〇〇軍廿九日
午後八時發表 右翼方面〇
〇部隊は廿八日午後十時朔
縣を占領し偏關及び神地向け敵を追撃
中なり、朔縣に於て敵の捕虜五百、砲二
門、兵器多數を擧獲せり、該方面の敵は
何柱國軍の騎兵なり、朔縣の攻撃に當り
ては我が工兵隊は城門を爆破し〇〇部隊
續いて之に突入す、この爆破に際し安江
工兵大尉は壯烈なる戦死を遂げたり

鐵嶺占領

大同(六) 〇〇部隊廿九日午後八時發
表 〇〇部隊は廿八日午後三時柴溝の
線に進出し該方面敵主陣地大部分を突破
し續いて追撃に移り大なる抵抗を受ける
ことなり、日寇鐵嶺を占領せり、本日該
方面の戰況有利に進展し午後三時頃魏家
庄(繁峙東北方七キロ)に達せり

繁峙縣城占領

茹越口(六) 後藤部隊は廿九日午後四
時五分繁峙縣城を完全に占領東門より入
城して日軍旗を樹たし、我が軍入城に緊
時縣城附近にあつた支那軍の一部は靈場
として名高き五臺山方面の山中に逃走を
開始した、繁峙縣城は山西省の要地で南
口、八達嶺にも勝る難關であり同地を失
つたことは山西軍に取り非常な痛手であ
る

大同【六元】(○)軍廿九日午後九時發表(○)部隊は本日午後七時廿分警時を占領せり

茹越口【六元】廿九日午後四時警時を閉入れた我が(○)部隊は同七時北城門を開き堂々入城敗殘兵の掃蕩を行ふと共に後隊部隊の先鋒部隊は敵を追ひ代州方面に進撃中

▲天險突破 茹越口【六元】廿八日拂曉山西軍の前陣地茹越口を攻略したが我が(○)部隊は敵に一刻の猶豫も與へず急追また急追山また山の峻嶒と惡天候を物ともせず南進を續け後隊部隊の精銳は我が空軍の擡撃と砲兵隊の協力の下に同日午後四時十分茹越口南方十キロ、繁峙縣城北方三里に在する要地二千五百卅高地を占領し翌廿九日午前六時を期して總攻撃を開始遂に雁門嶺東部の天險を突破して繁峙縣の中央陣地を奪取代州平野に進出した、我が軍の代州平野進出を阻止すべく雁門關一帶の天險を楯に集結した支那軍は中央山西の聯合軍十四箇師で同所に展開さるべき山嶽戰の困難激烈さは南口戰を凌駕するとも劣らぬものと目される我が軍の繁峙縣占領代州平野進出により支那軍は有史以來外敵に蹂躪されたことなしと豪語する雁門關を背後より衝かれる事となり山西の首都太原を守る最後の堅陣雁門關の陥落は自隄の間に迫まつた茹越口【六元】雁門嶺の要害茹越口の敵陣地は廿九日拂曉掃蕩後、後隊兩突撃隊が猛烈な敵艦戦により奪取した、代州平野を二と目に見下す雁門嶺三五三〇〇高地こそは支那軍にとつてどうしても死守せねばならぬ要陣だつたのである、白兵戰を演じ敵軍約二百十數個の掩蔽陣地を撃破し敵軍約二千を殲滅した兩部隊は代州平野に潰走する殘敵を追撃して繁峙縣に進撃敵戦の後之を占領した、この戰闘

におき陣頭に立つて奮戦中の武田部隊長は廿九日午前十時敵の迫撃砲彈破片に胸部を撃ち抜かれ鐵角嶺山頂に於て壯烈なる戰死を遂げた

平漢 戰 況

寺内大將保定入り

天津【六元】(午後二時軍司令部發表)寺内大將は本廿九日保定に到り前線の狀況を視察し將兵の勞苦を憐み且激勵せり ▲市民の歡迎行列 保定【六元】皇軍入城と共に平和恢復期明しつゝある保定では廿九日午前十時から治安維持會、商務會が中心となつて日本軍歡迎行列を舉行した、この日天高く澄み渡り集合場公安局前には五千の市民が集合女學生から小供、腰の曲つた老婆に至る迄も手に日の丸をもつて樂隊を先頭に行列を繰出し「河北人の河北」と大書した大旗を立て保安隊の後には各町内毎の住民列が續き城内目撃の通りを行進した後城外に出て車場附近の天主堂に集合し日本軍の戰勝祈願を行ひ日本萬歳を三唱し午後一時散會した

北支に支那機現はる 保定【六元】廿七日午後一時頃新裝を改めした我が鈴木部隊の一衛兵が南方より雁行して飛來し來たる怪飛行機二機を發見小銃、機關銃を以て猛烈なる對空射撃を行つた結果うち一機を撃墜した

東光縣占領 天津【六元】津浦線上の戰況は連日目覺しつゝ進展して居り我が先鋒部隊は破竹の勢ひで南進を續けてゐるが、廿八日夕刻泊頭嶺を抜き廿九日午後四時東光縣に達し敵陣地に向つて猛撃を加へてゐる、同所は山東省濰安陵に至る僅か八里、滄州を失つた敵にとつて津浦線河北省内最南の唯一の有力な抵抗線であり滄州陥落以後我軍の猛追に既に戰意を失つてゐる敵の敗北は最明かである

天津【六元】(午後五時司令部發表)津浦線方面の我が第一線部隊は惡路を冒して猛烈に敵を追撃本日午後五時頃より東北縣(滄州南方大凡十三里)の敵陣地を攻撃中

天津【六元】廿四日我軍の滄州占領以來五日我が精銳は早くも津浦線の一要衝東光縣に迫り本日午後四時頃より我軍は東光を猛攻撃中であるが敵は東光以南より德州へ、又敵縣寄りからは阜城、景州の線を経て德州へ鐵道線路を中心に續々集中しつゝあり、之が爲め右各町を結ぶ道は敵の敗走兵の爲に蔽はれ續々南下中である

天津【六元】本日午後雨もよひの空を○機は見事な編隊にて○○根據地を出發東光縣の敵陣地に對し猛撃を敢行我が地上部隊の攻撃を便ならしめ尙も敵の後方を攪亂狼狽する敵部隊を尻目に悠々歸還した

天津【六元】(軍司令部發表)子牙河方面にある我部隊は廿九日正午敵縣を占領し更に東南方面に向ひ敵を急追中なり

天津【六元】我が津浦線右翼部隊の先鋒は南趙扶鎮より西南子牙河に沿ひ破竹の勢を以て猛進廿九日朝遠く河北中原縣縣城を衝き城外の堅陣に據る敵に空軍と相應じて猛撃を開始し正午敵を潰走せしめて堂々之を占領したが更に阜城、景縣の線に沿ひ敵を猛追しつゝあり、津浦線上に於ける皇軍の東光占領と相應して河北東半分は滄州陥落後旬日を出でずして一の殘敵も殘さざる日近しと見られる

天津【六元】(軍司令部發表)中部要地獻縣にある敵に向つて猛撃を開始しつゝあつた我が片桐部隊は廿九日正午遂に獻縣城に一番乗り

天津【六元】我軍の獻縣占領に當つて敵は吳克仁の約二箇師と卅七師の一旅隊とを以て阻止せんとしたが廿八日子牙河に沿ふて急進せる我が片桐部隊は突如獻縣側面に現れ猛撃したの一たまりもなく算を亂して南方に潰走したものである

天津【六元】(軍司令部發表)中部要地獻縣にある敵に向つて猛撃を開始しつゝあつた我が片桐部隊は廿九日正午遂に獻縣城に一番乗り

天津【六元】(軍司令部發表)津浦線に沿ひ追撃中の我部隊は廿九日東光を占領更に南方に急進中、東光は滄州、德州の中間にある縣城にして津浦線河北省境を距る三十料の地點あり

天津【六元】(軍司令部發表)津浦線に沿ひ追撃中の我部隊は廿九日東光を占領更に南方に急進中、東光は滄州、德州の中間にある縣城にして津浦線河北省境を距る三十料の地點あり

天津【六元】(軍司令部發表)津浦線に沿ひ追撃中の我部隊は廿九日東光を占領更に南方に急進中、東光は滄州、德州の中間にある縣城にして津浦線河北省境を距る三十料の地點あり

天津【六元】(軍司令部發表)津浦線に沿ひ追撃中の我部隊は廿九日東光を占領更に南方に急進中、東光は滄州、德州の中間にある縣城にして津浦線河北省境を距る三十料の地點あり

天津【六元】(軍司令部發表)津浦線に沿ひ追撃中の我部隊は廿九日東光を占領更に南方に急進中、東光は滄州、德州の中間にある縣城にして津浦線河北省境を距る三十料の地點あり

天津【六元】(軍司令部發表)津浦線に沿ひ追撃中の我部隊は廿九日東光を占領更に南方に急進中、東光は滄州、德州の中間にある縣城にして津浦線河北省境を距る三十料の地點あり

天津【六元】(軍司令部發表)津浦線に沿ひ追撃中の我部隊は廿九日東光を占領更に南方に急進中、東光は滄州、德州の中間にある縣城にして津浦線河北省境を距る三十料の地點あり

天津【六元】(軍司令部發表)津浦線に沿ひ追撃中の我部隊は廿九日東光を占領更に南方に急進中、東光は滄州、德州の中間にある縣城にして津浦線河北省境を距る三十料の地點あり

天津【六元】(軍司令部發表)津浦線に沿ひ追撃中の我部隊は廿九日東光を占領更に南方に急進中、東光は滄州、德州の中間にある縣城にして津浦線河北省境を距る三十料の地點あり

天津【六元】(軍司令部發表)津浦線に沿ひ追撃中の我部隊は廿九日東光を占領更に南方に急進中、東光は滄州、德州の中間にある縣城にして津浦線河北省境を距る三十料の地點あり

天津【六元】(軍司令部發表)津浦線に沿ひ追撃中の我部隊は廿九日東光を占領更に南方に急進中、東光は滄州、德州の中間にある縣城にして津浦線河北省境を距る三十料の地點あり

四 和知部隊は楊家宅、陳家宅の敵陣地を奪取し更にその西方部境の線の敵を攻撃中なり

上海【六元】劉家行の一角を占據されたがらも頑強に死守しつゝある敵は今朝來同部隊に火を放ちたるものゝ如く同方面上空に當つて炎々天を焦す有機が手に取るやうに見える

揚行鎮【六元】(○)附近に砲門を列べて我が(○)砲兵部隊は廿九日午後七時より胡家宅南方の敵陣地に對し一齊に砲撃を開始し猛撃一時間の長きに亘り股々たる砲聲は江南の天地を威壓してゐる

陸戰隊進撃開始 上海【六元】北四川路西側の敵陣地に對し海軍航空隊は本日未明より猛烈なる擡撃を加へたため各所に火災起り北停車場と商務印書館を連ねる寶山路一帶は煙々たる黒煙に包まれてゐる、陸戰隊佐野部隊は一齊に進進を開始し敵我が前進を阻止すべく必死の反撃を續けてゐるが午前七時現在陸戰隊は着々優勢なる地歩を占め士氣大いに揚つてゐる

上海【六元】佐野部隊麾下各部隊は西寶興路に沿ひ果敢なる挺進を續け宮崎部隊は午前十時寶興路上海吳淞鐵道の線まで進出し一方土師部隊は敵の根據地とせる共大油廠の敵兵を午前十時殲滅之を占據せる後更に前進中である、また今井部隊は虬江路に沿ふて攻撃前進既に廣東街の一部を占據した、午前十一時現在我が損害は極めて輕微負傷二名のみだが敵の損害は擡撃によるものに加へて甚大に上る見込

上海【六元】今井部隊前面の敵は廢墟と化した家屋のコンクリートの厚壁に據つて機銃、手榴彈を以て頑強なる抵抗を續

上海【六元】今井部隊前面の敵は廢墟と化した家屋のコンクリートの厚壁に據つて機銃、手榴彈を以て頑強なる抵抗を續

上海【六元】今井部隊前面の敵は廢墟と化した家屋のコンクリートの厚壁に據つて機銃、手榴彈を以て頑強なる抵抗を續

支 南 中

上 海 戰 況

陸軍部隊全線進出

上海【六元】(○)報道部午後九時發表

一 福井部隊、津田部隊、加納部隊は連日の攻撃に引き續き瀟瀟瀟ククリク北側の敵陣地を攻撃頑強なる敵の抵抗を排除し寶家弄、須宅、胡家庄及びククリクの線に進出續いて當面の敵を攻撃中なり

二 川村部隊は此攻撃に協力し崇明塘、曹宅の敵陣地殊にその砲兵陣地に對し數回に亘り果敢なる攻撃を敢行して徹底的打撃を與へたり

三 永津部隊は連日來の攻撃を續行し本日午後二時家宅の敵陣地を奪取し更に張家宅、朱家宅の線の陣地に對し敵

けつゝあり、勇敢なる陸軍隊健兒は之等の隘路を爆撃又はハンマーを以て穴を開け手榴彈、發煙筒を次から次へと投げ付けつゝ前進、北四路路、虬江路、寶興路三道路に包まれた一帶に亘り激烈なる市街戦を展開してゐる。

上海(支元) 我が陸軍隊佐野部隊の一部は第一次上海事變の激戦地として有名な三義里の敵陣地を正午頃占據し鐵道線路にまで進出し又その右翼一部隊は北四路路より白保羅路を進撃上海日報社前まで進出した。

上海(支元) 午後二時第三艦隊報道班發表 海軍陸戰隊佐野部隊は今朝來海軍航空隊の爆撃と相協力して寶興路、廣東街虬江路方面より進撃を開始しその右翼部隊は敵の頑強なる抵抗を排しつゝ、淞滬鐵道附近に到達目下之を確保するとともに左翼部隊と協力前方の敵を攻撃中なり。

上海(支元) 敵は我が進撃に對し對峙四十日間に増強せる掩護物を利用し必死の防戦を試み北四路路以西一帶に敵の迫撃砲、機關銃、小銃彈を雨下しつゝあるが我が勇猛なる陸戰隊勇士は挺身又挺身敵の砲座、銃座を次ぎに奪取し老練子路、北四路路交叉點の我が陣地は午後三時半老練子路西部の第一前進陣地に到着桃山ダンスホール前より前進せる高橋部隊は川公路の敵陣地に圍込み敵兵卅數名を斃し又ハスケル路附近の敵は退却に際し放火して逃去つたのでパンテオン劇場附近には火災起り炎焼中である。

海空軍掩護砲撃 上海(支元) 本朝八時四十分我が海軍機〇機は密雲を衝いて開北上空に現れ敵陣地に猛烈な爆撃を敢行した。

上海(支元) 廿九日午前五時五十分我が江上艦艇は一齊に砲門を開いて浦東の敵

砲兵陣地に對し拂砲撃を開始した、敵陣地と思はれる地點に火災を起してゐる。上海(支元) 我が江上艦艇は午後六時頃浦東日清汽船倉庫附近の敵陣地に集中砲撃を行ひ更に午後八時廿分頃より約廿分間に亘り浦東の敵に猛撃を加へた。

上海(支元) (第三艦隊報道班午後九時發表) 一 海軍航空隊は本日陸軍〇機關に協力唐橋の砲兵陣地を爆撃すると共に又一部は開北の堅固なる陣地に據る敵に對し猛烈なる攻撃を敢行せり。

出雲左舷に機雷炸裂 上海(支元) (第三艦隊報道班午前十時發表) 今朝四時支那軍は出雲左舷後方遠方にて機雷水雷と覺しきものを炸裂せしめ同時に浦東側より猛烈に射撃を開始せり。我が江上艦艇一齊に砲門を開き我が海軍航空隊の活躍と協力して敵を制壓せり。

第三艦隊當局談 上海(支元) 昨廿九日午前五時出雲艦首より數百米浦東側上海船渠會社碼頭において機雷と覺しきもの爆發せるにつき調査の結果上海船渠會社碼頭を通じて同社棧橋より一端を江中に入れ電線及び會社棧橋内に機雷管らしきもの、破片を發見せり、この電線は極めて新らしきものとして最近秘かに支那軍により工作せるものと明らかに認定さる、帝國海軍は列國の權益尊重のため最善を盡しつゝあるに對し本件は支那側が明かに三國權益に關する上海船渠會社碼頭内を軍事行動に利用せるものなること明瞭であつて列國もかかる支那側の行爲に對し概に糾弾せねばならぬ行爲である

と信する 〇〇艦(支元) 廿九日未明支那軍は視察機雷を以て旗艦出雲を爆破せんとしたが右機雷を動かせた場所は浦東側上海ドック會社の近くであり且つ同會社は英國系會社であるので第三艦隊司令部では問題を重大視し直ちに嚴重なる現地調査を進めてゐる、なほ本件に關し〇〇參謀は左の如く語つた。 本日前五時五十分頃出雲が投擲してゐる上流約五百五十米に突然火を吐いて爆發したものがあつた、本艦では直ちに現場に調査員を派遣し調査せしめたところ視察機雷であることが判明した。しかも機雷の電線は浦東側の上海ドック附近より引いて來て居るのだった、現地調査隊は右機雷の破片數十箇電線數百米を證據物件として持ち歸つてゐる、敵はこの機雷を水面に浮べながら本艦を目撃して流して來たものらしいが丁度上げ潮の時だったため目的を達せずして爆發したものである。

英抗議を諒承す(支元) 上海岡本總領事發外務省着電に依れば廿九日午前五時四十五分軍艦出雲泊地點の上流三百米の地點に一大音響あり調査の結果機械水雷が防禦網にひつかり爆發したものであることが判明したがその機械水雷は視察の仕掛けあるもので、そのコードの先端は極く近くの浦東側の上海船渠會社(イギリス會社)の碼頭に引き込まれをり視察の仕掛けが施されてあつたが同日午後同船渠會社代表は隣接の上海印刷會社代表(國籍不明)と相携へて上海總領事館を訪問。

日本海軍の水兵が會社棧橋内に闖入したるために支那軍に感服されたと申出て一方英國艦隊參謀長は第三艦隊を訪問同様の趣旨の抗議をなした、我方

に於ては 艦内の調査をなすことは自衛上當然のことである、又我方に方では從來外人所有の建造物を業動に利用するの疑念ある場合にも所有者、監理人の言分を信用してその財産權を尊重して來た、そのために今日まで我が方如何に危険に曝されてゐたかを今次の事件によつて理解すべきであり今後支那側の外人建造物利用禁止については所有者側で十分の保證を與へない限り我方に於ては適當の處置を講ずるの他ない、旨の回答を與へた、英國艦隊では我方の公正なる申出を首肯するの他なく會社側も英國艦隊に諒承されこの旨を諒承した。

支那軍の損失甚大 上海(支元) 〇〇部隊は廿七、廿八兩日の戰鬥に備つた捕虜の言を綜合すると敵軍の損害は豫想外に大きく陳誠直系の十四師の如きは二箇聯隊の全滅により戰鬥力を喪失したため露に羅店鎮或略戰に大敗し嘉定に退いたため露を再び第一線に送り出した程である、尙ほこの外五十八、五十九師は既に全滅に瀕し十一師も亦三分の一の兵を失つた模様である。

南翔、嘉定、廣德、江陰爆撃 上海(支元) (第三艦隊報道班發表) 一 海軍航空隊は廿九日南翔、嘉定を爆撃し又廣德においては建造中の格納庫一棟を機雷破襲し更に軍用倉庫一棟を倒壊せしめた。

一 又一部航空兵力は昨夕江陰を空襲し海容型巡洋艦を爆撃しこれを大傾斜せしめたり。

廣東軍機機關爆撃 香港(支元) 我空軍〇機は廿九日午前九時廣東を襲撃し残れる軍事機關の建物に爆撃を加へた後〇隊に分れて虎門要塞黃埔軍官學校等を空襲多大の損害を與へたが中にも黃埔襲撃部隊は最も勇敢に敵の防空陣と支那軍艦隊和を襲撃し機雷を浴びせて大破せしめ同附近の軍用無線電信線を切断し外部との聯絡を不能に陥らしめた、なほその後判明せる處によれば粵漢線樂昌、韶關の二大鐵橋は廿八日午前九時の我が爆撃により大破された。

津浦線地帶爆撃 旅順(支元) (旅順要港部廿九日午前十時發表) 第九〇艦隊航空部隊は前日に引續き廿九日午前津浦、濟寧各地帶軍事施設を爆撃せり、臨沂、濟寧、海口に敵機なし同日午後更に〇〇機は徐州を攻撃北停車場附近に爆撃軍事倉庫に有効なる爆撃を敢行該倉庫は盛んに炎焼せり、徐州飛行場にも敵機なく我が損害なし。

文那大使館日本飛行機を匿ふ(支元) ワシントンの支那大使館は廿八日日本の飛行機二機が第三國に對する損害を支那へ轉嫁する爲に翼に支那の國旗を飾き廣德を爆撃したと發表した、支那は相次ぐ敗戦に狼狽し今や死物狂の宣傳戰を行つてゐるが此の種惡性の逆宣傳は識者の聲譽を買つてゐる。

支那の表説(支元) 右支那の虛構宣傳に對し我海軍當局は廿九日午後七時左の如き海軍省副官談を發表した。

海軍省副官談 最近に至り支那側の虚構の宣傳は愈々其の度を増し去る廿六日の空襲に於ては日本軍飛行機は支那の旗章を偽粧して居た等と宣傳して居る様子だが其の裏面消息は次の通りである。



九月廿六日は雨天のため南京空襲も中止した情況であつたが我〇海軍航空隊の〇〇機(軍機)二機は悪天候を利用して、冒險的低空飛行を敢行して廣徳飛行場を襲ひ同飛行場に於て敵の「ノースロップ」一機を爆撃破壊せしめたが當時飛行場附近の高射砲陣地は雨中より忽然として現はれあまりに大膽なる低高度の急襲に呆然自失竟に防禦砲火を酬ゆるの機をも失するの大醜態を演じ事後に至つて自己の失態を覆はんが爲に日本軍飛行機は青天白日章を附して居たため味方機と誤認せりとの報告を行ひたるものゝ如く之が前記宣傳の發端と認められる

本件消息は當時早くも一部新聞紙には報道せられた所であるが正々堂々不正不義を露骨すべく軍を進め而も軍規嚴肅なる帝國々軍に關する限り敵國の旗章を偽粧盗用するが如き卑劣なる行爲は絶対に有り得ざる所であつて此の點は恥を知り名を惜む日本人の國民性から見ても些かも疑問の餘地無し

百五十四萬八千元餘の増加となり發行高の六割三分餘に當り一應發行準備の堅實性を示してゐるが八月中旬以來政府最大の財源たる關稅收入始め統稅關稅等の政府收入が殆ど消滅してゐる等々激減さへへ豫想されて居り政府の偽購策に反し紙幣激増と準備激減に支那通過の基礎は著しく不健全化してゐる

國民政府

流通紙幣廿億突破
上海【六三】發行準備管理委員會發表によれば九月廿六日現在政府紙幣發行高は十五億四千四百四十五萬七千元と前月末に比し三千二百七十四萬二千元の増發を示してゐる、之に民間銀行七月の發行高一億元を加へると總計十六億四千四百四十五萬七千元となる、而して乍ら事變以來軍費の膨脹に對して賸餘の一策として回収済の舊紙幣の再發行されたもの相當額を上つて居り更に一部外銀が私に増發した自行の銀行券等を加ふる時現在の紙幣流通高は恐らく廿億を突破してゐるものと見られてゐる、一方現銀準備九億四千八百六十七千元と發表され之が前月末に比し二千六

百五十四萬八千元餘の増加となり發行高の六割三分餘に當り一應發行準備の堅實性を示してゐるが八月中旬以來政府最大の財源たる關稅收入始め統稅關稅等の政府收入が殆ど消滅してゐる等々激減さへへ豫想されて居り政府の偽購策に反し紙幣激増と準備激減に支那通過の基礎は著しく不健全化してゐる

韓復榘狼狽
某所へ着電の確實なる報道に依るる濟南に歸居してゐる韓復榘は保定滄州陷落の結果我軍は必然濟南に進撃するとの情報に接し極度に狼狽し濟南を放棄して膠濟線で山東方面に引揚げを餘儀なくされて居り又上海にある中央軍は我軍の猛襲にあつて敗退の色漸々濃く結局崑山の一線まで退却を餘儀なくされるに至つたと云はれる

ローマ字日本語打電禁止
上海【六三】國民政府交通部は廿九日午後大北電信その他外國通信機關に對しローマ字、日本語打電を禁止する旨通告し來つた、右は國際通信條約を蹂躪するものであるが過般の暗號電報禁止と共に日本に對する報復手段と見られローマ字を使用する邦人商社、新聞社等は相當の不便を蒙ることとなつた

支那一般情勢
【六三】廿九日某所着支那一般情勢は左の如くである
一 支那側の道宣傳に従へば無防備であるべき管の南京には英、蘇兩國の製造にかゝる高射砲が備へ付けられてをり又蘇聯將校が十數名活躍してゐる
一 蘇聯の對支武器輸送は強化し哈爾濱一蘭菜一西安の通路を經由してなされて

をりこの通路は連日數臺のトラックが頻繁に往復してゐる
一 蘇聯極東軍司令官ブリュツヘルは駐支蘇聯武官レービンに對し電話を以て刻々の作戰を指令してゐる
一 南京の軍官學校は日本空軍の爆撃を避けて廬山に移轉しそれに連れて蘇聯教育も廬山に移つた
廿九日陸軍側に到達せる情報に依れば一 支那軍の給養状態は最近頗る悪化せるものゝ如く供給不渡の部隊甚だ多く上司に對する反感は漸次濃厚となりつゝあるものゝ如く現に山西方面に在る第十五軍の如きは六月分俸給の三分の一を支給せるのみにて未支給額は次第に増加しつゝあるを以て六月分の殘額のみにて支給せられたと泣言を申出るに至り又上海方面の後方病院に入院中の者も大體不渡三ヶ月に及んでゐるものゝ如くである

南京空襲に關する
帝政府回答文
【六三】我が軍の南京空襲に關して英、米、佛三國政府は疊々夫々文書を以て申入れをなしたるが外務當局では廿九日夕刻左の回答文を註日各大使館に傳達した

先般支那側の募集せる救國公債は五億元にして其の半部を海外華僑より残り半部を國內にて消化する豫定なりしも華僑よりは今尙消息なく國內のものも應募額約一億五千萬程度にてしかもその大部は官廳、商店等への強制割當なるも全額一回拂込も出來ず實際に集め得たる金額は約一ヶ月間に六百萬元に過ぎざるものゝ如く其の募集成績は極めて香しからずと觀測されてゐる

南京空襲に關する
帝政府回答文
【六三】我が軍の南京空襲に關して英、米、佛三國政府は疊々夫々文書を以て申入れをなしたるが外務當局では廿九日夕刻左の回答文を註日各大使館に傳達した

南京空襲に關する
帝政府回答文
【六三】我が軍の南京空襲に關して英、米、佛三國政府は疊々夫々文書を以て申入れをなしたるが外務當局では廿九日夕刻左の回答文を註日各大使館に傳達した

△南京空襲に關する
帝政府回答文(廿九日附)
以警勸啓上致候、陳者九月廿二日附書翰を以て帝國軍の南京空襲に關し御申越の次第懇索致候
貴國政府に於ては御了知の通り南京は他に其の類例を見ざる程最も堅固に防禦せられたる支那軍作戦の中樞根據地なるを以て同市内外に於ける軍事的機關乃至施設を爆撃するは帝國軍の軍事目的達成の爲必要已むべからざる措置に有之帝國軍の爆撃も茲に右の範圍を出でず無差別的に非戦闘員をも對象とするものに非ざるは言を俟たざる所にして事前支那側非戦闘員に對しても警告せるは右を立證するものに有之候
又第三國の權益並に第三國人の生命財產の安全を出來得る限り益重致し度しとの帝國政府の嚴次聲明せる方針は今大爆撃に際しても何等變更なきは勿論に有之、今般貴國官民並に艦船の避難を申入れたるも畢竟我方最大の注意に拘らず第三國人に不慮の災害の及ぶことあるべきを極力回避致し度しとの念慮に出でたる外他意なき次第に有之候此の如く帝國軍が事前通告に依り作戦行動上少からざる制約を受け居るにも拘らず今回の如く第三國人の避難方希望せる次第は貴國政府に於ても十分御了解の上右帝國政府の措置に協力方切望致し候、尙今次支那に於ける戦闘行為の結果第三國人の蒙れる損害に關する帝國政府の意向は疊に進申せ置きの通り有之候
右回答文々々大臣は茲に重ねて閣下に向て敬意を表し候 敬具

戰死將校氏名
【廿九日原隊發表】 保定附近の戦闘に於て戰死せるもの左の如し
▲石黑部隊 大尉 橋角 治郎

死將校左の如し
▲沼田部隊 少尉 岩崎 利夫
▲和知部隊 少尉 谷内 清一
▲〇〇部隊 少尉 阿知波 廣
【廿九日發表】 滄州攻撃戰における戰死將校左の如し
▲沼田部隊 少尉 岩崎 利夫
▲和知部隊 少尉 谷内 清一
▲〇〇部隊 少尉 阿知波 廣

死將校左の如し
▲沼田部隊 少尉 岩崎 利夫
▲和知部隊 少尉 谷内 清一
▲〇〇部隊 少尉 阿知波 廣

死將校左の如し
▲沼田部隊 少尉 岩崎 利夫
▲和知部隊 少尉 谷内 清一
▲〇〇部隊 少尉 阿知波 廣

少尉 林 安男
大尉 高橋軍次郎
中尉 佐藤 武文
少尉 山口 隆
同 福間幸一郎
同 森川辨三郎
中尉 齋藤 勝司
中尉 佐藤 勳
少尉 田島和太郎
少尉 茅根 寛二
大尉 田中 睦夫
同 野村 寛
同 卯川ケイン
同 宮本敏太郎
准尉 磯原 孫一
同 高木 ギヲ
同 原田 嘉一
同 中井 友助
同 柏 正一
少尉 谷内 清一
少尉 阿知波 廣

▲遠山部隊 大尉 高橋軍次郎
中尉 佐藤 武文
少尉 山口 隆
同 福間幸一郎
同 森川辨三郎
中尉 齋藤 勝司
中尉 佐藤 勳
少尉 田島和太郎
少尉 茅根 寛二
大尉 田中 睦夫
同 野村 寛
同 卯川ケイン
同 宮本敏太郎
准尉 磯原 孫一
同 高木 ギヲ
同 原田 嘉一
同 中井 友助
同 柏 正一
少尉 谷内 清一
少尉 阿知波 廣

▲宮川部隊 大尉 高橋軍次郎
中尉 佐藤 武文
少尉 山口 隆
同 福間幸一郎
同 森川辨三郎
中尉 齋藤 勝司
中尉 佐藤 勳
少尉 田島和太郎
少尉 茅根 寛二
大尉 田中 睦夫
同 野村 寛
同 卯川ケイン
同 宮本敏太郎
准尉 磯原 孫一
同 高木 ギヲ
同 原田 嘉一
同 中井 友助
同 柏 正一
少尉 谷内 清一
少尉 阿知波 廣

▲安達部隊 大尉 高橋軍次郎
中尉 佐藤 武文
少尉 山口 隆
同 福間幸一郎
同 森川辨三郎
中尉 齋藤 勝司
中尉 佐藤 勳
少尉 田島和太郎
少尉 茅根 寛二
大尉 田中 睦夫
同 野村 寛
同 卯川ケイン
同 宮本敏太郎
准尉 磯原 孫一
同 高木 ギヲ
同 原田 嘉一
同 中井 友助
同 柏 正一
少尉 谷内 清一
少尉 阿知波 廣

▲長野部隊 大尉 高橋軍次郎
中尉 佐藤 武文
少尉 山口 隆
同 福間幸一郎
同 森川辨三郎
中尉 齋藤 勝司
中尉 佐藤 勳
少尉 田島和太郎
少尉 茅根 寛二
大尉 田中 睦夫
同 野村 寛
同 卯川ケイン
同 宮本敏太郎
准尉 磯原 孫一
同 高木 ギヲ
同 原田 嘉一
同 中井 友助
同 柏 正一
少尉 谷内 清一
少尉 阿知波 廣

米婦人から赤十字へ義捐金

國を擧げて正義の爲に戦ふ日本の姿に感
激した外國人からの激勵や慰問金は屢々
外務省に届けられて来るが、斯の内務次官
夫人登志子(三)へ米貨五百非(邦貨
千七百三十圓)を贈つて来た奇麗な親日
米婦人がある、この婦人はカリフォルニ
アの美術家(一)の夫人カサリンバ
ク・(二)さん(三)で、昨年九月、斯の内務
の友人の紹介状を持つて來朝約一週間滯
在觀光したが、美し日本の風光と、斯の内
夫妻始め接した日本人の親切に、非常な日
本品負となつて歸米したものの

昨年お國を訪問して味つた日本の方々
の御親切は身にしみて忘れません、今
度の事變ではさぞ苦しんでゐられる事
でせう、同情致します、このお金をと
うぞ日本赤十字社を通じて負傷した方
や出征遺族の方にあけて下さい、
といふ手紙を添へて前記の金額を送つて
來た、斯の内務は感激外務省を通じて赤
十字社へ献納の手續きを執つた

國民 支援

海軍協會皇軍慰問

【九二七】海軍協會では今回同會副會長飯
田久恒海軍中將以下井手元治少將、永野
雅信大佐、斑目健介大佐の四氏を慰問使
として上海方面の皇軍慰問に派遣するこ
ととし、行は廿九日午後三時東京驛發西
下した、丹日吳病院に戰傷病者を慰問し
梅林大尉以下合同辭に參列、十月一日佐
世保に戰病者を慰問した上、同日佐世保
發上海方面に向ひ九日歸着の予定である

加州同胞獻金

【九二七】南加中央日本人
會では日支事變勃發するや直ちに國防獻
金募集運動を開始したが十五日の第一回

募集締切り迄に總計廿五萬五千六百六十
圓九十錢に達したので廿九日協議の結果
折半して十二萬七千八百圓四十五錢宛
を住友、正金兩銀行經由で陸海軍兩大臣
宛に送つた

海外 動向

英對支軍用機輸出許可

【九二七】A P 通信
社ロンドン支局の探知する
所によれば英國航空省は一
人乗軍用機十二機の支那同
け輸出を許可したと言はれ
る、右はグロスター飛行機製作所製の時
連二百五十哩の快速を有するもので英國
人の操縦士も、義勇兵として飛行機と共
に支那に向ふ筈だと傳へられる、スベ
イオン向け軍需品の輸出を禁止してゐる英國
が斯かる處置に出たことは注目される
ロンドン【九二七】グロスター航空機製作
社は最近支那から時連二百五十哩のグ
ラデエター型軍用機多數の注文を
受け航空省に對し注文受諾につき認可申
請中であつたが英國航空省は廿九日右申
請に對し正式認可を與へた、注文書数は
不明だが最近のうちに支那に向け輸送さ
れる筈である、英國官邊では英國の再軍
備工作が妨害を受けぬ限り航空機を含む
各種武器の對外輸出に許可を與へるの
は、英航空省の從來からの方針で日支兩國は
未だ宣戰の布告をしてゐないこの傳統
的方針の變更を必要とする事變は發生し
てゐないと言明してゐるがスペイン向け
武器の輸出を禁止した英國政府が支那同
け輸出を許可したことは注目される

英產業團體對支協議會

【九二七】英國產業聯盟と各種の
支那關係團體は廿九日サイ・ジョーヂ・マ
クドノー將軍司會の下に聯合協議會を開
き日支紛争によつて蒙つた英國の在支權
益の損害につき對策を協議した、各産業

界の代表交々起つて意見を開陳したが大
多數の意見は英國産業の蒙つた損害は軍
事行動によるよりは寧ろ通商上の制限に
よるといふに一致し結局
一 今後支那に於ける英國産業に損害の
與へられるのを防止すると共に
一 從來蒙つた損害に對しては責任の所
在によつて夫々日支兩國へ賠償金支拂
を要求更に支那との通商交通施設の復
舊を圖るやう政府へ協力を要請する
旨の決議を採擇した、協議會は更に事態
の推移を注視すると同時に政府に對し英
國商船が佛伊兩國の汽船と同様吳淞寄港
を復活し得るやう取計ひ方を要請する爲
特別委員會を任命するに決定、尙特に支
那に權益を有つ英國各種産業の代表者は
右聯合協議會とは別に廿九日會合を開き
日支問題を協議したが對日ボイコット問
題は議題に上らなかつた、某代表は語る

英勞働評議會排日決議

【九二七】英國民間の對日ボイコ
ット運動は注目すべき情勢を示してゐる
が勞働組合と勞働黨幹部を以て組織する
英國勞働評議會(ナショナル・カウシ
ン・オブ・レーバー)は廿九日會議を開き
日支問題を協議した結果英國の勞働階級
日支問題を協議した結果英國の勞働階級
に訴へて日本の對支行動の起
すに決して左の決議案を可決した、決議案
は英國自治論、米國をほじめ世界各地の
國際勞働團體へ通達される筈である、決
議案の要旨は次の通り
一 日本軍が無辜の支那民衆に加へつゝ
ある「野蠻行為」は吾人の畏怖する所
ある
一 政府に對し日本向け武器輸出禁止並
に日本人商社に對する英國民間の購買

禁止方を要請する
一 聯盟を通じて日本商品の一般的輸入
禁止を圖る
一 英國國民に對し日本の「野蠻行為」を
のデモを行ふと同時に日本品不買を斷
行するやう要請する

日貨ボイコットは困難

【九二七】英國勞働黨を中心とする日貨ボイ
ット運動は英國勞働評議會(N.C.L.)の
決議となり政府に對し日本品不買を迫つ
て居るが右に關し政府は英國のみが單獨
でボイコットを行ふことは困難である
と左の如き見解を持つて居ると見られる
日貨ボイコットは英國獨り之を行ふこ
とは困難で恐らく成功しまい、問題が
民間の問題から政府の問題となつたと
しても英國として他國と共同で行ふ
のでない限りボイコットを行はぬ方針
である

富井參事官英次官訪問

【九二七】ロンドン駐劄帝國大使
館富井參事官は廿九日午後三時半英國外
務省にカドガン外務次官補を訪問し最近
の所謂非戰團員機撃其他事態の真相に付
き詳細に説明英國政府當局の認識は正に
努め併せて意見の交換を行つた、富井參
事官は特に英國政府が誇大な新聞報道又
は支那側の一方的情報により輕率な措置
に出ることなき様希望を披露した

空爆對米回答到着

【九二七】米國國務省は去る九
月廿二日付南京機撃に關する對日通牒に
對し東京駐劄クルー大使を通じて日本政
府の回答を接受した旨廿九日發表した、
但し右回答の内容に關しては目下研究中
との理由で何等發表されなかつた

禁止方を要請する
一 聯盟を通じて日本商品の一般的輸入
禁止を圖る
一 英國國民に對し日本の「野蠻行為」を
のデモを行ふと同時に日本品不買を斷
行するやう要請する

胡適排日演說

【九二七】支那事變に關
する對外宣傳の重要使命を帯び南京政府
から米國へ派遣された胡適博士は廿九日
當地で演說し日本軍の空權を世界大戰當
時ドイツが潜水艦を無制限に使用したこ
とと對比し日本が無制限に飛行機を使用
すれば英、米、ソ聯三國は結局第二の
世界大戰に捲き込むべく世界大戰當時單
なる中立政策を以て戰爭に捲き込まれる
のを防止し得なかつたではないかと暗示
的な演説で米國の事變介入を懇願した

九月三十日
平緩 戰況

北
大營鎮占領
露邱(一) 南口の激戦に
も劣らざる惡魔苦闘を重ね
て長城線を突破した我が○
部隊は三十日午後一時より大營鎮に集
結中の山西共産軍に猛攻撃を開始し午後
四時これを潰走せしめて完全に大營鎮を
占領した、敵は五臺山方面に向ひ雪崩の
如く潰走我が軍追迫中

○部隊は三十日午後一時より大營鎮に集
結中の山西共産軍に猛攻撃を開始し午後
四時これを潰走せしめて完全に大營鎮を
占領した、敵は五臺山方面に向ひ雪崩の
如く潰走我が軍追迫中

天津【六】(午後四時軍司令部發表) 粟飯原、大場部隊は本井日正午大營を占領せり

▲敵機墜落 靈邱【六】 廿九日午後一時頃我が〇〇部隊は山西省北部〇〇方面に進軍中突如三機編成の敵戦闘機が襲撃し地上五十米位まで降下し機銃を亂射したが我が〇〇部隊は一齊に小銃の猛射を行ひ内一機を廣靈附近の河原に墜せしめた

代州占領

山陰【六】 廿九日夕刻緊時を隔れた後隣、猪鹿倉兩部隊は西方に退却する敵を追撃し卅日午後四時代州の前面で立ち直らんとする敵陣地の中央を突破し同五分には早くも代州の前面平城の一角を占據した、全軍の士氣益々昂揚しつゝある

山陰【六】 わが〇〇軍は平城の敵陣を抜き更に大激戦の後卅日午後九時十六分遂に山西の要地代州縣城を占領した

一部隊を以て神池方面に向け敵を追撃中である、尙我が軍の警武確保により代縣方面より偏關を経て綏遠に逃走せんと企て居た敵は遂に退路を絶たれ原平に向け續々退却中である

敗走兵追撃

天津【六】 卅日午前八時山西省の關門代州を奪取した我が〇〇部隊は引續き五臺山に沿つて退却中の山西軍の大部隊を追撃中であるが十數ヶ師に及ぶ敵部隊は全く戰意を喪失し日支事變變發以來未だ嘗て見ざる大退却をなしつゝある、緊時を遺棄せる山西軍も南方高地五臺山に州等を某點として之等部隊の構成する三線相互の緊密なる連絡と我空軍の掩護爆撃の下に五臺、忻州、靜樂目指して敵滅の意氣物凄く目下引續き南進追中である

山西省政府臨汾移轉

山陰【六】 支那側の情報によれば閻錫山は日本軍の進撃に恐れを爲し廿七日山西省軍政兩機關の一切を擧げて太原より臨汾に移轉を命じた、山西軍の大敗を察知した太原市民は續々南方に避難し全市は全く死の都となして居る、尙閻錫山は河邊にある嚴父の遺骸を秘蔵裡に南方某地に移したと

閻錫山の都落ち

山陰【六】 破竹の如き〇〇軍の進撃の以前には雁門嶺の險による十數萬の兵力を以つてしても如何とも抗し得ず後隣、猪鹿倉部隊の茹越口突破で山西軍が最後と恃む防禦城壁の一角は潰れ續いて廿九日緊時縣城の占據は閻錫山が三年の日月と工費百餘萬を投じた要塞を無償にして山西軍の足溜を完全中に順慶張りの狡術を以て閻の山西王國を築き編者として支那軍閥には珍し

雷武占領

山陰【六】 昨廿九日より南進中の〇〇部隊は卅日午後六時雷武を占領し又その

く長く君臨し政局の變化の度毎に謎の巢窟として内外注目となり山西モンロ一主義を唱へて蔣介石の一敵國を形作つて畏敬され幾度か中央の重職に擬せられた彼が蔣介石の排日抗日に迎合した許りに敗戦の將として支那人が最も忌み嫌ふ祖先の墓を掘りて永年住んだ太原を後に都落ちせねばならぬ破目に陥つたこと自自ら招いた酬ひとは云へ昨日に變る彼の後姿に一洙の哀れを禁し得ない

平漢 戰 況

敗殘兵掃蕩 保定【六】 保定陷落後平漢線附近には逃げ遅れた敵敗殘兵が所々に出沒しつゝあるが廿九日午前高碑店西方約十四キロ附近の高梁畑に約百五十の敵敗殘兵潛在してゐるのを発見直ちに全部掃蕩した、驚くべきことに彼等は武器の状況巧な無線機を所持してゐるわが軍の狀を刻々通報してゐたのであり、また保定、高碑店間の列車は夜間しばしば敗殘兵の射撃を受けるので目下各驛の守備隊はこれを掃蕩中である

津浦 戰 況

▲支那機道襲 保定【六】 卅日午前六時半頃突如西北方より敵の飛行機一機保定を空爆機銃數個を落し一彈は保定驛に落下したが我高射砲の射撃で忽ち南方に姿を晦した、我軍の損害は輕微

連鎮占領

天津【六】 津浦線方面の我が桑田部隊は卅日午後三時雷雨と泥濘を耐して正午頃連鎮(德州北方凡七十里)を占領更に南進中

滄州攻略

天津【六】 滄州攻略後軍馬懸ふ違ふも

疾風の如く南方德州へ進撃を續けてゐた我が津浦線上的部隊は瞬く間に滄海口、東光を席捲して更に南進卅日正午先鋒部隊は折柄の沛然たる豪雨と雷鳴の中に連鎮の敵を蹴散らし進撃を續け一日朝早くも德州前方に迫つた、敵は我が猛襲に潰亂西南に潰走しつゝあり、山東省北端の要衝德州縣城に堂々日章旗を懸へすのも意々時間の問題となつた

上海 戰 況

▲各部隊進出 上海【六】 今朝十時横濱方面より進出した宮崎部隊は鐵道線路

支 南 中

約五十米の線を正午過ぎ確保し高橋部隊は協坂部隊と呼應し敵の堅固西貢鐵路秀女學校北側及び東側より煙幕を張りつゝ攻撃を續けまた今井部隊は廣東街を連撃附近民家の屋上より狙ひ射する敵を掃蕩しつゝ三義里前面に集結する敵を壓迫しまた佐野部隊は白保鐵路より進出上海日報社の後方に堅固な陣地を構築して頑強に抵抗する敵と距離廿米を以て相對し交戦中である

津浦 戰 況

▲女學校の機銃陣占據 上海【六】 北四川路〇〇開にある陸隊佐野部隊では前方約廿米の支那人女學校屋上より猛射し来る敵の機銃座を潰滅すべく本日午前十時廿分小西旭郎少尉以下卅五名の決死隊を組織し折からの秋雨を衝いて白練白鉢巻に身を固め一九となつて喊聲を擧げて突撃機銃小銃手榴彈の雨と降りそゞぐ中を躍り込み校舎の階段教室等に抵抗する敵兵を斬り殛し突き捲り敵銃座を粉碎して午後零時廿分完全これを占據した此の決死隊にて隊長小西少尉は壯烈極まる斬死を遂げ村田一等水兵他三名の負傷

市街戰記

上海【六】 北四川路一帶の陸隊は昨日に引續き卅日早朝から人家稠密の南北一帶の敵陣に對し攻撃を開始し田中、土師兩部隊は克明路、寶興路の二路に分れ途中家屋の壁を打ち抜き交通路を造り逐次前進を續け午前六時には淞滬鐵路の線まで到達し昨夜三義里を占據した協坂部隊と協力して前面の敵と交戦中である、一方土師部隊は午前十一時頭朝子路方面より前進ハスケル路の兩側家を潛伏する敵の機銃座と交戦これを排除し更に無數に敷設された地雷火を除くなど非常な苦心を拂ひ、而も前面の

者を出したが敵の死體は各部屋へ墮々と折重なつてゐた

上海印劇場包圍

上海【六】 わが陸隊土師部隊は卅日午後二時半朝子路より進撃し敢然敵の本據上海印劇場を包圍し猛烈な戦闘を展開中である

警道班公報

上海【六】 (第三編隊報) 道班卅日午後九時半發表) 海軍陸戰隊佐野部隊、土師部隊は逐次敵陣地を奪取しつゝ前進を續け右義は既に淞滬鐵道線に到着目下三義里附近の敵を猛襲中なり、敵は我が砲擊により多大の損害を蒙つた

戰死傷

上海【六】 卅日の市街戰において則内直正特務中尉及び佐藤松之助一等水兵は戰死し宮崎新作大尉、早坂中尉以下兵六名重傷を負ふた

市街戰記

上海【六】 北四川路一帶の陸隊は昨日に引續き卅日早朝から人家稠密の南北一帶の敵陣に對し攻撃を開始し田中、土師兩部隊は克明路、寶興路の二路に分れ途中家屋の壁を打ち抜き交通路を造り逐次前進を續け午前六時には淞滬鐵路の線まで到達し昨夜三義里を占據した協坂部隊と協力して前面の敵と交戦中である、一方土師部隊は午前十一時頭朝子路方面より前進ハスケル路の兩側家を潛伏する敵の機銃座と交戦これを排除し更に無數に敷設された地雷火を除くなど非常な苦心を拂ひ、而も前面の

家をコンクリートで固めたトーチカに據る敵の頑強なる防備と戦ひながら新車の敵陣を攻撃燬滅の中を突進する戦車と協力して屋内傳ひに敵陣に肉迫しつゝあり、敵は迫撃砲、機銃を以つて必死の防戦を試み白晝の北四川路一帯は目下壯烈なる遭遇戦が展開されてゐる。

上海(九) 上海北四川路戦線で佐藤○隊はハスケル路から則内○隊は北江路を越え南部隊包圍の體形を以て敵陣地に肉迫しつゝあつたが敵はハスケル路と北江路交点附近ハスケル路上の南北二ヶ所に三段陣地を構へ頑強な抵抗を試みて居たが午前十時全線に亘つて總攻撃の命令一下白樫に身を固めた我が部隊は三方より猛烈な火蓋を切つた、その時北江路に約百メートルの德堂に駐寄つた利那眼前の三段陣地から撃ち出した敵機銃弾はあつと言ふ間に隊長の下腹部に命中名譽の戦死を遂げた、時に午後一時五分、斯くて壯烈な市街戦は隊長戦死の恨みを籠めて撃ち出す我が砲火のうちに展開された幅三米の石疊のハスケル路を挟んで敵と對峙し双方路傍の兵家の窓から手榴弾を投げ合ひ機銃を撃ち合へば左翼小林部隊は記者のすぐ傍りの屋上から山砲機銃の一齊射撃を三段陣地目撃つて息もつかせず浴せかける、みる／＼うちにコンクリートの壁は破れ煉瓦は飛び炸裂する銃砲彈の破片は石疊を裂き飛び露路は濺々たる砲煙の中に息詰まる様な激戦である、朝來の曇天は晝時から遂に冷い時雨に變つた、午後零時五分雨の中を我野特務少尉の一隊は機銃を張りその中をハスケル路入口の鐵門に近づき之を破壊次いで我戦車は踏次を突進軒並に機銃の猛射を浴びせる、この時車身飛び出した一水兵は勇敢にも敵の第一陣地前の竹垣に火を放

陸軍部隊進出

▲朱家宅尹家宅占據 上海(九) 新銳下校隊は廿八日〇〇に上陸以來疾風迅雷の強行軍を重ねて〇〇地區に進出し卅日午前秋雨の裡を破竹の突ひで羅店鎮、劉家行中間朱塘の敵陣を突破し遅く間に朱家宅、尹家宅の陣地を占領致すクリクを隔て、郭巷橋、張家宅の線で頑強に抵抗する敵に猛攻撃を開始した

▲顧家宅北方部落占據 楊家宅(九) 卅日拂曉我石井部隊麾下の一部隊は顧家宅北方に於て無名部落に據る敵有力部隊の夜襲を受けたが猛然に反撃更に機銃網を破壊し煙塵を飛び越え同部落に突入接戦格闘の後之を占據した、この戦闘に於て林長一郎中尉愛知縣を始めて伊藤一廣准尉(愛知縣)河上左内見習士官(愛知縣)は壯烈な戦死を遂げ江坂繁三見習士官は負傷した

▲張家角占據 上海(九) 荻窪クリク前方の敵有力部隊を殲滅した藤森部隊は本日午後更に張家角を奪取しこゝに羅店鎮、劉家行をつなく大道上に到着我左右兩翼部隊は完全なる連絡を確保し今後の我が攻撃作戦は極めて有利に展開することゝなつた

○報道班公報 上海(九) 午後九時〇〇(報道班公報)

一 〇〇部隊は羅店鎮南方地區に於て今朝來攻撃を開始し朱塘、尹家宅、朱家宅附近の敵陣地を突破し午後三時頃荻窪クリクの線に進出しクリク南部郭巷橋、李家宅、張家宅附近の敵陣地に對し攻撃中なり

一 和知部隊は今朝來前日の攻撃を續行し午後陳家宅、杜家宅の敵陣地を奪取し更にその西方陣地に對し攻撃中なり

▲楊行鎮南方戦死傷者 上海(九) 廿八、九日兩日の楊行鎮南方戦において福井部隊の江尻達三、小澤力彌兩少尉、澤田部隊の柳田英吉少尉以下兵六名戦死し將校十二名の戦傷者を出した

▲同盟等原少尉負傷 楊行鎮(九) 同盟通信社社會部記者寺原秀正少尉は加納部隊員として出征上海戦線に勇戦してゐたが廿九日午前十時頃楊行鎮前線須宅方面に進出して前線の敵を攻撃中敵前三百米まで近付き双眼鏡を手に附近の敵陣地を偵察せんとした際飛び來つた一弾が右腕に命中上膊部に名譽の負傷をした

◆ ◆ ◆

は直ちに之を撃沈した、然るに支那側は之を以て我が軍艦が無辜の民船を撃沈したが如く一流の遊宣傳を行ひつゝあるのが我が先海軍當局では自己の非を敵はんとする支那側の卑劣なる手段に極度に憤慨してゐる

上海情勢

上海中銀爲替禁許可 上海(九) 上海にある邦人銀行が一大英斷を以て去る廿七日より當地に圓小切手の流通を圍り圓建取引を盛んならしめんとしたことは支那側に著しく衝撃を與へこの結果中央銀行は明日より事變勃發以來禁止してゐた爲替の乘替を許可することにした、最期支那側が乘替を禁止したのは邦人銀行を資金難に陥れる魂膽をかか出たものであるが邦人銀行がその憂をかく策に出たため狼狽して俄かに今回の一部解禁となつたものである、この結果市中の資金難は幾分緩和されると共に漸次インフレーションを促進するものと見られる爲替相場に取つては一つの駄材料で本日の爲替相場は既にそれを織込んで軟化してゐる、なほ乘替は一ヶ月先物のみに限られており、今は殆んど八分ノードル乃至四分ノードルで全外國銀行に對し一ヶ月間總額五百萬元に限定されてゐる

上海市街情況 左の如くである

一 虹口一帶は邦人歸來者漸次増加して吳淞路、乍浦路、文路を中心に皇軍休憩所喫茶店等が開設せられ交通漸く繁くなり時局委員會各部隊は卅日一先解散し事務は總領事館及民團で掌ることゝし略平常に復したが北四川路筋は尙通行危険で邦人が復歸する迄に至らない、楊樹浦方面は不安殆んど解散し道路の

清掃は略完了し邦人の内歸來するものもあるが黃浦江に近い部分を除いて廢墟と化して居る、右兩區域に住宅、倉庫等を有して居る内外人に對しては極めて便宜を拂つて居るが交通整理、貨物搬出等に付て常に問題が絶えない

二 蘇州河以南は漸次回復して居るが糧食問題等本日迄の處大なる事故を起すに至らぬで解決して居る、コレは尙終熄せず九月廿八日迄の眞性患者七九一名、死亡者一四八名、疑似患者一九〇九名に達す、英租界内の支那軍負傷者の收容並に全快者の機銃参加及支那軍への糧食供給は依然として行はれて居る

三 支那紙の虛偽記事は例の如く最近は國際聯盟に哀訴すると共に民衆に對して救國公債購募を宣傳して居る

四 廿九日漢字紙に關北駐軍副官署名儀で左記要旨の廣告を載せた

五 廿五日支那側は租界北境界蘇州河橋梁二架を爆破したが之は兵員が貨物銃彈等を盜賣するのを防ぐ爲と傳へられて居る

南支戰況

廣東軍艦整沈 香港(九) 卅日も前後三回に亘つて我が空軍により廣東機艦が敗行されたが今日は主として黃埔方面に存し廣東機艦隊沈に集中され第二回目の爆撃で海防艦海周は沈没した、尙艦艇に據れば肇和、海虎の二巡洋艦は去る廿九日の爆撃で沈没した

空襲

南翔、杭州爆撃
【○電】(第三艦隊報道班發表)海軍航空隊は卅日夕南翔及び杭州附近の交通要地を爆撃した一部は陸軍作戦に協力し江湾及び附近の敵陣地を空襲せり

航行遮断情况

警戒状況談話

【○電】廿八日南支海上警戒の任から歸つた〇艦の其幹部は左の如く語つた
南支一帯にある支那ジャンク船は例外なく全部機銃その他武器を携帯してゐるのに驚いたこれ全く海賊船で所謂海上の便衣隊と見るのが至當だと思はれた、本日迄支那はよくこんなことを黙過してゐたのだと支那の無警察状態が暗に察知された驚かざるを得ない、時々漁船等であつて全く無武装で抵抗のないものに對しては寧ろ憐れみを以てこれに接し宣傳ビラ等と與へて今次事變の原因經過その他現状等を委しく説明して聞かせ尙「日本軍隊は暴戻極まる支那軍隊に對しては徹底的に膺懲をなすが無辜の大家に對しては保護こそすれ決して危害を加へるものではない支那軍隊の如き人道を無視した非文明の行爲等するものでない」と話して聞かせる toward 大いに感じ入つてほつりくお國の軍隊の非を喝らして訴へると言つた調子で可愛い、所がある、然るに一方では支那一流の遊宣傳で我が日本の公正妥當なる主張行動を無難矢面に懸の一點に結び付けんと焦り廻り世界の認識を過まらせんとして



帝國

みる廣東其他は再三再四の我が空襲及砲撃に遭つて凡ゆる軍事施設は最早目標無き迄に成り果てゐるが我等は軍事施設こそ攻撃すれ支那が遊宣傳してゐるやうな間違つた行爲は少しもなぐ實に正々堂々とやつてゐる

軍用犬買上

【○電】軍用犬は北支及上海方面戦線で盛んに使用され傳令に、監視に、攻撃に一般將兵の手助けをして非常に重寶がられその戦功は頗り従軍記者により傳へられてゐるが陸軍では今回更に若干の軍用犬を購買する事となり帝國軍用犬協會向け下命があつた、頭数は不明だが購買地は東京、静岡、名古屋、京都、大阪、神戸、廣島、熊本、旭川の九市で應募大は帝國軍用犬協會登録大たることを要し年齢は一ヶ年以上二年六月未満で軍犬候補程度の訓練を要するものである、買上げられた犬は更に軍用犬としての訓練を與へた上戦地に送られるが目下一般に軍用犬の不足を告げて居り軍用犬協會ではその増殖と優良なる訓練犬の出現を懸望してゐるが需要に不足ならしめため十一月七日及び十二月五日兩日西武武蔵久米川驛附近で基本訓練試験及防禦習熟試験を行ひ又十月廿四日には千葉縣習志野原で昭和十二年度帝國訓練優勝大競技大會を舉行することになつてゐる

國民支援

日本寫眞家協會の慰問

【○電】日本寫眞家協會では卅日午後五時から山王ホテルに役員會を開き會長松平康昌侯、副會長織田信恒子、同田誠氏、理事成澤、福原、江崎、杉浦、松野の諸氏參集出征軍慰問として銃後の實況を始め慰安を目的とした寫眞を會員各自に撮影これを數萬枚の繪はがきに製作し恤兵部を通じて出征兵士へ送る外第一線に在つて活躍する各社の新聞寫眞班員に慰問袋を送る事を決定して午後八時散會した

強襲と壕窟を奇襲

【○電】彫刻家日名子實三氏は卅日午後一時半海軍省大臣室に米内海相を訪れ餘り海軍省内外に大臣室が殺風景過ぎるから

杉山陸相陸軍病院を見舞ふ

【○電】秋兩煙る卅日午後一時半杉山陸相は牛込の東京第一陸軍病院に小田島少佐以下一七五名の戦傷將兵を見舞つた、階上貴賓室で病院長原山軍醫大佐から一般の報告を受けた陸相は山本秘書官、小泉警務局長等を隨へ各病室を見巡り敬虔な態度で白衣の勇士達に敬禮した、次に

戰死將校氏名

北平【○電】保定戰に殊勳を立てた坂西部隊の戦死將校左の如し
少尉 山口 隆
同 福田幸一郎
同 同 少佐 安 仙三
同 同 特務少尉 森山 大藏
同 同 瀨川 登

外人の獻金

【○電】英中佐グレイヴス氏獻金【○電】卅日午後五時降る秋雨の中を三宅坂の陸軍省に上品な一英國婦人が訪れ皇軍の國防獻金にと英貨六十磅(約千圓)を差出した、此の婦人はスコットランド退役中佐G.H.グレイブス氏夫人で同夫妻は日露戦争當時からの親日家であり世界漫遊のみぎり支那に於て日支事變の勃發に遭ひ殊に上海では大山事件を目のあたり見て暴戾支那の實情に憤激の念を抑へる事が出来ず戰禍の上海を逃れて來朝し九ノ内ホテルに滞在してからは支那側と對蹠的に見られる日本人の人情、正義感の美しさにますます感激去る八月廿日に第一回分二百圓、九月廿三日の秋季皇慶祭には第二回分五百十圓を皇軍に獻金し今度はいよいよ日本を去るので「正義日本の健闘を祈る」とグレイヴス氏から五十磅夫人から十磅を出し合ひ第三回目の獻金を行つたものである

在伯同胞の獻金

【○電】リオ・デ・ジャネイロ【○電】全支に於ける皇軍の活躍は速く祖國を離れてゐる在伯同胞を感激せしめ珈琲その他世界の不景氣にも拘らず皇軍慰問恤兵獻金運動は日の取披は廿八日既に約二百コントスに上り朝日新聞社關係取扱獻金も百コントスに達して居り今後急速に増加する見込みである

奮戦してゐる群像で高さ二尺位横置は日本海軍の主力艦以下精銳艦隊を初めて彫刻した六枚續き高さ一尺長さ四間半の大リリーフで何れも力の籠つた名作である

在獨同胞獻金

ベルリン【○電】ドイツ在留同胞は遠く支那の各地に奮戦する皇軍將士慰問のため恤兵獻金を募集して居たが廿二日まで一萬三千五百八十圓に達したので近く帝國大使館經由故國へ送金することになつた

在伯同胞の獻金

【○電】リオ・デ・ジャネイロ【○電】全支に於ける皇軍の活躍は速く祖國を離れてゐる在伯同胞を感激せしめ珈琲その他世界の不景氣にも拘らず皇軍慰問恤兵獻金運動は日の取披は廿八日既に約二百コントスに上り朝日新聞社關係取扱獻金も百コントスに達して居り今後急速に増加する見込みである

在伯同胞の獻金

【○電】リオ・デ・ジャネイロ【○電】全支に於ける皇軍の活躍は速く祖國を離れてゐる在伯同胞を感激せしめ珈琲その他世界の不景氣にも拘らず皇軍慰問恤兵獻金運動は日の取披は廿八日既に約二百コントスに上り朝日新聞社關係取扱獻金も百コントスに達して居り今後急速に増加する見込みである

在伯同胞の獻金

【○電】リオ・デ・ジャネイロ【○電】全支に於ける皇軍の活躍は速く祖國を離れてゐる在伯同胞を感激せしめ珈琲その他世界の不景氣にも拘らず皇軍慰問恤兵獻金運動は日の取披は廿八日既に約二百コントスに上り朝日新聞社關係取扱獻金も百コントスに達して居り今後急速に増加する見込みである

在伯同胞の獻金

【○電】リオ・デ・ジャネイロ【○電】全支に於ける皇軍の活躍は速く祖國を離れてゐる在伯同胞を感激せしめ珈琲その他世界の不景氣にも拘らず皇軍慰問恤兵獻金運動は日の取披は廿八日既に約二百コントスに上り朝日新聞社關係取扱獻金も百コントスに達して居り今後急速に増加する見込みである

在伯同胞の獻金

【○電】リオ・デ・ジャネイロ【○電】全支に於ける皇軍の活躍は速く祖國を離れてゐる在伯同胞を感激せしめ珈琲その他世界の不景氣にも拘らず皇軍慰問恤兵獻金運動は日の取披は廿八日既に約二百コントスに上り朝日新聞社關係取扱獻金も百コントスに達して居り今後急速に増加する見込みである

在伯同胞の獻金

【○電】リオ・デ・ジャネイロ【○電】全支に於ける皇軍の活躍は速く祖國を離れてゐる在伯同胞を感激せしめ珈琲その他世界の不景氣にも拘らず皇軍慰問恤兵獻金運動は日の取披は廿八日既に約二百コントスに上り朝日新聞社關係取扱獻金も百コントスに達して居り今後急速に増加する見込みである

在伯同胞の獻金

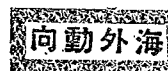
【○電】リオ・デ・ジャネイロ【○電】全支に於ける皇軍の活躍は速く祖國を離れてゐる在伯同胞を感激せしめ珈琲その他世界の不景氣にも拘らず皇軍慰問恤兵獻金運動は日の取披は廿八日既に約二百コントスに上り朝日新聞社關係取扱獻金も百コントスに達して居り今後急速に増加する見込みである

在伯同胞の獻金

【○電】リオ・デ・ジャネイロ【○電】全支に於ける皇軍の活躍は速く祖國を離れてゐる在伯同胞を感激せしめ珈琲その他世界の不景氣にも拘らず皇軍慰問恤兵獻金運動は日の取披は廿八日既に約二百コントスに上り朝日新聞社關係取扱獻金も百コントスに達して居り今後急速に増加する見込みである

在伯同胞の獻金

【○電】リオ・デ・ジャネイロ【○電】全支に於ける皇軍の活躍は速く祖國を離れてゐる在伯同胞を感激せしめ珈琲その他世界の不景氣にも拘らず皇軍慰問恤兵獻金運動は日の取披は廿八日既に約二百コントスに上り朝日新聞社關係取扱獻金も百コントスに達して居り今後急速に増加する見込みである



海外動向

ロンドン大使館聲明

【○電】ロンドン【○電】日本空軍が南京其他支那各都市の空襲を開始して以來支那側の宣傳や虚構の報道に迷はされて英國内に於て反日運動が擡頭しつゝあるに鑑みロンドンの帝國大使館は卅日聲明を發表して真相を傳へると共にいはいはれなき反日運動に對し抗議の意思表示をなした、聲明の内容は左の通り

日本空軍は支那各地爆撃に當つては支那軍隊並に軍事施設のみを目標とし非戰國に損傷を與へぬやう厳に注意を拂つてゐる、日本軍の支那に於ける行動に關し英國新聞が反目的報道を行つてゐるのは遺憾に堪へない、最近發表された極端の如き又先月廿二日日本軍艦が支那ジャンクを擧げたとはいふ言

日本空軍は支那各地爆撃に當つては支那軍隊並に軍事施設のみを目標とし非戰國に損傷を與へぬやう厳に注意を拂つてゐる、日本軍の支那に於ける行動に關し英國新聞が反目的報道を行つてゐるのは遺憾に堪へない、最近發表された極端の如き又先月廿二日日本軍艦が支那ジャンクを擧げたとはいふ言

日本空軍は支那各地爆撃に當つては支那軍隊並に軍事施設のみを目標とし非戰國に損傷を與へぬやう厳に注意を拂つてゐる、日本軍の支那に於ける行動に關し英國新聞が反目的報道を行つてゐるのは遺憾に堪へない、最近發表された極端の如き又先月廿二日日本軍艦が支那ジャンクを擧げたとはいふ言

日本空軍は支那各地爆撃に當つては支那軍隊並に軍事施設のみを目標とし非戰國に損傷を與へぬやう厳に注意を拂つてゐる、日本軍の支那に於ける行動に關し英國新聞が反目的報道を行つてゐるのは遺憾に堪へない、最近發表された極端の如き又先月廿二日日本軍艦が支那ジャンクを擧げたとはいふ言

日本空軍は支那各地爆撃に當つては支那軍隊並に軍事施設のみを目標とし非戰國に損傷を與へぬやう厳に注意を拂つてゐる、日本軍の支那に於ける行動に關し英國新聞が反目的報道を行つてゐるのは遺憾に堪へない、最近發表された極端の如き又先月廿二日日本軍艦が支那ジャンクを擧げたとはいふ言

日本空軍は支那各地爆撃に當つては支那軍隊並に軍事施設のみを目標とし非戰國に損傷を與へぬやう厳に注意を拂つてゐる、日本軍の支那に於ける行動に關し英國新聞が反目的報道を行つてゐるのは遺憾に堪へない、最近發表された極端の如き又先月廿二日日本軍艦が支那ジャンクを擧げたとはいふ言

日本空軍は支那各地爆撃に當つては支那軍隊並に軍事施設のみを目標とし非戰國に損傷を與へぬやう厳に注意を拂つてゐる、日本軍の支那に於ける行動に關し英國新聞が反目的報道を行つてゐるのは遺憾に堪へない、最近發表された極端の如き又先月廿二日日本軍艦が支那ジャンクを擧げたとはいふ言

日本空軍は支那各地爆撃に當つては支那軍隊並に軍事施設のみを目標とし非戰國に損傷を與へぬやう厳に注意を拂つてゐる、日本軍の支那に於ける行動に關し英國新聞が反目的報道を行つてゐるのは遺憾に堪へない、最近發表された極端の如き又先月廿二日日本軍艦が支那ジャンクを擧げたとはいふ言

浩電報の如きこの適例で右は全く事實無根である

英國に臨時議會召集論

ロンドン【本報】英國の對日輿論悪化を反映して英國政界の一部には最近日支問題を上程對日經濟ポイコットを協賛する爲臨時議會を召集すべしとの意見が有力に擡頭して來た、右運動の主唱者は労働黨で臨時議會開催の上日本膺懲の爲其の結果如何に拘らず即時日貨ポイコットを決定すべしと主張してゐるが自由黨及び保守黨の一部は之を支持するだらうと言はれる

英國國際聯盟協會反日決議

ロンドン【本報】英國國際聯盟協會は昨日の如き反日決議を行ひこれを政府當局に提出してその善處を促がした

一 日本が恐るべき手段に訴へて支那の侵略を濟々として進めつゝある事實に鑑み英國政府は聯盟總會に對し左の事項の實行方を促すべし

一 聯盟總會は支那を被侵略國と認める旨の宣言を發すること

一 聯盟各國は非聯盟國が協力する場合對日制裁就中日貨不買により日本が戰爭を繼續し得ざるに至らしめること

一 總會出席各國に對し對支衛生隊派遣費として少くとも十萬鎊を下らざる金額を獻金せしめること

一 日支紛争に關し何等か具體的方法が決定する迄は例會を閉會しないこと

英國財界慎重

ロンドン【本報】英國輿論の悪化と共に對日經濟制裁運動は左翼を中心とする英國政界に漸次擴大しつゝあるが財界はこれに反し一般に冷靜な態度を持し對日經濟制裁を支持する如き氣配は殆んど見られない、即ち英國産業聯盟の有力團體はポイコット運動は道義的には是認し得る

も世界平和を危機に導く虞れありとなしポイコットに反對して居り在支英國權益に對する損害は最も重大視する所であるが新聞報道は誇大に過ぎるを置き難いとなしてゐる、但し支那事變の結果對支貿易の打撃を受けてゐることには多大の懸念を抱き政府に對し在支外國權益の尊重と上海共同租界附近に於ける戦闘停止方を日本政府へ要求するやう督促してゐる一方英國商業會議所は慎重な靜觀主義を續け批評を差控へてゐるが日本品ポイコットの如きは全然考慮してゐない模様である

英共產代表日本領事館へ決議

リヴァプール【本報】リヴァプール共產黨代表四名は昨日日本領事館を訪問領事高瀨眞一氏に面會して左の反日決議文を手交した

日本軍飛行機が廣東並に其他支那都市に於ける一般民衆を擧撃したことに對し吾人は恐怖と憤激の念を禁じ得ず、卑賤人夫に對し日本貨物の荷役従事を拒否するやう運動を開始することとせり

ニュージールランド日貨不買

ウェリントン【本報】ニュージールランド日本軍の支那都市空襲の報道に刺戟されてニュージールランドの港内労働者間には日貨不買、日本船舶ポイコット運動の氣運が動いてゐるが在シドニー日本商業會議所は昨日ウェリントン商業會議所に對し電報を以て右ポイコット阻止方を要請した日本商業會議所の要請内容左の如し

日本空軍の支那都市擧撃に關する種々の報道は支那政府の誤れる逆宣傳に他ならない、斯かる誤報に基いてニュージールランド労働者が無暴なる行動に出る結果日本、ニュージールランド兩國間相互の權益及び親善關係を阻害するに至るは明瞭である、茲にウェリントン商業會議所が速かに此の種運動阻止に當られんことを要望する

帝國對米回答到着

ニューヨーク【本報】南京擧撃の抗議通牒に關する帝國政府の回答は廿九日國務省に到着したが内容は未だ發表されず昨日の各紙朝刊も東京からの報道として簡單な内容を掲載してゐるに過ぎない、回答に對する國務省の意向も未だ發表されぬがニューヨーク・タイムス紙ワシントン特電は國務省では日本の回答に失望してゐる旨報道してゐる

對米回答に國務省失望

ワシントン【本報】南京擧撃の抗議通牒に關する帝國政府の回答は廿九日國務省に到着したが國務省當局では當然豫期してゐたこととは空襲中止の保障が與へられてゐない點に失望した模様である、但し重ねて何等か外交的措置に出るかどうかには付ては言明を避けてゐる、日本の回答につき國務省筋では次の如く述べてゐる

米國政府は非戦闘員空襲に關する自己の見解を既に通牒の形式で明示したのだからこの問題はこれで打切りだと言へるかも知れぬ、然し日本軍が警告する度に米國政府が協力を拒絶することは出来る爲め日本軍と協力することは出来ぬ、この問題は今後とも日米兩國間に懸る重要外交問題となるだらう

ハル長官沈黙

ワシントン【本報】日本軍の支那都市空襲に關する日本政府の回答は昨日朝國務省から發表され各方面の注意を惹いて居るがハル國務長官は同日新聞記者團との會見に於いて

日本の回答については別に言ふことはない、と述べたのみで批評を差控へ損害賠償の問題についても言明を避けた、なほ齋藤大使は正午ハル長官を訪問日本の回答につき補足的説明を行ふと共に種々懇談を遂げた

米各紙高橋中佐談を掲載

ニューヨーク【本報】米國經由歐洲旅行の途にある參謀本部員高橋中佐は廿九日ニューヨークを出發するに際し新聞記者團と會見支那側が宣傳材料に用ゐた日本兵士の偽寫眞のカラクリを専門的見地から暴露したのが中佐の談話は昨日附各紙朝刊に一齊に掲載され各方面の蒙を啓くに役立つて居る、ニューヨーク在住日本人界では支那側の惡宣傳を封じ米國民を啓蒙するため日本朝野が堂々宣傳に乗出すことを期待してゐる

シヤムから青年記者

【本報】支那事變の正確なる報道をするためシヤムの青年記者シヤム・クロニクル紙のシムバ・シリマノニダ君(三)は昨日朝鹿兒島入港の朝日山丸でやつて來た、同君の談

支那の報道がでたらめであることは次第に分つてきたが日支交戦の傍らざる報告によつて日進親善に盡し度いと思つてゐる



英 國

テレグラフ論說
ロンドン【本報】保守黨系デイリー・テ

レグラフ紙は廿二日の紙上に於て日本軍の南京空襲につき次の如く論じてゐる

南京空襲に關する日本の警告は廿一日實現しなかつたが日本政府は人口密集都市に對する空襲の恐怖が世界輿論に及ぼす結果を充分認識してゐない様だ人道上次中立國民の權利に對しては警告を以て充分だとし軍事的目的は一般人民や國際義務に對する考慮を超越するとの見解には簡單に承服出來ない、日本海軍は揚子江が國際河川であるとの永年に亘る原則を尊重すべく又支那に對する戦闘に於て人道及第三國の權利を尊重せねばならぬ、斯かる主張には決して日本反對の感情が含まれては居ない、唯日本が支那の戰場を勝手氣儘にする事は出來ぬといふ意味である、米國は紛争介入を避けつゝも聯盟にオアザヴァアを送り滿洲は聯盟に極東會議の招集を提議して居る、聯盟は日本に對し壓迫を加へるといふことはあるまいが遠見の日本政治家は今こそその政策の他國に及ぼす影響を充分慎重に考へねばならぬ

三紙ポイコット論

ロンドン【本報】日本空軍の支那都市擧撃が英國輿論を刺戟しつゝある折柄日本の潜水艦が南支那海上に於て多數の支那漁船を擧撃したといふ支那の逆宣傳が利いて英國の空氣は一層悪化の傾向を示してゐる、労働黨機關紙デイリー・ヘラルド紙は眞先きに日本に對するポイコットを提唱してゐるがニューズ・クロニクル紙もポイコット實施を主張して輿論に訴へポイコットすべき商品の表まで掲載マシエスター・ガーデイン紙も同様の主張を唱へポイコットを要求せる讀者からの書翰を發表してゐる、一方労働黨及び労働組合の内部に於ても港灣労働者其他日本船舶の任事に従事してゐる全労働

者の共同動作を主張する意見が擡頭經濟
ポイコト論は次第に高まつてゐる

三紙經濟制裁論

ロンドン【六・二】 最近英國新聞は何れも
猛烈に日本軍の空襲に反対し殊にデイリ
ー・(ラルド、スター、ニューズ・クロ
ニクル紙等は日本に對する經濟制裁を提
議し聯盟經濟顧問サー・J・A・ソルター
氏も署名記事で支持を表明してゐる、然
し原料品不買日本品ポイコト等は米國
オランダの協力がなければ實行出來ず、
又假令實現するとしても効果發生迄に妙
くも半年を要することはイタリヤに對
する經濟斷交の先例で明瞭なのでそれま
でに日本は悠々軍事目的を達すべく政府
當局もこの事實を知りつゝ輕率に動くこ
は思はれない、ニューズ・クロニクル紙
は國內での日本品不買同盟組織運動を提
唱してゐるが今のところ賛成者は國産品
行商團體、廣告代理業者、宗教、平租團
體、左翼團體等の範圍を出でず、又萬一
實行されるとしても高々日用品位で金額
でも九百萬ポンド程度に過ぎず、主とし
て精神的効果以上には出でないと見られ
る、然し輿論の興奮は否定し難い事實で
ロンドン駐劄吉田大使宛に各種團體から
抗議文數十通が舞込んでゐる、但し日本
軍空襲の目標が専ら軍事施設に限られる
事を具體的に示せば輿論の興奮も次第に
冷却すべく既に其の傾向は廿八日多少現
はれてをりこの際日本の出方如何では有
利に展開させることも不可能ではないと
いはれる

濠洲記者言評

モントリオール(カナダ)【六・三】 米國
旅行の途目下モントリオールに滞在して
ゐる濠洲シドニー・サン紙主筆W・F・バ
ウム氏は廿七日同日新聞記者團に對し日
本が支那全土を征服するには五百年の日

子を要するとして左の如き見當外れな意見
を述べた

日本が支那全土を征服するには今後五
百年もかゝるだらう、その間は第三國
の政變を考へる餘裕など全くあるまい
従つて濠洲は日本の進出を少しも怖れ
てゐない、然し余は個人としては飽く
迄日本の讚美者だ

米 國

サン紙「調停のチャンス」

ニューヨーク【六・三】 ボルチモア・サン
紙は廿一日の紙上に「調停のチャンス」
と題する社説を掲げ次の如く論じてゐる
廿日發ジュネーヴ電報に依ると英國代
表部では國際的協力を依る調停で日
兩國を調和させ得るかも知れぬと見て
ゐるとの事だと言われるは單なる樂觀で日
本政府が同意する筈は無い、調停する
にしても過去の經驗から見て實力の背
景の無い言葉許りの調停申出を日本が
受けるとは思へない、日本はその威力
に自信を持つてゐる限り目的を遂げる
までは調停を受ける筈は無く目的を達
してから國際的にその承認を求めるか
支那軍の抵抗強く手に負へないかでな
ければ國際的な相談には乗るまい

トリビュン紙社説

ニューヨーク【六・三】 ニューヨーク・ヘ
ラルド・トリビュン紙は廿二日の紙上
に「米國大使館の南京退去」と題する社
説を掲げ次の如く論じてゐる

日本は冷靜に中立國民の權利に對する
危険を顧ることなくして南京機撃を豫
告したが天候悪く廿一日には空襲を實
行しなかつた、然し天候が良くなり次
第實行する事は明かである、中立國民
はこの亂暴な行動を驚いて見てゐる以

外に何が出來た何を爲すべきかよく
考へる必要がある、米國大使ネルソン・
ジョンソン氏が國務省訓令の範圍内に
於ける裁量行爲として南京を引揚けた
所支那は日本を援助する行爲だと憤慨
してゐるさうだが全く的外れの議論で
米國の政策が紛争に捲込まれる事を避
けやうとする純中立的立場に在る以上
その結果が偶然とらに有利に働くか
は米國の知つた事ではない、紛争に捲
込まれぬ事が米國の既定政策ならどち
らが勝たうが米國の關知する所で無い
又實力背景の無い紙上の抗議は何等日
本に影響を與へぬことを認識せねばな
らぬ、ヒューゲッセン大使事件に對す
る英國の嚴重な抗議ですら何等の効果
も無かつた、米國の極東政策は強硬で
ある必要はないが前後一貫して居なく
てはならぬ、不幸にもジョンソン大使
とヤーネル提督の行動とは矛盾する様
であり更に過日政府所有船による日支
向け武器輸送を禁止し事實上中立法
の効果を半ば變動した時に於けるルー
ヴェルト大統領の聲明と國務省の説明
との間には些か矛盾があつた、政府の
政策の大綱には國民が擧つて賛成だが
この政策實行の細目には少し矛盾が出
て來始めた様である

コンマース紙「國の地位」

ニューヨーク【六・三】 ジャーナル・オヴ・
コンマース紙は廿四日の紙上に「國の地
位」と題し左の如き論説を掲げた

日本は貿易通關のため事變以前から圓
を維持するために金を超過してゐたが
今度の事變で益々輸入超過になること
は當然考へられることである、輸出産
業の軍需産業への轉化、原料品輸入増
加、船舶運輸輸入の減少、旅行者の減
少や支那投資からの収益があらがない
こと等はその主要原因となる、日本政

府當局は外國の觀察者よりも樂觀的で
第一 本年上半期の輸入は先高見込し
及び爲替統制の嚴重になるのを懼れた
投機的原料輸入が多かつた、現に八月
は入超が減少してゐる

第二 上半期には日本が産業擴張景氣
で異常に原料品の需要が多かつた
第三 輸入統制が嚴格になつたから輸
入は戦時中も減少するだらうし戦後は
一層減少傾向を辿る
と主張して居るが輸出方面では支那買
易の損失その他事變による輸出障害に
も拘らず上半期が前年に比して廿五パ
ーセント増加してゐるのに鑑み輸出は
前年より少くなることは無いと見てゐ
る、金の現送を無制限に續けるわけに
行かないのは明かだから入超が續けば
爲替統制をもつと嚴重にするか圓相場
が行きつくところまで下らせるかの他
はあるまいか、後者は國內インフレイ
ションの恐れがあるから此の方法は取
り得ず従つて輸入統制を嚴重にする他
はあるまい

タイムズ紙「支那爆撃」

ニューヨーク【六・四】 ニューヨーク・タ
イムズ紙は廿四日の紙上に「支那爆撃」
と題する社説を掲げ左の如く論じてゐる
日本政府に對する米國政府の申入にも
累次非戰職員を害せざる旨聲明したの
に鑑み日本政府に本當に南京全體を爆
撃しやうといふ意思があるとは全く信
ぜられないと述べたが併し事實爆撃が
決行されたのは遺憾である、日本は早
くから支那を降参させて二度と反日政
策を取り得ぬ様に參する爲爆撃するのだ
と言つてゐるが非戰職員を殺戮は戰略
的に何等益が無いし加ふるに又こんな
事をすれば支那民衆の反感憤懣を激化
して支那政府が面子を保ちつゝ日本と
和協する事を不可能に陥れやう、日本

の現政策は殘酷なるのみならず市民の
殺傷は支那の抗日を止めさせる所か益
々支那人の抗日意識を正當化し強化す
るであらう、更に日本は機撃を一つ投
下する毎に各國の日本に對する尊敬を
失ひつゝあるのだといふ事を三省すべ
きである

右によつて見ればタイムズ紙は南京空襲
が戰略上重要な一手段であるといふこと
に關して未だ充分な理解に到達してゐな
い、又争闘當事者と見物人との間には勝
敗に關する眞刻味が遠く關係から往々に
して觀點の一致を缺くといふ通則をよ
く説明もしてゐる

タイムズ紙「英國國評」

ニューヨーク【六・三】 ニューヨーク・タ
イムズ紙は廿六日の紙上にロンドン特電
として支那を繞る日英兩國の關係に言及
英國は歐洲問題に忙殺されて居るから日
本は支那で思ふ様に活動出来る旨を報じ
左の如く述べてゐる

英國人は支那に於ける日本軍の行動を
以て世界大戰當時ドイツ潛水艦がルシ
タニア號を撃沈して以來國際法並に國
際道徳の既觸行爲だと言つてゐる、然
し英國政府が現在の所歐洲政局の不安
に牽制されて何事も出來ず只時々日本
政府に對し道徳的譴責を繰返すのが關
の山である、地中海をめぐると不安は先
週英佛伊三國の交渉進展により稍々緩
和するに至つたが然し單なる嵐の前の
靜けさに過ぎない、ドイツの野望は結
局英國並びに隣接諸國を犠牲に供する
のでなければ満足されないものである、
従つて英國の再軍備は全速力を以て進
捗しつゝあり、又英國外交官も現在歐
洲に於ける對立並に不安定状態にあつ
ては他を顧みる邊なく歐洲問題に
没頭してゐる、かくて日本は全く自分
の思ふままに支那の武力征服に邁進出

来やう

タイムズ紙誤解

タイムズ紙は廿七日の紙上に支那事變に關する社説を掲げてゐるがそれは偶々外國の知識階級がいかに實情を誤解してゐるかを説明する材料であると同時に日本の注意すべき資料でもある、その要旨は次の通り

日支戦争は何處まで慘酷になるか見當が付かぬ、最近では兩方共捕虜を抑留せず直ぐ殺すと傳へられる、パール・バツク女史はこれを説明し東洋文明は藝術哲學に於ては發達してゐるが人道徳義は全く缺けてをり個人の生命を非常に軽く見るのだと云つてゐる、これは本當で日支人は西洋の武器は輸入したが西洋の道義は取入れてゐない、支那の非戦闘員殺害に對する西洋人の輿論の抗議を聞いて日本人が驚き憤憤するの右の考へ方からだ

西洋と東洋の道義標準に關する批判は昔々の承認し得ない所であるがそれよりも南京空襲の實相が著しく誤り傳へられ日本海軍の眞意と全く正反對の事實が支那の宣傳によつて天下に誤信されるのは遺憾である、日本が速かに善處せねばならない、一つの海外政策對象として熟考の價値があらう

トリビュン「死んだ條約」
ニューヨーク「光」(ハラルド・トリビュン)紙は廿六日の紙上に於て「死んだ條約」と題する社説を掲げて次の如く述べてゐる

蔣介石が米國は支那に對し九國條約締結國として責任を持つてゐると主張するのは尤もだ、然し忘れてならぬのは滿洲事變當時米國が眞先になつて失敗を蒙つた九國條約の義務を遂行すること

とを列強に要請したことだ、九國條約がかつて死文化した責任は當時米國と協力する英國にある、今更九國條約を云々するのは憐れんでしまつてから消防隊を呼ぶ様なもので日本が毎日無防備都市を爆撃し無辜の婦女子を殺傷してゐる時に「締約國が相互に連絡」し合つたところでも何にもならない、今度の殘虐行爲で日本が文明社會から輕蔑され支那が同情されて居るのは事實だが悲しい哉この支那を救ふために實力を行使する國は無い、支那が列國に裏切られたと思つてゐるのは尤もだが米國人が如何に日本の殘虐を憤つても死んだ條約を楯にして支那を助けることは出来ない

シムズ氏ソ聯評

ワシントン「光」日支紛争の擴大と共にソヴエト聯邦の動向が各方面から注目されてゐるがスクリップス・ハワード系統の外交評論家ウィリアム・シムズ氏は廿八日の同僚各紙に論評を發表當分ソヴエト聯邦は參戰出來ぬだらうと結論し次の如く述べてゐる

ソヴエト聯邦が日支戦争に参加するためには
第一 日本に對するソヴエト聯邦の戰爭準備が完了する迄支那が日本のソヴエト聯邦を避けること
第二 ソヴエト聯邦が西方國境の安全を確保すること
の二條件が必要である、然しソヴエト聯邦の國內紛争は未だ終熄してゐないから現在の瀰清工作が一段落する迄は大規模の對外戦は不可能であらう

サン紙「何故憤慨する」

ニューヨーク「光」ニューヨーク「サベルリン」(エズラ)日支紛争が擴大するやドイツ政府は宣傳省を通じて言論機關に

る日本の回答に憤慨するのは認識不足だとなし左の如く論じてゐる

米國の抗議に對する日本の回答は豫想した通りで憤慨するのは認識不足である、若し國務省が米國の抗議で日本が對支政策を改め得ると思つてゐたら大間違ひ、日本は歐米列國が手を出せない事を見極めて事を起してゐるのだからハル國務長官の抗議位でその確定した政策を抛棄する筈が無い

佛獨ソ

佛三ツ紙報道
パリ「光」フランス政府は支那事變に對するドイツ政府の態度を最も注視してゐるがパリ・ミデイ紙のベルリン特派員は廿八日左の如く報道してゐる

日支兩國と友好的關係を維持せんとしてゐるドイツと、つて今次の支那事變は大打撃である、ドイツとしては日支兩國何れを選ぶべきかの岐路に立つた譯だが昨年締結された防共協定の精神に鑑みドイツは日本に同情を持つてゐる、此の事實は新聞が日本軍の勇氣と秩序を賞讃し支那國民の赤化を指摘してゐる事によつても明かである、ドイツ新聞は支那事變を以て多数の共產黨員の参加してゐる第二のスペイン内亂と看做し或る新聞の如きは支那の勝利は世界にとつて危険だとさへ極言してゐる、一部の消息通は獨伊兩國は支那事變に關し意見が一致してゐないと言ふが極東に於けるソヴエト政府の活動に注意してゐる兩端裁者間に大きな意見の開きがあるとは考へられない

獨・日本の空爆を支持

ベルリン「光」日支紛争が擴大するやドイツ政府は宣傳省を通じて言論機關に對し支那のデマを掃却し正義日本の立場を支持するやう指令を發したが最近ユダヤ系の米國新聞は支那事變に關聯してドイツ反對のデマを作成例へば日本が南京廣東空襲に使用した爆弾はドイツ製だとかラツ工場は日本に卅五機を供給したとかいふデマ記事をソツツに掲げドイツが直接事變に介入してゐるが如き報道を旺んに流布してゐるのでドイツ言論機關は廿九日の紙上に於て虚構爆撃の放列を布くと共に日本の支那空爆を支持し次の如く述べて居る

米國新聞は日獨兩國の親善關係を適用してドイツを世界平和の攪亂者と宣傳し始めた、從來スペイン、ポルシェヴィーキの殘虐行動に目を掩つてゐたが、等諸新聞が支那都市の空爆に當り突如態度を改め日本軍の殘虐行爲を發見したと大感するのには滑稽であるがデマ報道の樂屋は更にドイツを引合ひに出さねばそのからくりは完成しないと認識した結果スペイン、ポルシェヴィーキの殘虐行爲をドイツ飛行家の責任に轉嫁した手法に倣ひ上海では日本軍がドイツ製銃砲で支那陣地を砲撃してゐる等とデマを出した、ドイツ新聞紙は斯かるデマを默視することを得ず茲に斷乎として反駁を加へる

ソ、日本空爆を誣ゆ

モスクワ「光」ソヴエト各紙は廿七日の紙上にモスクワ支那大使館から外務人民委員部に宛てた日本軍空襲に對する援助要請並にストラウツキー大使が廣田外相に送つた南京爆撃に關する抗議連珠を大々的に掲載してゐる、更に日本機に擬襲した支那機の南京大公使館爆撃陰謀に關してはタス通信社の上海電報として左の如く報道し遂に日本を誣いてゐる

ト大使館を爆撃し日ソ紛争の發生を企圖してゐるとの日本政府の警告は日本が事後に於ける責任を回避しやうとする陰謀である

ブラウ女戦争意圖否定
モスクワ「光」共產黨機關ブラウダ紙は廿八日の紙上で次の如く述べて居る
ソヴエト政府は赤軍の改革を斷行し全面的國防強化を計つてゐるが遠近を問はず隣國との戦争は道へてゐない、政府は殺戮を阻止し人道を守るべく全力を盡してゐる、勿論戦争準備を怠らぬが然し戦争を欲せず敵が此の平和的意圖を目してソヴエト政府は戦争を恐れてゐると考へるなら誤りも甚だしい

ナシオン紙太平洋會議に疑問

ジュネーヴ「光」ジュルナルド・ナシオン紙は廿四日の紙上に於て次の如く述べてゐる
米國が斯る會議に出席するや否やを決定することは廿三國委員會にオブザーヴァーを送る程簡單には行かぬ、日本が聯盟の會議に出席を拒否したとしても何等列強の威信を傷つけぬが若し列強の招集する太平洋會議に日本が参加を拒否したとすれば列強の面目は丸潰れとなる、仲裁を斷られた仲裁者程慘めなものはない、日本が決意を斷つて支那問題を解決しやうとの決意は屢次明白にされたところで廣田外相は紛争は日支兩國間の問題で第三國の干與を許さぬ旨を屢々表明して居るから日本が斯る會議に参加を拒否するのは明瞭である、聯盟外に行はれる斯様な會議はニオン會議の時と同じく平和を保障できるものではない

樞密院

條約、臺灣關係八件可決

【九二〇】樞密院の定例本會議は廿二日午前十時より宮中東御間を開會天皇陛下の親臨を仰ぎ左記御諮問案八件を上程村上書記官長から各案の審査報告の後可決天皇陛下入御あらせられ十一時散會した

一 日本國、ビルマ國間通商關係に關する條約締結の件(今回新たに通商條約を締結するもの)

一 日本國及印度間通商關係に關する條約の効力延長に關する件(現行條約を更に昭和十五年三月末まで繼續するもの)

一 日本綿布の印度への輸入に關する件(現行の綿布割當制を一部變更するもの)

臺灣總督府官制中改正の件

【九二一】臺灣總督府官制中改正の件(社會教育官地方視學官その他職員増加)

一 臺灣總督府地方視學官特別任用令

一 臺灣總督府地方視學官將別任用令

一 昭和五年勅令第二百十號中改正の件(公立學校の校長又は教員を朝鮮總督府視學官に任用する場合の官等に關する規定を臺灣總督府地方視學官にも適用する爲の改正)

内務省計檢局新設案可決

【九二二】樞密院定例本會議は廿九日午前十時より宮中東御間を開會天皇陛下の親臨を仰ぎ去る廿二日御諮問された

一 内務省官制中改正の件(新たに内務たる計檢局を新設し防空法實施に伴ふ事務並に現在大臣官房に屬する都市計畫課をこれに包含せしめるもの)

一 上程し村上書記官長から審査報告あり審議可決して同州分散會した右は十月一日より實施される

戰況聽取

【九二三】政府は廿九日午前十時卅分樞密院本會議散會後全閣閣員の居残りを求め杉山陸相、米内海相より北支並に中南支方面の最近の戰況につき詳細に説明するところあり同十一時五十分散會した

一般政治

閣議

閣議(情報委員會改組決定)

【九二四】廿一日の定例閣議は午前十時卅分首相官邸に開會近衛首相以下全閣僚出席まづ情報委員會改組案を決定した後杉山陸相より北支の戰況、米内海相より中南支に於ける皇軍の活躍狀況に就て説明を行ひ更に時局問題に關し意見の交換を遂げ同十一時廿五分散會した

閣議

【九二五】廿四日の定例閣議は午前十時卅分首相官邸に開會近衛首相以下各閣僚出席(永井總相缺席)まづ廣田外相より支那事變に關し支那側が國際聯盟に提訴した結果諮問委員會を開くことになり米國はオヴザーバーを出すが我方に於ては代表を出さない

旨を述べ次いで法法制局長官から官吏の増員問題に關し

時局と關係ある必要のもの以外については官吏の増員を手控へては如何と提議しこれに對し賀屋藏相等から今次事變に對しては國民何れも多大の犠牲を拂つて居るので政府も自制して官吏増員手控の趣意を徹底せしむる様各省に於て努力されたい

とて瀧長官の提議に賛意を表し同十一時半散會した

閣議(資源局改組決定)

【九二六】廿八日定例閣議は午前十時卅五分より首相官邸に開會近衛首相以下全閣僚出席まづ近衛首相より

資源局並に企畫廳を統合して戰時に對應すべき新機關を設け時局に對應する諸般の政策決定の基礎機關とした旨を語り全閣僚異議なくこれを承認し茲に長い間の懸案となつてゐた兩機關の統合強化方針を決定次いで新機關の名稱並に組織要綱等については繁雜を避けるため最の方針を變更して改組委員會を設置せず風見書記官長の手許に於て整備したる上來る一日の定例閣議に附議し正式決定することとし更に杉山陸相より北支方面の戰況に關し

閣議

津浦線方面の我が軍の進撃は豫定の如く順調に進み最近の情報によれば瀋陽は前線指揮のため出發した模様である、また山西省の方面に於ては共產軍が戰闘に参加してゐる模様で占據した土地を見ても抗日毎日の宣傳が相當徹底してゐた様で後方擾亂の形跡があるのは注目すべきことである

旨を述べ次いで米内海相より上海方面の情勢につき

嘉定方面より避難民が二萬人も上海に流れ込みこれら外部よりの避難民を合計五十萬を算し上海兩租界の窮民を合すと實に食もなく住居もない窮民は七十萬といふ數を示し今後の情勢は相當憂慮すべきものがあると思はれるが收容設備の不完全のため僅に六萬人を救助してゐるのみでその慘状は目を覆はしむるものがある、戰局の發展に伴つて我方としてもこれら窮民の動向については深甚の注意を要するものと思ふ

旨の報告あり同十一時廿五分散會した

内閣情報部創設

【九二七】政府は時局の重大性に鑑み現在内閣に屬する情報委員會を改組して積極的にその機能を發揮せしむべく廿一日の閣議に於て情報委員會官制改正の件を決定、右内閣情報委員會は廿四日御裁可あらせられたる廿五日附官報を以て公布すると同時に左の如く委員を發令した

△内閣情報部官制

第一條 内閣情報部は内閣總理大臣の管理に屬し左の事項に關する事務を掌る

一 國策遂行の基礎たる情報に關する各廳事務の連絡調整

二 内外報道に關する各廳事務の連絡調整

三 啓發宣傳に關する各廳事務の連絡調整

四 各廳に屬せざる情報蒐集、報道及啓發宣傳

五 前項の事務を行ふに付必要あるときは内閣情報部は關係各廳に對し情報若は資料の提出又は説明を求むることを得

第二條 内閣情報部に左の職員を置く

部長 勳任

書記官 專任五人

專任十七人

主任 奏任

前項の職員の外委員長及委員を置き部務に參與せしむ

委員長は内閣書記官長を以て之に充つ

委員は内閣總理大臣の奏請に依り關係各廳高等官の中より内閣に於て之を命ず

第三條 前條の職員の外内閣總理大臣の奏請に依り書記官及關係各廳高等官の中より内閣に於て情報官を命じ情報、報道及啓發宣傳の事務を掌らしむ

第四條 内閣情報部に參與十八人以内を置

き部務に參與せしむ

參與は内閣總理大臣の奏請に依り學識經驗ある者の中より内閣に於て之を命ず

參與は勳任官の待遇とす但し本官を有する者に付ては本官の受くる待遇とす參與の任期は二年とす但し特別の事由ある場合に於ては任期中之を解任するを妨げず

第五條 部長は内閣總理大臣の指揮監督を承け部務を掌理す

第六條 書記官は上官の命を承け事務を掌る

第七條 屬は上官の指揮を承け庶務に従事す

第八條 屬の進退は内閣書記官長之を專行す

附則

本令は公布の日より之を施行す

▲内閣情報部陣容

- 任内閣情報部長 横澤 光暉
- 任内閣情報部書記官 川面 隆三
- 任内閣情報部書記官 喜多 長雄
- 任内閣情報部書記官 農林事務官 利光 洋一
- 任内閣情報部書記官 通信事務官兼遞信局事務官 森 毅夫
- 任内閣情報部書記官 上條 勇
- 任内閣情報部書記官 内務事務官 武若時 一郎
- 任内閣情報部書記官(各通) 内閣書記官 川島 孝彦
- 任内閣情報部書記官(各通) 内閣印刷局長 土屋 耕二
- 任内閣情報部書記官(各通) 内閣紀元二千六百年 祝典事務局長 歌田 千勝
- 任内閣情報部書記官(各通) 法制局參事官 樋井 詮三
- 任内閣情報部書記官(各通) 企畫廳調査官 中村敏之進

資源局長官	松井 春生	資源局事務官	植村甲午郎	資源局事務官	青木 一男	資源局事務官	堀内 謙介	資源局事務官	河相 達夫	資源局事務官	田代 重徳	資源局事務官	市河彦太郎	資源局事務官	矢野 征記	資源局事務官	廣瀬 久忠	資源局事務官	坂 千秋	資源局事務官	宏倍 源基	資源局事務官	加藤於菟丸	資源局事務官	大坪 健雄	資源局事務官	富田 保雄	資源局事務官	警視總監	齋藤 樹	資源局事務官	石渡莊太郎	資源局事務官	梅津美治郎	資源局事務官	後宮 淳	資源局事務官	原 守	資源局事務官	山本五十六	資源局事務官	野田 清	資源局事務官	保科善四郎	資源局事務官	長島 毅	資源局事務官	伊東 延吉	資源局事務官	田中 重之	資源局事務官	清水 芳一	資源局事務官	岩原 拓	資源局事務官	阿原 謙藏	資源局事務官	井野 碩哉	資源局事務官	村瀬 直養	資源局事務官	新倉 利廣	資源局事務官	豊田 雅孝	資源局事務官	平澤 要	資源局事務官	藤川 靖	資源局事務官	立花 章	資源局事務官	宮本 吉夫	資源局事務官	喜安健次郎	資源局事務官	田 誠	資源局事務官	高田 寛	資源局事務官	萩原 彦三	資源局事務官
内閣情報部委員被仰付	奥村喜和男	企畫副調査官	尾之上弘信	企畫副調査官	厚木 常照	企畫副調査官	川面 隆三	企畫副調査官	喜多 長雄	企畫副調査官	利光 洋一	企畫副調査官	森 毅夫	企畫副調査官	本野 盛一	企畫副調査官	山田芳太郎	企畫副調査官	太田 三郎	企畫副調査官	内藤 寛一	企畫副調査官	伊達 篤彰	企畫副調査官	河村 参郎	企畫副調査官	唐川 安夫	企畫副調査官	清水 盛明	企畫副調査官	高島 辰彦	企畫副調査官	光次 賢知	企畫副調査官	多田 督知	企畫副調査官	徳治 利種	企畫副調査官	柳澤藏之助	企畫副調査官	光延 東洋	企畫副調査官	直井 俊夫	企畫副調査官	佐藤三郎	企畫副調査官	船津 宏	企畫副調査官	堀池 英一	企畫副調査官	湯河 元威	企畫副調査官	葵沼 勇助	企畫副調査官	安田 文助	企畫副調査官	山岸 重孝	企畫副調査官	平山 孝	企畫副調査官	赤木 親之	企畫副調査官	村田 五郎	企畫副調査官	小林 一三	企畫副調査官															

国民精神總動員

国民精神總動員中央聯盟結成
 【本誌】政府は國民精神總動員の中樞機關として國民精神總動員中央聯盟を設立するに決しその發起人たるべき人物並に同聯盟加盟團體等に就いて銓衡の中ころ決定を爲したので廿七午前十時より内相官邸に
 酒井忠正伯、岡部長景子、井田馨南男、藤原銀次郎、中川翼、小泉六一、香坂昌康、松井茂、月田藤三郎の諸氏、政府側より馬場内相、安井文相、風見書記官長、廣瀬内務次官、内ヶ崎、伊東兩文部次官、池崎参典官、大村社會局長官、以下内務文部兩省關係官等參集馬場内相より中央聯盟設立の趣旨を説明した後復規約、加盟團體等に就き協議した結果大體において成案を見た、よつて卅日午後二時より首相官邸に「國民精神總動員中央聯盟設立準備打合せ」を開き全國神職會會長水野鍊太郎、中央報徳會理事中川翼、日本赤十字社長徳川家達公、大日本聯合女子青年團理事長香坂昌康、大日本聯合女子青年團理事長吉岡彌生、明治神宮體育會會長有馬長橋大將、産組中央會會長月田藤三郎、産業組合中央會會長鶴見左吉雄、全産聯會會長藤原銀次郎、日本商工會議所副會頭

有吉忠一の諸氏を始め六十餘名、政府側より馬場内相、安井文相等出席現下の非常時局に處して舉國一致國民精神總動員の實を擧ぐべく聯盟規約、役員等を決定し茲に中樞團體たる國民精神總動員中央聯盟の誕生を見た、尙決定を見た役員は左の如くである
 △國民精神總動員中央聯盟役員
 會長 有馬 長橋
 理事 松井茂、小泉六一、香坂昌康、藤原銀次郎、伯母酒井忠正、中川翼、月田藤三郎、子爵岡部長景、男爵井田馨南、小原直、松村謙三、今井健彦、風見章、廣瀬久忠、伊東延吉

東京市精神總動員機關設置
 【本誌】東京市では政府の國民精神總動員運動に對し東京府が主體となつて地方實行委員會を設置することになつたので之に對應して市にも實行機關である専門委員會を設置することに決定した、同委員會は市長を委員長とし市理事者、市會並に關係諸團體よりも委員を選び教化、統後後援、財政、資源の四班を特設して積極的活動を開始することになつた

精神總動員大阪で第二聲
 【本誌】茲に東京日比谷公會堂において第一聲を擧げた國民精神總動員演説會は非常時局に對應して益々舉國一致精神總動員の實を擧ぐるため廿六日午後七時より大阪市中の島中央公會堂において吉野商相、船田外務、中村大藏兩参典官出席の下に地方における最初の演説會を開き聽衆無慮八千と云ふ超滿員の盛況を見、忠告報國、舉國一致の垂幕文字を背景に池田知事の開會の辭に次いで伊勢神宮、宮城遙拜の後、國歌齊唱、船田外務参典官の演説に引續き吉野商相は萬雷の拍手に迎へられ一時局と經濟人の聲援」と題し約卅分に亘り熱辭を揮ひラヂオを通じ

て全國に呼びかけ聴衆に深い感銘を與へた、次いで中村参典官起つて國民大衆の協力を要望し吉野商相の發聲で萬歳を三唱し坂間市長の開會の辭があつて午後九時盛會裡に散會した

東京府精神總動員委員會設置
 【本誌】東京府では政府の國民精神總動員に呼應すべく具體的方法を研究中であつたが先づ館知事を委員長とする支那事務對策委員會を組織し此の下に東京府國民精神總動員實行委員會を設けることに決定した

閣員参内

首相参上
 【本誌】近衛首相は廿四日午後一時半宮中に参内天皇陛下に拜謁仰付けられ一般政務について奏上種々御下間に奏答宮中を退下した

外相参上
 【本誌】廣田外相は廿一日午後一時廿五分宮中に参内天皇陛下に拜謁仰付けられ一般外交經過について奏曲奏上種々御下間に奏答し同三時退下した

陸相参上
 【本誌】杉山陸相は廿五日午前十時廿五分宮中に参内天皇陛下に拜謁仰付けられ變情況その他所管事項に關して奏曲奏上種々御下間に奏答し同十一時卅五分退下した

海相参上
 【本誌】米内海相は廿七日午後一時十六分宮中に参内、天皇陛下に拜謁仰付けられ上海並南支方面の戰況に關し奏曲奏上種々御下間に奏答の後退下した

往來

近衛首相農村問題懇談

【九三三】近衛首相は廿二日午後一時永田町の私邸に有馬農相、石黒産相中央金庫理事長、那須帯大教授を招致し約一時間に亘つて農村問題に關し種々重要意見の交換を行つた

吉野商相西下

【九三三】吉野商相は關西財界懇談會並に國民精神總動員演說會に出席のため廿四日午後十時四十分東京驛發西下し同廿七日午前八時東京驛着歸京した

青木次長閣僚に報告

【九三三】近衛首相は廿七日正午首相官邸に午餐會を開き滿洲國並に北支方面を視察して歸朝した對滿事務局次長青木一男氏を招き各閣僚その他列席して視察報告を聴取した

首相外相外交問題要談

【九三三】廣田外相は廿九日午後二時十五分首相官邸に近衛首相を訪問一般外交經過報告をかへて種々要談した

馬場内相首相訪問

【九三三】馬場内相は廿九日午前十一時五分首相官邸に近衛首相を訪問し防空法實施に伴ひ十月一日より内務省に計畫局を設置するにつき局長其他の人事並に之と同時に地方長官一部の異動案等につき報告聴解を求め午後零時半辭去した

拓殖兩相首相と要談

【九三三】大谷拓相、永井瀧相は廿九日樞密院本會議散會後午前十時廿五分相前後して首相官邸に近衛首相を訪問まつ大谷拓相が首相と會見防空法の外地施行その他につき要談して十時四十分辭去した後瀧相も首相と會見企画問題に關して要

談を遂げ同十一時四十分辭去した
有馬農相首相に進言

【九三三】有馬農相は卅日午前十時永田町の私邸に近衛首相を訪問内閣強化問題に關して

かねて内閣強化の一方策として各方面の人士を網羅した審議會の設置等が考慮されて居たが右の入選に關聯して種々行はれる策動が必ずしも當初の意圖に合致した眞の内閣輔佐機關が實現し難い様な情勢に見られるので此際從内閣強化策等に促はれる事なく閣内の結束を一層強固にし既定方針に基き斷乎として時局收拾に邁進すべきであると強硬なる進言を試み種々意見の交換を行つて同十一時卅分辭去した

奥村調査官歸朝

【九三三】企畫廳調査官奥村喜和男氏は去る四月渡歐歐洲各國に於ける電氣事業その他を視察調査し米國經由歸朝の途にあつたが廿四日横濱入港の龍田丸で歸來午後三時十五分東京驛着歸朝した

物價委員會

第三委員會答申

【九三三】臨時物價對策第三小委員會は數次に亘つて審議の結果廿一日左の答申案を決定した

- 一 物資の消費調整に付速に具體的方策を講ずべし
- 一 生活必需品の生産供給に遺憾なきを期する方策を講ずべし
- 一 各種組合團體等の價格協定を適正ならしむる方策を講ずべし
- 一 重要商品の價格公定制度に付充分考慮するの要あるべし
- 一 配給組織改善の具體案を講ずべし
- 一 物資需給の整調に關し必要なる權限

を政府に與ふるの要あるべし
輸入抑制策の實施に當りては物資需給の適合を充分考慮すべし
一 通貨の極度なる膨脹を抑制し其の弊害の回避に努むべし

法令公布

- △廿一日
 - 一 製鐵事業法施行期日の件(九月廿二日)
 - 一 製鐵事業法施行令
- △廿二日
 - 一 大藏省官制中改正の件
 - 一 大藏部内臨時職員設置制中改正の件
 - 一 文部省内臨時職員設置制中改正の件
 - 一 商工部内臨時職員設置制中改正の件
 - 一 南洋廳公學校官制中改正の件
 - 一 海軍給與令中改正の件
 - 一 昭和三十二年法律第九十二號を朝鮮、臺灣及樺太に施行するの件
 - 一 南洋群島に於ける輸出入品等に關する臨時措置に關する件
 - 一 小運送業法施行期日の件(十月一日)
- △廿五日
 - 一 行政諸法臺灣施行令中改正の件
 - 一 情報委員會官制改正の件
 - 一 高等官々等俸給令中改正の件
 - 一 貿易局官制中改正の件
 - 一 朝鮮總督府部内臨時職員設置制中改正の件
 - 一 正の件
 - 一 關東總督官署官制中改正の件
 - 一 關東州地方待遇職員令中改正の件
 - 一 臺灣に於ける骨牌税法の特例に關する件
 - 一 臨時資金調整法の一部施行期日の件(九月廿七日)
 - 一 臨時資金調整法施行令

工場事業場管理令
明治廿八年勅令第百六十七號標準時に關する件改正の件
一 昭和三十二年法律第七十三號貿易及關係產業の調整に關する法律施行期日の件(九月廿七日)

- 一 貿易審議會官制
- 一 統制協議會規程
- 一 百貨店組合令
- 一 百貨店委員會官制
- 一 百貨店法施行期日の件(十月一日)
- △廿七日
 - 一 臨時資金審査委員會官制
 - △廿九日
 - 一 陸軍衛生材料廠令中改正の件
 - 一 貯金局官制中改正の件
 - 一 臺灣總督府官制中改正の件
 - 一 臺灣總督府部内臨時職員設置制中改正の件
 - 一 臺灣總督府地方官々制中改正の件
 - 一 高等官々等俸給令中改正の件
 - 一 臺灣總督府州及廳河川監視等級及給與令
 - 一 臺灣總督府社會教育官特別任用令
 - 一 臺灣總督府地方視學官特別任用令
 - 一 昭和三十二年勅令第二百十號公立學校の校長又は教員を朝鮮總督府道視學官に任用する場合等の官等に關する件改正の件
 - 一 臺灣總督府州及廳河川監視令
 - 一 防空法施行令
 - 一 防空法施行期日(十月一日)
 - 一 臨時船舶管理法施行期日の件(十月一日)
 - 一 朝鮮及臺灣に於ける臨時船舶管理法の特例等に關する件
 - △卅日
 - 一 森林火災國營保險法施行期日の件(十月一日)

外交

日暹國交五十年紀念式

【九三六】明治廿年帝國と暹羅との間に日暹修交宣言を取交して以來本年を以て五十年に當りその間東亞の兩獨立國が敦厚なる友好關係を持續して今日に至つてゐるので修交宣言取交の日たる九月廿六日を期して日暹國交五十年紀念式を催した、東京では同日午後六時より虎の門華族會館に於て政府より近衛首相、廣田外相、シヤム國側より駐日公使ミトラカム・ラクサツ氏、民間側より暹羅協會長岡部長景子等朝野の名士約三百名が参列してこの良きを壽ぎ又暹羅國では日暹國交の先覺者山田長政の銅像建設地の地鎮祭を擧げなほこの日を祝して廣田外相と暹羅國外相ブラディット氏との間に左の如き祝電の交換を行つた

廣田大臣祝電

ブラディット大臣閣下
日暹國交五十年を記念すべき此の日
に當り本館を閣下に致すは本大臣の欣
快とする所なり
一八八七年九月廿六日外務次官青木子
爵及特に來朝せる貴國外務大臣デヴァ
ウォン殿下との間に調印せられたる日
暹修交宣言は往時存せる兩國間の友好
關係を正式確立せるものにして兩國は
「嘗て兩國間に存在せし友誼親睦の關
係を再起」せんことを欲する旨及「兩
締約國間並に其臣民間に永遠無窮の平
和親睦あるべき」旨規定し居れり

過去五十年の日暹交を回顧するに單に不斷の平和親睦ありたるのみならず兩國の親善關係は益々其の度を加へ殊に最近數年來兩國關係愈緊密となり國民間の來往繁きを加へたるは實覺の至りに堪へず

今後我國親善關係の増進に力を致すは本大臣の本懐とする所に有之右に關し閣下の御協力を期待すると共に閣下の御健康と貴國民の繁榮とを祝福せんとす

暹羅外務大臣祝辭電

廣田外務大臣閣下
五十年前の日暹友好關係再確立を記念すべき今日暹羅政府及國民を代表し貴大臣閣下に懇篤なる祝辭を申述べ奉り、其間叙上の友好關係は強化の一途を辿り來れることを回顧し満足の念を禁ずる能はず又新通商航線條約も余の希望するが如く速かに調印を見益々兩國間の友好的運轉を緊密ならしむべきことを想ひ欣快に堪へざる次第なり、前記の次第を確信し余は日本及日本國民の繁榮を祈るものなり

▲シヤム公使に勳一等贈與【六三】畏き邊では本邦駐劄シヤム公使ラウクサ氏が近く離任歸國の趣聞し召され同公使が昨日三年餘に亘つて彼我の交誼親善に妙からず努力したるにより特に左の如く勳章贈與の御沙汰あり廿二日午後五時外務省に於て廣田外相より同公使に傳達した

在本邦シヤム國特命全權公使
フラム・ミトラカモ・ラウクサ
贈與勳一等瑞寶章

日波大使交換發表
【六六】来る十月一日實施される日波兩國公使館の大使館昇格に關して外務當局は廿八日午後左の如き發表をした

▲日波大使交換に關する

外務省發表

帝國と波蘭國とは夙に國交を開き其の友好益々敦きを加へ來れるに伴ひ相互に大使の交換せられむことに付希望を同じし本年春兩國政府は夫々現在の公使館を昇格することに主義上決定したるが愈々來る十月一日を以て相互に右昇格を實現し得る標準備を進むることとなりたるは兩國政府の誠に欣快とする所なり

▲波蘭大使昇格披露【六六】日本波蘭兩國間では來る十月一日より從來の公使館を大使館に昇格することになつたが波蘭公使館では廿八日正午在京新聞、通信關係者を招待し披露の宴を催した、ド・ロメール公使より大使昇格につき歡びの挨拶あり緒方竹虎氏の辭あり乾杯して散會した

田尻書記官歸朝
【六三】支那における一般の中間報告のため歸朝の途にあつた駐支大使館第一等書記官田尻愛義氏は卅日午前九時神戸入港の日華連絡船上海丸で歸朝東上した

對ノ關係

浦鹽に駐在員二名設置
【六二】浦鹽に於ける我が商船組の閉鎖以來浦鹽の我が汽船の出入は、聯海洋經理部の獨斷專行に委され不便著しきもあつたが今回浦鹽航路に従事してゐる北日本汽船會社並に朝鮮郵船會社の兩社から各一名ずつ浦鹽駐在員を置くことに決定海洋總經理との間の一切の折衝に當ることになつた、且浦鹽には我が領事館員、新聞記者、日魯漁業駐在員等六名が在留してゐるが今回船會社關係から二名の駐在員を置くことになつたことは浦鹽の狀態上凡ゆる意味に於て注目され

てゐる

朝鮮丸船長報告
【六三】ソ聯官憲に不法拿捕され二週間を耳り脅迫の峻烈な取調べを受け遂に釋放された朝鮮總督府漁業保護取締船朝風丸の前田船長本間通譯は廿一日午前六時京城驛着列車にて歸來同九時より總督府に於て當時の情況を詳細報告し併せて今後の漁船保護並に抑留漁船の釋放交渉などにつき協議を遂げた、右報告によつて同船の拿捕より釋放に至る經過が大意左の如く判明した

- 一 五日午前五時西水羅港口豆濱江沖合でソ聯警備船二隻が艦載砲、機關銃を撃つて拿捕の位置北緯四二度一四五、東經一三〇度四八分四秒に公海である、よりポセツト海に廻航
- 一 領海侵犯罪地帯法違反の嫌疑で嚴重取調べられたが一同はあくまで否認した
- 一 取調べは峻烈を極め斬首、銃殺等を仄めかしその恐怖に乘じ巧みに誘導質問を試み調書に署名を強要調書も一方の獨斷で作成した
- 一 抑留中は睡眠時間を與へず供述を強要する一方船員にソ聯内に殘留し活動を強要した
- 一 取調べ中同所に邦人漁夫約卅名峻烈な取調べを受けて憔悴し切つてゐる憐れな姿を目撃した
- 一 十七日午後十時ポセツト、ダベ・ウ次長は前田船長に中央政府より釋放命令あつた旨を告げた、尙同船にあつた重要書類は同船が拿捕されると同時に乗組員が機敏に隠匿又は藥品によりこれを破壊した

漁船拿捕事件一段落

【六二】今夏六月下旬以來朝鮮より沿海洲沖に出漁中ソ聯官憲のため不法拿捕され長期間に亘り強壓的抑留に苦闘しつゝあつた汽船は我が方の外交交渉の結果過般總督府漁業保護取締船朝風丸の釋放に次いで續々釋放され廿四日迄に十一隻(乗組員百卅九名)が相前後して西水羅港に歸還した、尙右歸還者の談によれば現在ポセツトに抑留中の我が方漁船は約七十隻に及ひ何れも領海侵犯の嫌疑によつて形式的裁判に附され各罰數百圓を言渡され右罰數に附され各罰數百圓を浦鹽總領事館が保證の結果漸く釋放されるに至つたもので右十一隻に續いて一兩日中には全部釋放の模様で一時重大化したソ聯の邦船不法拿捕事件も一段落を告ぐるに至つた

北樺木利權壓迫外務當局聲明
【六三】最近北樺木の我が利權企業に對するソ聯邦官憲の壓迫甚しきに鑑み廿五日午後七時外務省では當局談の形式を以て左の如き聲明をなした

▲外務當局談
北樺木に於ける我が利權企業たる北樺木石油及び北樺木鐵業兩社の企業に對するソ聯官憲の壓迫的態度は近來益々激しくなつてきた、即ちソ聯官憲は北樺木石油會社の今年夏季の事業に必要な邦人労働者七百四十七名の入國を許可せずソ聯労働者約二千人を強制的に雇入れしめたがソ聯側の横暴的態度のため労働者の現場輸送は著しく遲延し事業に甚大なる支障を與へた、今般解雇するソ聯労働者二千四百名は季節的労働者で夏季作業を終へて歸國するものである、又七月下旬迄會社船舶の各支所所在地への入港を許さなかつたため各支所は食糧物資の缺乏を來し業務上生活上著しき困難に陥つた更に會社が利權契約上の權利に基き申請したカタングリ油田の產油輸出の海底鐵管敷設にもソ聯側は遂に許可を與へず、ために同油田のタンクは充満して採油一

時中止の止むなきに至り產油計畫に違算を來した又業務上の事故に就きソ聯裁判所は監督の地位にあるものに對して數年の禁錮又は懲役と言ふ如き不當に嚴酷な刑罰を科し本年四月には長年勤働の優秀従業員たりしソ聯人七名を拘禁してしまつた、石油會社がその本年度の事業計畫に甚大なる支障を來し或程度の変更をなすの止むなきに至つたのは以上の如きソ聯の壓迫の結果である、現に北樺木鐵業會社が本年度四月十五名の邦人労働者の入国を申請したがソ聯は僅かに二八三名の入国しか許さぬため採炭計畫に重大なる阻礙を來すに至り又會社と労働者との間の雇傭條件を集團的に取極める所謂團體契約については會社側は幾多の讓歩を行つたが労働組合側の賃銀値上その他の要求は益々強硬で遂には會社が要求を容れなければ労働者をしてストライキを行はしめんとする暴言を吐くに至つた、更に鐵業會社従業員的身邊に延びたソ聯司直の手は頗る峻烈で業務上の事故等のため禁錮、懲役、禁足等の處分を受け居るの廿名に及び又本年八月十九名のソ聯人従業員が檢舉された、この爲邦人従業員は極度の不安に陥り歸國希望者續出する有様で石炭會社も止むを得ず事業縮小を決定するに至つたが石油の場合も石炭の場合も事業の縮小は何等利權契約違反ではない、以上石油石炭兩利權會社に對するソ聯官憲の不當なる壓迫に對しては會社ももつと大膽に於ける我領事又はモスクワより大使より屢々ソ聯側に抗議したるに拘はらずソ聯側に毫も反省の色がないのであるが兩利權の基礎となつてゐる日ソ基本條約附屬議定書に於てソ聯政府は利權企業の收益的經營を保障してゐるのであるから以上以上のやうな企業の正常なる運行を不可能ならしめてゐるソ聯官憲の態度は瞭らかに條約違反と言ふ

べきで我方の絶対に容認し得ざるところである

ソ大使堀内次官訪問

【九三】 駐日ソヴェト大使スラウツキ氏は昨日午後四時十分外務省に堀内次官を訪問要談分にして辭去した

南京空爆抗議

英大使帝國の眞意を質問

【九三】 駐日英國大使クレイギー氏は廿一日午後三時外務省に廣田外相を訪問本國政府の訓令に基き長谷川第三艦隊司令長官の發せる第三國人の南京避難勧告に關して公式に帝國政府の方針を質した之に對し廣田外相は第三國及び第三國人の權益を尊重すべき帝國政府の方針には何等變化なき旨を述べて諒解を求め同廿五分會員を終つた

米國異議申入

【九三】 長谷川第三艦隊司令長官の南京空爆に伴ふ第三國人避難勧告に對しグレ駐日米國大使は廿日日本國政府の訓令に基き帝國政府に異議の申入をなすと同時に米國政府はハル國務長官より齋藤駐米大使に對し同様の申入をなした

廣田外相帝國の方針明示

【九三】 長谷川第三艦隊司令長官の南京空爆に伴ふ第三國人避難勧告に對し英米兩國から申入れがあつたに對し廣田外相は

日本軍の攻撃目標は、軍隊軍需施設及び軍略機關のみに限られ非戦闘員並に第三國人の生命財産を尊重する方針には依然として何等變りがない、唯今後には支那軍略の山嶺たる南京に對し從來よりも一層大規模の爆撃を行ふ必要あるため萬一の被害が及ばぬとは保障し

難いから一應避難された方が良くはないかとの意味で勧告した次第である旨を説明し帝國政府の方針を明示諒解を求むる處あつた

佛國も異議申入

【九三】 フランス政府は廿二日東京駐劄大使シヤル、アルセヌ、アンリ氏を通じ日本政府に對して南京各國居留民避難勧告に對する抗議申入れを行つた

英大使第二次抗議

【九三】 クレイギー駐日英國大使は廿一日午後五時再び外務省に堀内次官を訪問本國政府の訓令に基き去る廿二日日本海軍航空隊の敢行した南京及び廣東の空爆に關して第二次抗議を申入れた、即ち南京空爆に於ては日本飛行機の爆撃彈の破片は英國大使館の屋上に飛散し來り甚しき危険を感じた、亦廣東に於ては非戦闘員に重傷者を生じこの報道は英國に於ては大なるセンセーションを捲き起してゐる、元來英國始め各國使臣の南京踏止りはその職責上やむを得ざるものであるからその身邊の安全を確保されるやう萬全の注意をねがひたい、

この要請をなした、これに對して堀内次官は

我が海軍に於ては從來十分なる注意を拂つてゐるのは勿論であるが今後尙御趣旨に副ふやう努力するであらうとの旨を陳べ五時卅分會員を終つた

外務當局發表

【九三】 日本軍の空爆に關する外國輿論の誤解を一掃し我が軍の公正妥當なる行動を正當認識せしめるため外務當局に於ては廿七日午前外國記者團との會見に於て左の如き情報部長談を發表した

爆の結果について充分なる報告に接してゐない、殊に廣東のロイテルは最も誇張的であつたが同地に於けるロイテル通信員は櫻といふ支那人であるから最も信を置き難いものである、然しながら事實の真相は傳へらるゝが如きセンセーションたる如きものではないと思ふが非戦闘員に對する攻撃を目標とするは非戦闘員に對する攻撃を目標とするは非戦闘員を目的として直接攻撃するが如きことは耐してない、それ故に爆撃に先立つて通告した次第である、即ち南京に於ける各國大使館に對しては萬一不慮の災害が無いやうに懇切に豫め警告し別に廿日長谷川司令長官は支那人に對し我が攻撃の目標たるべき軍事施設附近から引揚げるやう警告を發した次第である、殊に廣東、廣東の兩市に於ては軍事施設、軍事關係の建造物、換言すれば敵性を有する建造物が一般市民の營業所と載然分離された地域であるのではなくそれと混在してゐることである、某國の如きは此の點の認識が不充分で軍事施設はすべて市街の外に在るものゝ如く誤解してをりこれが爲め市中の爆撃は即ち故意に非戦闘員を目標とする爆撃であると誤信し日本軍を非難してゐることは甚だ失當のものである、故に南京、廣東兩市の支那當局に對しては爆撃のため間接的に危害を被るべき民衆ある位置に居住又は營業する市民に對しては豫め安全地帯に避難せしむることについて解意なからんことを要せざるを得ない、空襲法規に關しては未だ確定したものゝ無いことは一九二三年のヘーグの空襲法會議の際、米、伊等が空爆の目的物を具體的に制限列挙すべきことを主張したるに對し凡そ軍用目的物と認め得るものはすべて之を空襲し得

英米佛三國に回答

【九三】 我が軍の南京空爆に關して英、米、佛三國政府は疊に夫々文書を以て申入れをなしたるが外務當局では廿九日夕刻左の回答文を駐日各大使館に傳達した

英大使事件

【九三】 駐支英國大使ヒューゲツセン氏の負傷事件については去る八月廿九日付英國政府の申入れに基き爾來我が出先官に於て現地の事實調査を進めると共に去る六日一旦英國政府に對して中間的

回答を發しその變更に調査の徹底を期すため特に中央より海軍省軍務局員高田海軍中佐を派遣する等鋭意事實の究明に努める一方廣田外相、堀内外務次官、山本海軍次官は數次クレイギー駐日英大使と會見現地の事實認定につき種々意見の交換を行つた結果今回漸く調査を完了したので海軍、外務協議の上廿一日廣田外相よりクレイギー英大使を通じて英國政府に對し帝國政府の最後の回答を傳達した、尙其全文は廿三日午前臨時外務省より左の如く發表された

此の如く帝國軍が事前通告に依り作戦行動上少なからざる制限を受け居るにも拘らず今回の如く第三國人の避難方希望せる次第を貴國政府に於ても十分御了解の上右帝國政府の措置に協力方切望致し候向今次支那に於ける戦闘行為の結果第三國人の蒙れる損害に關する帝國政府の意向は疊に申進め置きの通り有之候

右回答等々本大臣は茲に重ねて閣下に向て敬意を表し候 敬具

△南京空爆に關する 帝國政府回答文(廿九日附) 以書翰啓上致候、陳者、九月廿二日附書翰を以て帝國政府の南京爆撃に關し御申越の次第閱悉致候 貴國政府に於ても御了知の通り南京は他に其の類例を見ざる程最も堅固に防禦せられたる支那軍作戦の中樞根據地なるを以て同市内外に於ける軍事的機關乃至施設を爆撃するは帝國軍の軍事目的達成の爲必要已むべからざる措置に有之帝國軍の爆撃も嚴に右の範圍を出でず無差別的に非戦闘員をも対象とするものに非ざるは言を俟たざる所に對して事前支那側非戦闘員に對しても警告せるは右を立證するものに有之候 又第三國人の權益並に第三國人の生命財産の安全を出來得る限り尊重致し度しとの帝國政府の屢次聲明せる方針は今大爆撃に際しても何等變更なきは勿論に有之今般貴國官民並に艦船の避難を申入れたるも畢竟我方最大の注意に拘らず第三國人に不慮の災害の及ぶことあるべきを極力回避致し度しとの念慮に出でたる外他意なき次第に有之候

△回答文 以書翰啓上致候、陳者支那駐劄貴國大使サーヒューナツチアル・ヒューゲツセン氏の負傷事件に關しては不取致九月六日附往翰を以て回答に及び置きたる處其の後上海及び其の附近に於ける取調完了せるに付本大臣は閣下に對し帝國政府は左の通り回答せんとするものなる旨通報す

るの光榮を有し候

最も周到なる調査の結果に依れば八月廿六日午後二時卅五分日本飛行機二機は嘉定の西東三軒の地點に於て支那將兵を輸送中の軍用バス若しくはトラックと確信せられたる自動車二臺を銃撃せること判明したる處當時嘉定には支那軍の陣地あり八月十八日以來日本飛行機は之に對し屢次攻撃を行ひたるのみならず日支兩軍飛行機の間に數次に互り空中戦行れたる次第に有之候

現在の狀況に於ては現地調査を行ふこと困難なるを以てナツチブル・ヒューゲツセン大使負傷當時に於ける同大使自動車位置に關する各種の報告に幾分の相違はありたるも日本飛行機には同大使が當初負傷したりと報告せられたる地點に於て機關銃を掃射し若は爆彈を投下せるもの無之と判明致候

然れども日英官報に於て同時に周到なる調査を遂げたる結果當該自動車位置は英國側當初の報告所載の通り太倉の南方六哩に非ずして嘉定の南方なりしやも知れずとの結論に到達致候

叙上の次第に鑑み帝國政府は本件は同大使の自動車を用用バス若しくはトラックと誤認したる日本飛行機の行爲なりしやも計られずと思考するものに有之候、此の如く同大使の負傷は固より故意に出でたるには非ざるも日本飛行機の行動に因りたるやも計り難き次第に鑑み帝國政府は英國政府に對し深甚なる遺憾の意の正式表示をなさんとするものに有之候

關係搭乗員の處分に關しては帝國政府は日本搭乗員にして故意若は懈怠に因り第三國人を殺傷したること判明せる場合には適當なる處置を執るべきこと勿論の次第に有之候

支那に於ける戦闘行為存在の結果生ずべき非戦闘員に對する危険を出來得る限り

局限せんとするは帝國政府の希望し且方針とする所に在りて在支帝國軍隊に對し非戦闘員に損害を與へざる標最大の注意を拂ふべき旨帝國政府より重ねて訓令濟の次第は九月六日附不取敢回答し置きたる通りに有之候

右回答旁々大臣は茲に重ねて閣下に對て敬意を表し候 敬具

昭和十二年九月廿一日 外務大臣 廣田 弘毅

大不列顛特命全權大使 ゼライト・オノラフ・サール

ロバート・クレイギー閣下

英國圓滿解決を回答

駐支英國大使ヒューゲツセン氏

負傷事件に關し廣田外相は廿一日重ねてクレイギー駐日大使に回答するところあつたに對し同大使は廿三日午前廣田外相宛左記書翰を寄せ該事件の正式解決を表明した

以書翰啓上致候、陳者駐支英國大使が去る八月廿六日上海附近に於いて二機の飛行機により攻撃を受けたる事件に關する貴大臣發本使宛書翰の内容は正に本使より本國政府に傳達致し置き候に本使は本國政府より接受せる訓令に基き英國政府は本回答に接し満足せる旨並に右を以て本件を解決せりと見なす旨こゝに通報する次第に有之候

本使はこゝに重ねて閣下に敬意を表し候 敬具

昭和十二年九月廿三日 大不列顛特命全權大使

アール・ユルクレイギー

外務大臣 廣田弘毅閣下

英國日本の回答に好感

ロンドン(九・三) 英國政府は廿二日午後六時ヒューゲツセン大使負傷事件に對する日本政府の最終回答全文を英國政府の

復答と共に公表するに決定したが政府筋では目下回答内容につき慎重研究中であると稱し全く批評を差控へてゐる、但し日本政府の最終回答は中間回答に比し英國官邊に確かに好印象を與へた模様で英國政府の要求を或る程度迄容れたものと解してゐると言はれる

ヒューゲツセン大使退院

上海(九・三) 英國大使ヒューゲツセン氏は經過益々良好で廿五日退院した、約十日間英國駐屯軍司令官スモレット少將官邸にて静養ののち十月四日家族同伴英國軍艦で香港に向ひ約一ヶ月半留領東印度方面に旅行を試みたりへ歸任する筈である

其他事變關係

滿洲學國支援に感謝

廣田外相は廿三日午前滿洲國駐刺植田特命全權大使に宛て滿洲國が支那事變動後以來始終帝國の作戰に協力し日滿共同防衛に學國的支援をなしてゐるに關し帝國政府の謝意を傳達するやう訓令した、その内容左の如くである

今次支那事變が勃發するや滿洲國政府に於ては官民相結束し全面的に帝國を支援する旨を聲明すると共にその國軍を關外に派し帝國の作戰に協力し以て帝國共同防衛の實を擧げてゐる處滿洲國皇帝陛下には去る十八日滿洲事變第六周年記念日に際し卅萬民衆に對し日滿一徳一心の信象を發揚し東亞全局の安定を期すべき旨の詔書を發せられたる旨を拜聞し滿洲國が國を擧げて帝國の大衆を協力をする次第感謝に堪えず就いては閣下は滿洲國政府に對し右帝國政府の謝意表明方然るべく御取計ひ相成度候

佛大使外務省訪問

駐日フランス大使アンリー氏は廿四日午後四時卅分外務省に堀内次官を訪問、最近の海南島砲擊事件に關して同島が佛領印度支那に近接せるを以て日本側の同島に對する行動の意旨の奈邊にあるやを質すところあつたがこれに對して堀内次官は

我方の砲擊は支那側の砲擊に對する自衛上の應酬をなしたるに止り轟に長谷川司令長官の發したる宣言の範圍を一步も出づるものではなく第三國の毒も懸念の必要なきものである

旨を説明、同五時會見を終つた

英大使外務省訪問

駐日英國大使クレイギー氏は廿四日午後三時五十分外務省に堀内次官を訪問廿三日夜半二百名の英國共產黨員がロンドンゴヴナー・スクエアの帝國大使官邸前に押しかけ南京空襲反對、對支同情のデモンストレーションを行つたことに關して深甚なる見舞の言葉を陳べて辭去した

英大使外務次官訪問

駐日英國大使クレイギー氏は廿五日午後零時十分外務省に堀内次官を訪問要談卅分にして辭去した、右は我が艦隊の支那沿岸航行遮断について第三國の船舶離陸等の場合に於ける手續についての打合せである

英大使堀内次官訪問

クレイギー駐日英國大使は廿七日午後二時卅分外務省に堀内次官を訪問情報交換をなし同三時辭去した

獨大使外相訪問

デイルクセン駐日獨逸大使は廿九日午前十一時外務省に廣田外相を訪問要談を遂げ同十五分辭去した

國民使節

政友會も使節派遣

中島總相は廿一日午後四時半官邸に前田、島田兩代行委員並に松野幹事長を求め政友會よりも特派使節を派遣しては如何との政府の意向を傳達し之に基き協議の結果近く慎重なる人選を遂げて數名の使節を派遣することに決定した

石井子全米へ放送

支那事變を纏る海外の輿論が微妙に動きつゝある際廿二日午前十一時四十五分から十五分間今回遣外使節に決定した我が外交界の長老石井菊次郎子がNBCを通じ「支那事變と帝國の立場」と題し英語で放送した

篠原代議士渡佛

民政黨の篠原盛朗氏は日佛同志會理事として廿三日東京驛發渡佛したが同地政黨方面に對し今回の支那事變に於ける帝國の眞意を闡明することに努むる意向である

石井子首相訪問

國民使節として近々渡英することとなつた石井菊次郎子は廿四日午前十一時半首相官邸に近衛首相を訪問支那事變に對する政府の方針を聴取し渡英に關する諸般の準備に付種々打合せを遂げた

伍堂氏首相訪問

國民使節として渡歐する伍堂前商相は廿七日午後一時四十分首相官邸に近衛首相を訪問種々懇談するところあつた、同氏は來月十四日横濱驛發の龍田丸で米國經由獨逸に向ふ

第一議員俱樂部派遣

【九二〇】衆議院の第一議員俱樂部では昨日正午理事會を開いた結果國際情勢觀察のため代表として笠井重治氏を歐米に派遣することに決定し、同氏は十月十二日出發する

内政

御下賜金傳達訓令

【九二一】統後の御救恤として皇后陛下より御下賜金の有難き御沙汰があつたので馬場内相は廿一日午前十時十五分宮内省に出頭して之を拜受、直に各道府縣に對し異き御心に副ひ奉るべく遺憾なきを期すべき旨の左の如き訓令を發したが御下賜金は各道府縣に配分して傳達救護に當る諸國を通じて思召を奉體救護に當らしむることになつた

今般支那事變に際し出征及應召の軍人遺族並に家族を救護するの目的を以て諸團體相協力して之が援護の實を擧ぐる總被團食長も皇后陛下より思召を以て御内帑金を下賜せられ併せて馳有御歌を拜す懿徳宏遠洵に感激の至に堪はず宜く懿旨の存する所を奉體し一層萍勳の後援に遺憾なきを期すべし

東京大阪兩市生計費指數

【九二二】内閣統計局では廿四日日本年九月分の東京及大阪兩市に於ける労働者並に給料生活者生計費指數を左のごとく發表した

概況

東京市生計費指數
本年七月を一〇〇とする東京市の九月分労働者生計費指數は一〇二・五であつて前月に比し二分七厘の昂騰である之を五大費別に見れば飲食料費は六分四厘の昂騰を示し、光熱費は九厘、其

飲食料費	102.5	102.1	102.4	102.4
住居費	100.0	100.0	100.0	100.1
光熱費	101.3	101.0	101.1	101.6
被服費	99.9	99.8	99.1	99.8
其他諸費	103.9	103.5	99.7	99.7
前月	99.8	99.3	101.0	101.1

東京市の人口動態

一歳入	本年五月末	前年同期比較
經常部	41,917	8,626
臨時部	2,751	3,155
計	44,668	11,781
一歳出	100,122	16,139
經常部	77,577	17,433
臨時部	22,545	8,706
計	100,122	26,139

他の諸費は三厘の昂騰であつて之に對し被服費は三厘、住居費は二厘の低落を示してゐる、尙飲食料費の中では蔬菜と肉類との昂騰が特に顯著である給料生活者生計費指數は一〇二・二であつて前月に比し二分九厘の昂騰である、之を五大費別に見れば飲食料費は七分五厘光熱費は八厘、其の他の諸費は一厘の昂騰住居費と被服費とは夫々三厘の低落である

大阪市生計費指數
本年七月を一〇〇とする大阪市の九月分労働者生計費指數は一〇二・三であつて前日に比し一分三厘の昂騰である之を五大費別に見れば飲食料費は三分一厘、光熱費は一分七厘の昂騰であつて之に對し被服費は三厘、住居費と其の他の諸費とは共に一厘の低落である尙飲食料費の中では蔬菜と魚介類との昂騰が特に著しい、給料生活者生計費指數は一〇二・四であつて労働者指數と同様前月に比し一分三厘の昂騰である、之を五大費別に見れば飲食料費は三分一厘、光熱費は一分四厘の昂騰、被服費は六厘、其の他の諸費は一厘の低落を示し住居費は保合つてゐる

【九二六】東京市昭和十二年六月中の人口動態が廿八日市統計課から發表されたが出生率は著しく減少し反對に死亡率の増大によつて大著の人口はその内在的膨脹力を喪失し人口の消長に一大轉機を見るに到つたことが特に注目される、六月中の出生数は七千五百六十三人(中男三千八百七十九人女千七百八十四人)で前年同期に比して六百卅七人の出生減となつてゐる、一方死亡は六千三百七十一人(中男三千三百九十一人女千九百八十人)で前年同期に比して二百人の増加を見せてゐる六月中の自然増加は(出生の死亡に對する差増)一千九百九十二人で前年同期に比して八百卅七人を減少し實に四一・二五%の減退率である、本年上半期の自然増加累計は二萬八千六百三十三人で前年同期の三萬三千六百九十九人に比して五千六十八人を減少してゐる、殊に芝、四谷、午込、本郷、淺草、深川、荒川の七區では僅かに死亡超過を見せて來たので他府縣からの移住者が無くなれば大東京の人口は數年後は減少して行く傾向となつて來てゐる

【九二七】大蔵省發表による本年五月末現在昭和十二年歳入歳出國庫現計は

一歳入	本年五月末	前年同期比較
經常部	41,917	8,626
臨時部	2,751	3,155
計	44,668	11,781
一歳出	100,122	16,139
經常部	77,577	17,433
臨時部	22,545	8,706
計	100,122	26,139

【九二八】年度初期のため之を以て全體を判斷することはできないが臨時租稅増徴法並びに新稅法實施の結果相續稅、砂糖消費稅、關稅隨稅を除いて各稅收入共軒並增收を來し租稅收入總額に於て前年同期に比し六百六十九萬一千圓の増收となつた即ち普通歳入の主なる内譯を示せば左の通りである(單位千圓△印減)

一租稅	本年五月末	前年同期比較増減
所得稅	3,556	1,355
地稅	20	3
營業收益稅	1,55	3
資本利子稅	3,75	1,55
相續稅	8,8	△7
關稅	8	3
酒稅	6,85	3,5
清涼飲料稅	8,5	1,5
砂糖消費稅	2,5	△2
織物消費稅	4,1	2,5
揮發油稅	7,3	7,3
取引所稅	3,2	2,0
有價證券移轉稅	1	1
關稅	2,8	△,0
稅	3,5	△,9
噸稅	1	1
營業稅	3,5	6,9
合計	8,8	2,2
一印紙收入	8,8	2,2
一官業及官有財產收入	1,2	2,7
一臨時利得稅	6,7	2,0

【九二九】年度豫算編成は支那事變の發生、臨時議會開會等の關係で例年より著しく遅延してゐるが右に關する各省の要求豫算概算書は廿二日に至つて漸く大蔵省主計局に出揃つたので大蔵省では應々來週より各省會計官及び關係官を招いて説明を聴取すると共に之が査定に着手することになつた、而して各省新稅要求額

は陸海軍兩省國防費を始めとして相當互額に達してゐるが大蔵省としては八月廿四日の閣議決定方針に基き新稅要求額は原則として事變關係の經費に止めまた既定經費に就ても國防上緊要なものを除き出来る限り節約を行ふ方針であつて豫算全體を通じ眞に戰時體制に即應せる内容を盛る意圖である、尙臨時軍事費特別會計に就ても事變の經過を見極めた上で必要と認むる經費を通常議會に提出することとなるものと見られる

結城日銀總裁車中談

【九三〇】結城日銀總裁は廿三日午前八時名古屋發列車で山田に赴き伊勢神宮參拜新任報告を爲したが車中大要左の如く語つた

生産力擴充について今後幾何の資金を要するかについては戰局の發展や國際情勢の轉化により日滿一體として國防五年計畫の如きも相當修正を加へねばならぬであらうから今之を具體的に決定する譯には行かぬ然し何れにせよ互額の經費を要するからこの際事業家が産業の將來を懸念してその擴張を手控へたり、或は銀行が産業融資を溢るが如きことがあつては何れも時局認識を缺くものであつて今後絕對主義的の見地に起つて協力してゆかねばならぬと思ふ、資金調整法は云ふまでもなく當分永久的に繼續するものであるがその實施に當つては各方面の意向を充分に容れたいと考へる、調整法の品目にも適當の改正を加へるに吝かでない、先般の日銀の當座貸越日歩引下げの結果低金利政策の一段の進行を噂されてゐるやうだが現在の金利水準を引下げるやうなことは考へてゐない、市中銀行の爲替協定が輸出ピルの買取りから破綻に傾してゐると云ふがこれは對米爲替の方だけであつて對英相場が維持さ



れて居れば對米の動搖は大したことはないと考へる、米綿のクレチット説が傳へられてゐるが恐らく無理の語ではなからうか

陸軍

服役及び在營期間延長

【九二六】陸軍では廿八日省令第四十一號を以て陸軍各人の服役及び在營期間延長の件を公布即日施行した右省令は現役、豫備役、後備役、後備兵役、第一補充兵役にある將校、准士官、見習士官、下士官、兵(短期現役兵を除く)全部に適用されるものである要旨は左の通り

△動員部隊又は事變地にある部隊に關する現役、豫備役後備役の將校、准士官見習士官、及下士官、現役兵(短期現役兵を除く)豫備兵後備兵並に第一補充兵で服役期間若くは在營期間の満了するものは別命(省令第三條による)あるまでその期間を延長される

△特別志願將校で服役期間を満了するものも右に同じ
以上に關係あらざる普通の後備役、後備兵役第一補充兵役の將兵も昭和十三年に於て服役期間満了のものには特にこれを一年間延期される

衛生材料出張所設置

【九二六】陸軍では衛生材料廠の出張所を設置することになり廿八日左の如く發表して同出張所は大坂に設置される

△陸軍省發表

衛生材料、獸醫材料等の蒐集保管及補給を圓滑ならしむる等の爲め陸軍衛生材料廠の出張所を設け得る如く陸軍衛

生材料廠令中一部の改正を行はるゝこととなつた
【九二七】砲煙彈雨の中をかき濟つて皇軍名譽の負傷者を收容直ちに現地で完全な治療を施す我が國最初の醫療自動車が始つた、この自動車は陸軍省醫務局長小泉醫中將の苦心研究によるもので手術車、滅菌車、X光線車、材料車、患者輸送車などに區分された完全な移動病院であり、名譽の負傷者が前線から運ばれて來るのを早速X光線車で傷をたしかめるその間に滅菌車では材料車が持つてゐる諸材料や手術服、手指等を消毒し手術の終る頃にはX光線寫眞が出来上がつてゐるといふスピードアップ振りである

【九二八】砲煙彈雨の中をかき濟つて皇軍名譽の負傷者を收容直ちに現地で完全な治療を施す我が國最初の醫療自動車が始つた、この自動車は陸軍省醫務局長小泉醫中將の苦心研究によるもので手術車、滅菌車、X光線車、材料車、患者輸送車などに區分された完全な移動病院であり、名譽の負傷者が前線から運ばれて來るのを早速X光線車で傷をたしかめるその間に滅菌車では材料車が持つてゐる諸材料や手術服、手指等を消毒し手術の終る頃にはX光線寫眞が出来上がつてゐるといふスピードアップ振りである

所澤飛行學校特殊卒業生

【九二九】所澤飛行學校では廿二日午前九時より特殊氣球學生並に操縱科召集將校下士兩學生に對し卒業證書授與式を舉行した、畏き邊りよりは町尻侍從武官を御差遣氣球科優等學生飛行第十二隊隊航空兵中尉兒玉正人氏(廣島)に恩賜賞が傳達された

士官學校新校舎に移轉

【九三〇】明治七年開校以來六十四年「わが皇軍の搖籃」として二萬八千名の卒業生を出し幾多の名將を輩出した牛込區市ヶ谷の高臺に傳統と歴史を誇る陸軍士官學校は八月二日發布された新校令により陸軍士官學校と陸軍預科士官學校とに分たれ士官學校は神奈川縣高座郡那珂村に移轉すべく準備中であつたがいよいよ新校舎の設備も完了したので九月卅日歴史的移轉を行つた、新校舎に移る本科生生徒は移轉を終了後舊校舎長に引率され折か

ら齋々とり注が秋雨の中を歩武堂々行軍四谷見付を右折電車通りを新宿驛へ午前十時座間の新校に到着した、尙航空兵科は儼々と別れ騎玉縣入間川の航空分科に入つた

【九三一】千葉縣松戸工兵學校下士官候補生〇〇〇名の修業式は廿九日教育總監代理牛島工兵監以下將星列席の上行はれ

松戸工兵學校修業式

【九三二】豊橋工兵第三聯隊上等兵下坂井昇一(原籍愛知縣海部郡十四小村殿地新田六〇九)△熊本工兵第六聯隊上等兵濱月菊吉(原籍宮崎縣延岡市宇方財島一七二)に賞品を授與した

所澤飛行學校廢止

【九三三】大正八年四月十五日開校以來十九年間近代戰の花形部隊の諸機體養成機關として國民の間に親しまれて來た所澤陸軍飛行學校は軍令第五號を以ていよいよ十月一日から廢止され新たに陸軍士官學校航空分校として生れ更なる事となつた、右に伴ひ同校では廿六日午前十時より有川上原等歴代校長並に殉難遺族を始め同校に縁故の深い軍兵三百餘名が集り整肅な廢校式を舉行正午から歴代校長を圍み名残の宴を張つた

所澤陸士分校設置

【九三四】陸軍では陸軍士官學校航空兵科士官候補生のため新たに所澤に陸軍士官學校分校を設け機體及びそれに關連する教育を行ふこととなり十月一日より開校することとなつた、その結果從來の所澤陸軍飛行學校はこれを廢止し卅日軍令を以て同校令廢止を公布した、尙分校開設に伴ひ陸軍士官學校令の改正を行ひ航空兵科生徒に限り種科修了後の隊付勤務を

經手して直ちに士官學校本科に入校する機體めらるゝ等である、右に關し卅日陸軍省より左の如く發表された

△陸軍省發表
陸軍士官學校の航空兵科將校と爲すべき生徒は其修學期間内に於て機體及び之に關聯する教育を行ふ要あるを以て之が教育に便する所澤に陸軍士官學校分校を新設し併せて航空兵科將校と爲すべき學生の教育を同分校に於て行はしむる如く陸軍士官學校令中若干の改正を行はるゝこととなれり

練習艦隊航程變更

【九三五】練習艦隊艦手、八雲は九月十七日アデン發パタヤに向け印度洋航行中の處今事變の爲行動豫定の一部を左の如く變更した
△十月二日バタヤ着△同五日同地發△同十八日館山假泊△同十九日横須賀入港

航空母艦飛龍竣工

【九三六】かねて横須賀ドックで建造中であつた航空母艦飛龍はいよいよ竣工來る十一月月上旬進水式を行ふことになつた同艦はさきに建造された蒼龍の姉妹艦である

防 空

防空法關係勅令公布

【九三七】十月一日より施行される防空法に關し内務省では防空法施行令、官廳防空令及び防空委員會令の三勅令を制定廿四日の閣議に附議決定し廿九日の官報を以て公布された、尙本法施行に伴ひ内務省に主管局として計畫局を新設され更に中央及び地方に設置するべき防空委員會の構成は左の如くである

防空委員會令
第一條 防空委員會は中央防空委員會、道府縣防空委員會及市町村防空委員會とす

中央防空委員會及道府縣防空委員會は内務大臣、市町村防空委員會は地方長官(東京府に在りては警視總監、以下之に同じ)の監督に關す

道府縣防空委員會及市町村防空委員會は防空法第二條及防空法施行令第一條の規定に依り其の權限に關しめたる事項を調査審議す

委員會は前項の外關係行政廳の諮問に應じ防空法に關する重要事項を調査審議す

委員會は防空に關する重要事項に付關係行政廳に建議することを得

第二條 中央防空委員會は内務省に之を置き道府縣防空委員會は道府縣毎に、市町村防空委員會は防空法第二條の規定に依り地方長官の指定する市町村長の統轄する市町村毎に之を置き道府縣又は市町村の名を冠す

第三條 委員會は會長及委員を以て之を組織す

第四條 中央防空委員會の會長は内務大臣、道府縣防空委員會の會長は地方長官、市町村防空委員會の會長は市町村長を以て之に充つ

第五條 中央防空委員會の委員は四十八以内とす

道府縣防空委員會の委員の定数は内務大臣、市町村防空委員會の委員の定数は地方長官之を定む

前二項の定員の外必要あるときは臨時委員を置くことを得

第六條 中央防空委員會の委員及臨時委員は内務大臣の奏請に依り内閣に於て之を命す道府縣防空委員會の委員及臨時委員は内務大臣之を命す

市町村防空委員會の委員及臨時委員は地方長官之を命ず

第七條 委員の任期は四年とす但し特別の事由ある場合に於ては任期中之を解任することを妨げず

第八條 會長は會務を總理す

第九條 委員會に幹事を置く中央防空委員會の幹事は内務大臣の奏請に依り内閣に於て之を命じ道府縣防空委員會の幹事は内務大臣、市町村防空委員會の幹事は地方長官之を命ず

第十條 委員會に書記を置く中央防空委員會の書記は内務大臣、道府縣防空委員會の書記は地方長官、市町村防空委員會の書記は市町村長官之を命ず

第十一條 中央防空委員會に關する費用は國庫、道府縣防空委員會に關する費用は道府縣、市町村防空委員會に關する費用は市町村の負擔とす

第十二條 町村組合にして町村の事務の全部又は役場事務を共同處理するものは本令の適用に付ては之を一町村、其の組合管理者は之を町村長と看做す

附則 本令は公布の日より之を施行す

司法

思想實務會同終了

【九三】 思想實務家會同第二日は廿一日午前十時より司法省會議室に開催十月一日は司法部行幸十週年記念日に當る日は全國を通じ「憲法週間」を開催軍機保護法その他憲法思想鼓吹に努める件に關し種々協議を果ね具體的實施計畫を決定して會同を終了した

教育

全國高校長會議終了

【九三】 全國高等學校長會議第二日は廿一日午前九時より文部省會議室に於て開會直ちに前日に引續き

一 入學試験の改善に關する件を議題とし委員會に於て作成した高等學校高等科入學者選抜方法改善案について討議を重ねた結果入學者の選抜は克く就學に堪へ將來國家社會の指導者としてその責務を全うし得べき人物を目標としてこれを行ふと左の方法を以て選抜を行ふ事に決して午後五時半散會した

一 入學者を選抜するに於て志願者の入學前に在學した學校の調査書(内申)並口頭試問、筆頭試問及身體検査の結果を綜合考查すること、但し學校の狀況に依つては筆頭試問を行はざるを得ること

一 口頭試問は學業、常識、素質、性行、身上等に亘つて行ふこと
一 筆頭試問は主として學業に就て行ひ志願者の教養及能力を檢すること
一 口頭試問及筆頭試問に於ける學業に關する試問は四科目(從來通り)は文部省に於て之を選定し毎年十二月十日前

後の官報を以て告示すること
一 筆頭試問は各高等學校同時に開始すること
一 志願者の數が入學せしむべき生徒數(定員)を遙かに超過し全員に對して口頭試問及身體検査の實施に周到を期し難き學校に於ては調査書と四科目に付き筆頭試問の成績とを合せ考查して入學せしむべき生徒數の二倍を下らざる人員を第一次に選抜するを得ること

なほ今回の右改善案に依ると校長の自由裁量に依り試験の方法、試験の期日(筆頭は同時)等が決定要綱の範圍内に於て各學校夫々自由で決め得る事にしたこと、從來重視した筆記試験を行はざるを得しめて口頭試問を重視した事は改正の最も顯著なる點である

【九三】 政府は廿八日の閣議において從來各省から世界各國へ毎年派遣して来た留學生の廢止を正式に決定したこの出張費は一般會計で八百萬圓特別會計で三百五十萬圓に上るが各省官制による在外官吏及航空機その他軍事關係研究員の派遣だけは特に除外し文化關係の留學生だけが見合せとなつたものである

海外留學生中止

【九三】 文部省では航空施設の發達に伴ひ防空思想の普及徹底を圖る緊要を認め今回防空に關する常識と簡易燈火管制用具及簡易應急防毒の製作方法を内容とするパンフレットを發行廿九日全國の小學校中等學校並に師範學校等に夫々配布した

防空常識を各學校に配布

【九三】 支那事變應召軍人遺族の學齡兒童の就學を奨励するため去る臨時議會の協賛を経て増額された兒童就學臨時奨

勵費十九萬九千四百十圓中十月より十二月迄三ヶ月の間所要經費として九萬四千七百廿圓を卅日左の如く道府縣別高額を決定交付した、尚ほ殘額は來年一月より三月迄の奨勵費に充當せしむるため十二月中に交付する豫定である

農林
農林省分課規程改正
【九三】 農林省では戰時並びに戰後の農村經濟事情に對應する農林行政を確立統

産業行政

Table with 2 columns: Name and Amount. Includes entries like 大坂 二六〇〇, 東京 三三〇〇, etc.

農林省分課規程改正
【九三】 農林省では戰時並びに戰後の農村經濟事情に對應する農林行政を確立統

合する爲め企畫課及び企畫委員會を新設することとなつたので農林省分課規程を左の如く改正した企畫委員會規程を制定廿八日より施行した

農林省分課規程改正
【九三】 農林省では戰時並びに戰後の農村經濟事情に對應する農林行政を確立統

幹事は會長の指揮を受け庶務を整理す

森林火災保險法施行令要綱

【六三】六十九議會の協賛を経た森林火災國營保險法は、よゝ來る十月一日より施行されることとなり右に伴ふ施行令は廿八日の閣議に於て正式決定を見たが施行令要綱は次の如くである、尙北海道は内地の森林事情と異なるので同法附則第二項の規定に依り同法を施行せざる地區として指定された

△森林火災國營保險法施行令要綱

第一 保險の目的たるべき森林は人工に依り生立せしめたる樹木の集團とする

第二 保險料率は別表第一號に依ること

農林大臣別表第一號の保險料率に依り額と認むるときは別に保險料率を定むることを得ること

第三 保險金額の標準は別表第二號に依ること

農林大臣別表第二號の保險金額の標準に依り額と認むるときは別に保險金額の標準を定むることを得ること

附則

本令は森林火災國營保險法施行の日より之を施行すること

別表

第一號 樹種 林 齡 保險料率 針葉樹 十年以下 保險金額千圓ニ付一年五圓八十二錢 十年以上十年以下 同 四圓四十七錢

第二號 樹種 林 齡 保險金額ノ標準 松 五年以下 一町歩ニ付五十圓

六年以上十年以下 同百圓 十一年以上十五年以下 同二百圓 十六年以上廿年以下 同二百圓 廿一年以上廿五年以下 同二百圓 廿六年以上三十年以下 同二百圓 三十年以上三十五年以下 同二百圓 三十五年以上四十年以下 同二百圓 四十年以上四十五年以下 同二百圓 四十五年以上五十年以下 同二百圓 五十年以上五十五年以下 同二百圓 五十五年以上六十年以下 同二百圓 六十年以上六十五年以下 同二百圓 六十五年以上七十年以下 同二百圓 七十年以上七十五年以下 同二百圓 七十五年以上八十年以下 同二百圓 八十年以上八十五年以下 同二百圓 八十五年以上九十年以下 同二百圓 九十年以上九十五年以下 同二百圓 九十五年以上一〇〇年以下 同二百圓

商工

鑛業法改正調査委員會要綱

【六三】本邦鑛業の躍進に伴ひ現行鑛業法は鑛業所有權損害賠償等その他法の全般にわたつて改正を行ふ必要を生じたので商工省では本年度より二年繼續の豫定を以て鑛業法改正に關する本格的調査を行ふため學識経験者、營業者、商工、大藏、内務、農林の各關係省官吏より成る調査會を省内に設置する事となり廿一日鑛業法改正調査委員會要綱を左の如く發表した

△鑛業法改正調査委員會要綱

一 商工省に鑛業法改正調査委員會を置き鑛業法改正に關する重要事項を調査審議すること

一 委員會は會長一人及委員廿五人以内を以て之を組織すること

一 尙定員の外必要ある場合に於ては臨時委員を置くことを得ること

一 會長は商工大臣を以て之に充つること

一 委員及臨時委員は商工大臣の奏請に依り關係各廳高等官及學識経験ある者の中より内閣に於て之を命ずること

に基つて貿易審議委員會を左の如く正式發令した

委員 外務次官堀内謙介、大藏次官石渡莊太郎、農林次官井野碩哉、商工政務次官木暮武太夫、商工次官村瀬直義、商工參事與佐藤謙之輔、貿易局長官寺尾進、遞信次官平澤要、拓務次官萩原彦三、西尾忠方、牧田環、松村貞一郎、柴田善三郎、勝正憲、東郷安、若田均、松村光三、西村金次郎、勝桂之助、梶原伸治、兒玉謙次、安川雄之助、加藤恭平、清水賢一郎

臨時委員 法制局參事森山鏡一、企畫課調査官小義義照、外務省通商局長松島鹿夫、大藏省爲替局長上山英三、大藏省主稅局長大矢次郎、農林省農務局長小濱八彌、商工省工務局長小島新一、商工省鑛山局長東榮一、貿易局部長鹽谷野吉、遞信省管轄局長小野猛、拓務省殖産局長植場鐵三、谷口吉彦

製鐵事業委員會官制

【六三】商工省では製鐵事業法施行に伴ふ製鐵事業委員會を設置することになり右委員會官制は廿八日の閣議で正式決定を見たので十月一日公布と同時に委員の任命を行ふことになった、要綱左の如し

△製鐵事業委員會官制要綱

第一 製鐵事業委員會は商工大臣の監督に關し製鐵事業法第廿五條の規定に依り其の權限に關せしめた事項を調査審議すること

一 委員會は前項の外關係各大臣の諮問に應じ製鐵事業に關する重要事項を調査審議すること

一 委員會は製鐵事業に關する事項に付關係各大臣に建議することを得ること

第二 委員會は會長一人及委員廿人以内を以て之を組織すること

第三 委員會は會長一人及委員廿五人以内を以て之を組織すること

第四 委員會は會長一人及委員廿五人以内を以て之を組織すること

第五 委員會は會長一人及委員廿五人以内を以て之を組織すること

第六 委員會は會長一人及委員廿五人以内を以て之を組織すること

第七 委員會は會長一人及委員廿五人以内を以て之を組織すること

第八 委員會は會長一人及委員廿五人以内を以て之を組織すること

第九 委員會は會長一人及委員廿五人以内を以て之を組織すること

第三 會長は商工大臣を以て之に充つること

委員及臨時委員は商工大臣の奏請に依り左に掲ぐる者の中より内閣に於て之を命ずること

一 關係各廳高等官

二 學識経験ある者

前項第二號に掲ぐる者の中より命ぜられたる委員の任期は二年とすること但し特別の事由ある場合に於ては任期中之を解任することを妨げざること

第四 會長は會務を總理すること

會長事故あるときは商工大臣の指名する委員其の職務を代理すること

第五 委員會に幹事を置く商工大臣の奏請に依り内閣に於て之を命ずること

幹事は會長の指揮を受け庶務を整理すること

吉野商相統制恒久化を示唆

【六三】吉野商相は廿五日午前八時四十分大阪府着列車で來阪同十一時大阪俱樂部に於ける政治經濟研究會に出席政府の産業貿易統制方針に關し

當面の日支事變はわが忠勇なる將士の奮闘により多大の戦果を収めるであらうが國防經濟を中心に我が國産業經濟の體制を整備すべき必要は戦後の問題として重大化する、政府は石油、石炭、鐵等につき個々の戰時統制を支持する意向であるが戦後の産業經濟機構が戦前の所謂自由貿易主義に還元することは望み難いと思ふ

と述べ國家統制の恒久化を示唆して注目を感じた

吉野商相關西財界代表と懇談

【六三】下阪した吉野商相は廿五日午後三時半より新大阪ホテルにおける關西財界代表との懇談會に臨み關西側より池田(大阪)鈴木(京都)岡田(兵庫)各知事はじめ安宅彌吉、津田信吾、村田省藏氏等京阪神の財界有力者約六十名出席、吉野商相の挨拶あつて懇談に入り政府の産業貿易統制方針に關し左の如き意見の交換を遂行同六時散會した

財界側 資金調達は補養を内種に指定し輸出産業を優待してゐる

商相 紡績は現在操縦を行つてゐるので操短のまゝ設備の新増設をなすことを禁じたのである、操短を解いて擴張する側は一向に差支へない

財界側 輸入シジケートを設立することとは中小貿易業者共反對である

商相 當面必要な軍需資材の大量輸入を實行し、また外國にクレジットを設定する等の問題については有力な輸入業者の協力でなさればならぬ、しかし右は中小業者の輸入品目について實施せんとするものではない

財界側 今次事變で滞貨を生じ困窮してゐる業者の救済を考慮してゐるか

商相 當業者から具體案を提出されれば金融その他につき充分考慮する

軍需工業管理

工場事業場管理令施行

【六三】陸海軍兩省では今次支那事變に對處して我國軍需工業一部の非常管理を行ふことになり曩の臨時議會で決定した法律案に基き軍需工業動員法第二條を發動し左の如く工場事業場管理令案を決定廿五日公布即日施行した

▲工場事業場管理令

第一條 軍需工業動員法第二條の規定に依る工場及事業場並に其の附屬設備(以下工場事業場と稱す)の管理に付ては本令の定むる所に依る

第二條 主務大臣工場事業場を管理せんとするときは内閣總理大臣に協議すべし

第三條 管理は主務大臣の發する管理令書送達の時より開始す但し管理令書を以て別段の定を爲したる場合は此の限に在らず

管理令書の送達は管理すべき工場事業場の事業主に對し之を爲す但し已むを得ざる場合に於ては工場事業場の長其の他之に準ずる者に對し之を爲すことを得

第四條 管理令書には左の事項を記載す

- 一 工場事業場の名稱及所在の場所
二 管理の範圍
三 第十三條の規定に依り主務大臣の職權の一部を行ふ官衙の長あるときは其の長及其の職權の範圍
四 監理官の官職氏名
五 其他必要と認むる事項

第五條 第二條及第三條の規定は管理の範圍を變更し又は管理を廢止する場合に之を準用す
第三條第二項の規定は前條第三號乃至第五號の事項に變更ありたる場合に之を準用す

第六條 主務大臣は其の管理に依る工場事業場に於ける軍需品又は軍需品の生産若しは修理に要する原料、燃料、電力若しは動力の生産、修理又は發生に關し當該工場事業場の業務に付事業主を指揮監督す

第七條 主務大臣は其の管理に依る工場事業場に付監理官を置き當該工場事業場の業務の監督に従事せしむ
第八條 管理に依る工場事業場の事業主當該工場事業場の經營を廢止し又は休止せんとするときは主務大臣の許可を受くべし

第九條 管理に依る工場事業場の事業主は本令又は本令に依る命令の適用に付

事業主に代るべき事業管理人を選任することを不得
主務大臣必要ありと認むるときは事業主に對し事業管理人の選任を命ずることを得

事業主左の各號の一に該當する場合に於ては事業管理人を選任することを要す
一 法人なるとき
二 營業に關し成年者と同一の能力を有せざる未成年者又は禁治産者なるとき

三 本令施行地に居住せざるとき
事業管理人の選任及解任は主務大臣の認可を受くるに非ざれば其の効力を生ぜず、第二項及第三項の場合に於て事業主事業管理人を選任せず又は選任すること能はざるときは主務大臣は工場事業場の經營に付權限を有する者の中より事業管理人を選任することを得

第十條 事業管理人が本令又は本令に依る命令に違反したるときは主務大臣は之を解任することを不得
第十一條 工場事業場の管理に因り生じたる損害の補償を請求せんとする者は管理廢止の後命令の定むる所に依り之を請求すべし但し主務大臣の定むる所に依り毎事業年度の終りたる後又は損害の生じたる都度之を請求することを不得

第十二條 管理に依る工場事業場の經營を承繼する者は本令又は本令に依る命令に基き前者の權利義務を承繼す
第十三條 主務大臣は本令に依る管理に依る工場事業場に對する職權の一部を所轄官衙の長をして行はしむることを得

第十四條 本令中主務大臣とあるは軍機保護上其他軍事上特に必要ある工場事業場に付ては陸軍大臣又は海軍大臣とする

前項の場合を除くの外本令中主務大臣とあるは朝鮮、臺灣、關東州及南滿洲鐵道附屬地又は樺太に在りては各朝鮮總督、臺灣總督、滿洲國駐劄特命全權大使又は樺太廳長官とす

附則
本令は公布の日よの之を施行す
▲陸海軍當局誌
今回工場事業場管理令の公布を見るに至つたが之に對し陸海軍の所見は概ね次の通りである
一 本令は大正七年法律第卅八號軍需工業動員法に基き施行勅令であつて既に公布せらるべき管のもの今日迄手控へになつて居つたのを今回特に時局に鑑み公布せられたものである
二 管理とは主務大臣が當該工場又は事業場に於ける軍需品の生産修理に關し又は軍需品の生産修理に必要な原料、燃料、電力、動力の生産發生に關し其の工場業務に付事業主を指揮監督するものであつて其の主眼とする所は軍需品生産の爲工場利用の効率化を計り最も短期間に其の能力を最大に發揮せしめ陸海軍の補給に遺憾なからしむるにある、之が爲技術の向上、勞務の充實、原料材料の調達等に關し適切な援助を與へ同業者間の相剋を緩和し工場特性に應じて生産の分野を按配し以て全軍の期待する重點に向ふて其の工業力を指向せねばならぬ、而して工場業務に關しては工業主の創意工夫を委すべきことは従前の通りである、即ち管理は決して強度の統制作用ではなく平時に於ける詳文監督制度

に換するに生産命令を爲し其の實行を監督すると言ふ點に特色を持つのである
三 軍需工業動員法によればこの管理の外工場を使用し又は收用する場合があるが使用によりて主務大臣が直接經營し衝に立ち或は收用によりて工場の財産を政府の有とするが如き事態は今の處は考慮の外に置かれて居る
四 民間工場中特別のものを除くの外は軍需品と民需品を同時に生産して居るのであるが本令の施行により當該工場を管理する場合に於て今まで詳文に應じ或は其の生産に着手しつゝある重要な民需品に對しては軍需品の生産に差支なき限りその生産を妨害しないやうに直に之を取消し又は中止せしむるが如きことは出來得る限り之を避ける考である
五 軍需品生産に關しては陸海軍は遠て主要工場の特質に鑑み之に課すべき戰時生産計畫を用意して居るのであるから之を基礎として其の生産負擔量を定め陸海軍指示する處に従ふて能率を最大に發揮せしむることは決して困難な業でないと思ふ、本令の施行により陸海軍共直ちに一齊に全國凡ての工場を管理せんとする考はない、そこに自ら緩急輕重の度を量り必要なものに付適切な指導を爲し得るの用意あることは勿論である

六 軍需品の戰時生産の爲工場管理に當り特に考慮せらるべきは獨り其の軍事的意義を達成するのみならず戰時の社會的情勢に吻合せしむることが極めて重要である、即ち進んで軍に従ふと止まりて國內に在るとを問はず總ての階級總ての事業は何れも皆國防目的達成の爲全國民の完全なる理解の下に協力せられねばならぬ、例へば事業主は利

潤の自制、勞働の愛護、熟練工の養成設備擴充等に關し十分なる軍事的、社會的配置が必要である、又從業員は所謂産業報國の志を以てよく經營者を輔佐するの覺悟を有なければならぬ、斯くて戰時態勢に於ける國防力の發揚を期し得るのみならず眞に舉國一體の社會情勢を事實の上に導くことが出来るのである

船舶管理法實施に協力要望
【文三】支那事變に對應する我が國非常經濟立法の一たる臨時船舶管理法は管理委員會官制並に委員の設備、施行令、施行規則等の關係勅令公布等諸般の準備を完了したの十月一日から實施せられることになつたが此の非常立法の實施は海運界をはじめ本邦經濟界に及ぼす影響甚大なるものあるに鑑み逋信省は特にこれが運用に慎重萬全を期し時局に際し舉國協力して所期の成果を擧げるやう廿九日逋信當局談の形式をもつて左の如く其の意を強調し關係方面の協力を要望した

交通・通信・航空

△逋信當局談
第七十二帝國議會の協賛を経た臨時船舶管理法は施行規則の制定其他諸般の準備を了し愈々十月一日より施行せられることとなつた、同法は今次の支那事變に關聯し我國の海上交通運輸機關を戰時體制下に置き現在國家の必要とする重要物資を如何にして圓滑に輸送せしむるや物價對策として運賃、船舶等に付如何にして公正なる市況を維持せしむるや、永年培ひ來つた我が對外航權を如何にして確保せしめ外國航

權の侵入を防止せしむるや等の觀點より斯業の經營に對し公營上必要な措置を執らんとするものである。△即ち我國重要物資の輸送を圓滑ならしむる爲には船舶の讓渡、貸渡等を制限し國內造船の合理的促進を圖らしむると共に船舶十七年未満の船舶に付ては無條件にて又船舶十七年以上の船舶に付ては遞償大臣の指定する時期に解體することの條件を附し外國船舶の取得を許可して船腹の確保を期し更に必要あるときは外國諸港間の運送を制限又は禁止することとし又市況の昂騰抑制の爲には運賃、備船料及船舶の製造價格、賣買價格に關して當時適切な監督の方法を講ずることとし我對外國航權維持の爲には航路の實情に應じて適當なる配船を爲さしむることとし以て現下時局の推移に即して斯業を運營せしめんとするものである。

船舶管理委員決定

臨時船舶管理委員會官制は廿八日の閣議で決定十月一日より實施されることになつたので右委員會會長永井連相以下委員卅三名は卅日附を以て左の如く發令された

- 臨時船舶管理委員會會長 永井連相
臨時船舶管理委員會會長 被仰付
貴族院議員 子爵 深尾隆太郎
同 同 秋本 善朝
同 同 橋本辰次郎
同 同 平生鈺三郎
同 同 牧山 耕藏
同 同 濱野徹太郎
同 同 若宮 貞夫
同 同 板谷 順助
陸軍次官 梅津美治郎
海軍次官 山本五十六
商工次官 村瀬 直養
大藏次官 石渡莊太郎
拓務次官 秋原 彦三
逓信政務次官 田島勝太郎
逓信次官 平澤 要
逓信參事官 犬養 健

△而て本法の運用に當りては汎く朝野の衆知經驗を寬むる爲船船管理委員會を設け更に専門的事項に關しては専門委員を置き調査研究せしむることとし萬遺憾無きを期したるのであるが固より我國海運業及造船業の適正なる運行は獨り本法のみに依り其の完きを望むは困難であつて日本船主協會、造船聯合會、海員團體等の諸團體及海運自治聯盟海事協同會の如き自治的統制機關又は協調機關の協力に俟つべき所極めて大なるものあると共に荷主、貿易業者海上保險業者等に於ても同法の趣旨を體し其の目的とする所に協力せらるゝこと亦緊要なるものあるを信するのである

更めて時局の重大性を認識し公益的見地に立脚し如何なる事態に直面するも協心戮力して難局に處せられんことを希望する次第である

通信

航海の途についた、同船は三菱神戶造船所で建造された五千五百トン型テイセルエンジンで最速速力十六ノット日遼間を八日間で航破し従来より五日間を短縮することになつた

チリへ無電開通

【九二〇】 逓信省では南米チリ國との直通電線電信連絡開通方についてチリ側と諸協定を締結すると共に先般東京中央電信局とサンディアゴ無線局との間に數次に亘り連絡試験を行つたが良好なる成績を得九月廿五日より公衆業務を開始した本無線連絡線由本邦チリ間通常電報料金は一語四フラン四〇サンチムであつて從來の料金より一五乃至三五サンチムの値下を見る譯である尙本無線線由に於てはペルー國發着通信も取扱ふ

對ブラジル電報料低減

【九二一】 逓信省では客年十五日アルゼンチン、チリ、ボリヰア、パラグアイ及ペルー等南米各地宛電報料金を一語當り十四錢當値下し又チリ宛料金を付ては本月廿五日日本邦チリ間直接無線電信連絡の開設に伴ひ更に一語當り十錢方の値下げをしたがブラジルとの料金も來る十月一日から一語に付十三錢の値下げを行ふことになつた

日滿間にも慶弔電報開始

【九二二】 日滿間の慶弔電報は從來年賀電報のみであつたが逓信省は公衆の利便をはかるため十月一日より取扱をなすことになつた、これに依つて日滿間でも内地相互間と同様に慶弔電報を交換し得ることになり料金は例文一通四十錢である

電話規則全般的改正

【九二三】 逓信省では電話規則を全般的に改正する事になり十月一日附の官報で公布來年一月一日より實施することになつた。この改正は電話規則の全般に渉る廣泛なもので改正事項百餘點に及んでゐる

航空

青年航空團第二次訓練

【九二四】 非常時航空日本の第二陣を背負つて起つた大日本青年航空團は去る八月十日以來全國各府縣六大都市から推薦された代表青年百五十名を長野縣霧ヶ峰降道場に糾合一ヶ月に亘る猛訓練を行ひ非常な好成績で去る十日修了したが同團では時局より緊迫の折柄更に第二次訓練大會の續行を決議し前回の團員中から約百名の希望者を再び霧ヶ峰に集め廿五日より十月廿日まで飛行機操縦候補として高度の技術を修得せしめ修了者にはグライダーの二級滑空士の資格を與へると共に更に操縦士、機關士を養成軍隊に進出せしめる一方地方支部の指導者とさせる方針である

定期航空冬期ダイヤ

【九二五】 十月一日から來年三月末までの定期航空冬期ダイヤグラムが左の如く改正された

- △東京新線急航
下り東京發午前六時
新着着午後四時四十五分
上り新着午後八時
東京發午後四時卅五分
△東京天津間急航
下り東京發午後四時五十分
天津着午後四時五十分
上り天津發午前八時
東京發午後四時卅五分
△東京臺灣間急航
下り東京發午前六時

△大阪大連線

- 下り大阪發午前六時卅分
大連發午後五時十分
上り大連發午前七時卅分
大阪發午後四時廿分
△東京札幌線
下り東京發午前九時
札幌發午後二時十分
上り札幌發午前八時
東京發午後一時十分

航空自由齎入選者發表

【九二六】 航空思想普及のため帝國飛行協會では全國の小學校児童から航空自由齎を募集去る六月末締切つたが總応募數十萬八千點に達し各地方で地方賞を選定の上廿一日東京市の佐藤觀學官に依つて地方一等作品中から全國賞を發給した結果左の如く一等一點、二等二點、三等三點佳作卅點を入賞それぞれ賞牌を贈呈することに廿二日郵送した

- 第一等 東京市千東小學校
第二等 第一席 神奈川縣鎌倉第二小學校
第二席 校草四村 村田 明子
同 第二席 福岡縣黒木小學校
第三等 第一席 岩田 實
第二席 大坂市濟美小學校
第三席 倉田 安雄
同 第二席 水戸市瀨田小學校
第一席 小森三枝子
同 第三席 前橋市城南小學校
第四 齋藤 陽

日遼航路盤谷丸初航海

【九二七】 大阪商船シヤム航路の新造船盤谷丸は廿九日正午神戶を出帆晴れの處女



朝鮮關係

全半島の國民精神總動員運動

【九二〇】去る九日時艱克服に關する南總督の告諭が發せられて以來總督府では一致協力これが艱難徹底に努めてゐるが、よゝ今廿三日から國民精神總動員の大進軍が展開された、南總督は自らその陣頭に立ち廿一日宣教師大會出席者に對して朝鮮統治の根本を闡明し國體觀念の涵養を説いたのを始めとして廿三日午前七時朝鮮宣教師に國威宣揚祈願祭並に生業報國宣誓式に臨み一場の訓示を與へこれをラヂオによつて全鮮に中繼した、引續き同日午後には金組聯合聯合會講堂で開かれた全鮮農漁山村指導者大會に臨み更に總督は廿四日愛國婦人會朝鮮本部主催の時局に關する御勸告奉戴式に、廿五日には全鮮中堅青年大會に列席して訓辭を與へた、その他總督府では来る十月一日の施政記念日、十一月十日の國民精神作興詔書換發記念日を中心として國民的精神作興運動を種々計畫されてゐる

統後の産業報國運動

【九二一】重大時局に際し生産擴充を圖り産業報國を期するため廿三日秋季豐稔祭を期して朝鮮學會、朝鮮金組聯合會、朝鮮漁業組合中央會、朝鮮山林會關係、朝鮮團體の主體で國威宣揚祈願祭、農山漁村報國宣誓式を舉行更に引續き農山漁村振興關係官會同を催ふして全鮮にわたり産業報國の一大運動を展開した、この日午前七時より朝鮮神宮において南總督、大野政務總監を始め總督府各局長、甘庶京畿道知事及び特に全鮮から召集された各府尹郡守、各道地方農務兩課長その他地方産業指導者代表者三百餘名參列國威宣揚祈願祭を行ひ引續き午前八時より同神宮廣場において農山漁民報國宣誓式を舉行南總督の訓示あり終つて宣誓文朗讀、萬歳を三唱して式を終り更に午前十時より朝鮮金組聯合會上に於て農山漁村振興關係官會同に入り政務總監、朝鮮參謀長等の訓示あり午前午後にわたり會費を使用したこの日全鮮道主僅地は勿論僻陬農山漁村に至るまで同様式典を施行各種作業を行つて生業報國を誓つた

【九二二】政府は廿八日の閣議を経て昭和十二年度朝鮮總督府特別會計第二豫備金より五十六萬一千二百十二圓を支出することになつたがその内譯は左の通りである(單位圓)
一 道路河川水害復舊費 三三三、六五〇
一 同補助費 一七五、七四七
一 土地改良工事水害復舊補助 一〇、四九八
一 水害罹災者救済施設費補助 六一、三二七
一 合計 五六二、二二二

第二豫備金支出

【九二三】政府は廿八日の閣議を経て昭和十二年度朝鮮總督府特別會計第二豫備金より五十六萬一千二百十二圓を支出することになつたがその内譯は左の通りである(單位圓)
一 道路河川水害復舊費 三三三、六五〇
一 同補助費 一七五、七四七
一 土地改良工事水害復舊補助 一〇、四九八
一 水害罹災者救済施設費補助 六一、三二七
一 合計 五六二、二二二

臺灣關係

八角次官來臺
【九二四】臺灣統治狀況視察の八角拓務政務次官は廿一日午前十時卅分高砂丸で基隆に到着した
【九二五】八角政務次官は軍隊慰問使として廿七日午後三時定期船寶山丸で馬公來着軍官民の出迎ひを受け直に馬公要港部に和田司令官その他を訪問慰問の辭を陳べた
【九二六】臺灣、澎湖列島、沖繩島の八重山及宮古列島の標準時は東經百廿度の子午線を以て標準時決定の基準とし中央標準時百廿五度と一時間の時差を以て西部標準時を設けてゐたが交通、經濟等の躍進に伴つて内地との時差は著しく不便を來すので政府は今回十月一日を以つて西部標準時との時差を撤廢するに廿一日の閣議で決定廿八日の官報を以つて西部標準時に關する明治廿八年勅令第六十七號の改正を公布した、これに伴ひ臺灣では諸官署の執務時間、汽車、汽船の發着時間の改正が行はれることになつた、なほ南洋群島の標準時は現在、西部、中部、東部の三部制度になつてゐるが臺灣地方の標準時の改正に伴ひこれも明年一月頃より二部制度に改正し標準時の統一を期することになつた

樺太關係

商工政務次官樺太へ
【九二七】木暮商工政務次官は約一週間の予定で樺太、北海道地方の石油、パルプ等其の他重要資源の開発狀況視察のため廿八日午前十時上野驛發樺太に赴いた

對滿關係

滿洲少年移民計畫
【九二八】拓務省の對滿移民五ヶ年十萬戶計畫の先驅をなす本年度六千戶三萬人の移民計畫は五百萬圓の豫算を以て實行既に約三千戶の移民をなしたが今回新たに大量の少年移民を實施することとなり拓務省では滿鐵並に關東軍、滿拓公社等と連絡して積極的にこれが實現に乘出すことになつた、同移民は主として地方農村から海外雄飛の勇心に燃える高等小學卒業直後の少年約二萬乃至三萬人を募り從來の如き内地の訓練所を通さず直に滿洲に送つて現地に於て訓練をなし將來有能な指導者たらしめやうといふのであつたこれが具體策については廿二日滿洲より歸京せる安井拓務局長の現地調査に基き立案し明春早々實現を見る豫定である

滿洲移民協議會結成

【九二九】滿洲移民問題は支那事變の進展に伴ひ益々その重要性を加へ來つたが從來關係各機關の連絡不充分のため種々の不便を生じてゐる實情にあるところからこれが指導方針の統一を圖るべく滿洲拓殖公社、滿洲移民協進會、農村更生協會その他關係諸團體並に各省關係官代表は先頃來これが具體策について大使館に會合種々協議を進めた結果滿洲移民協議會を設置することとなり幹事五名、顧問若干名を置いて毎月一回定期協議會を開き必要に應じて隨時會合することとなつた、尙顧問には産組中央金庫理事長石黒忠篤、日本國民高等學校長加藤完治、東大教授那須晴、京大教授橋本傳左衛門の四氏を決定した

青木次長歸朝
【九三〇】北支に出張中であつた青木對滿事務局長は北支に於ける經濟建設の基礎的調査を完了したので十九日天津發新京に立寄り關係當局と打合せをなした後廿一日新京發日滿連絡機「那須」號で同日午後四時四十五分羽田に歸着した
【九三一】安井拓務省拓務局長は滿洲拓殖創立總會に列席したが移民各地を視察して廿二日午前九時半東京驛着列車にて歸京直ちに拓植に現地の移民狀況を報告すると共に今後の移民政策について協議し更に陸軍省に梁山軍務課長、河村中佐を訪問同様現地の狀況を説明し今後の對策につき協議したが同局長は次の如く語つた
滿洲に於ける我が第一次以下六次までの移民村を殆んど全部視察して來たがその結果國策として決定した移民計畫は既定方針通り遂行出来るといふ確信を得て來た、一方方面に移民計畫の遂行が將來困難に陥りはしなかつたかと思へる向があるが滿洲移民は國防國策上からして重大であり又既定の計畫では我が三ヶ町村から一名位の割當で位にしかならぬので支障を來すなど絕對にあり得ないことである、従つて明年度以降に於ても既定計畫通り遂行して行く方針である

有田元外相歸朝談

【九三二】滿洲北支を視察せる有田八郎氏は廿二日朝大連より門司寄港の日滿聯絡船熱河丸で歸來神戶に向つたが船中で左の如く語つた
一般的空氣を知つたのみで何も感想はない、今次の事變に對し滿洲國は張國務總理以下一致して時局に當り非常に緊張してゐた、國內治安の狀況は相當よゝラヂオによる支那側のデマ放送にも拘らず一般に極めて平靜で落着いてゐる、北支では寺内大將にも會見したが頗る元氣であつた、北平は平靜になつて居り戰時氣分なんかちつとも見られなかつた、例の河北人の河北成るの標語も市中到るところに見られてゐるが經濟工作は事變が終つてからでなければ手はつけられまい

十河氏歸朝談
【九三三】興中公司社長十河信二氏は廿四日午前八時神戶入港の日滿連絡船熱河丸で歸來し三宮驛發特急車で東上したが北支開發問題につき左の如く語つた
約六十日間天津において病臥して居た

山及宮古列島の標準時

【九三四】山及宮古列島の標準時は東經百廿度の子午線を以て標準時決定の基準とし中央標準時百廿五度と一時間の時差を以て西部標準時を設けてゐたが交通、經濟等の躍進に伴つて内地との時差は著しく不便を來すので政府は今回十月一日を以つて西部標準時との時差を撤廢するに廿一日の閣議で決定廿八日の官報を以つて西部標準時に關する明治廿八年勅令第六十七號の改正を公布した、これに伴ひ臺灣では諸官署の執務時間、汽車、汽船の發着時間の改正が行はれることになつた、なほ南洋群島の標準時は現在、西部、中部、東部の三部制度になつてゐるが臺灣地方の標準時の改正に伴ひこれも明年一月頃より二部制度に改正し標準時の統一を期することになつた



貴院各派

上海慰問團員決定

【九二〇】貴族院各派の上海派遣慰問團員は廿二日左の如く決定した、尙同和會及交友クラブの議員は希望者が無いので研究會の希望者に振り當てることになつた

樺山愛輔伯、井上勝純子、三島通陽子
風間八左衛門、(以上研究)徳川義親侯
(火蘭渡邊)門男、關義壽男(以上公正)
油井徳藏(同成)

北支慰問團出發

【九二一】貴族院の北支將兵慰問團員團長西郷從徳侯同副團長田中館愛橘博士外一行は北支方面派遣軍司令官並に將兵に對する慰問文、慰問金を携へ廿六日午後九時四十分東京驛發西下廿七日正午神戸より乗船一踏天津に向ひ約十日間に亘り各戦線を慰問視察する

慰問金購出決定

【九二二】貴族院各派交渉會は廿八日午前十時より院内議長室に開會松平、佐々木正副議長、各派交渉委員、長書記官長その他出席今次事變に依る傷病軍人慰問に關し協議の結果

- 一 各議員十圓宛を慰問金として購出すこと
- 一 右慰問金は傷病軍人数に按分して陸海軍に贈すること
- 一 各派一、二名の代表を選び東京、横須賀の各衛戍病院を慰問すること
- 一 決定し同十時半散會した

柴山男補缺當選

【九二五】貴族院男爵議員北河原公平男逝去に伴ふ補缺選挙は廿五日午前九時四十分より華族會館に於て執行、開票の結果三百二十三票の多數を以て豫備海軍少將柴山昌生男が當選した

民政黨

關西風水害見舞

【九三〇】民政黨は高知、徳島、岡山、鳥取各縣に於ける風水害見舞のため廿一日田村秀吉、小林三郎兩代議士を派遣する事に決した

國民精神動員地方大會

【九三一】民政黨は廿八日午後三時より本部に幹部會を開き大縣總務より國民精神總動員運動に關し週日政民兩黨首腦部と馬場内相との會員頭末を報告し本問題を中心に協議の結果

非常時對策案

國軍の行動は遠からず所期の目的を達成すべきを確信する、併し日支國交を是正し東亞永遠の平和を確立するが爲には猶幾多重大なる努力を拂はねばならぬ、即ち先づ舉國一致の體制を強化し銃後の施設に遺憾なきを期し軍費並に物資の關係國家の整備とを考慮し切切なる方策を樹立すべきは言ふ迄もない、これが爲めには左の要項を必要とする

- 一 特に生産力の擴充を圖りて國力の充實を期すると同時に財界並に産業界に脅威を興ふるが如き極端なる統制は之を戒む
- 一 金融の梗塞を來し一般産業の進展を阻害するが如き資金の統制は勉めて之を避けねばならぬ
- 一 爲替の維持に就ては猶其根源に溯及する必要があるがそれと同時に輸出につき

非常時對策決定

【九三二】政友會は廿一日午後二時より本部に幹部會を開き來る十月十日秋田市に於て東北地方大會を開催することに決定しそれまでに非常時對策の具體案を制作する標榜調會を促進することとし終つて柴山陸軍省軍務課長支那事變に關する講演を聴取して四時散會

非常時對策案

【九三三】政友會は廿四日午後二時より非常時對策特別委員會を開き協議の結果戰時の産業、經濟、爲替、生産消費、統制國民生活及び戰費とその影響等につききれんが對策を得るに至つたのである廿八日午後二時半より政務調査會總會を開きこれを附議承認を求めた上で發表することとし同四時散會

非常時對策案

【九三六】政友會は廿八日午後二時半より本部に幹部と政調役員並非常時根本政策委員の聯合會を開き非常時根本政策の具體案を決定近く全國各地に特派する非常時調査班をして之が主旨の普及徹底を圖ることとし同四時散會した

非常時對策案

一 増税の場合には其の根本方針を明確ならしめ之に對する安心を國民に與ふる事を期すべきである

一 臨戦地域に對しては速に民心の安定を圖ると同時に其の經濟的實勢を確保し以て共存共榮の實を擧ぐべきである

一 此の場合世界に向つて我國の眞實を諒解せしめ諸般の切切なる處置を講ずる必要がある

一 事變後に處すべき内外機宜の國策に關し今日に於て豫め之に備ふるの必要がある

一 以上各般の施設に當つて須らく朝野の衆智を繼續し眞に國民總動員の實を擧ぐべきである

經濟調査員特派

【九三七】政友會では戰時體勢下の全國經濟

此際一層の努力を要する

- 一 農村及中小商工業に及ぼす時局の影響の重大性に鑑み緊急適正なる對策を樹つべきである
- 一 地方債の抑制は地方の萎靡不振を惹起すべきを以つて特に深甚の考慮を要する
- 一 政府消費と民間消費との關係に留意し在來の生産力にして反つて過剩を生ずるが如き場合、其原料を輸入に仰がざるものに就ては寧ろ之に對する消費の刺激を必要とする
- 一 冗費節約、無駄排除に努むるは勿論なるも此の場合一般的消費節約の如きは決して時宜に適したる處置ではない宜しく特定の物資に就き必要に應じ理由を明かにして其消費を節約せしむる方策を採るべきである
- 一 此場合物價の急激なる昂揚はこれを抑制する必要がある、之が爲には宜しく其の由つて來る所以を明かにし以て對策を講せねばならぬ
- 一 増税の場合には其の根本方針を明確ならしめ之に對する安心を國民に與ふる事を期すべきである
- 一 臨戦地域に對しては速に民心の安定を圖ると同時に其の經濟的實勢を確保し以て共存共榮の實を擧ぐべきである
- 一 此の場合世界に向つて我國の眞實を諒解せしめ諸般の切切なる處置を講ずる必要がある
- 一 事變後に處すべき内外機宜の國策に關し今日に於て豫め之に備ふるの必要がある
- 一 以上各般の施設に當つて須らく朝野の衆智を繼續し眞に國民總動員の實を擧ぐべきである

松岡總裁首相防閑

【九二四】松岡滿鐵總裁は廿三日午前十一時私邸に近衛首相を訪問次で廿四日午後五時再び首相私邸を訪問し時局に關し種々懇談を遂げたる上退京の挨拶をなした

▲松岡總裁歸任 【九二五】業務上の打合せのため上京中の松岡滿鐵總裁は關係方面との打合せも終了したので廿五日午前九時東京驛發歸任の途についた

農林政務次官滿洲視察

【九二六】農林政務次官高橋守平氏は廿六日羽田飛行場發特急便で東京に赴いたが團圓、佳木斯、哈爾濱、黑河、齊齊哈爾奉天等各地に於ける産業事情移長狀況等を視察更に北支に赴き天津北平を視察朝鮮經由十一月二日歸京の豫定

政友會

非常時對策決定

【九三二】政友會は廿一日午後二時より本部に幹部會を開き來る十月十日秋田市に於て東北地方大會を開催することに決定しそれまでに非常時對策の具體案を制作する標榜調會を促進することとし終つて柴山陸軍省軍務課長支那事變に關する講演を聴取して四時散會

【九三三】政友會は廿四日午後二時より非常時對策特別委員會を開き協議の結果戰時の産業、經濟、爲替、生産消費、統制國民生活及び戰費とその影響等につききれんが對策を得るに至つたのである廿八日午後二時半より政務調査會總會を開きこれを附議承認を求めた上で發表することとし同四時散會

【九三六】政友會は廿八日午後二時半より本部に幹部と政調役員並非常時根本政策委員の聯合會を開き非常時根本政策の具體案を決定近く全國各地に特派する非常時調査班をして之が主旨の普及徹底を圖ることとし同四時散會した

【九三七】政友會では戰時體勢下の全國經濟

濟事情調査のため十二夜に分つて調査員を派することとなり廿七日調査地区と擔當委員の額觸れを左の如く決定十月早々調査に進發することとなつた

- 一 清瀬規矩雄、井上知治(鹿兒島、宮崎、大分、熊本)
二 丹下茂十郎、藤生安太郎(福岡、佐賀、長崎、沖繩)
三 砂田電政、依光好秋(四國一圓)
四 田子一民、中野治介(山口、廣島、岡山、兵庫)
五 猪野毛利榮、世耕弘一(鳥根、鳥取、京都、滋賀)
六 岡田忠彦、田中好(和歌山、奈良、大阪、三重)
七 若宮貞夫、高橋圓三郎(岐阜、愛知、静岡)

- 八 倉元要一、葉梨新五郎(福井、富山、石川、長野)
九 板谷順助、立川平(新潟、秋田、山形、福島)
十 福井甚三、東條貞(青森、岩手、宮城、北海道)
十一 井上義哉、小高長三郎(神奈川、東京、山梨、埼玉)
十二 高橋龍次郎、篠原義政(千葉、群馬、茨城、栃木)

非常時政調委員長決定
【五三】政友會の非常時對策政調特別委員長は廿七日代行委員より左の如く指名發表された

非常時農村對策特別委員長
△中小商工業特別委員長 東武
△中小商工業特別委員長 若宮貞夫

國同議會報告書
【五三】國民同盟は廿一日午後三時本部に全體會議を開き七十二號報告書を決定して之を發表したが其の結論要旨は左の如くである

△結論要旨
今次事件の本質は將政權の多年に亘る排日抗日毎日の政策に原因するものであるがその排日抗日毎日の事は實は單獨に我國にのみ行はれたるものではないそれは彼の國の一般の排外思想より由來してゐる、果然それは一の思想に由つて導かれんとしてゐる、一の思想とは何ぞや、いふ迄もなく共產思想そのものである、本年八月廿九日ソ支不可條約の發表と同時に支那は殊更に此の不可條約の背後に密約なしとの説明を添加した、誰か此の説明を文字通りに取受ける者があらうか、ソ聯の我邦に對する態度其の支那への援助等不言不語の間にソ支關係は明白となつてゐる試みに四億の民衆が共產理想を奉ずる政府と軍隊にとり支配せらるることとなつたとすればその影響如何、その害を受ける者は我國だけではない、英米佛獨伊すべて重大なる被害國となる、獨り各國の被害といふだけではなく世界の平和は破られてしまふ、英米佛の政治家に此の道理が解せられない道理はない、容共排外の國民黨政權を聲すことは實に世界の平和のためである、我々は一致結束後の計畫を完成し出征將士に此の後顧の慮なく戦場へ事を得せしむること同時に世界の外交界に呼びかけ今次事變の眞の意味を明にして帝國の世界に於ける使命を達成する事を期せねばならぬ

△結論要旨
今次事件の本質は將政權の多年に亘る排日抗日毎日の政策に原因するものであるがその排日抗日毎日の事は實は單獨に我國にのみ行はれたるものではないそれは彼の國の一般の排外思想より由來してゐる、果然それは一の思想に由つて導かれんとしてゐる、一の思想とは何ぞや、いふ迄もなく共產思想そのものである、本年八月廿九日ソ支不可條約の發表と同時に支那は殊更に此の不可條約の背後に密約なしとの説明を添加した、誰か此の説明を文字通りに取受ける者があらうか、ソ聯の我邦に對する態度其の支那への援助等不言不語の間にソ支關係は明白となつてゐる試みに四億の民衆が共產理想を奉ずる政府と軍隊にとり支配せらるることとなつたとすればその影響如何、その害を受ける者は我國だけではない、英米佛獨伊すべて重大なる被害國となる、獨り各國の被害といふだけではなく世界の平和は破られてしまふ、英米佛の政治家に此の道理が解せられない道理はない、容共排外の國民黨政權を聲すことは實に世界の平和のためである、我々は一致結束後の計畫を完成し出征將士に此の後顧の慮なく戦場へ事を得せしむること同時に世界の外交界に呼びかけ今次事變の眞の意味を明にして帝國の世界に於ける使命を達成する事を期せねばならぬ

△結論要旨
今次事件の本質は將政權の多年に亘る排日抗日毎日の政策に原因するものであるがその排日抗日毎日の事は實は單獨に我國にのみ行はれたるものではないそれは彼の國の一般の排外思想より由來してゐる、果然それは一の思想に由つて導かれんとしてゐる、一の思想とは何ぞや、いふ迄もなく共產思想そのものである、本年八月廿九日ソ支不可條約の發表と同時に支那は殊更に此の不可條約の背後に密約なしとの説明を添加した、誰か此の説明を文字通りに取受ける者があらうか、ソ聯の我邦に對する態度其の支那への援助等不言不語の間にソ支關係は明白となつてゐる試みに四億の民衆が共產理想を奉ずる政府と軍隊にとり支配せらるることとなつたとすればその影響如何、その害を受ける者は我國だけではない、英米佛獨伊すべて重大なる被害國となる、獨り各國の被害といふだけではなく世界の平和は破られてしまふ、英米佛の政治家に此の道理が解せられない道理はない、容共排外の國民黨政權を聲すことは實に世界の平和のためである、我々は一致結束後の計畫を完成し出征將士に此の後顧の慮なく戦場へ事を得せしむること同時に世界の外交界に呼びかけ今次事變の眞の意味を明にして帝國の世界に於ける使命を達成する事を期せねばならぬ

△結論要旨
今次事件の本質は將政權の多年に亘る排日抗日毎日の政策に原因するものであるがその排日抗日毎日の事は實は單獨に我國にのみ行はれたるものではないそれは彼の國の一般の排外思想より由來してゐる、果然それは一の思想に由つて導かれんとしてゐる、一の思想とは何ぞや、いふ迄もなく共產思想そのものである、本年八月廿九日ソ支不可條約の發表と同時に支那は殊更に此の不可條約の背後に密約なしとの説明を添加した、誰か此の説明を文字通りに取受ける者があらうか、ソ聯の我邦に對する態度其の支那への援助等不言不語の間にソ支關係は明白となつてゐる試みに四億の民衆が共產理想を奉ずる政府と軍隊にとり支配せらるることとなつたとすればその影響如何、その害を受ける者は我國だけではない、英米佛獨伊すべて重大なる被害國となる、獨り各國の被害といふだけではなく世界の平和は破られてしまふ、英米佛の政治家に此の道理が解せられない道理はない、容共排外の國民黨政權を聲すことは實に世界の平和のためである、我々は一致結束後の計畫を完成し出征將士に此の後顧の慮なく戦場へ事を得せしむること同時に世界の外交界に呼びかけ今次事變の眞の意味を明にして帝國の世界に於ける使命を達成する事を期せねばならぬ

小山議長伏見宮御見舞
【五二】小山衆議院議長は廿八日午前十一時伏見軍令部總長宮邸に伺候義典王殿下御負傷につき御見舞を言上引續き海軍省に米内海相を訪ね海相を通じて御見舞書を奉呈した

議會振肅委員會
【五三】衆議院の議會振肅委員會は廿二日午後二時より議長官舎に於て開會小山金光正副議長並に

- 櫻内、齋藤、小川、俵、大藤、川崎克(以上民政)松野、濱田、砂田、岡田、安藤、今井、大口、東、若宮(以上政友)
(國團第一)田川(第二)三浦東(方)

の各派委員出席六萬圓の豫算を以て衆議院に設けられたる政務調査機關の運用問題に關し小山議長より三案を提示し之に基き協議したが更に各派の黨議を纏めた上九月末重むて會合を開き之を決定することとして同四時過ぎ散會した

衆議院慰問團離臺
【五三】衆議院の島軍慰問團西岡竹次郎代議士一行十一名は上海方面慰問後來臺以來臺灣陸海空各部隊を慰問して使命を終へ廿日午前十時基隆出帆の蓮萊丸で歸京の途についた

賞勳局書記官 大場 茂行
任官内務事務官 檢事 石黒 信彦
任官内務事務官 任官内務事務官

賞勳局書記官 大場 茂行
任官内務事務官 檢事 石黒 信彦
任官内務事務官 任官内務事務官

賞勳局書記官 大場 茂行
任官内務事務官 檢事 石黒 信彦
任官内務事務官 任官内務事務官

賞勳局書記官 大場 茂行
任官内務事務官 檢事 石黒 信彦
任官内務事務官 任官内務事務官

賞勳局書記官 大場 茂行
任官内務事務官 檢事 石黒 信彦
任官内務事務官 任官内務事務官

外務辭令
△卅日
特命全權公使 伊藤 述史
ポランド國駐劄被免 外務事務官 永岩 彌生
任公使館二等書記官 瑞典國在勤を命ず
外務事務官(情報部) 加瀬 俊一
任大使館二等書記官 英國在勤を命ず
大使館二等書記官 寺崎 太郎
伊國在勤を命ず
副領事 原口 七郎
依願免本官
領事兼公使館二等書記官 大谷 彌七
任公使館二等書記官兼領事 メキシコ國在勤兼サン・サルヴァドル(領事)在勤を命ず
朝鮮總督府事務官 室田 寅雄
東亞局第二課勤務を命ず

大藏辭令
△廿一日
專賣局副參事 大庭 次郎
任專賣局參事
專賣局長官房調査課長を命ず
專賣局長官房調査課長兼務を免す
陸軍辭令
△廿四日
陸軍歩兵少佐 日笠 賢
補佛國在勤帝國大使館附武官輔佐官 杉田 一
補米國在勤帝國大使館附武官輔佐官 陸軍砲兵大尉 牧 達夫
補獨國在勤帝國大使館附武官輔佐官

司法辭令
△廿四日
秋田地方判事 和氣松市郎
補青森地方八戸支部監督判事
甲府地方判事 中島 三郎

補青森地方八戸支部監督判事
甲府地方判事 中島 三郎

補青森地方八戸支部監督判事
甲府地方判事 中島 三郎

補青森地方八戸支部監督判事
甲府地方判事 中島 三郎

補青森地方八戸支部監督判事
甲府地方判事 中島 三郎

補青森地方八戸支部監督判事
甲府地方判事 中島 三郎

補青森地方八戸支部監督判事
甲府地方判事 中島 三郎

補青森地方八戸支部監督判事
甲府地方判事 中島 三郎

補甲府地方部長判事 退職を命ず
高山區判事(監督) 玉井喜久市
退職を命ず
廣島地方檢事正 藤井 建一
山口地方檢事正 石塚 稔一
補廣島地方檢事正
山口地方檢事正 帶金悦之助
補山口地方檢事正
宮城控訴院檢事 飯澤 高
補宮城控訴院檢事
名古屋地方檢事 松藤 正憲
補宮城控訴院檢事
名古屋地方檢事 田部 顯穂
補名古屋地方檢事
東京民事地方判事 武田 軍治
補甲府地方判事
靜岡地方判事 伊藤 雅二
補濱濱地方判事 横濱地方判事 奥戸 新三
補東京民事地方判事 水戸地方判事 鮫島 眞勇
補東京民事地方判事

補東京民事地方判事
水戸地方判事 鮫島 眞勇
補東京民事地方判事
山形地方判事 安達 太助
補宮城控訴院檢事
帶廣區判事 川本 謙助
補橫手區監督判事
宮城控訴院檢事 長宗 純
補山形地方判事
岡崎區判事 武田 雄一
補安濃津區監督判事
富山地方判事 高野 誠三
補高山區監督判事
名寄區判事 三宅 實
補帶廣區判事
安濃津地方判事 多田九二八
補大審院判事
七尾區檢事 川井信次郎

補大審院判事
七尾區檢事 川井信次郎

補大審院判事
七尾區檢事 川井信次郎

補大審院判事
七尾區檢事 川井信次郎

補大審院判事
七尾區檢事 川井信次郎

補大審院判事
七尾區檢事 川井信次郎

補大審院判事
七尾區檢事 川井信次郎

補大審院判事
七尾區檢事 川井信次郎

補大審院判事
七尾區檢事 川井信次郎

補大憲院檢事
退職を命ず

上野區判事 竹上與三郎

補安濃津地方部長判事
退職を命ず

白河區檢事 今 益之助

退職を命ず

文部辭令

△廿一日

京都帝國大學教授 天野 貞祐
京都帝國大學學生主事兼
京都高等師範學校教授

兼任京都帝國大學教授
京都高等師範學校教授

大野 鶴雄

依願免本官並兼官

農林辭令

△廿五日

農林省蠶糸局長 田淵 敬治
農林次官 井野 碩哉

依願免本官

農林省蠶糸局長事務取扱を命ず

農林省蠶糸局長事務取扱を命ず

△廿八日

水産局監督課長 井出 正孝
大臣官房企畫課長を命ず

兼任農林書記官

農務局事務官 藤田 巖

水産局監督課長を命ず

文書課事務官 前谷 重夫

大臣官房企畫課勤務を命ず

山林局事務官 東畑 四郎

山林局兼大臣官房企畫課勤務を命ず

文書課事務官 蓮池 公俊

經濟更生部兼大臣官房企畫課勤務を命ず

馬政局事務官 小倉 武一

任農林事務官

經濟更生部兼大臣官房企畫課勤務を命ず

水産局事務官 片柳 眞吉

水産局兼大臣官房文書課勤務を命ず

農林事務官兼馬政局事務官

鶴川 益男

免本官專任馬政局事務官

農林省經濟更生部長 小平 權一

企業委員會會長を命ず

農林省米穀局長 荷見 安

農林書記官 周東 英雄

湯河 元歐

石黒 武重

三浦 一雄

井出 正孝

重政 誠之

堀原 茂嘉

同 西村 彰一

同 村上龍太郎

同 石井英之助

同 片柳 眞吉

同 楠見 義男

同 蓮池 公俊

同 並木 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

同 龍男

◎明年度米海軍大演習

【サンペドロ口ロリアフォルニア州】發
同盟郵信「一九三八年度米海軍大
演習は二月初旬から三月末に於て行は
れることに決定した旨最近海軍當局
から發表された。右演習には極東に
あるアジア艦隊を除き米海軍に所屬
するあらゆる艦艇、航空機が一つ残
らず動員され水上艦百七十隻、航空
機五百五十隻がカリフォルニア、ハ
ワイ、アラスカを結ぶ三角線内に於
て未曾有の大演習を展開する等であ
る。聯合艦隊司令長官アーサー・ヘ
ツプバーン提督は二月七日閣下の全
艦隊を率ゐてサン・ペドロ軍港出發
三月廿日歸港の予定であるが明年度
の大演習は参加艦艇の多数なること
並びにその行動範圍の廣大なること
に於て未だ實行行はれたことのない
大規模な演習であると云はれる。

◎ナチス黨外國新聞部長
追放理由

【パリ發同盟郵信】ナチス黨の勃興
以來ヒットラー總統と行を俱にし總
統の無二の親友であつたエルンスト
・ハフシュテングル氏はこの程
突如一九三一年以來の要職たる黨外
國新聞部長の地位を罷免されロンド
ンに亡命した。同氏罷免の理由は今
日迄神秘に包まれて居るが、最近の
エコ・ド・パリ紙は同氏の追放はソヴ
エトに於けるトハチエフスキー元帥
處刑事件に關聯したものであるとし
て次の如き報道を掲げセンセーショ
ンを起して居る。
ハフシュテングル氏は故トハチ
エフスキー元帥と非常な親友で元
帥は氏にソヴエトの動員計畫の一
つを内密に打ち明けた、所がハン
フシュテングル氏は之を秘して置

◎スペイン叛亂はムツ
リーニ數年前の陰謀

【マドリッド發同盟郵信】スペイン
叛亂が勃發したのは昨一九三六年七
月だが此の叛亂計畫はその二年前即
ち一九三四年既にローマに於てムツ
ソリーニ首相とスペイン保守黨派代
表との間に出来上つてゐたといふ奇
怪な陰謀事件が傳へられ歐洲にセン
セーションを捲き起してゐる。此の
陰謀發覺の端緒となつたのはヴァレ
ンシアにある右翼團體「スペイン革
新黨」本部の押收文書中から發見さ
れた一秘密密書だが、これはローマ
に於てイタリア側がムツソリーニ首
相、當時の空相イタロ・バルボ將軍
ス・ペイン側はエミリオ・ペラ中將
及びラファエル・オリザバルの間に
行はれたスペイン現政府顛覆計畫密
議の備忘録でエミリオ・ペラ中將
以下の署名があり「一九三四年三月
卅一日」と密議の月日迄明記されて
ある。イタリア政府では勿論之の風
説を一笑に附して取り合つてゐない
がヴァレンシア赤色政府は右密書
類を基礎に真相突きとめに躍起とな
つてゐるから同事件今後の發展は極
めて注目されてゐる。

◎パデレフスキー祖國に
忠言

【チニリツヒ發同盟郵信】ポーラン
ドの初代大統領で世界的ビアニスト
たるイグナツフ・パデレフスキー氏
は米國で罹つた大患の病後を目下ス
イスで療養中だが最近故國ポーラン
ドが漸次獨斷的傾向を示して居るの
に深く憂慮、次の如き宣言を發表し
て祖國に忠告した。
ポーランドは漸次全體主義的フア
ツシヨ的な傾向を辿つて居るが、
かういふ傾向はポーランド國民性
と相容れぬのみか、かくてドイツ
に近付くことを意味する。一日も早
くポーランドはデモクラシーと自
由の道に復歸すべきだ。
この宣言は發表後直ちにスイスの醫
察當局によつて沒收され一方之を掲
げたポーランドの新聞は發行停止を
受けたと言はれる

◎幽霊の話で銃殺

【モスクワ發同盟郵信】幽霊やお化け
の話は怖いだけに又子供にとつて非
常な魅力であることは世界中何處で
も變りはないが無神論、唯物論を奉
ずるソヴエト聯邦ではお化けの話
したばかりに「反革命陰謀」の罪で銃
殺された小学校の教師がある。中央
アジア、キルギス共和國のダラジャ
ンスキーに住む或る小学校の教師は
この程學校の稽古をやるからと稱
して児童を自宅と呼び寄せ回々教
師の話を聞かせる所となり、教師と
巫女は「児童に對し徒らに恐怖心を
與へて精神の墮落を圖つた」との罪
で忽ち逮捕され遂に銃殺の極刑に處
せられたのである。



事變關係

資金調整

資金調整法施行令要綱

【一】臨時資金調整法施行令は廿一日の閣議に附議決定上奏御裁可の手續をとり来る廿五日公布廿七日施行された、勅令要綱左の如し

臨時資金調整法施行令要綱

第一 臨時資金調整法第二條の規定の適用を受ける金融機關事業に屬する設備の新設、擴張又は改良の爲に使用せらるる一十萬圓以上の資金の貸付を爲さんとするときは主務大臣の許可を受くべきこと、貸付總額十萬圓以上及びふべき數口に亘る資金の貸付を爲さんとするときは亦同じとする

第二 臨時資金調整法第二條の規定の適用を受ける金融機關又は證券引受業者額面總額十萬圓以上の有價證券(本邦の公債及株式を除く以下同じ)の應募引受又は募集の取扱を爲さんとするときは主務大臣の許可を受くべきこと

第三 第一及第二の規定は左の各號の一に該當する場合に於ては之を適用せざることを

一 行政官廳の認可又は許可を受け借入る資金の貸付を爲すとき

二 行政官廳の認可又は許可を受け發行する有價證券の應募、引受又は募集の取扱を爲すとき

三 臨時資金調整法以外の法令に依り行政官廳の認可又は許可を受け有價證券の應募、引受又は募集の取扱を爲すとき

第四 臨時資金調整法第四條第一項の規定に依り設立に付主務大臣の認可を要する會社は資本金(出資總額、株金總額、出資總額及株金總額の合計額又は基金總額を謂ふ以下同じ)五十萬圓以上、該當するものは此の限に在らざることを

一 特別の法令に依り設立せらるる會社

二 臨時資金調整法以外の法令に依り設立に付行政官廳の認可、許可又は免許を受くべき會社

三 目的とする事業の全部に付行政官廳の許可又は免許を受くべき會社

第五 臨時資金調整法第四條第一項の規定に依り主務大臣の認可を要する會社の資本増加、合併又は目的變更は左に掲ぐるものとする

一 行政官廳の認可、許可若し免許を受けたもの又は行政官廳の命令に依り爲すものは此の限に在らざることを

一 資本金五十萬圓以上の會社の資本増加合併又は目的變更

二 資本増加又は合併に因り資本金五十萬圓以上の會社と爲すべき場合に於ける資本増加又は合併

第六 臨時資金調整法第四條第二項の規定に依り主務大臣の許可を受くべき會社は相互會社以外の會社にして資本金五十萬圓以上のもの及相互會社とする

一 但し同項に掲ぐる事項に付行政官廳の認可、許可若し免許を受けたるもの又は行政官廳の命令に依り當該事項を爲すものは此の限に在らざることを

臨時資金調整法第四條第二項第二號の規定に依り新設、擴張又は改良に付主務大臣の許可を受くべき事業設備限度は十萬圓とすること

第七 左に掲ぐる事業を營む會社は大藏

大臣及商工大臣の認可を受け臨時資金調整法第八條又は第九條の規定に依り株金金額拂込前と雖も資本を増加し又は商法第二百條の規定に依る制限を超えて社債を募集することを得ること

一 航空機製造事業

二 金園工機械製造事業

三 兵器及兵器部分品製造事業

四 船舶製造事業

五 鋼鐵事業

六 産金事業

七 石炭鑛業

八 石油鑛業、石油精製業及石油輸入業

資金調整委員會

【一】臨時資金調整委員會第一回會合は廿一日午後二時首相官邸に開催副會長賀屋藏相の挨拶に次いで議事規則を決定本會議に入り石渡大藏次官より議案として

- 一 事業資金調整標準
- 一 事業資金調整標準に關する件
- 一 事業資金調整標準に關する件の内容を説明したる後各委員との間に質問應答を重ねた結果種々希望意見を附して清場一致原案通り可決した、なほ當日委員側から開陳された主なる質問及び希望意見左の如し
- 一 資金並に事業計畫に關する資金調整は早急の際として現行法による他はないが將來の完壁を期すべく根本的計畫を樹てられた
- 一 工場等に關する保健上必要と認められるものには政府に於て好意的に考慮された
- 一 軍需品に關係ある時計眞價機等を丙に關せしめたことは多少考慮の餘地がある
- 一 地方公共團體の興す事業についても適當に考慮された

事業資金調整標準に關する件

【一】廿一日の委員會に於て決定を見たる事業資金調整標準に關する件は左の如くである

- 一 經過的規定の運用に對し政府は慎重に取扱はれた
- 一 問題の重要性に鑑み資金調整の具體的進行について政府は時々委員會に報告された
- 一 臨時資金調整法により
 - イ 事業設備の新設、擴張又は改良に關する資金の貸付
 - ロ 社債の應募、引受又は募集の取扱
 - ハ 會社の設立、資本増加合併又は目的變更
 - ニ 第二回以後の株金の拂込徴收
 - ホ 株金の拂込、社債の募集又は金融機關より借入に依らずして爲す事業設備の新設擴張又は改良
 - ヘ 他人をして引受又は募集の取扱を爲さしめずして爲す社債の募集に關して政府が許可又は認可を爲す場合の標準並に金融機關又は證券引受業者が前掲(イ)及(ロ)に於て自治的調整を爲す場合の標準は差當り別項事業資金調整標準に依るものとす
- 二 別項事業資金調整標準は
 - 1 軍需との關係
 - 2 國際收支改善との關係
 - 3 現在の生産能力其の他の事情を稽へ各種事業を
 - 甲 軍需に直接關係ある産業及之と密接なる關係に在る基礎産業にして現在事業設備不足し又は時局の關係上需増激増し其の結果事業設備の不足を來すべしと豫想せられ従つて事業設備の新設擴張又は改良を必要とするもの
 - 乙 甲及丙に關せざる産業又は事業にして場合に依り事業設備の新設、擴張又は改良を爲す必要あるもの
 - 丙 生産力過剰なる産業、奢侈品其の他當面國家全般の見地より見て必要の底薄き物品に關する産業は勿論此の際として差當り事業設備の新設、擴張又は改良を爲すを適當ならすと認むるもの
 - 三 金融機關及證券引受業者の自治的資金調整は左記に依るものとす
 - 1 事業の準備資金の貸付に付ては従来の通り取扱ひて差支なきこと
 - 2 事業設備の新設、擴張又は改良の爲の資金の貸付及社債の應募、引受又は募集の取扱は別項事業資金調整標準を次の方針によらざる具體の場合に適用して之を取扱ふこと、但し一件の金額三萬圓未満のものに付ては各自の任意に取扱ひて差支なきこと
 - 一 別項事業資金調整標準中甲類に關する事業に關するものに付ては努めて優先的取扱を爲すこと、但し(イ)に關するものは(ロ)に關するものに優先せしむべきものとす
 - 二 別項事業資金調整標準中乙類に關するものに付ては其の事業が
 - A (イ)に關するものに關しては一件の金額五十萬圓を超ざる場合には大體甲の(ロ)に準じ取扱ひて差支へなきこと、一件の金額五十萬圓を超ゆるときは日本銀行本店又は支店に協議すること
 - B (ロ)に關するものに關しては之に對し貸付等を爲すを適當と認むるものに付ては日本銀行本店又は支店に

協議の上之を爲し差支へなきこと、但し此の場合日本銀行支店に於て疑義あるときは本店と打合せべきこと

C (ハ)に關するものに關しては大體貸付等を差控ふるを可とするも之を爲すを必要と認むる事情ある場合は日本銀行本店又は支店に協議すること、此の場合日本銀行支店は本店と打合せべきこと

三 別項事業資金調整標準中丙類に關する事業に關するものに付ては貸付等を差控ふるを可とするも但し特殊の事情に依り特別の取扱を爲す必要ありと認むるものあるときは日本銀行本店又は支店に協議すること、此の場合に於て日本銀行は之を臨時資金審査委員會議に附して決定すること

四 別項事業資金調整標準中乙の(ハ)及び丙に關する事業に關するものに付ても事業の運轉に支障を來さざる爲に於ては程度の設備の改良又は店舗、工場、事務所等の安全及保健上の見地より必要なる改良並に災害に依る設備の復舊に付ては同標準の分類に拘らず特別の取扱を爲すこと、但し一件の金額十萬圓を超える貸付に付ては日本銀行本店又は支店に協議すること

五 地方公共團體の事業、國家が補助金助成金又は獎勵金を交付する事業、政府が資金の調達を承認したる事業若は政府が事業の遂行を承認したる事業に付ては別項事業資金調整標準の分類に拘らず特別の取扱を爲すこと尙政府資金を融通したる事業に付ては該融通資金に付亦同様とすること

六 外地及滿洲に於ける事業並に海外に於ける事業に關するものに付て特殊の事情に依り前掲の方針に依るを不適當と認めたるときは日本銀行本店又は支店に協議の上特別の取扱を爲すこと

此の場合日本銀行支店は本店と打合せべきこと
四 日本銀行は
イ 會社の設立、資本増加、合併又は目的變更
ロ 第二回以後の株金の拂込徴收
ハ 株金の拂込、社債の募集又は金融機關よりの借入に依らずして爲す事業設備の新設、擴張又は改良
ニ 他人をして引受又は募集の取扱を爲さしめずして爲す社債の募集又は自治的調整を爲さざる金融機關又は證券引受業者の貸付若は社債の應募、引受若は募集の取扱に付て別項事業資金調整標準を次の方針に依り具體的の場合に適用し認可又は許可の手續を爲すものとす
1 別項事業資金調整標準中甲類に關する事業に付ては國際收支に及ぼす直接の影響等の上に於て特に支障ありと認めたるときは認可又は許可の手續を爲すこと專案の重要なもの及不許可又は不認可の處分を爲すものに付ては臨時資金審査委員會議の議に附すべきこと
2 別項事業資金調整標準中乙類に關する事業に付ては軍需との關係、國際收支改善との關係、資金の狀況當該事業の所要資材の供給狀況等を勘案し適當と認めたることに限り認可又は許可の手續を爲すこと專案の重要なものには臨時資金審査委員會議に附すべきこと
3 別項事業資金調整標準中丙類に關する事業に付ては特別の事情あり且つ臨時資金審査委員會議の議を経たるもの、外認可又は許可を爲さざることを(一)を準用すること
4 以上の外三の(二)(四)(五)(六)を準用すること
五 政府は資金調整上必要ありと認むる

Table with 3 main columns: Item No., Description, and Classification. It lists various industries like mining (探礦業), metallurgy (第一工業), and textile manufacturing (第二工業) with their respective classifications (甲, 乙, 丙, 丁).

9	鑄鋼品	同	(ロ)其他	丙					
10	特殊鋼	同	(五)鑄物以外の金屬製品製造業	丙					
11	鐵目	甲のロ	1 ポルト、ナット及ワッシャー	乙のイ					
三 非鐵金屬無綫管									
(一)製鐵業									
1	金	甲のイ	2 リベット	乙のイ					
2	白金	同	(イ)鐵製のもの	同					
3	銀	丙	(ロ)其他	同					
4	銅	甲のイ	3 釘類	丙					
5	鉛	甲のイ	(イ)鐵丸釘	甲のロ					
6	錫	同	(ロ)蹄釘	乙のハ					
7	アンチモン	同	(ハ)其他	乙のイ					
8	水銀	同	4 金屬線	同					
9	亜鉛	同	(ハ)其他	乙のイ					
10	タングステン	同	5 パネ	同					
11	ニッケル	同	6 金網	丙					
12	コバルト	同	7 鉛鎖	甲のロ					
13	アルミニウム	同	8 鋼索	乙のイ					
14	マグネシウム	同	9 鐵塔、橋梁の建設材料	同					
15	其他	乙のハ	10 ドラム罐	甲のロ					
(二)非鐵金屬材料品製造業									
1	銅	乙のイ	11 罐詰用罐	乙のロ					
2	鉛	乙のイ	12 建築用及家具用金物	丙					
3	亜鉛	同	13 針類	乙のハ					
4	ニッケル	同	(イ)ミシン針	同					
5	アルミニウム	同	(ロ)メリス針	乙のハ					
6	黄銅	同	(ハ)其他	丙					
7	青銅	同	14 鈕釦	乙のハ					
8	白銅	同	15 鋼製ベン先	同					
9	輕合金	甲のイ	16 人造纖維製造用ソール	乙のイ					
10	減摩合金	乙のイ	17 化學工業用白金網	同					
11	鐵	同	18 刃物類	乙のハ					
12	其他	乙のハ	19 食卓用金屬製品	丙					
(三)鑄物業									
1	鐵鑄物	乙のロ	20 其他の金屬製品	同					
(四)鑄物業									
(イ)鑄鐵管									
(ロ)機械用もの									
(ハ)其他									
2	可鍛鑄物	丙	1 プリキ板	乙のイ					
3	非鐵金屬鑄物	乙のイ	2 其他	丙					
(五)原動機製造業									
1 蒸汽機關									
2 蒸汽タービン									
3 内燃機關									
(イ)ガス機關									
(甲)木炭ガス機關									
(乙)其他									
(ロ)ガソリン機關									
(ハ)石油機關									
(ニ)重油機關									
4 水車									
(四)電氣機械器具製造業									
1 發電機、電動機、變壓器									
2 電池									
3 家庭用電氣器具									
4 其他									
(五)絶緣電線及電纜製造業									
(六)無綫及有綫電信電話機械器具製造業									
1 家庭用ラヂオ									
2 其他									
(七)農林漁業用機械器具製造業									
(八)土木建築用機械器具製造業									
(九)採鑛、選鑛及製鍊機械器具製造業									
業									
(十)紡績機械器具製造業									
1 針布									
2 其他									
(十一)工作機械器具(部分品を含む)									
1 金屬工機械									
2 工具及刀類									
3 製材及木工機械									
(十二)化學工業用機械裝置製造業									
(十三)化學工業用機械裝置製造業									
1 パルプ製造用機械器具									
2 製紙用機械器具									
3 高壓化學工業用機械器具									
4 其他									
(イ)甲のイに關する事業に必要なるもの									
(ロ)其他									
(十四)食料品製造加工用機械器具製造業									
業									
(十五)印刷及製本機械器具製造業									
業									
(十六)起重機製造業									
(十七)エレベーター製造業									
(十八)氣體壓縮機製造業									
(十九)ポンプ水壓機及送風機製造業									
(二十)度量衡器製造業									
(廿一)計器製造業									
1 寒暖計(特殊品を除く)及體溫計									
2 其他									
(廿二)時計製造業									
(廿三)試験檢定及學術用器械製造業									
(廿四)醫療器械製造業									
(廿五)測量及製圖機械器具製造業									
(廿六)醫療器械製造業									
1 金錢登錄機									
2 其他									
(廿七)金庫製造業									
(廿八)ミシン製造業									
(廿九)寫眞機、幻燈機及活動寫眞機									
械製造業									
(三十)照明用機械器具製造業									
1 航空用照明燈									
2 探照燈									
3 燈臺用照明燈									
4 其他									
(卅一)光學機械器具製造業									
(卅二)樂器類製造業									
(卅三)蓄音器製造業									
(卅四)車輛(部分品及附屬品を含む)									
製造業									
1 鐵道及軌道用車輛									
2 自動車									
3 自動自轉車									
4 自轉車									
5 其他									
(卅五)造船業(部分品及附屬品を含む)									
1 鋼船									
2 木船									
(卅六)航空機(部分品及附屬品を含む)製造業									
(卅七)ガス器具製造業									
(卅八)水道器具製造業									
(卅九)弁及コック製造業									
(四十)ベルト車、齒車、車輪車軸及軸受製造業									
1 球軸受									
2 其他									
(四十一)其他の機械器具製造業									
1 兵器及兵器部分品製造業									
業									
(一)陶磁器製造業									
1 電氣用のもの及醫療用のもの									
2 耐酸用のもの及耐熱用のもの									
3 其他									
(外)地にては鹽田用「タイル」に附き特別に取扱ふこと									
(一)ガラス及ガラス製品製造業									
1 電氣用のもの及醫療用のもの									
2 耐酸用のもの及耐熱用のもの									
3 乾板用板ガラス									

4	光學ガラス	甲のロ					
5	強化ガラス	同					
6	安全ガラス	甲のロ					
7	船燈用着色ガラス	同					
8	その他	丙					
(二)煉瓦及耐火物製造業							
1	耐火煉瓦	甲のロ					
2	その他	丙					
(四)屋根瓦製造業							
(五)セメント製造業							
(六)セメント製品製造業							
南洋に付ては特別に取扱ふこと							
1	セメント柱	乙のイ					
2	その他	丙					
(七)石灰製造業							
(八)珪酸質材料製造業							
(九)珪酸質耐火物のもの							
1	工業用耐火性のもの	乙のイ					
2	その他	丙					
(九)其の他の窯業							
七 化学工業							
(一)製薬業							
1	醫藥	乙のロ					
2	賣藥及賣藥類似品	丙					
(二)工業薬品製造業							
1	硫 酸	甲のイ					
2	硝 酸	同					
3	ソーダ灰	乙のイ					
4	苛性ソーダ	同					
5	晒 粉	乙のハ					
6	珪酸ガス	甲のロ					
(イ)アンモニア							
(ロ)鹽 素							
(ハ)酸 素							
(ニ)其他							
(八)石鹼及化粧品製造業							
(九)發火物製造業							
1	火 薬	甲のイ					
2	爆 薬	同					
3	導火索	同					
4	煙 火	同					
5	その他	丙					
(十)石油精製業							
(十一)人造石油(頁岩油を含む)製造業							
(十二)コークス及コークス灰の製造業							
(十三)代用液体燃料製造業							
(十四)植物油脂製造業							
1	菜種油	乙のハ					
2	糠 油	乙のロ					
3	その他	丙					
(外)地の棉實油及ヒマシ油に付ては特別の取扱をなすこと							
(十五)樟腦製造業							
(十六)動物油脂製造業							
1	魚 油	乙のロ					
2	その他	丙					
(十七)木燻製造業							
(十八)燐燭製造業							
(十九)加工油製造業							
1	硬化油	乙のハ					
2	その他	丙					
(廿)ゴム製品製造業							
1	軟質ゴム製品	甲のイ					
(イ)タイヤ及其の付属品							
(甲)自動車用及航空機用のもの							
(乙)其他							
(ロ)防唾具							
(ハ)其他							
(廿一)硬質ゴム製品							
(廿二)人造樹脂及同製品製造業							
1	フェノールレジン及同製品	乙のハ					
2	硬質ゴム製品	丙					
(廿三)糊料製造業							
1	寫眞用ゼラチン	乙のイ					
2	其他	丙					
(廿四)研磨材料及研磨用品製造業							
1	研磨材料	甲のロ					
2	研磨用品	乙のイ					
(廿五)炭素製品製造業							
1	電氣用カーボン	甲のロ					
2	活性炭	同					
3	其他	乙のハ					
(廿六)其の他の化学工業							
八 製材及木製品工業							
(一)製材業							
(二)木製品製造業							
1	家具、曲物、捺物	乙のロ					
2	其他	丙					
(朝鮮のコルクに付ては特別の取扱をなすこと)							
九 印刷及製本業							
十 食料品工業							
(一)發酵飲料製造業							
1	清酒	丙					
2	燒 酎	同					
3	味 噌	同					
4	酒類含有飲料	同					
5	麥 酒	同					
6	葡萄酒	同					
7	其他	同					
(二)調味料製造業							
1	醬 油	同					
2	ソ ース	同					
3	味 噌	同					
4	食 酢	同					
5	ケチャップ	同					
6	其他	同					
(三)清涼飲料製造業							
(四)製粉業							
(五)澱粉製造業							
(六)製糖業							
(南洋に付ては特別の取扱をなすこと)							
(七)精製糖業							
(八)製菓及製餡業							
(九)罐頭詰製造業							
(十)畜産品製造業							
(十一)水産品製造業							
(十二)機械製造業							
(十三)製茶業							
(十四)製氷及冷凍業							
(漁業組合經營のもの、漁港に於ける小規模のもの及外							

地に於けるものには特別に取扱をなすこと

- (十五) 乾燥野菜製造業 乙のイ
- (十六) 其の他の食料品工業 乙のハ
- 十一 電氣及瓦斯業
 - (一) 電氣供給事業 甲のイ
 - 力を供給するもの 乙のイ
 - 2 其他 同
- 十二 其の他の工業 同
- (一) 紙製品製造業 丙
- (一) 刷毛及刷毛製造業 同
- (一) 綿及麻製網、繩及網製造業 乙のハ
- (四) 製帽業 丙
- (五) 防水布類製造業 同
- (一) 衛生材料品製造業 乙のハ
- (七) 石綿製品製造業 乙のロ
- (八) 隣寸製造業 丙
- (九) 金屬箔製造業 同
- (十) 萬年筆、鉛筆及クレヨン製造業 同
- (十一) 機械用ベルト製造業 乙のイ
- (十二) 線綿製造業 同
- (十三) 其の他 丙

- 第三 農林業
 - 一 農林業
 - (一) 耕作農業
 - 1 主要食糧農産品 乙のイ
 - 2 其他 乙のロ
 - (二) 園藝農業 同
 - (二) 雜農業
 - 1 アルコール原料 乙のイ
 - 2 亞麻 同
 - 3 菜種 同
 - 4 玉蜀黍 同
 - 5 其他 乙のロ
 - 其他の棉花に付ては特別の取扱をなすこと

- (四) 養蠶業 同
- (五) 其の他の運輸業
 - 1 パルプ原木及軍用材の伐採 乙のイ
 - 及種林 乙のイ
 - 2 其他 乙のロ
- (六) 畜産業 同
- (七) 家畜飼料加工業 乙のイ
- (八) 農林土木事業
 - 1 (一) (イ) に關する農林業に必要なもの 同
 - 2 其他 乙のロ
- 第四 水産業
 - 一 水産業
 - (一) 沿岸漁業 乙のロ
 - (一) 内地沖合遠洋漁業 同
 - (二) 工船漁業其の他の海外漁業 同
 - 1 母船式鯨漁業 乙のイ
 - 2 其他 乙のロ
 - (四) 養殖業 乙のハ
 - (五) 鹽田業 同
 - (六) 其他の水産業 同
 - (七) 水産土木事業 乙のロ
- 第五 交通業
 - 一 運輸業
 - (一) 鐵道及軌道 甲のロ
 - 軍事上及軍事と密接なる關係に在る産業上必要なもの 乙のハ
 - 2 其他 丙
 - (一) 自動車 乙のハ
 - 1 乗用自動車 同
 - 2 貨物自動車 乙のイ
 - (三) 海運業
 - 1 遠洋航海 甲のロ
 - 2 近海航路 同
 - 3 沿岸航路 乙のハ
 - (イ) 客船 乙のイ
 - (ロ) 其他 甲のロ
 - (四) 航空業 乙のハ
 - (五) 其他の運輸業 乙のハ

- 二 電信電話事業 乙のイ
- 三 其他の交通業
 - (一) 道路、橋梁の經營 丙
 - (一) 港湾、運河の經營 同
 - 第六 商業
 - 一 物品販賣業 丙
 - (一) 百貨店業 乙のハ
 - (二) 其他 同
 - 二 不動産買賣業 丙
 - 三 貿易業 同
 - (一) 石油輸入業 甲のイ
 - (二) 其他 乙のハ
 - 四 倉庫業 同
 - (一) 農業倉庫 同
 - (二) 商業倉庫 同
 - (三) 貿易倉庫 同
 - (四) 其他 同
 - 五 金融業 同
 - (一) 銀行業 丙
 - (一) 信託業 同
 - (二) 貸金業 同
 - (四) 質屋業 同
 - (五) 其他 同
 - 六 保險業 同
 - 七 其他の商業
 - (一) 仲買、委託販賣及仲立業 乙のハ
 - (一) 取引所 同
 - (二) 市場業 同
 - (四) 證券業 同
 - (五) 小運送業 乙のハ
 - (六) 其他 同
 - 第七 雜業
 - (一) 土木建築請負業 丙
 - (二) 土地建物賃貸(貸室を含む)業 乙のロ
 - 一 雜業 同

- (八) 娯樂及興行に關する事業
 - 1 温泉地及遊園地經營 丙
 - 2 劇場及演藝場經營 同
 - 3 競技場、運動場經營 同
 - 4 遊戲場 同
 - 5 演藝、競技映畫、音樂に關する興行 丙
 - 6 ダンスホール 同
 - 7 貸船 同
 - 8 其他 同
 - (七) 映畫製作業 同
 - (八) 料理業 同
 - (九) 貸席業 同
 - (十) 埋立業 同
 - (十一) 上下水道業 同
- (外) 地に付ては特別の取扱をなすこと
 - (十一) 埋立及干拓業 同
- (外) 地に付ては特別の取扱をなすこと
 - (十二) 其他 同
 - 第八 其他の事業及施設
 - (一) 教育事業 乙のロ
 - (一) 體育事業 同
 - (二) 文化事業 同
 - (四) 慈善事業 同
 - (五) 社會事業 同
 - (六) 醫藥施設 同
 - (七) 博覽會(博覽を除く) 同
 - (八) 觀光施設 乙のハ
 - (九) 放送事業 乙のイ
 - (十) 公共的組合事業 同
 - 水利組合及北海道土功組合 乙のロ
 - 1 耕地整理組合 同
 - 2 産業組合 同
 - 3 漁業組合 同
 - 4 畜産組合 同
 - 5 商業組合 同
 - 6 商業組合 同

- 日銀の資金調整方針
 - 【六七】 臨時資金調整法の「乙」に關する事業で現在進行中のものに對する今後の資金調達につき日銀では左の如く運用上の手心を加へる方針である、即ち
 - 一、事業會社將來の社債發行又は株式の拂込徵收を條件として金融業者より融通を受けたもの、借入豫約分の中既に過半の借入を了し現在尙新設乃至擴張を進めつゝある事業に對しては既に事業そのものが完成に近く設備用資材を悉して必要としないものに限り國際收支並に物資の需給關係等を考慮し認可する方針である
 - 資金自整機關整備
 - 【六九】 臨時資金調整法による自治調整機關は廿五日整備を見廿七日同法の施行と同時に事業資金の自治統制を開始することとなつた、即ち大藏省に於て認可された調整機關及びそれに屬する業者数は次の如く整理銀行、特殊保險等を除き業者全部を包含してゐる(括弧内は調整機關)
 - △特銀(各行別に調整をなす)正金、興銀、勸銀、北拓、裏銀、鮮銀

△警銀(日銀本支店十七行所管區域別に組織せる地方資金自治調整銀行團) 三六行

△貯銀(貯銀協會) 七行
△農銀(全國農銀同盟會) 六行
△信託(信託協會) 二七社
△生保(生保協會) 三〇社(未加入三社)
△損害保險火保協會 四二社(未加入七社)

△産組中金及信用組合聯合會(産組金融統制團) 産組中金及び全國四十七道府縣信團
△商工中金 同金庫單獨調整
△證券業者資金自治調整證券團(六三會所屬五社) 山一、日興、野村、藤本、小池

日銀與銀に融資

【一〇】 日銀では廿四日手形再割の形式で一千萬圓を興銀經由時局産業に貸付をなした、これで右の形式による興銀への融資は約八千萬圓に達したので興銀では臨時資金調整法實施を俟つて可及的速かに興銀債券を金資金特別會計引受で發行日銀に返却する方針である

興銀預金部に資金返済

【一四】 最近政府並に日銀當局の積極的金融緩和作業の結果短資市場は五厘五毛の安値を現出し廿四日は流石に月末接近気味へから五厘臺の安値物が消滅したが中心レート六厘と例月に比し著しく緩慢状態を呈してゐるので興銀では預金部より半額の一千万圓を向かい預金部に返済した

經濟團體 聯盟 結合 成

經濟團體聯盟結合

【一三】 戦時體制下に於ける財界の政府支持運動は過激の政府財界有力者懇談會を機に漸次具體化しつゝあつたが廿一日九の内東京商工會議所樓上に擲談之助男以下各種經濟團體に關係を有する財界の有力者出席有志懇談會の形式で慎重協議の結果此の際財界として政府に對し絶對的支援を行ふため全國の各種有力經濟團體を網羅した最高統制機關を組織することに協議一致を決意取敢えず日本經濟團體聯合會、日本商工會議所、全國産業團體聯合會、全國手形交換所聯合會、全國地方銀行協會、生命保險會社協會の六團體を組織母體として即時之を結合名稱を「經濟團體聯盟」とし初代會長に郷誠之助男を推薦非常時局打開の華々しきスタートを切ることになつた、即ち日本經濟團體聯合會の有力團體が相次いで時局對策委員會を設置し其他の各種經濟團體も夫々の立場から政府の戦時國家遂行に協力の態度を示してはるがその間此等各種經濟團體は併立のまま各自の立場に拘泥して何等相互の提携連絡行はず舊態依然として全く非常時局に則はざる傾向あり此の際財界として政府に對し全面的支援協力をなすため各種有力經濟團體を打つて一丸とする一大強力機關を設置すべしとする意見が今回の有志會合によつて具體化するに至つたものである

創立總會開かる

【一六】 經濟團體聯盟の創立總會は廿八日東京商工會議所に於いて初總會に兼ねて代表委員會を開催郷誠之助男議長に當り聯盟規約を附議規約に基づき副會長二名常任委員若干名選任の件に關しては會長一任と決定理事には日本商工會議所理事木村増太郎、日本經濟團體聯合會常務理事高島誠一、全國産業團體聯合會常務理事藤田桂之助、東京手形交換所理事中村忠彰の

四民が夫々選任された、次いで協議の結果
第一 本聯盟としては時局に關する大綱的意見を決定之を政府に建議する一方内外に對しても開明すること
第二 聯盟組織各團體よりは勿論未組織團體よりも隨時重要問題に關する提案を求め之を聯盟に於て適宜に審議すること
第三 民間に於ける最高諮問機關として政府の諮問にかゝる事項につき審議すること

以上三項目に互る根本方針を決定したが右加盟團體及び代表者の顔顔及び規約は左の如くである
△日本經濟團體聯盟 磯村豊太郎、井坂孝、南條金雄、村田省藏、串田萬藏、郷誠之助、結城豊太郎、宮島清次郎
△日本商工會議所 門野重九郎、片岡安田、中博、岩崎清七、中野金次郎、櫻並充藏、有吉忠一、青木謙太郎、安宅彌吉

△全國産業團體聯合會 豊田利三郎、小畑源之助、中川末吉、松本健次郎、大瀧甚太郎、藤原銀次郎
△東京手形交換所 森廣藏、瀨下清
△大阪手形交換所 中根貞彦、八代則彦
△生命保險會社協會 成瀬達、矢野恒太
△全國地方銀行協會 永田甚之助、鈴木良作

經濟團體聯盟規約

一 本聯盟は時局に關し緊要なる財政經濟政策を研究し政府と協力して其の有効適切な實行を圖ることを以て目的とす
二 本聯盟は左の團體を以て組織す
日本商工會議所、日本經濟團體聯合會、全國産業團體聯合會、東京手形交換所、

大阪手形交換所、社団法人全國地方銀行協會、社団法人信託協會、生命保險會社協會
三 本聯盟に左の機關を置く
會長一名、副會長二名、代表委員若干名、常任委員若干名、理事若干名
會長及副會長は代表委員に於て選舉す
會長は本聯盟を代表し會務を主宰す、副會長は會長を補佐し會長事故あるときは之を代理す
代表委員は各組織團體より選出し本聯盟の目的を達するに必要な事項を評議す
常任委員は代表委員中より互選し代表委員會の委任に基き會務を處理す
理事は各團體の事務主眼者より選出し庶務を整理す
四 本聯盟の事務を處理する爲め日本商工會議所に其の事務所を置く
五 本聯盟に要する經費は組織各團體に於て之を分擔す

政府に意見具申

【一七】 經濟團體聯盟では廿八日創立總會に引續き今後の對處方針につき種々協議した結果郷誠之助男議長より物資の需給調整策國際收支の適合方策等直面する刻下の重大時局對策に關する聯盟意見としての一試案を提出し滿場一致これを採擇に決し政府當局に決議の手續きをとつた、時局對策に關する意見書左の如し
△時局對策に關する意見
時局に對處すべき經濟政策の運用に就きては左に掲ぐる諸事項に留意し國際收支並に物資需給の調整に萬金の策を講じ物價の騰貴を抑制し特に國爲替に就ては如何なる犠牲を拂ふも現在の位置を絕對に堅持するの決意を以て官民一致の努力を拂ふこと刻下喫緊の要務なりと信す
第一 需給の調整

一 資金の調整
臨時資金調整法に據る事業資金統制の主要目的は現時國防軍需上直接必要なる資財の生産擴充を助成する反面に於て不急事業を抑制するに在りとも雖も之が運用に關しては左記事項に付慎重の考慮を加ふる必要あり
(一) 今後民間に放出せらるべき巨額の資金に因り徒らに戦時景氣を煽揚せしめざるやう之が圓滿なる調節を圖ると共に國債の民衆化に努め貯蓄奨勵施設を十分に其効果を發揮せしむべきこと
(二) 本法第三條に於て自治統制を認められたる事項に關しては民間當業者に於て充分の責任と誠意を以て統制の完行を期せられんことを望む

二 事業の調整
臨時資金調整法に準據する事業の抑制に關しては急激に失し爲めに業界を萎縮せしめ又は不測の混亂を惹起せざるやう政府に於て適宜善處せらるると共に民間に於て自發的に統制に協力するの必要あり
第二 國際收支の調整
國際收支の均衡維持は國策遂行上絕對の要件にして之が調整に關しては特に左記事項に付き遺漏なき措置を必要とす
一 輸入の調整
(一) 輸入調整の品目選定の規準
右は原則として左の規準に依るを妥當と認む
(イ) 輸入を制限せざるもの
軍需品、輸出品の原料、國內に於て産せざる工業原料及材料
(ロ) 輸入を禁止又は制限すべきもの
贅澤品、國産品を以て代用し得べき輸入品、其他不必需品
(ハ) 國內の消費を節約すべき輸入品

輸入の調整
(一) 輸入調整の品目選定の規準
右は原則として左の規準に依るを妥當と認む
(イ) 輸入を制限せざるもの
軍需品、輸出品の原料、國內に於て産せざる工業原料及材料
(ロ) 輸入を禁止又は制限すべきもの
贅澤品、國産品を以て代用し得べき輸入品、其他不必需品
(ハ) 國內の消費を節約すべき輸入品

國內に於ける必需品たる輸入原料に依る國內製品

(一)輸出品の原料輸入抑制の程度は當該製品の國內消費節約の可能性を以て限度として地方輸出増加の可能性に應じ其の調節を圖るに至るとす

二 輸出の促進
國際收支の均衡維持上此際輸出品の廉價良質への改善は勿論從來關係營業者團體に於て講じ來りたる輸出促進の諸方策に再検討を加へ尚ほ廣く營業者の意見を徴し一層有効に輸出を増長すべく積極的國策を樹立すること

三 輸入品の國內消費節約と代用品の國際獎勵輸入原料に依る國內製品及び國民の必需品たる輸入製品に對しては努めて國內の消費を節減すると共に輸入原料又は製品に代用し得べき國産品の生産を獎勵し以て輸入の抑制を圖り或は輸出の増進に資すべき必要あり

經濟團體役員決定

【九・三〇】經濟團體聯盟の副會長並に常任委員の選任については、郷會長の手許で銓衡中の梶井日左の顔觸れが決定した

- 副會長 門野重九郎
常任委員 有吉 忠一
安宅 彌吉
青木鐵太郎
中野金次郎
結城豐太郎
串田 萬藏
南條 金雄
藤原銀次郎
中川 末吉
小畑 則之助
八代 則兼
永田 甚之助
今村 幸男
成瀬 達

金 融

日本銀行週報 (一)

【九・三三】日本銀行調査日九月十二日より十八日に至る兌換券發行高平均左の如し(單位千圓)

Table with 2 columns: Item (e.g., 發行高, 正貨準備, 公債) and Value (前週, 本月).

日本銀行週報 (二)

【九・三三】九月十八日現在日銀營業報告左の如し(單位千圓)

Table with 2 columns: Item (e.g., 資本金, 積立金, 銀行兌換) and Value (前週末, 本月).

貸付金 三〇,〇〇〇
外國爲替 七,〇〇〇
公債 三三,〇〇〇
代理店勘定 三三,〇〇〇
政府勘定 三三,〇〇〇
特殊現金 九,〇〇〇
小額紙幣 九,〇〇〇
準備保管金 一〇,〇〇〇
其 他 三三,〇〇〇
合 計 二二五,〇〇〇

▲十八日現在の日銀週報に於ける主要變化左の如し
△負債勘定
一 政府當座預金は政府一般支拂順調に進捗してあるもの、一方に事變公債の第一回拂込四千九百萬圓が行はれた爲め差引前週に比し二千八百一十一萬八千圓を増加し二億五千八百八十六萬八千圓となつた

一 シ國引受事變公債拂込待機資金により増加してゐた一般預金は十五日の公債拂込實行により四千八百八萬圓を減少して九千三百十七萬圓となつた
△資産勘定
一 政府一時貸金は金評價益によつて政府より返還を受けたので金現送決済未済分二百九十二萬四千圓を減少して二億三千八百二十五萬五千圓の減少を示した、決済完了とともに残額全部も返還されるので同勘定も近く消滅する筈である
一 外爲貸金は前週に比し五千八百七十九萬七千圓を減少して七千四百五十八萬一千圓となつてゐるがこれは正金が短資市場軟化に伴つて返金した爲めである

一 公債は千二百二十七萬七千圓を減少して五億八千四百二十六萬三千圓となつたがこれは當月物米券の發行を見たためである

【九・三六】日本銀行調査日九月十九日より廿五日に至る兌換券發行高平均左の如し(單位千圓)

Table with 2 columns: Item (e.g., 發行高, 正貨準備, 公債) and Value (前週, 本月).

日本銀行週報 (一)

【九・三六】九月廿五日現在日銀營業報告左の如し(單位千圓)

Table with 2 columns: Item (e.g., 資本金, 積立金, 銀行兌換) and Value (前週末, 本月).

代理店勘定 三〇,〇〇〇
政府勘定 九,〇〇〇
特殊現金 九,〇〇〇
小額紙幣 九,〇〇〇
準備保管金 一〇,〇〇〇
其 他 三三,〇〇〇
合 計 二二五,〇〇〇

▲廿五日現在の日銀週報に於ける主要變化左の如し
△負債勘定
一 政府當座預金は前週に比し二千三百卅二萬四千圓を減少して二億二千八百五十四萬四千圓となつてゐるがこれは政府支拂の順調な進行と九月物米券の償還が行はれた爲めである

一 一般預金は國貨金米穀資金等の地方への流出と月末支拂の關係から前週比千六百廿五萬六千圓を減じて七千六百九十一萬四千圓となつた
△資産勘定
一 割引手形は與銀を通じての時局産業貸付により前週比千三百三十二萬六千圓を増加して五億四千八百五十一萬九千圓となつた
一 外國爲替貸金は正金のコール吸收中止から前週比五千六百四十四萬八千圓を増加して一億三千二百二十九萬九千圓となつた

一 三分半公債の保險會社方面への賣却及び米券の市中賣却で公債は三千廿一萬五千圓を減じて五億五千四百四萬八千圓となつた
兌換券十六億零陸拾
【九・三〇】廿八日に繰越された日銀帳尻に依れば貸出しは爲替銀行筋需要に依り三千六百九十九萬圓を増加して七億一千六百七十九萬圓、預金は一千二百六十三萬六千圓を減少して二億九千二百八十二萬一千圓となり、從つて兌換券發行高は三千九十七萬圓を増加して十六億八十二萬四千圓

と十六億零五百万を見せた
預金部状況
【九二四】大蔵省発表昭和十二年九月十五日現在に於ける預金部状況左の如し
(單位千圓△印減)

Table with 2 columns: 種別 (Category) and 金額 (Amount). Includes items like 郵便及振替貯金, 復與貯蓄債券, 各特別會計, etc.

▲貸方之部
郵便及振替貯金 七、七〇、〇〇〇
復與貯蓄債券 二、〇〇、〇〇〇
収入金預金 一、〇〇、〇〇〇
各特別會計 一、〇〇、〇〇〇
其他預金 一、〇〇、〇〇〇
預金部積立金 一、〇〇、〇〇〇
預金部収入金 一、〇〇、〇〇〇
合 計 一、〇〇、〇〇〇
▲借方之部
國債證券 一、〇〇、〇〇〇
四分利付支那債 一、〇〇、〇〇〇
券元利補償證書 一、〇〇、〇〇〇
外國國債證券 一、〇〇、〇〇〇
地方債證券 一、〇〇、〇〇〇
勸業債券 一、〇〇、〇〇〇
興業債券 一、〇〇、〇〇〇
其他債券 一、〇〇、〇〇〇
貸付金 一、〇〇、〇〇〇
内地預金 一、〇〇、〇〇〇
在外預金 一、〇〇、〇〇〇
預金部支出金 一、〇〇、〇〇〇
合 計 一、〇〇、〇〇〇

米券借換發行
【九二五】大蔵省発表九月廿五日支拂期日の米穀證券(第六十七回)二億四千六百萬圓は左記要項の通り之を借換發行することに決定した

- 一 發行方法 日本銀行引受
- 一 發行額 額面二億四千六百萬圓
- 一 割引歩合 日歩六厘四分ノ三
- 一 發行日 昭和十二年九月廿五日
- 一 支拂期日 昭和十二年十二月廿日

▲當月物米券大半售罄【九二六】當月物米券は借替分を除き市中手持分約七千萬圓が償還されたがその内四千萬圓は十二月物米券に乘替へられ市中に償還されたものは三千萬圓に過ぎなかつた

▲國債擔保當座貸越日歩一錢三厘以上を二厘下げの一錢二厘以上とする
▲一流有價證券擔保(社債)日歩一錢四厘以上を一厘下げの一錢三厘以上とする、但し臨時資金調整法に關する指定時局産業會社發行の社債に限る

▲滿洲中銀東京支店開設
【九二七】かねて大蔵省に開設認可を申請中であつた滿洲中央銀行東京支店は廿一日付で正式に認可されたので同行は急速に開設準備を進め來月一日より丸の内海上ビルに店舗を設け業務を開始することとなつた、同店の業務内容左の如し

一 固有業務
イ 關東州を含む日滿爲替業務
ロ 預金金、コールドローン業務
ハ 有價證券取得管理及處分
ニ 日本銀行よりの借入金
三 付隨業務
イ 滿鐵本店の日銀代理店業務に付隨する業務

▲滿洲國債の利拂
尙同支店の店舗は現在の東京辦事處を當て支店長は同行理管處經理森恒次郎氏が就任する

▲預金
八月 前月比 同期比
當座 五、〇二四 七、七五二 二、七二八
特當 六、七六六 一、七二二 一、〇四四
通知 三、八五五 一、四二五 一、四三〇

▲商工中金貸出率概算
【九二八】商工組合中央金庫では豫て大蔵省工兩當局に對し第三回事業年度(昭和十二年十月一昭和十三年三月迄)の貸出利率に付認可申請中の所州日付を以て左の如く認可された

一 證書貸付 年五分七厘以内
一 手形貸付 年五分七厘以内
一 手形割引 日歩一錢五厘以内
一 當座貸越 日歩一錢七厘以内
右は何れも前期に據置である

▲產業組合中央金庫の昭和十二年後半期(自昭和十二年十月一日起至十三年三月卅一日)貸出利率最高歩合は豫て申請中の處九月廿九日付で主務省より左の如く認可あつたが各利率共前期據置である

一 定期貸付 年 五分八厘以内
一 證書貸付 年 五分八厘以内
一 手形貸付 日歩五錢一厘以内
二 年賦貸付 年 五分九厘以内
三 手形割引 日歩一錢五厘以内
四 當座預金貸越 日歩一錢六厘以内
五 短期貸付 日歩一錢六厘以内

▲東京手形交換所調査
【九二九】東京手形交換所調査八月八日東京社員銀行及代理交換委託者諸協定調査の如し(單位千圓△印減)

定期 一、六六、三三三 一、六六、三三三
合計 一、七〇、〇〇〇 一、七〇、〇〇〇
貸出 一、七〇、〇〇〇 一、七〇、〇〇〇
手貨 一、六六、三三三 一、六六、三三三
貸越 一、六六、三三三 一、六六、三三三
合計 一、七〇、〇〇〇 一、七〇、〇〇〇
△預金 一、七〇、〇〇〇 一、七〇、〇〇〇
當座 一、七〇、〇〇〇 一、七〇、〇〇〇
特當 一、七〇、〇〇〇 一、七〇、〇〇〇
通知 一、七〇、〇〇〇 一、七〇、〇〇〇

▲九月中の八社債發行概算
【九三〇】興銀調査は本年九月中公社債發行額概算調査左の如し(單位千圓△印減)

本年 前月比 前年 同月比
國債 一〇〇、〇〇〇 △ 〇、〇〇〇 △ 〇、〇〇〇
地方債 〇 △ 〇、〇〇〇 △ 〇、〇〇〇
銀行債 一、〇〇〇 △ 〇、〇〇〇 △ 〇、〇〇〇
會社債 一、〇〇〇 △ 〇、〇〇〇 △ 〇、〇〇〇
合 計 一、〇〇〇 △ 〇、〇〇〇 △ 〇、〇〇〇

▲電力聯盟は廿一日銀行集會所に、委員會を開き小林東電社長を始め五大電力代表者出席建設資金調達に關する専門委員會で作成せる原案を基礎に本年下半期より昭和十四年末までの五大電力並に之が傍系會社たる關西共同火力、九州共同火力、朝鮮電力、北支電業公司、愛岐水力各社の所要資金問題に關し協議した結果電力開發資金として約四億三百萬圓減價資金として約七千七百萬圓合計約四億八千萬圓を必要することに決定した

▲日鐵鐵道建設二圓上げ
【九三一】日鐵では過般來十月一十二月鐵道建設値につき共販と同様八十一圓(現在七十九圓)と為すべく商工省に認可申請中であつたが商工省では日鐵より提出した次期鉄の供給數量及び建値の基準につき檢討の結果妥當なりと認め廿八日より内認可をした、日鐵より提出せる建値決定の基準によれば次期鉄の供給數量は自社鉄十七萬噸、アメリカ鉄八萬五千噸、印度鉄二萬噸、合計廿七萬五千噸であるが

三千萬圓に對しては未拂込株金の徴収、社債の募集借入金等金融情勢に應じ之を調達して充當する豫定で本年度分の所要資金約八千萬圓に關しては既に大體手當濟みである、なほ五大電力別所要資金は東京電燈約一億四千萬圓、宇治川電力約一億一千万圓、東邦電力約一億圓、大同電力約七千万圓、日本電力約六千万圓合計約四億八千萬圓)となつてゐる

▲造船聯合會は廿一日工員俱樂部に定例管理委員會を開開明年造船用鋼材需要高豫想の基礎的材料を蒐集検討の結果大體州萬圓と決定した、これは本邦製鋼能力不足から相當供給困難を豫想されるので今から手當の方法を講ずべきことに意見一致した

▲純鐵共販建値概算
【九三二】純鐵共販では十月一十二月渡鐵道建設値に數量に就き廿七日日鐵との間に最終的打合せを行つた結果建値は製鋼用A號及び鑄物用三號大形軋當り八十一圓と前回通り據置することに決定供給數量は鞍山鉄三萬五千噸本溪湖鉄五千噸印度、パール鉄三萬五千噸、タター鉄二千五百噸、合計七萬五千噸(前回に比し二千噸減)と決定した

▲電力聯盟は廿一日銀行集會所に、委員會を開き小林東電社長を始め五大電力代表者出席建設資金調達に關する専門委員會で作成せる原案を基礎に本年下半期より昭和十四年末までの五大電力並に之が傍系會社たる關西共同火力、九州共同火力、朝鮮電力、北支電業公司、愛岐水力各社の所要資金問題に關し協議した結果電力開發資金として約四億三百萬圓減價資金として約七千七百萬圓合計約四億八千萬圓を必要することに決定した

▲日鐵鐵道建設二圓上げ
【九三一】日鐵では過般來十月一十二月鐵道建設値につき共販と同様八十一圓(現在七十九圓)と為すべく商工省に認可申請中であつたが商工省では日鐵より提出した次期鉄の供給數量及び建値の基準につき檢討の結果妥當なりと認め廿八日より内認可をした、日鐵より提出せる建値決定の基準によれば次期鉄の供給數量は自社鉄十七萬噸、アメリカ鉄八萬五千噸、印度鉄二萬噸、合計廿七萬五千噸であるが

三千万圓に對しては未拂込株金の徴収、社債の募集借入金等金融情勢に應じ之を調達して充當する豫定で本年度分の所要資金約八千萬圓に關しては既に大體手當濟みである、なほ五大電力別所要資金は東京電燈約一億四千萬圓、宇治川電力約一億一千万圓、東邦電力約一億圓、大同電力約七千万圓、日本電力約六千万圓合計約四億八千萬圓)となつてゐる

自統統については前通リコスト五十圓
手數料一割として五十七圓、アメリカ統
百廿圓、印度統百廿圓として計算せる
結果八十一圓となつたものである、荷日
鐵道共販一元化に好都合となつたので日鐵、
鐵道共販一元化に好都合となつたので商
工省ではこれを機會に積極的に一元化を
圖る方針である

紡績業上期業績好況

【六三】紡績聯合會調査による聯合會加
盟六十七社の本年上半期營業成績は左表
の如く昨年同期に引續き今期は更らに好
成績を修め當期純益金は四七、〇八一十
圓と前期に比し一〇、二五三三圓、積立
金は九、一七千圓と三、〇四二千圓の
何れも増加を示し配當年率も一割二分四
厘と前期に比し一分二厘の上昇を示し
た、而も本年上期においては拂込徴收額
は前期に比し四千五百餘萬圓の激増を見
てゐるの之を見ればその實績は更に
好化してゐるとも見られる、即ち拂込
徴收會社は鐘紡をはじめ福島、明正、琴
浦、出雲鐵道、吳羽、豊田式織機、愛知の
八社に上り他方増資會社も福島、明正、
琴浦、湖東、豊田式織機、愛知の六社に
達し期末現在資本金は六億八千六百十萬
二千圓と前期に比し二千七百卅五萬圓の
増加を示した、一方社債借入金は二千百
五萬九千圓、固定資産は三千三百萬圓を
何れも激増し増資、拂込の増加と相俟つ
て紡績各社の増設、北支運出、人織擴張
を如實に物語つてゐる、斯く上期は物價
高の影響を受けて増配及配當復活は併
社の多數に及び減配社は三社に止まつた
とは言へ米棉の暴落による値下り損、支
那事變を製織とする輸出の停頓並に棉花
輸入制限による採算の悪化等によつて紡
績各社も上期を峠として下期においては
業績の悪化は免れまいと見られる(單位

千圓△印減

昭和十二年上半期 前期比較

會社數	六、六三〇	三、三三〇
期末現在資本金	三、三三〇	三、三三〇
同拂込済分	三、三三〇	三、三三〇
諸積立金	三、三三〇	三、三三〇
社債及借入金	三、三三〇	三、三三〇
固定資産	三、三三〇	三、三三〇
固定資産償却金	三、三三〇	三、三三〇
前期繰越金	三、三三〇	三、三三〇
當期純益金	三、三三〇	三、三三〇
當期配當金	三、三三〇	三、三三〇
當期積立金	三、三三〇	三、三三〇
後期繰越金	三、三三〇	三、三三〇
配當年率	三、三三〇	三、三三〇

紡績操短擴張

【六三】紡績聯合會は廿五日午前十時か
ら綿業會館で委員會を開き庄司委員長よ
り棉花並に綿糸對策に關する主務當局と
の懇談内容につき詳細報告を聴取した後
引つゞき綿糸統制委員會を附設し擴張短
率擴張につき協議した結果來る十月以降
明年一月迄を二期に分ち現行率二割七分
四厘を夫々五分乃至八分八厘擴張するこ
とに決定左の決議を行つた

- 一 十月一日以降十二月末日に至る三ヶ
月間は現行率短率二割七分四厘を五分
擴張し三割二分四厘とす
- 二 明年一月は本年度平均標準率二割六
分二厘に一割を加算し三割六分二厘と
す

尙綿業界の情勢は全く豫想を許さざるも
があるので増産問題その他緊急對策を
必要とする場合を考慮しこれを審議する
ため特別委員會を設置取敢へず現行操短
規定第十八條を削除することとなつた

綿糸最高値段設定答申

【六四】明年度棉花輸入制限の結果棉花
綿糸の不當なる騰貴が豫想されるので商

工省は先般紡織及棉花同業會に對して
棉花及び綿糸の價格抑制の具體案作成を
求めて居たが紡織委員長庄司吉吉、棉花
同業會會長櫻野健三兩氏は商工省を訪問
左の答申をなした

- 一 棉花輸入業者が棉花を紡績會社に賣
却する場合の口錢を一定すること
- 二 明年度の棉花輸入の六割は過去の買
續により各棉花輸入業者に割當て残り
の四割を紡績會社の自由買付けとする
こと
- 三 綿糸實價の最高價格を決定すること
但し之を日々建てにするか番手別にす
るか等の具體的問題については目下研
究中である

人絹生地輸出解禁

【六五】商工省では人絹生地輸出を年二
百萬反を限つて許可することに決定廿七
日人絹工聯、染工聯並に輸出聯に對し左
の如き具體案を示達した

- 一 輸出額織物取締法第一條但書による
商工大臣の許可處分によつて人絹生地
輸出を認めること
- 二 但し右の許可量は一年二百萬反(卅
ヤール換算)とす、但し一ヶ月廿萬反
を超えざること
- 三 右の人絹生地は左記條件に従ふこと

【六六】日本絹人絹糸布輸出聯合會の
統制品にして國立輸出織物検査所
の認定したるものに限る
【六七】整理前検査品にして缺點表示のな
きものに限る
【六八】製織者の明確なるものに限る
【六九】検査は指定せられたる國立輸出織
物検査所長の認定により輸出組合
之を行ふ
【七〇】輸出組合の行ふ検査は暫定的な
ること
【七一】右手數料は實費に足らざる少額な
ること
【七二】在地の輸出數量は輸出組合に於て
統制する

製品 廿六萬反

對印綿布積出期間延長

【六九】對印綿布積出統制第四年度第
一期本年四月一日一九月卅日の輸出成
績は全面的に極めて不振で各品種共多量
の積残りを生じたので日本綿糸布印度輸
出組合では印度政廳に對し第一期の積出
し期間延長方につき種々折衝を重ねてゐ
たがこの程好意的回答に接した、依つて
同組合では九月末日迄の第一期を十一月末日迄延
長することに決定した

人絹生地輸出解禁

【七〇】商工省では人絹生地輸出を年二
百萬反を限つて許可することに決定廿七
日人絹工聯、染工聯並に輸出聯に對し左
の如き具體案を示達した

染工聯の生地解禁對策

【七一】染工聯では廿八日臨時總會を開
臨前日の業者大會において作成されたる
案につき審議した結果生地解禁に伴ふ善
後處置として左の事項を決議として商工
省に陳情することに決定した

- 一 強燃糸織物をも年額二百萬反中に包
括せられたること
- 二 朝鮮に於て今後生地輸出を許可する
が如きことあらばその數量を前記二百
萬反中に包括せられたること
- 三 生地輸出により本會の加工體數量が
減退したる場合は生地輸出の許可數量
を減少せしめられたること
- 四 朝鮮へ移出される人絹織物に對して
國營検査を施行せられたること

ス・フ強制混用具體案

【七二】商工省では輸出入品臨時措置法
に羊毛工業會社に對しステールファイ
バーの強制混用を行はしむる方針を極め
具體案作成を急いでみたが成案を得たの

四 この指定處分は検査制度の根本的改
革實現を見るまで行ふものとす
而して福井織物同業會の代行検査は右改
革實現の際廢止することに方針を決定し
た、尙實際上の認可の實施は輸出組合の
準備の關係上一、二ヶ月後となる模様で
ある

人絹生地輸出に染色業者及對

【七三】人絹生地輸出解禁によつて甚大
の打撃を蒙るべき染色業者は廿七日日本
綿明治屋ビルに開催左の決議をなした

△決議

人絹生地輸出解禁は我々業者に致命的
打撃を與ふるのみならず國策上禍根を
將來に胎すを以て絶對反對なり
仍而至急有効適切なる措置を講ずべし
右決議す

染工聯の生地解禁對策

【七四】染工聯では廿八日臨時總會を開
臨前日の業者大會において作成されたる
案につき審議した結果生地解禁に伴ふ善
後處置として左の事項を決議として商工
省に陳情することに決定した

- 一 強燃糸織物をも年額二百萬反中に包
括せられたること
- 二 朝鮮に於て今後生地輸出を許可する
が如きことあらばその數量を前記二百
萬反中に包括せられたること
- 三 生地輸出により本會の加工體數量が
減退したる場合は生地輸出の許可數量
を減少せしめられたること
- 四 朝鮮へ移出される人絹織物に對して
國營検査を施行せられたること

ス・フ強制混用具體案

【七五】商工省では輸出入品臨時措置法
に羊毛工業會社に對しステールファイ
バーの強制混用を行はしむる方針を極め
具體案作成を急いでみたが成案を得たの

綿糸最高値段設定答申

生地	廿四萬反
製品	卅一萬反
十一月分	
生地	廿三萬反

で廿九日小島工務局長は羊毛工業會理事長川西清兵衛氏を招致して左の如き當局の意見を傳達した

一 毛糸には特殊のものを除き一割以上のステープル・ファイバーを混紡せしめる

二 毛織物には特殊のものを除きステープル・ファイバーを二割以上混用せしめる

三 ステープル・ファイバー及び混紡糸の規格を統一せしめる

而して混紡混織を實施せしめる場合には個々の品目について混用を命令することとなる模様であるがメリヤスには混紡糸を使用せしめ毛織物には混紡糸を使用せしめ毛織物の強制は行はない方針である、尙右の混用強制は近く發令される臨時措置法に基き省令の中に「羊毛製品に人織混用をなさしむるの件」の項目を設けて細目を規定し實施に移す

八月のバルブ輸入高

Table with 3 columns: 種類 (Category), 數量 (Quantity), 金額 (Amount). Includes items like 製紙用 (Paper), 印刷用紙 (Printing paper), 模造紙 (Imitation paper).

アト及艶紙類 四、三三三
新聞用紙 七、一七五
ロール紙類 二、〇〇〇
色紙類 一、〇〇〇
包紙類 三、四〇〇
機械漉和紙類 三、〇〇〇
板紙類 八、九〇〇
雜種紙 九、三三三
合計 八六、九六六

石灰窒素販賣價格決定
【六三】 石灰窒素肥料製造業組合では重要肥料統制法に基き本年九月、十月、十一月、十二月、渡り石灰窒素販賣價格を去る九月十八日附を以て農林、商工兩大臣に届出を爲して居つたが廿二日兩大臣より左の如く承認の指令を發し廿三日より實施する、右公定價格は重要肥料統制法が施行されて以來初めての石灰窒素の公定價格であるが改組前の石灰窒素其販の建値一圓八十五錢本年八月迄の建値より大した引上を見なかつたのは石灰窒素の生産設備が不足を來してゐない、ためである、決定の内容は左の通り

一袋當販賣價格
九月十月限度 金一圓八十三錢也
十一月限度 金一圓八十六錢也
十二月限度 金一圓八十九錢也

下期出炭百一萬担増加
【六二】 石炭聯合會では廿七日理事會を開き下期石炭需給推察に關する昭和石炭の原案を承認し最近の需要激増に對應するため本年度下期十月一明年三月(出炭高を去る三月)の理事會決定量より百一萬担(内譯聯合會百萬千担、互助會十萬四千担)増加し合計二千四百八十六萬担とするに決定した

南拓が南洋磷礦を増産
【六六】 磷礦の本年度内地需要は百廿萬

Table with 3 columns: 種類 (Category), 數量 (Quantity), 金額 (Amount). Includes items like 製紙用 (Paper), 印刷用紙 (Printing paper), 模造紙 (Imitation paper).

純見當と見積られ内百萬担(約八割)は輸入に仰いでゐるが最近爲替管理強化並に船體不足からこれが輸入値段は頗當り五十二圓内外に昂騰し供給不足を告げてゐるに鑑み南洋拓産糖社は機體擴張の緩和と國際收支改善の見地から現在年産九萬担の南洋諸島の磷礦を來年中には十五萬担に増産することとなりアンガウル島の設備改善とフアイヌ等の機體擴張を計畫中である

滿化の確安増産
【六六】 滿洲化學では豫て計畫中の確安六萬担の増産計畫を完成したので十一月一日より運轉を開始することになつた、これと同社の確安製造能力は廿四萬担となる

明年度砂糖供給協定成立
【六九】 日本糖業聯合會は廿九日丸の内工業俱樂部に於て十三年度砂糖供給協定協議會を開催協定準備委員會原案通り決定各社其即日調印をした、協定期間は本年度に比し期間は一ヶ月延長して十二月、總供給數量は卅萬擔増加して一千五百卅萬擔となつた、協定要項左の如し

一 協定期間 自昭和十三年三月一日至同十四年二月廿八日
十二ヶ月

一 施行區域 内地、朝鮮、臺灣、北海道及び樺太
一 協定期間内に於ける國內總供給數量(但し沖繩製糖及び甜菜糖を含まず) 單位萬擔 二〇〇

Table with 3 columns: 種類 (Category), 數量 (Quantity), 金額 (Amount). Includes items like 原料糖 (Raw sugar), 砂糖 (Sugar).

未現在に於ける需給狀態を調査したるう(同年三月以降十月までの各種製糖出庫高を本協定砂糖供給數量より控除したる殘數が昭和十二年十月以降同十三年二月までの出庫高に比し過不足を生じたる場合は直ちに國內供給數量を増減するものとす、尙右増減後に於て供給不足の虞れありと認めたる場合は市場の實狀に即し適當數量の追加供給を行ふものとす

一 北海造糖業
昭和十三年期産北海造糖業糖に對しては一擔に付金十錢を日本糖業聯合會に融出し産糖全部を國內に供給することを得

一 過剩糖
各社割當數量以外の過剩糖は輸出又は次年度に繰越すものとす

一 原料糖價
原料糖實價に關する規定は別に之を定む(但し前年度と不變)

一 砂糖供給協定成立事情
【七〇】 明十三年度砂糖供給協定成立事情は概略次の通りである

一 協定期間に關しては糖商側の要望もあり當初十一月月説も相當有力であつたが明年度は各社總計して大約三百廿萬擔の輸出余力を算し數年振りに過剩糖時代を出現する事情にあり一方十二月月説とすれば十一月に比し表示される數量も多くなる結果を考慮したものである

一 最も關係を豫想された北海道甜菜糖問題及び南洋產糖問題に關しても時局に鑑み終始協調的態度を持し圓滿成立を企圖した結果

一 北海造糖業糖については我國甜菜糖業の特殊性を考慮して二擔當り十錢の據金に依る産糖全部の國內市場に對する供給を承認し一面に於て輸出乃至は次年度繰越しの場合の條件を前年度に比し倍額の百分の五として妥協の跡を示してゐる

一 南洋產糖については精製工場設備を有せざる南洋諸島側が飽くまで前年通り十錢の據金による國內市場供給の方針を主張したが結局同社十五萬擔の過剩糖は之を明治、臺灣、日糖の三社が肩替りにより輸出の便宜を與へべきことを交換條件として各社並に協定義務を負担せしめられたることに着意したものである

一 明年度砂糖供給割當數量 明十三年度砂糖供給協定に基き總供給量一千五百卅萬擔の各社別割當數量内譯は次の通り(單位萬擔)

Table with 3 columns: 社名 (Company Name), 直銷第一種糖 (Direct sales 1st grade sugar), 直銷第二種糖及白糖 (Direct sales 2nd grade sugar and white sugar), 合計 (Total). Lists companies like 臺灣 (Taiwan), 明治 (Meiji), 大日本 (Daippon), etc.

には之を含ませず
民有林増産五ヶ年計畫

【五】日支變遷の進展に伴ひ軍需材の需要増加し一方輸出入品措置法施行により木材及びバルブ資材の輸入が制限されるので農林省では昭和十三年度以降五ヶ年計畫で民有林の合理的増産計畫を樹立先づ十三年度預算に「木材供給の應急施設に要する經費」八十四萬圓を計上することにまつた

田畑實買價格著騰

【六】勸業調査部本年三月現在に於ける田畑の實買價格及小作料の状況左の如し

一 田畑實買價格は引續き昂騰して普通田は前年に比し反當卅五圓高の四百七十圓、普通畑は反當十九圓高の二百七十八圓となり金解禁前の價格近く迄恢復した、前年に對する昂騰率は前者に於て八分後者に於て七分三厘では歐洲大戰に次ぐ高率である、斯かる價格の昂騰は主として米、藁を始め各種農産物價格の騰貴其他に依り農村經濟の改善が行はれ土地購入希望者の増加したことによるものと観られる

各種田畑實買價格左の如し

昭和 前年比
十二年 騰貴率數 同上
田 上の中 二五元 〇・〇三二 二・一六
普通 一〇元 〇・〇一 一・〇
下の中 〇・七 〇・〇一 一・〇
畑 上の中 二三元 〇・〇二 〇・八
普通 二天 九元 〇・〇三 〇・三
下の中 一五元 〇・〇一 〇・六

田畑實買並に抵當貸借状況

一 田畑實買の多寡に就いては各郡農會の回答の結果大差なしとせるもの總回答數の七割一分、「多し」とせるもの一割六分、「少し」とせるもの一割三分であり、「多し」とせるもの

は負債整理の爲買却するもの多きこと或は自作農創設維持の爲買希望者が増加したこと
又「少し」とせるものは農村經濟の恢復、先高見越による賃借み等を主なる理由としてゐる

次に田畑抵當貸借増減に就いては大差なしとせるもの總回答數の約七割七分を占むるに對し減少せりとなすもの約一割五分、増加は七分五厘に過ぎない、減少の原因は最近抵當貸借が飽和状態に達したこと、農家經濟が漸次恢復の道程を辿りつゝあること、又増加の原因は負債整理資金調達の爲等で一般には賃借借替多く行はれ抵當貸借状況は前年度と大差を見ない

一 實收小作料は田畑を通じ各品等共増騰し、普通田は前年に比し反當一升増の一石四升、畑は反當八十一錢高の十四圓七十一錢となつた、之れは昨年度の産米成績が良好であつたこと及農産物價格が全面的に騰貴したことによる各種田畑實收小作料詳細左の如し

昭和 前年比
十二年 増加實收 割合
田 上の中 一石元 〇・〇三二 二・一六
普通 一〇元 〇・〇一 一・〇
下の中 〇・七 〇・〇一 一・〇
畑 上の中 二三元 〇・〇二 〇・八
普通 二天 九元 〇・〇三 〇・三
下の中 一五元 〇・〇一 〇・六

帝燃會社定款目論見決定

【七】帝國燃料興業株式會社設立委員會第二回總會は廿七日丸の内明治生命館に於て開催吉野商相以下各委員出席、竹内長官より過般の特別委員會に於て作製

せる帝燃會社定款、設立趣意書、事業目論見書、收支計算書及び帝燃株式募集要項を説明附議した結果全部原案通り正式に決定した、定款事業目論見書要綱左の如し

帝國燃料興業株式會社定款

第一章 總則

第一條 本會社は帝國燃料興業株式會社法に依り設立し帝國燃料興業株式會社と稱す

第二條 本會社は人造石油製造事業の振興を圖る爲に必要な事業を營むを以て目的とす

第三條 本會社の資本は一億圓とす但し政府の認可を受け之を増加することを

第四條 本會社は株金全額拂込前と雖も其の資本を増加することを

第五條 營業
第三三條 本會社は人造石油製造事業に對する投資を爲すものとす

本會社は政府の認可を受け前項の事業の外人造石油の製造又は販賣其の他本會社の目的達成上必要な諸事業を營むものとす

第六條 燃料興業債券
第三四條 本會社は拂込みたる株金額の三倍を限り燃料興業債券を發行することを得燃料興業債券を發行する場合に於ては株主總會の決議を経ることを要す但し商法第二百九條に定める決議に依ることを要せざるものとす

第四十五條 本會社は毎營業年度に於ける配當し得べき利益金額が政府以外のもの、所有する株式の拂込みたる株金額に對し年百分の六の割合に達する迄政府の所有する株式に對し利益の配當を爲すことを要せざるものとす

▲事業目論見書
第一 事業資金

株金 一億圓
一 政府引受株金額 五千萬圓
二 一般募集株金額 五千萬圓
但し第一回拂込は一株に付金五圓總額千萬圓とす

社債(燃料興業債券)三億圓
但し燃料興業債券は拂込株金額の三倍を限り之を發行し得るものにして事業資金の必要に應じ適當に發行するものとす

第三 事業計畫
一 事業
帝國燃料興業株式會社は政府の諸施設と相俟り人造石油製造事業の振興を圖る爲必要な事業を營むことを目的とするものなる處我國に於ける液體燃料供給の實狀に鑑み液體燃料中特に重要な揮發油及重油の生産に重點を置き平戰兩時に於ける其の需給の趨勢を勘考し内外地及滿洲國を通じ適當の七年計畫を以て昭和十八年に於ける年額揮發油及重油各々約百萬噸の生産を目標とし石炭水素添加事業、石油合成事業、石炭低溫乾溜事業等を経営する人造石油製造會社に對する投資を爲すと共に此等諸事業に必要な原料石炭の供給を確保する爲炭礦開發資金に對しても投資する外本會社自ら人造石油の製造又は販賣其の他本會社の目的達成上必要な諸事業を營むものとす

二 事業費
昭和十八年に於ける揮發油及重油各々百萬噸の生産を確保する爲に要する人造石油製造會社の所要資金は豫想概算約七億七千萬圓に達すべく本會社は右の中大體二分の程度を投資するものにして事業費の豫想概算額は左表の如き見込なり

十四年度八〇△十五年度八〇△十六年度八〇△十七年度五〇△合計三七〇
▲收支計算書 (單位千圓)
年 度 收入 支出 差引(利益) 利率
昭和三年度 三三三 三三三 〇
同 四年度 四三三 四三三 〇
同 五年度 五三三 五三三 〇
同 六年度 六三三 六三三 〇
同 七年度 七三三 七三三 〇
同 八年度 八三三 八三三 〇
同 九年度 九三三 九三三 〇
同 十年度 一〇三三 一〇三三 〇
同 十一年度 一〇三三 一〇三三 〇
同 十二年度 一〇三三 一〇三三 〇
備考 收入中には政府補助金を含む

全販聯合併促進決議
【八】全販聯道府縣聯合會は廿一日赤坂三會堂で協議會を開き最近産油機能の整備擴充の見地より組合内部に纏頭せる全販聯、全販聯合件問題に關する地方縣聯の態度を協議の結果左の如き全販、全販合併促進の決議を可決之を全販、全販兩中央機關に通達その善處方を要するることとなつた

決議
全販聯及全販聯一大聯合會は此際合併しその整備擴充の實を擧げること最も緊切なりと認む茲に全國道府縣聯合會は清場一致の決議を以てその實現を望む

産組、互産和協成
【九】農林、商工兩省輪旋に依る産組反産兩團體議和懇談會は四月午後六時より農相官邸に開催有馬農相、吉野商相以下兩國代表出席、吉野商相より時局に鑑み兩國團體は從來の感情的對立を捨て一

昭和十二年度一〇△十三年度七〇△

致協力して非常時局の對策樹立に邁進されたいと述べ、各代表者之に賛意を表し九時散會した

鋼材聯合會解散

【三】鋼材聯合會は廿四日新大阪ホテルに最終委員會並に總會を開催白石委員長より「練鋼共販」設立の経過報告並に聯合會の解散に關する挨拶あり全員異議なく解散を承認せし鋼材聯合會は本月末限り解散に決定した

全肥商聯創立

【三】豫て全肥聯を中心として創立計劃中の全肥商聯(全國肥料卸商業組合聯合會)創立委員會は廿一日深川東京肥料協會事務所に開催定款、事業計劃の決定並に役員の選挙を行つた、第一期計劃は東京、大阪、神戸、名古屋の四大都市商業組合を以て構成し漸次全國的組織に擴大する方針で事業は確安の共同購入並に其の販賣統制をなすものである

人事

▲有働全販聯會長辭任 全販聯會長有働良夫氏は豫て一身上の都合から辭意を漏してゐたが懸案の米穀販賣改善案が此の程實現するに至つたのを機會に去る廿七日正式辭表を山内副會長の手許まで提出した

通商貿易

九月下旬對外貿易 九月下旬對外貿易概算左の如し(單位千圓)

Table with 2 columns: 輸出 (Exports) and 輸入 (Imports). Values include 二六,九七五 and 二七,七三三.

合計 二〇〇,九六九 一七〇,〇〇〇 出超 三〇,九六九 四〇,九六九 尙一月以降累計左の如し(單位千圓)

Table showing trade statistics for various goods like 棉花 (Cotton), 羊毛 (Wool), 豆類 (Beans), etc. with columns for 本年 (This Year) and 前年 (Previous Year).

重要品輸出入額

Table of major goods trade values for 九月下旬 (Sept.下旬) and 前旬對比増減 (Change from previous period).

麻類 一六,〇〇〇 △ 六,〇〇〇 砂糖 一五,〇〇〇 △ 六,〇〇〇 其他 六,〇〇〇 △ 〇,〇〇〇 計 六,〇〇〇 △ 〇,〇〇〇

Table showing regional trade statistics for 地方別貿易額 (Regional trade values) and 港別(内地) (Port-wise (Inland)).

▲重要商品別 九月末現在累計により重要輸出品の前期同期比較左の如し(單位數量キログラム)

Table showing cumulative trade statistics for various goods like 棉花 (Cotton), 羊毛 (Wool), etc. comparing current and previous periods.

第三四半期貿易概況 本年の我が對外貿易は九月下旬を以つて第三四半期を終つたが一月以降

Table with 2 columns: 數量 (Quantity) and 金額 (Amount) for various goods.

同期までの貿易状態を見るに輸出累計は廿四億六千七百七十六萬九千圓輸入廿二億四百八十九萬八千圓差引入超累計七億四千四百七十二萬九千圓に上りこれを前年同期に比すれば輸出とも何れも激増を示した、即ち輸出は四億七千五百四十六萬五千圓を又輸入は十億九百廿二萬四千圓三

分九厘に對し輸入のそれは四割六分を示し輸出の増加を遙かに凌いで居る、從つて入超累計は前年同期に比し五億三千三百七十五萬九千圓の激増を示した輸出金額が右の如く著増したのは世界的物價高の影響を受けて一般に輸出入商品の單價が昂騰したことが主因であるが輸入の激増はこれ以外に我が國の生産力擴充政策並に刻下の對支時局に鑑みこれが關係品の輸入が著しきことが顯著に作用した結果であることが言ふまでもない

なは輸入部門に於て第三四半期末に於ける前年同期比輸入増加十億圓中その三分の二が棉花、羊毛、原油及重油、揮發油鐵並に機械類の六品目によつて占められて居ることは注目し得る重要輸出品別並に仕向地域別に見た輸出の大勢は左の如くである

Table showing trade statistics for various goods like 棉花 (Cotton), 羊毛 (Wool), etc. comparing current and previous periods.

△輸出仕向地域別 本年 前年同期比較

Table showing regional trade statistics for various goods like 生糸 (Raw silk), 棉花 (Cotton), etc.

△輸出仕向地域別 本年八月末迄の累計により仕向地域別に見たる前年同期比較輸出増加額並に増加率左の如し(單位千圓、減△印減)

Table showing regional trade statistics for various goods like 北米(カナダを含む) (North America), 歐洲 (Europe), etc.

上海外國貿易激減 【三】支那事變の影響は上海を中心とする支那に於ける外國船舶の出入並外國貿易に相大なる打撃を與へてゐるが卅日外務省電報の上海を中心とする外國船舶の出入並外國貿易の狀況は左の如くである

△外國船舶の出入狀況 上海港に於ける八月月中の實績は前月に比し外國航路約五割、沿岸航路約六割と各出入船舶の激減を示した是は上海に於ける交戰開始以來數日間に亘り外國船舶の出入が杜絶せること、泗山、楊樹浦浦、東の各地區が尙相當重大な障害を來してゐるためである

△輸出入貿易 全支の外國貿易は七月の實績を見ると前年同期に比し輸入に於て六〇・七% 輸出に於て四六・九%を各増加してゐるが八月に入り激増し七月に比し輸入一五五・三%

Table with 2 columns: 數量 (Quantity) and 金額 (Amount) for various goods.

輸出一五四・九％
を各減少した、尙上海に於ては八月の
實績は前月に比し
輸入一六三・七％
輸出一五五・一％
を各減少した

△支那船舶の出入
外國航路並沿岸航路に従事せる支那籍
船舶は本年上半期に於ては約六千隻噸
數二百廿三萬噸であるが上海港に於て
は八月の實績は七月に比し約七割の低
下をみた尙ジャンク貿易については未
だ調査完了せず

商況・物價

東株代用價格改訂

【九・三】東株取引所では廿二日正午商議
員會を開き次の如く委託代用品價格を改
正廿四日から實施することとなつた
一 時價低落に依り代用價格を引下ぐ
もの
一 日本銀行新株外廿五種
一 拂込増加に依り代用價格を引上ぐ
もの
一 京于電氣軌道新株外六種
一 拂込増加に依り新舊合併
朝鮮産銀行新株外十八種
一 他會社合併に依り解散廢止するもの
一 城東電氣軌道外八種
一 新に代用品中に加ふるもの
一 王子電氣軌道新株外五十二種
一 鉸格變更するもの
一 信濃電氣債以下八種

東株長期當限受渡高

【九・二】東株長期九月限受渡高は繰上分
共銘額百六十八種、株數七十一萬五千八
百廿株、代金四千七百七十一萬三千八百
七十圓、一株平均六十六圓六十六錢とな

り前月に比すれば銘額一種株數四萬四千
七百六十株代金六百八十三萬六千三百五
十圓とそれより増加し一株平均は五圓七
十七錢高となつた

東株投資組合解散

【九・五】東株證券投資組合では廿九日同
組合を繼續すべきか解散すべきかに就き
協議した結果既に所期の目的を達したの
と先般新に投資會社が設立されたことを
理由として解散することに決定した

豊島解合成立

【九・五】廿五日以來進行中であつた豊島
市場當限の解合談は廿七日期に至り漸く
成立するに至つた、その後後場間におい
て七千四百石を廿五日の止値卅四圓十錢
にて商談成立地場木村潮政を中心とする
一萬五千四百石は買方東京山谷、田邊一
派を中心とする聯合節との間でこれ解
合成立した

期米當限崩る

【九・五】廿九日の東京清算米市場の當限
は納會間際に至り俄然卅二圓六十五錢と
昨引値より六十九錢方の暴落を演じた、
右は環境諸市場の不整と相俟つて近縣新
米の出廻り増大に伴ふ壓迫劣々産地より
の急激なる賣物増加で直横は貨車廻り不
圓滑を來したため十月中旬積として一舉
に五六十錢方の安値に賣應するに至つた
ため買方は割安の中限を受けんとして當
限の買建玉を一齊に投げ急いで來たので
堂島高に逆行して崩落するに至つたもの
である

綿取市場の對策案成る

【九・四】東西三綿取取引所では廿三日杉
之森市場に於ける市場對策聯合協議會の
結果漸く成案を得廿四日午前十時半主務
當局に出頭答申することとなつたその内
容は左の如くである

第一項 買賣値幅制限に關する件
(イ) 大日本紡績聯合會に於て設定せ
る基準價值に對し〇％を超過する値
段を以て賣買約定を爲すを得ず
(ロ) 特別委員會に於て米棉、印棉、
米日爲替相場が變動したる場合其の
金額を算定し之を前項の制限價值に
増減を爲すものとす、但し減額の場合
には(イ)の制限價值に止む
(ハ) 特別委員會は取引所役員及取引員
(會員)の中より〇名を以て之を組織
す

第二項 受渡に關する件

(イ) 受渡數量には過不足ありたる時
は裁定委員に於て適宜之を處置する
ものとす
(ロ) 買賣當事者は前項の處置に對し
異議を申立つることを得ざるものと
す
(ハ) 裁定委員會は取引所役員及取引
員(會員)〇名を以て之を組織す
(ニ) 右實施は新發會より適用す

各市場九月限受渡高

東京期米	受渡高	受渡價值
東京期米	六〇〇石	三三圓四〇
東京期米	六〇〇石	三三圓四〇
大阪期米	二二三〇石	二四圓〇〇
名古屋期米	五〇〇石	三六圓〇〇
東京人絹	九〇〇石	六六圓〇〇
大阪人絹	一、二〇〇石	七六圓〇〇
福井人絹	五〇〇石	六六圓〇〇
横濱生糸	三〇〇石	八〇圓〇〇
神戸生糸	二〇〇石	八〇圓〇〇
大阪棉花	六、〇〇〇石	六六圓〇〇
東京砂糖	三、〇〇〇石	三三圓〇〇
大阪砂糖	三、〇〇〇石	三三圓〇〇
豊橋乾藤	一、〇〇〇石	三三圓〇〇
上格	一、〇〇〇石	三三圓〇〇

並格 一〇〇圓 一〇〇圓〇〇
黃 一〇〇圓 一〇〇圓〇〇

鋼建値大幅引下げ

【九・三】産鋼水曜會では卅日鋼建値を百
キロにつき四圓六十錢方大引下げ百十
一圓十五錢と改訂、本年一月以來の新安
價を發表した、右は同日入電のニュー
ーク鋼輸出相場が秋需要期を控へ乍らも
買氣極めて不振のため六十ポイント方崩
落し十二仙十五を報じたためである

勸業債券暴騰

【九・三】勸業債券相場は廿二日の關東現
物園の定例交換會で一齊に急騰した、即
ち割引六圓十二圓七十五錢と一圓十五錢
七回十二圓廿錢と一圓廿錢、八回十二圓
四十錢と一圓卅五錢方夫々暴騰したのを
筆頭に割引債券は五、六十錢高、復戻は
六、七十錢高、四分利は四、五十錢方急
騰し出來高も十三萬見當と久し振りに活
況を示した

十三都市卸賣物價概況

【九・六】商工省發表本年八月に於ける
東京以下十三都市卸賣物價指數(昭和四
年十二月の平均價格を一〇〇とし單純算
術平均の方法に依り算出せるもの)は總
平均一二三・三三として之を前月の一二三・
八に比較すれば〇・四〇の低落を示し更
に前年同月の一一〇・六に比較すれば二
〇・四〇の昂騰に當る、次に八大分類別
の指數を各其の前月及前年同月に比較す
れば次の如し(△印下落)

分類別	本月	前月比	前年同月
食料品	一〇七・七	△一七・〇	△〇・五
織維品	一〇三・九	△四・七	△九・五
金屬品	一三二・二	△四・〇	△三・二
建築材料	一三〇・一	△一・〇	△三・五
工業藥品	九七・〇	△三・一	△六・〇
肥料	一三〇・〇	△五・一	△三・二

燃 料 二二・四 〇・五 一七・六
雜 品 一四・〇 〇・八 一〇・四
總平均 一三三・三 △〇・五 一〇・五
更に重要商品十五品の指數を各其の前月
及前年同月に比較すれば次の如し

内地支米中	二五	△二・五	△〇・九
精製糖	一〇三	△三・七	△五・一
羊毛	一三三	△三・七	△二・〇
生糸	七五	△四・〇	△九・一
人造絹糸	五五	△七・五	△六・一
綿織糸	三三	△一〇・三	△九・九
銑鐵	一七	△三・〇	△九・九
電氣銅	一四	△二・七	△五・一
セメント	八	△〇	△〇
杉粉材	二七	△七・七	△七・〇
粉粉	四	△〇	△四・三
硫酸安母尼亞	三	△三	△三・八
燈油	三	△〇	△三・八
炭	二九	△〇・八	△六・七
印刷料紙	三三	△〇	△三・五
十五品平均	一〇二・一	△一・六	△三・四

「旬報」姉妹誌

國際經濟週報
經濟關係の國內ニュース及
び外電の外に解説を感つた
財界業界の羅針盤

▲每週木曜日發行
▲定價
一ヶ月 一圓
一ヶ年 十圓
▲旬報併讀者に限り
一ヶ月 八十錢
一ヶ年 八圓
同盟通信社出版部



文 化

女辯護士生

【九二二】改正辯護士法により婦人も辯護士たり得る事になりその實現が興味を持たれてゐたところ、廿二日發表された今年度の高等試験司法科筆記試験の合格者二百七十名中つた一人の女性田中正子さん(〇〇)の名があつた、同女は小石川區久堅町八七田中種子さんの長女で目下明治大學法學部一年生に在學中で、來月十八日の口述試験にパスさへすれば名實共に女辯護士たり得る譯である。

明朗美術七氏脱退

【九二二】明朗美術聯盟では目下第四回展覽會を開催中であるが今回左記七氏は聯盟の内部的事情に不満を持ち連袂脱退した。

重松謙吉△古淵端草△海老原克巳△眞志堅古雅△井上陵峯△荒井草雨△丹阿彌岩吉

日本美術院新院友十名推舉

【九二二】日本美術院では今回左記の十名を新院友に推舉廿七日發表した

△繪畫部
河内舟人、小島丹漆、半田泰吉、鈴木圭子、里内三郎、安孫子次郎、久保清子、中島島木
△彫塑部
河野正造、關長造

兒童文化協會發會式

【九二二】兒童藝術の振興を標旨とする日本兒童文化協會の發會式は卅日午後五時から大阪ビル内日本文化聯盟に開催され

た、出席者は

前田昇、藤澤齋彦、瀧澤青花、松原至大、水谷まさる、村岡花子
等兒童藝術家約卅氏、協會は今後目的達成の爲、會員の懇談會、座談會、特殊研究の發表を行ひ、講演、講習會を開く一方日本兒童藝術の海外紹介及び海外兒童藝術の翻譯紹介等の事業を行ふ。

裁判・警察

美濃部博士狙撃犯人判決

【九二二】昨年二月廿一日朝府下吉祥寺の自邸で美濃部達吉博士をビートルで狙撃した福岡縣生れ元大統工業聯合會監小田十莊(〇〇)に係る殺人未遂事件は東京刑事地方裁判所中島裁判長栗谷檢事係で審理中のところ廿八日檢事求刑懲役十年に對し懲役六年(但し未決四百日通算)の判決言渡しがあつた

茂木副領事に求刑

【九二二】元青島副領事茂木藤次郎(五〇)にかゝる公金卅四萬圓横領償消事件の第一回公判は廿八日東京刑事地方裁判所下林裁判長係りで開廷竹内檢事は懲役七年を求刑した

池田元建設局長に判決

【九二二】鐵道縣の大立物、元鐵道省建設局長池田嘉六(美〇)氏の最終公判は廿九日京都地方裁判所附審法廷に開廷、藤野裁判長から懲役一ヶ年未決通算百日(求刑二年)の言渡しがあつた

丹野せつ子出所

【九二二】共産黨華かなり昭和三年臺灣基隆埠頭で警官にビートルを亂射、自分を胸を刺傷して自殺した日本共産黨の最高幹部渡邊政之輔の内縁の妻丹野せつ子

(三〇)は懲役五年に處せられ富城刑務所に服役してゐたが刑務所内では模範女囚として刑期満了卅日午前五時出所した

愛知縣會議長召喚云々

【九二二】名古屋地方檢事局で摘發中の名古屋市東區研屋町日本復興債券にからまる二百五十萬圓詐欺事件はますます進展し同社顧問愛知縣丹羽郡大口市民政黨愛知縣支部幹事長愛知縣會議長野田正貞(六〇)氏は廿九日午前九時名古屋檢事局に召喚された

眞崎大將判決

眞崎大將無罪
【九二二】陸軍省發表表し東京陸軍々法會議に於てはかねて二・二六事件に關し「反亂者を利す」被告事件として起訴せられ眞崎大將につき慎重審理中の處本九月廿五日無罪の判決言渡しありたり

右判決理由の要旨左の如し
公訴事實に基き審理の結果眞崎大將は明治卅一年六月廿七日陸軍歩兵少尉に任せられ爾來果進して昭和八年六月十九日陸軍大將に任せられ同十一年三月六日待命同月十日豫備役仰付けられたるものなるが其の間各種の要職に歴任し其士官學校在職中に於ては學術精神及皇室觀念の涵養に努め或は學術併進等を旨とする實行主義を指導方針の根本義と爲す等統制生徒の訓育に盡精するが一面夙に我國内外の情勢を按じ文武官民上下互に相對立して統制を缺き而も戰備國防の缺陷は外交上の支持に惡影響を及ぼすの虞れあるを憂ひ之が匡救の途は一に國策遂行の爲に必要な氣魄實力を具備せる所謂強力内閣の實現に依るべしとなし若し此の際て敷衍不斷の者其の局に當り苟も外交

に懦弱の態度を暴露せんか流血の慘を見ること無きを保てず國家の前途深憂に堪へずと斷じたるものなる處、據て本人を深く欽慕崇敬せる一部青年將校の間に所謂特權階級を打倒し國家の革新を目的とする昭和維新の運動漸次濃厚と爲り就中陸軍歩兵大尉福田清貞、同村中孝次、陸軍一等主計磯部淺一、陸軍歩兵中尉栗原安秀等は北澤次郎、西田勇より矯激なる思想の感化を受け所謂昭和維新斷行の爲には非法的手段亦敢て辭すべきに非ずと爲し遂に同志相結束して連絡會合を重ね又同志の獲得指導に努め陰に維新斷行の氣運促進を圖り居たる折昭和十年七月本人が教育總監を免じ軍事參議官に轉補せらるゝや村中孝次、磯部淺一等は此の更迭に付頗る當局非難の氣勢を擧ぐらるに至り本人は此等の情勢を推知しながら其の頃屢々本人の許に入らせり陸軍少將平野助九郎等に總監更迭の内情を語り且痛く實地の情を表すと同時に其の手續上當局に不當の處置ありと力説し之に依り村山孝次、磯部淺一が當局を非難せる教育總監更迭事情等に關する不穩文書を頒布し爲に青年將校同志の該運動一層尖鋭化するに至れり、次で同年八月陸軍歩兵中佐相澤三郎の陸軍省軍務局長永田鐵山殺害事件勃發するや一部青年將校等は深く此舉に感奮すると共に教育總監更迭の背後に一部署重臣、財閥等の陰謀策動ありと爲し而も重臣等は超法的存在にして合法的手段を以てしては目的の達成不可能なりとし國法を超越し直接行動を以て之を打倒し一部軍上層部を推進して國家を革新せんとするの運動日に熾烈を加へたり、斯くて昭和十年十二月頃より村中孝次、磯部淺一、香田清貞、栗原安秀及並川善助等が第一師團將兵の感奮前主として在京同志により速に事を擧ぐるの要ありと爲し其の準備に着手し相澤中佐の公判(機曾に歐起氣運を促進せんとし特權階級に極度の非難攻撃を加へ)又相澤中佐の行動精神を宣傳して同志歐起の決意を促さんとするや本人は同人等の間に瀾漫せる不穩の情勢を察知しながら

イ 昭和十年十二月陸軍歩兵中尉對馬勝雄の來訪を受けた際同人に對し教育總監更迭問題に付ては盡すべき所を盡したるのみならず同更迭には妥協的態度に出でず最後迄強硬に反對せり尙自分(近來其の筋より非常の歐迫を受けて居るが機關問題に付ては眞面目に考慮するの必要ある旨を説き

ロ 同月廿四日頃、磯部淺一及陸軍歩兵大尉小川三郎と自宅に於て面接せし際興奮せる態度を以て總監更迭に付相澤中佐は命途播けるに自分はその處迄は行かざるも最後迄強硬に反對せし旨を告げ次で小川三郎が國體明微問題及相澤公判にして巧く運ばず其の處置するが如き場合に血が流れることあるやも知れざる旨を述べたりや兩名に對し確に然り血を見ることあるやも計られざるが、自分が斯く言へば青年將校を煽動するが如く認めらるゝ故甚だ困る次第なりと語り

ハ 同月廿八日頃香田清貞より國體明微問題等に付聽取し青年將校の之に對する努力未だ足らずと雖し又憤激の態度を以て教育總監更迭にして最後迄反對せる旨を述べ尙相澤中佐の歐起精神を賞揚し深く同情の意を表し同中佐の公判には統制權問題に付證人として起つべき旨及教育總監陸軍大將渡邊錠太郎が其の位置を退くことになれば都合好く運ぶ旨を説き

ニ 同十一年一月相澤中佐の讞論中陸軍歩兵中佐南井佐吉に教育總監更迭には最後迄反對せし旨其の他同更迭の經緯等に付述べ又相澤の公判には喜んで證

人と爲る旨を告げ次で翌二月同じく浦井佐吉の來訪を受けたる際同人より現年將校の運動激化せる状況に付之を聽取し

ホ 同年一月廿八日頃磯部淺一が本人を其の自宅に訪ね教育總監更迭問題に付ては飽迄努力する旨を述べ金千圓又は五百圓の出資方を請ふや都合する旨を答へ、爾來青年將校同志は東京市内各所に會合を重ね實行に關する諸般の計畫及準備を進むる一方陸軍歩兵大尉山口一太郎氏及民間同志北輝次郎、西田穉龜川哲也等と連絡を執り歐起直後、龜川哲也は眞崎基三郎及山本英輔等に對し又山口一太郎及西田穉は夫々要路に對し歐起の目的達成の爲工作を爲すべき手筈を定め遂に昭和十一年二月廿六日拂曉村中孝次、磯部淺一、香田清貞、安藤輝三、對馬勝雄及栗原安秀等が近衛、第一師團の一部將兵と共に兵器を執りて一齊に歐起し反亂を執行するや其の間に於て本人は

一 昭和十一年二月廿六日午前四時卅分頃自宅に於て藤て三回本人を訪ね青年將校の不穩情勢を傳へ居たりし龜川哲也の來訪を受け同人より今朝青年將校が部隊を率ゐて歐起し内閣總理大臣内大臣等を襲撃するに付き青年將校等の爲難處せられ度く又同人等は將校が時局を收拾せらるゝ様希望し居れば自重せられたる旨懇請せられ茲に皇軍未嘗有の不祥事變發生したることを諒知し之に對する處置に付熱慮し居たる折柄陸軍大臣よりの電話招致に依り同日午前八時頃陸軍大臣官邸に到り同官邸に於て

一 磯部淺一より歐起の趣旨及行動の概要に付報告を受け歐起趣旨の貫徹方を懇請せらるゝや「君達の精神は

能く判つて居る」と答へ

2 陸軍大臣川島義之と村中孝次、磯部淺一、香田清貞等反亂幹部との會見席上に於て歐起趣旨書、要望事項及歐起者の氏名表等を閱覽し香田清貞より襲撃目標及行動の概要等に付報告を受けたる後同人等對し「諸君の精神は能く判つて居る自分はそのより其の善後處置に出掛ける」と告げて官邸を出で

二 同日午前十時頃參内したる際侍從武官長室に於て陸軍大臣川島義之に對し歐起部隊は到底解散せざるべし此の上は詔勅の煥發を仰ぐの外なしと進言し又其の席に居合はせたる他の者に對し同一趣旨の意見を強調し

三 同日夜陸軍大臣官邸に於て前記前井中佐に對し富中に參内し種々努力せしも中々思ふ儘に行かざるを以て彼等を宥めよと告げ

四 翌廿七日反亂將校等が北輝次郎、西田穉より「一人無し勇將眞崎あり正義軍一任せよ」との囑言ありとの電話指示に依り時局收拾を眞崎大將一任に決し軍事參議官に會見を求むるや本人は同日午後四時頃陸軍大臣官邸に於て軍事參議官阿部信行、岡西義一立會の上反亂將校十七名と共に會見の際同將校より事變收拾を本人に一任する旨申出且之に併し要望を提出したるに對し條件にて「一任せよ誠心誠意努力する云々の旨を答へたり

能く判つて居る」と答へ

2 陸軍大臣川島義之と村中孝次、磯部淺一、香田清貞等反亂幹部との會見席上に於て歐起趣旨書、要望事項及歐起者の氏名表等を閱覽し香田清貞より襲撃目標及行動の概要等に付報告を受けたる後同人等對し「諸君の精神は能く判つて居る自分はそのより其の善後處置に出掛ける」と告げて官邸を出で

二 同日午前十時頃參内したる際侍從武官長室に於て陸軍大臣川島義之に對し歐起部隊は到底解散せざるべし此の上は詔勅の煥發を仰ぐの外なしと進言し又其の席に居合はせたる他の者に對し同一趣旨の意見を強調し

三 同日夜陸軍大臣官邸に於て前記前井中佐に對し富中に參内し種々努力せしも中々思ふ儘に行かざるを以て彼等を宥めよと告げ

四 翌廿七日反亂將校等が北輝次郎、西田穉より「一人無し勇將眞崎あり正義軍一任せよ」との囑言ありとの電話指示に依り時局收拾を眞崎大將一任に決し軍事參議官に會見を求むるや本人は同日午後四時頃陸軍大臣官邸に於て軍事參議官阿部信行、岡西義一立會の上反亂將校十七名と共に會見の際同將校より事變收拾を本人に一任する旨申出且之に併し要望を提出したるに對し條件にて「一任せよ誠心誠意努力する云々の旨を答へたり

以上の事實は本人に於てその不利なる點に付否認する所あるも他の證據に依り之を認むるに難からず然るに之が反亂者を利せむとするの意思より出でたる行爲なりと認定すべき證據十分ならず結局本件は犯罪の證明なきに歸するを以て陸軍々法會議法第四百三條に依り無罪の言葉を爲せり

外國映畫の輸入不許可

【九二】 大藏省はさきに爲替管理の建前から外國映畫の輸入制限を實施し九月四日以後に製作國を輸出するものは一切輸入の許可を要する旨各外國業者に通達したが、更に廿日外務主要會社が組織する十ニユース映畫を除く一切の外國映畫は本年一杯輸入を許可せぬ旨書渡した、これによつて現在パラマウツ、メトロ以下十數社に既に輸入済みの外畫は約五十本以上が在庫に於てゐるので年内の上映には略々差支へないが毎年正月を期して封切る大作の輸入は不可能となり更に明春以降は事業の推移によつて政府の方針が發表される筈だが從來の如き殆ど自由の輸入は到底免れないから外畫の拂底は免れぬものと見られる

【九三】 富士山頂は今早朝零下二度といふ寒氣であつたが廿三日朝はカラリと晴れ上り秋空にくつきりと白く新雪の麗姿が見出された、沼津測候所の觀測によれば一合八勺まで降雪したと例年より廿日ばかり早い

【九四】 富士山頂は今早朝零下二度といふ寒氣であつたが廿三日朝はカラリと晴れ上り秋空にくつきりと白く新雪の麗姿が見出された、沼津測候所の觀測によれば一合八勺まで降雪したと例年より廿日ばかり早い

【九五】 富士山頂は今早朝零下二度といふ寒氣であつたが廿三日朝はカラリと晴れ上り秋空にくつきりと白く新雪の麗姿が見出された、沼津測候所の觀測によれば一合八勺まで降雪したと例年より廿日ばかり早い

【九六】 富士山頂は今早朝零下二度といふ寒氣であつたが廿三日朝はカラリと晴れ上り秋空にくつきりと白く新雪の麗姿が見出された、沼津測候所の觀測によれば一合八勺まで降雪したと例年より廿日ばかり早い

【九七】 富士山頂は今早朝零下二度といふ寒氣であつたが廿三日朝はカラリと晴れ上り秋空にくつきりと白く新雪の麗姿が見出された、沼津測候所の觀測によれば一合八勺まで降雪したと例年より廿日ばかり早い

【九八】 富士山頂は今早朝零下二度といふ寒氣であつたが廿三日朝はカラリと晴れ上り秋空にくつきりと白く新雪の麗姿が見出された、沼津測候所の觀測によれば一合八勺まで降雪したと例年より廿日ばかり早い

【九九】 富士山頂は今早朝零下二度といふ寒氣であつたが廿三日朝はカラリと晴れ上り秋空にくつきりと白く新雪の麗姿が見出された、沼津測候所の觀測によれば一合八勺まで降雪したと例年より廿日ばかり早い

【一〇〇】 富士山頂は今早朝零下二度といふ寒氣であつたが廿三日朝はカラリと晴れ上り秋空にくつきりと白く新雪の麗姿が見出された、沼津測候所の觀測によれば一合八勺まで降雪したと例年より廿日ばかり早い

雜 錄

患者累計 六千五百十九人

死亡累計 二百八十八人
尙縣衛生課では隣接市町村に對する豫防方法を講じ内務省松本技師、陸軍省大家軍醫大尉等も早速視察調査をはじめ防疫陣首腦部ともに慎重對策を講じた

【九〇】 遠征捕鯨艦隊の先陣を承る第一團南丸(九、九〇〇噸)は廿二日午前八時大阪港を出帆南洋七ヶ月の南洋上に於ける國際捕鯨戰の征途に就いた

【九一】 南極洋の捕鯨艦に水産日本の獨權確立を目指し、さきに竣工された日本水産會社第二團南丸(一九四二五噸)は廿六日午前七時大阪港を出帆、秋晴の祖國を後に全員勇躍八隻のキヤツチャーパートを従へ初陣の首途に就いた

【九二】 鯨群を追つて大阪を出發した捕鯨母船第一及び第二團南丸に續いて廿七日後三時頃神戸港からは太平洋捕鯨第一日進丸がキヤツチャーパート八隻を隨へ堂々南水洋へ捕鯨制覇に臨島立つた第二日進丸も續いて來月上旬中には全裝備を終り晴れの壯途に上る豫定

【九三】 大牟田全市に亘つて去る廿五日夜から發生した小兒流行病については縣衛生課で診察の結果赤痢或は絞痢と決定廿七日緊急小學校長會議を開き市内小學校三校の臨時休校を決定した、卅日午後六時現在の罹病者數は福岡縣衛生課調査によると次の通りである

凌風丸の披露式

【九四】 文部省新造の氣象觀測船「凌風丸」はこの程播磨造船所で竣工芝浦に廻航されてゐたが、廿八日午後安井文部大臣の參列のもとに關係當局、政界、財界の名士約七百名を招待して盛大な披露式を舉行した同船は總噸數二一八〇噸長さ六九米一八、幅一〇米五九、深さ七米三八、最大速力一四節半のスマーナな優秀船で、近く文部省より中央氣象臺に引渡され、十月中旬芝浦を出帆小笠原島方面に向ふ

▲松井兵三郎中將 元第十六師團團長後備陸軍中將松井兵三郎氏は廿日午後三時京都右京區鳴瀧運池町の自宅に逝去した享年六十四

▲早間書記官 ワシントン(九三)ワシントンの帝國大使館二書記官早間恒雄氏は過般來尿毒症と癆の爲め病臥療養中廿一日午前一時四十分逝去した

▲木村恒夫中將 木村恒夫豫備役陸軍中將はかねて上京中腸チフスに罹り療養中廿一日午前十時五十分東京市芝區白金三光町西香知江氏方で逝去、享年六十一

▲内田信也氏母堂 元戰相内田信也氏母堂はつ子刀自は老衰のため麻布區三河臺町廿八の自邸で療養中廿四日午前九時逝去した、享年九十七

▲故田中大將未亡人 故田中大將

▲故田中大將未亡人 故田中大將

▲故田中大將未亡人 故田中大將

▲故田中大將未亡人 故田中大將



訃

オリムピック

▲高松盛吉博士 東大名醫工學博士高松盛吉氏は老衰のため東京市本郷區駒込西片町一三の自宅に靜養中であつたが廿七日午前八時心臓麻痺を急逝した享年八十六前年は我國應用化學の泰斗として功勞多かつた

稲田男爵歓迎會

【六二四】全日本スキー聯盟顧問稲田昌植男の歸朝歓迎午餐會は廿四日午後零時半滿鐵ビル内エトアルで開催、主賓の稲田男、主催者徳川會長を初め副島伯、平沼體協副會長、永井事務總長、伊東文部次官、小島スキー聯盟會長他十餘名出席徳川會長より稲田男の盡力に對して謝意を表し同男より答辭あつて懇談の後散會

大會方針決定

【六二五】組織委員會競技部委員は廿四日午後四時半滿鐵ビル内事務局で開催、永井事務總長兼競技部長以下各委員出席郷部部長からワルソー・I・O・C 總會の經過並に過般の東京大會に關する政府の聲明に就き説明あつて後時局に處するオリムピック東京大會の方針、大會開催期日問題等に就き協働左記事項を決定した

- 一 時局に鑑み東京大會に對する方針は實質剛健を旨とすること
- 一 各競技團體と各國際競技聯盟との聯絡は原則として競技部を通じ行ふ事
- 一 競技團體は各自選出の競技部委員會委員に相當範圍の權限を與へ委員會を強化すること
- 一 先般各競技團體に依頼のオリムピック規約書を可及的速かに提出すること

一番外競技の決定は次回に延期のこと
 一 大會期日は現在では八月廿四日より決定して居るがその期間に暑熱甚だしいためクリンゲベルグ氏の來朝を俟つてその變更の可否を訊し可能ならば改めて期日の變更に就き協議すること
 一 クリンゲベルグ氏の各國國際競技聯盟との折衝による情報報告をプリントにして各委員に配付之に基き各委員の研究を依頼し次回までに各競技團體の意向を報告すること

神奈川陸協の中止否決

【六二六】關東陸上競技協會は神奈川陸協の主張に基き廿九日午後六時半東日會議室で臨時總會を開催東京陸協を始め千葉崎玉、栃木、神奈川の各陸協代表廿五名出席神奈川陸協の提案に關する東京大會中止案に對する關東陸協の態度決定を檢討したに對議の結果多數決を以て競技團體としては非常時局下にあつては今後革新的な方針の下に體力和精神の向上發展を期して時局と將來に對し國民精神總動員に對しては政府と協力して之が成果を期すべきでこれこそ採るべき道でありオリムピック問題に就ては飽く迄も組織委員會の方針を堅持すべきであると決定

オリムピックボスター當選

【六二七】さきに再募集した東京オリムピック大會宣傳ボスターは應募作品二千九百九十二點を廿四日審査員の手で厳選した結果次の如く一等一名、二等二名、三等三名の入選を決定した

- 一等 黒田典夫(松坂屋宣傳部)
- 二等 山名文夫(銀座資生堂衣裳部)
- 二等 赤羽喜二(東京)
- 三等 加藤清澄(京都松坂屋支店)
- 同 脇田(仁(東京))
- 同 荒川寅一(大阪)

眠りしめる間に 大西洋を横断

【ロヂェヌター發同盟郵便】英國インペリアル航空會社は過般汎米航空會社と提携、北大西洋定期旅客輸送の試験飛行を行つたが、結果良好なので愈々定期空輸に乗り出すこととなり使用機として發動機五千馬力以上時速二百哩、全備重量四十噸といふ超大飛行機を二臺ロヂェヌターのシヨート航空會社に計文、會社は早速建造に着手した。

一臺の費用は實に九萬ポンド(邦貨約百五十萬圓)である。大體一九三九年には完成する見込で、翌一九四〇年から就航する豫定になつてゐるこの飛行艇は北大西洋の空に勇姿を現はした曉には英國カナダ間が八時間乃至九時間で連絡される事になり而も夜間飛行が自由であるから離水して一寸一眠りして眼が覺めるとも九米大陸に着いて居るといふ一世紀前の祖先達が夢にも想像しなかつた「科學の驚異」が實現されるわけである。

記録的な地震と被害

【ニューヨーク發同盟郵便】地震は勿論地球生成以來のものや古代人と雖も地震の原因結果に關してはそれ相當の知識と瞭解を有してゐたらうが、ほんとに地震現象が科學的に觀察されたのは一七五五年リスボンを中心起つた地震が最初、最近のサンデー・ニュー紙は世界の地震帯と記録的な地震を強弱に依つて色分けにした興味ある圖解を掲げてゐるがそれによつて世界有数の地震の年代と人命の被害は次の通りである。

- 一八六一年 ベルギー 二萬五千人
- 一九〇五年 北部印度 二萬人
- 一九〇六年 サンフランシスコ 四萬五千人
- 一九〇八年 シシリ島九萬六千人
- 一九一五年 アヴェヰノ(イタリア) 三萬人
- 一九二〇年 甘肅省 十萬人
- 一九三三年 日本 廿萬人
- 一七九七年 キント(葡米) 四萬人
- 一八二二年 アレツポ 二萬二千人

◎銀暮氣難し比々
 【ホリウツド發同盟郵便】俳優の中で一番氣難しいのは、グレッタ・ガルボで、撮影中は決して人の出入を許さないが、キヤズリン・ヘプバーンも同様。グレース・ムーアやジャネット・マクドナルドの御兩人は仲間に見せるのだが、誰彼と無く外部の人に見せるのは喜劇俳優だけだ。次ぎにこの問題につき俳優の好惡を擧げて見よう。

ジン・アーサーは大切な訪問者だけ
 ビング・クロスビーは訪問者を擧げないが、ジョーン・ブロンデル、ジョーン・クロフホード、ルス・チャタートン、アイリーン・ダンはお歴々だけに特に許す
 大ロブラウンは凡べての人
 マルチネ・デイトリツヒは餘り多すぎると嫌がる
 マルクス兄弟、リッツ兄弟は參觀者大歓迎
 アン・ハーディングはお歴々だけ
 は仕方がない
 ヒュー・ハーバートは見物人がある
 と喜ぶ
 俳優のみならず會社自身も訪問者歓迎の態度が異なる。

◎米國民の所得向上
 【ワシントン發同盟郵便】米國商務省が九月十四日公表した統計に依ると、一九三七年度の國民總所得豫想額は七百億ドルに達し、昨一九三六年度に比して、十二パーセントの増加である。

荷労働者の収入増加は六十五・五パーセントといふ數字が出て居り、こゝもとルーズヴェルト景氣は順調に上つてゐると見られる。

◎パナマ運河下に隧道
 【パナマ發同盟郵便】パナマ共和國政府ではこの程二億萬ドルの資金を以て、パナマ運河の下を通る隧道を掘る計畫を立て、米國政府に對して賛成を求めらる事になつた。現在パナマ運河に依て共和國が二分され、しかも双方の連絡は僅かに船舟に依てなされてゐる様な不便な状態なので今回運河掘鑿が立案されたのである

◎絶食十八年
 【ロンドン發同盟郵便】ロンドンに十八年間何も食へないといふお婆さんが住んでゐる。今年六十二歳になるE.ホーアと呼ぶお婆さんは、今を去る三十六年前初めてお産をした後、段々食物を嚥下するの難を感ず出して來た。醫者も治療の方法が無く、成行に任せてゐる中に、到頭一九一九年に何も喉を通らなくなり、爾來十八年間、たゞコーヒー、紅茶及びオレンジ汁を飲むだけで生命をつないで來たのである。



滿洲

795 (75)

詔書 奉天承運大滿洲帝國皇帝、詔シテ曰ク、

詔書

茲ニ盟邦大日本帝國ト一徳一心ノ眞義ヲ

發揚シ、共同防衛ノ精神ヲ貫徹シ、以テ東

亞全局ノ安定ヲ期スルカ爲ニ、爾三千萬

民衆ニ告ク、維レ我カ滿洲帝國ノ國基ヲ

奠定スルヤ、仁愛ヲ以テ政本トナシ、忠

共同防衛ノ精神ヲ貫徹スヘシ、何ノ艱阻

張總理祝勝電

張總理大元帥、總理大臣張景惠氏は廿五日

北支最高指揮官寺内大將に宛て日本軍の大

大勝を祝し左の電報を發した

貴軍各部隊の勇戦奮闘、所敵なく今

や保定、滄州の堅を破り遂に北支明朗

化を見つゝあるは眞に欣快に堪はず茲

に我が國官民を代表し今次の大勝に付

新京(三) 滿洲國政府は廿日參議院會

滿洲生保出征者便法

新京(二) 滿洲生保では支那事變に當

り軍人軍屬として出征した保險契約者に

對しては拂込期日に六ヶ月の猶豫を附し

對しては拂込期日に六ヶ月の猶豫を附し

特別料金を徴收せず、日本及び滿洲國軍

人並に醫藥費を應召する者には醫師の診察

を要しないことと決定した

大連經由日本に向つた

防空施設に日本商社寄附

新京(三) 新京日滿實業協會では滿洲

國政府の委囑を受け滿洲國の防空施設に

對する寄附金の募集を斡旋してゐたが滿

洲國と密接な經濟關係を有する各商社か

ら膏々と大口の申込みあり、東京方面の

み付けで左の如く四十三萬一千圓に達し

に努力中である

王榮久は廿二歳の時本籍地大家刀子

開山屯金精煉所完成

延百(三) 開島省内に於ける産金の埋

藏量は産業部並に斯界專門技術家の調査

に據れば相當多量と推定され恐らく全國

各省を通じて三三位を占むるものとされ

てゐる、右に對し滿洲國産業部では産金

國策の徹底を期し省内の開山屯で約廿萬

圓の徹底を期し省内の開山屯で約廿萬

圓の徹底を期し省内の開山屯で約廿萬

産業經濟

圓の徹底を期し省内の開山屯で約廿萬

圓の徹底を期し省内の開山屯で約廿萬

圓の徹底を期し省内の開山屯で約廿萬

圓の徹底を期し省内の開山屯で約廿萬

圓の徹底を期し省内の開山屯で約廿萬

圓の徹底を期し省内の開山屯で約廿萬

圓の徹底を期し省内の開山屯で約廿萬

圃を授けて精練所を建設中であつたがこの程殆んど完成を見るに至り爾後の工事は電力の配給装置のみとなり本月中旬には完成を見る運びとなつた、右精練所は一日約三千トンの精練力をもつて居り一籽噸につき金十グラム、一日三百グラムの精練能力を有するもので現在の中央銀行相場一グラム三圓七十七錢をもつて計算すれば一日の精練額は千五百一圓の多額に達するものである、尙ほ来る十月十五日現地において呂滿洲國産業部大臣來臨盛大に落成式を挙行する

棉花統制法施行

新京(支) 滿洲國政府は棉花の改良増殖を促しその生産及び配給を統制し棉作經營の健全なる發達を圖る爲め棉花統制法を制定することとなり同法は廿七日の國務院會議に上程可決を見たので近く參議府の諮詢を経て來月七日頃公布十五日より施行されることとなつた、之と同時に棉花統制機關を一元化し滿洲棉花協會を解散し滿洲棉花公司を擴大改組し農事合作社と密接な關係を保たし棉花の改良増殖の實行機關たしめることとなつた、同法によれば實棉收買操練作業は産業部大臣の指定するもの(棉花公司)以外は禁ぜられ收買價格、時期、場所も同大臣より指定し同公司より配布する以外の種子は播種出来ない又同法には産業部大臣は一定期間を定め棉花の輸入又は輸出を制限することを得ることになつてゐる

新義白温兩線營業開始

奉天(支) (鐵道總局發表) 昭和十二年十月一日より新義線(新立屯至義縣間)並に白温線(南興安温泉間)の旅客、手小荷物及び貨物の運輸營業を開始す

新義線概況

新義線は大鄭線新立屯驛と錦承線の義縣とを結ぶ遼西地區の一重

要幹線で延長百卅一軒五昭和十一年八月新立屯より軌道敷設工事に着手同年九月海州驛に到達同十一月假營業を開始し今回義縣までの工事完了と共に全線の本營業を開始するに至つたものである、同線は阜新炭田よりその積出港たる蘆蕪島への運炭を主眼として敷設されたもので同線の全通は阜新炭田の開採に一層の拍車をかけると共に沿線背後地の産業開發促進に多大の貢獻を齎すものとして期待される

阜新炭田概況

阜新炭田は錦州省阜新縣及義縣に跨る東西七十軒、南北八軒乃至廿軒の大炭田で埋藏量は現在調査地域だけでも十億噸、全炭田に亘つては約四十億噸と推定されてゐる、炭質は瀝青炭で揮順炭に遜色なく一般工業用、鐵道用並に家庭用に最も適してゐる、昨年十月滿蒙では同炭田の急速なる開發を企圖し阜新縣内に阜新礦業所を設置、試掘並に採炭準備作業を開始昨年度に於ては約十五萬噸を採炭し昭和十二年以降の採炭計畫は(單位萬噸) 十二年度 二一〇〇 十三年度 三三〇〇 十四年度 三三〇〇 十五年度 四二〇〇 十六年度 五〇〇〇 となつてゐる、又阜新炭坑の現従業員は社員三百四十名、傭員二百名、礦夫四千二百名であるが昭和十五年度においては一大擴張をなす計畫である、而して同炭田は國內における他の炭田に比し開港場に最も接近した地域にある關係上輸出炭としての最好條件に恵まれてゐる、即ちこれを撫順炭と比較するに距離において阜新炭の海州驛一胡蘆島港間百八十三軒に對し撫順炭は撫順驛一連甘子埠頭間四百廿八軒、又右區間の運賃をみる

に阜新炭は一車扱應當り三圓三錢なるに反し撫順炭は四圓八十三錢となつてをり阜新炭が輸出炭として如何に有望なるかを物語つてゐる、今次新義線全通に伴ふ運炭路の確立及葫蘆島的發展と相俟つて阜新炭の前途は實に洋々たるものがあり東洋のザールと稱せられてゐる

白温線概況

白温線は平齊線白城子に起つて大興安嶺を西北に走り温泉地として名高いハロンアルシヤンに至る延長三百卅八軒の鐵道である、白城子、王爺廟間は事業前の建設にかゝり事業後建設局が王爺廟以西の軌道敷設工事に着手昭和十年十一月案備までの本營業を開始して同時に白温線と改稱翌十一年七月南興安までの本營業を行ひ今回ハロンアルシヤン(温泉)までの工事完了と共に全線の本營業を開始するに至つたものである、沿線の地形は王爺廟までは平地、王爺廟一索倫間は興安嶺の山地と平地の交錯地帯それ以西は純山岳地帯である、目下沿線一帯は開發工作は餘り進展してをらず經濟資源の如き殆んど未調査の状態であるが今次白温線の全通は同方面の急速なる開發を促進すると共に西に接する未開原地的蒙古平原の開拓に大なる役割を演ずべく同線に課せられた使命も亦重大といはねばならぬ

ハロンアルシヤン温泉

大興安嶺を西に越えた斜面、海拔五千呎の高原に幾多の神秘と傳説を秘めた温泉郷、そこが白温線の終點ハロンアルシヤンである、ここには帝政時代に建てられたロシア式の建物か十四棟ほどあり夏季附近の滿蒙人及び露人の湯治者で賑ひ北滿唯一の温泉地、遊覽地として古くから有名である、鐵道總局ではこの地を廣く天下に紹介すべく旅館温泉施設の完備、スキー場の開設各種々計畫を進めてゐるが白温線の開

通により同地が北滿唯一の一大遊覽地として君臨するの選い將來ではあるまい

滿洲採金の計畫實行方針

新京(支) 滿洲採金會社では五ヶ年間に二億圓採金の計畫に従ひ去る七月末拂込株金四百八十二萬五千圓を徴收し本年度の事業資金に充當したが更に明年十一月に三千萬圓乃至五千萬圓の増資を行ひ毎年四分の一の拂込を徴收し之に利益金を加へたものを庚戌五年度以降八年度事業資金として同五ヶ年計畫を遂行することとなつた、右増資問題は既に株主たる滿洲國政府、滿鐵及び東拓と該債済みであるが本年度の資金としてはドレツヂヤー建設費及び鐵礦調査費が最大なるものでドレツヂヤーは現在事業に従事してゐるもの二隻、輸送中のもの三隻、注文済みのもの一隻、合計六隻何れも資金手配は済んで居り鐵礦の調査も本年度分は既に完了企業に掛かることとなつた

滿洲電業株主總會

新京(支) 滿洲電業では廿五日午前十一時第六次定時株主總會を開き吉田社長より挨拶の後年六分配當措置の本年上期利益金處分案を可決次第で重役改選の結果左の諸氏當選した

社長 丁 繼 修 副社長 山崎 元幹 常務取締役 石橋 米一(留任) 同 大津 留聰 同 杉 肇

滿洲電氣增資公募

新京(支) 滿洲電業會社では現在の資本金九千萬圓を一億六千萬圓に増資することとしこれに伴ひ發行する新株五十萬株のうち本邦内公募額は支那事變動後のため當初の予定を變更して十萬株内外とし残餘の四十萬株を滿洲國政府及び滿洲興業銀行にて引受け拂込後適當の時機に

公開することとなつた、而して本年度事業資金には十一月一日の第一回拂込(四分の一)金千七百五十萬圓及び社内保留金を充當し來年度以降は社債發行と拂込徴收により事業資金を賄ふと

大豆バルブ工場成立

奉天(支) 日滿纖維工業軍役酒井四郎氏並びに滿鐵顧問丸澤常哉の兩氏は日滿兩國に於ける製紙、人絹原木の纖維深刻に鑑み特産大豆穀を原料とする一大バルブ工場開閉に設立すべく認てより奉天省公署を通じ實業部に設立認可申請中であつたが愈々正式に認可があつたので明春早々工場の建設に着手することとなり六月より操業を開始する運びとなつた、同公司是資本金一千萬圓でバルブ生産能力は一年一萬噸なりと云はれてゐる

藤沼氏來滿

新京(支) 前内閣書記官長藤沼庄平氏は廿五日午後六時廿分「あじあ」で着京大和ホテルに入つた、廿六日より滿各機關を訪問次いで數日滬京の上滿州各地を觀察し訪次へ廻り實狀觀察と皇軍慰問をなす予定

議員團黑河駐屯皇軍慰問

黑河(支) 衆議院の北滿皇軍慰問團は廿五日滿州國境最北端の黑河駐屯の皇軍各部隊並に陸軍病院を慰問し引續きモーターボートにて黑龍江を下り沿岸の聯防備を詳細視察し廿六日午前九時黑河驛發北安チ、ハルの皇軍を慰問し廿九日午前滿洲國皇帝陛下に拜謁仰けられ更に北支の戰線視察に向つた

日滿關係

歐洲諸國

英政府閣議

ロンドン【六三】英國政府は廿九日午後首相官邸に於て定例閣議を開催し、東並にスペイン問題につき重要協議を遂げた、勢頭麗に上海に於て負傷したヒューゲツセン大使に對し五千磅の見舞金を贈る案を上提可決し、次で聯盟廿三國諮問委員會の活動に關する報告を審議、殊に太平洋關係國際會議召集に關する英國代表クラーパーン外務次官の提案を承認した

更にイーデン外相は英佛伊三國會談開催に關する英佛兩國政府の提案を提示スベインに於ける義勇兵撤收問題の即時解決に努力する意向ある旨表明諒解を求めた

英海軍の大飛行計畫

ロンドン【六三】英國空軍では近々航線力八千哩のヴァイツカーズ會社製ウエレスレー操縦機を以て無着陸記録飛行を企てると傳へられる、コースは多分歐洲方面を取ると見られる

佛領事革命軍に軟禁さる

ジブラルタル【六三】マラガ駐劄フランス領事ビニール・ペルトランド・デ・マルアイス氏は廿一日スペイン革命軍の爲領事館内に軟禁された、スペイン革命軍が突如かゝる非常手段に出たのは廿日アラント軍港に於て革命軍の大立物トロンコツ氏がフランス官憲に捕縛されたことに對する報復手段と見られるフランス政府とスペイン革命軍との關係に重大危機を招来するのではないかと見られる

佛、西關係緊迫

バイヨンヌ【六三】フランス政府は過般

アラント軍港附近に於けるスペイン革命軍潜水艇の不法行為に憤慨し、イルン洲知事トロンコツ氏を逮捕したためフランス政府と革命政權の關係は緊張するに至つたが革命軍總帥フランコ將軍は慎重考慮の結果廿四日トロンコツ知事を罷免すると共にアラント事件關係者を夫々處分し國境に集結して居る特別警察隊の撤収を決定したといはれる

スペイン避難民に退去要求

パリ【六三】スペイン内亂勃發以來アラント内に逃避したスペイン避難民は多數に上り其中五萬五千人はフランス政府或は地方自治團體の保護を受けてゐるが費用は一日百萬フランに達するのでフランス内務省では之等避難民に對する保護を中止國外退去を要請するに決定した、但し右決定は民間團體及び個人的な保護を受けてゐる避難民には適用されない

休戦交渉説

パリ【六三】パリ外交界の消息によればスペイン革命軍はサンタデルの要衝攻略により最後の勝利を確信するに至つた結果早くも内亂の終結を豫想最近カタロニア、ヴァレンシア兩人民戰隊政權の代表と折衝して豫備商議を開始したといはれる革命政權は交渉に當り労働保障の如き妥協條件を提示政府軍の受諾を求めると意向と傳へられるが會談は未だ萌芽の段階を出でず早急に内亂終局を豫測するとは出来まいといはれる

獨經濟相緊縮案強調

エツセン【六三】ドイツ經濟相ヤルマル・シヤハト博士は廿九日ドイツ重工業の中心地エツセンに於て緊縮政策の必要を強調左の如く演説した

ドイツ國民の貯蓄總額は一九三三年の

百億マルクから現在百五十億マルクに増加したが現下ドイツの經濟情勢に鑑み更に緊縮政策を徹底させる必要があるから余に對しインフレーション政策を遂行してゐるとの非難を往々耳にするが全くの誤解であるドイツ強化のための融資と原料供給とが一九三四年以來輸入制限、貿易伸張、國産品使用及び國內新設投資等の方法によつて遂行されてゐることは周知の事實ではないか

互フアシスト團體襲撃事件

チユニス【六三】チユニス港に碇泊して居るイタリヤ海軍練習船アメリゴ・ヴェスプリツチ號(三五四三噸)及びクリストフォロ・コロソボ號(一七八七噸)の乗組員は廿日午後六時頃イタリヤ人居留地に在る「イタリヤ人權擁護聯盟」及び反フアシスト團體の事務所を大舉襲撃し反抗した同協會書記ジョセフ・ミツチエツリ氏を殺害、室内を隈なく搜索した、急を聞いて警官が馳せ付けイタリヤ人十二名を逮捕したが格闘の際イタリヤ人一名は重傷を負ひ一名は即死した、此の事件は痛くチユニス市を震駭した人民戰線團體は各所で會合を開きフアシスト打倒を叫んだ

ダヌンチオ翰林院總裁に

ローマ【六三】イタリヤ政府は廿二日故ギリエルモ・マルコニー侯の逝去により空席となつてゐたイタリヤ翰林院總裁に文豪ガブリエル・ダヌンチオ氏を任命した、更に同じくマルコニー侯の逝去により空席となつた調査局長後任にはビエトロ・パドリオ元帥を任命した

伊首相御曹子聖林へ

ハリウッド【六三】米國へ映畫研究に來たイタリヤ首相の御曹子ウイットリオ・ムツソリーニ君は廿五日ハリウッドに到

着直ちに自動車で映畫製作者ハル・ローチ氏邸に入つた、ムツソリーニ君はハリウッドに約廿日間滞在してローチ氏と映畫を共同製作する豫定である

エチオピアで伊人虐殺説

ニューヨーク【六三】(ラルド・トリビューン紙ロンドン特電が確實な情報として傳へる所によればエチオピア人のイタリヤに對する反感は益々激しくなり最近マカレに於てイタリヤの駐屯軍とイタリヤ人がエチオピア土民の爲に全部虐殺されたと言はれる右特電は

トルコ首相辭職説

ベルリン【六三】イスタンブールからの報道によればトルコ首相イヌメット・イノニ氏はソヴェト聯邦との接近書を堅持スチユ・アラス外相は關係と意見を異にした爲め遂に辭職を執行、理職相チエラル・パヤール氏が後任首相に就任したと言はれる

チエニコ首相訪埃

ウィーン【六三】チエニコスロヴァキア首相ミラン・ホツガ博士は廿七日自動車でプラハを出發ウィーンの近郊バーデンに於てオーストリア首相クルト・シュニエニツク博士と會見ヒツトラ総統とムツソリーニ首相のローマ、ベルリン樞軸を基調とする歐洲平和達成共同動作につき意見の交換を遂げたと言はれる

ポーランド日本公使館昇格
ワルシヤワ【六三】ポーランド外務省は最近日波兩國間の國交増進に鑑みワルシヤワ駐在日本公使館及び東京駐在ポーランド公使館を十月一日より大使館に昇格せしむるに決定した旨正式に發表した

英佛伊三國會談

英外相佛首相と會談

パリ【六三】イーデン英國外相はジュネーヴからの歸途廿一日パリに立寄りフランス首相カミーユ・シヨータン氏と午餐を共にしながら會談を遂げた右會談に於て兩氏は極東の情勢、スペイン問題及び地中海問題につき意見を交換したと見られるが就地中海問題に關しては英佛兩國政府共速かにイタリヤ政府の地中海協定参加を圖るに意見一致を見た様子である

英佛海軍專門會議發議

ローマ【六三】ローマ駐劄フランス代理大使アロン德里氏と英國代理大使イングラム氏は廿一日午前相携へてイタリヤ外務省に外相チノボを訪問地中海協定に關するイタリヤ政府の主張に對する英佛兩國政府の回答を手交した、右回答に於て英佛兩國政府は地位を終始承認してゐる旨確言して原則的にイタリヤ政府の均等要求を承認したがその結果チノボは英佛兩國政府の示唆に基き近くパリに於て英佛伊三國の海軍專門會議を開催イタリヤ政府の参加條件を協議するに同意し事實上協定参加を受諾した、右交渉經過は直ちにイタリヤ政府からドイツ政府へ通告された

英佛、三國會談受諾

ローマ【六三】ローマ駐劄英國代理大使

エドワード・イングラム氏並にフランス代理大使ジュール・ブロンデル氏は廿四日午後相前後してイタリア外務省を訪問

三國會談開催準備

ロンドン駐劄イタリヤ大使デイン・グランデ伯は廿四日イデー

ドイツの参加を希望

ロンドン駐劄イタリヤ大使デイン・グランデ伯は廿九日イデー

第一回會議開催

地中海協定實施に關する英佛伊三國の海軍專門家會議は廿七日午後

英佛伊三國海軍專門家會議

地中海協定實施に關する英佛伊三國の海軍專門家會議は廿七日午後

は種々辭點あり英佛兩國が如何なる態度をとるか注目される

英佛伊三國海軍專門家會議

海軍專門家會議開催決定

ジュネウヴの三國外相イタリヤン・デルボス氏は廿一日午前午後二回

獨伊獨裁王交驪

ム首相ミュンヘン到着

獨伊獨裁王交驪

ム首相ミュンヘン到着

獨伊獨裁王交驪

地中海協定實施に關する英佛伊三國の海軍專門家會議は廿七日午後

一時イタリヤ海軍の地中海協定參加案に調印した

獨伊獨裁王交驪

イタリヤ分擊區域決定

獨伊獨裁王交驪

獨伊獨裁王は會談一時

獨伊獨裁王交驪

獨伊獨裁王は會談一時

獨伊獨裁王交驪

獨伊獨裁王は會談一時

獨伊獨裁王會談

獨伊獨裁王會談

獨伊獨裁王は會談一時

獨伊獨裁王交驪

獨伊獨裁王は會談一時

獨伊獨裁王交驪

獨伊獨裁王は會談一時

獨伊獨裁王交驪

獨伊獨裁王は會談一時

出發ドイツ陸軍大演習地に向つた行先は發表されない

獨伊獨裁王交驪

獨伊獨裁王は會談一時

獨伊獨裁王交驪

獨伊獨裁王は會談一時

獨伊獨裁王交驪

獨伊獨裁王は會談一時

獨伊獨裁王交驪

獨伊獨裁王は會談一時

フアシスト黨書記長

スタラーチエ氏

△ドイツ黨十字勳章

イタリア外務次官 バスチアニ氏

駐獨イタリア大使館参事官

マヂストラチ伯

イタリア外務省官房長

フィリツポ・アンツツ氏

△ドイツ黨十字星階名譽勳章

兩國外相協議

ミニン(ハ)ニ(ニ) イタリア外相チアノは廿五日午後ドイツ外相フォン・ノイラト男を訪問長時間に亘り協議を遂行した

イタリア各紙熱狂

ローマ(ハ)ニ(ニ) イタリア各紙はムツリニ首相のミニン(ハ)ニ(ニ)到着の光景やヒットラー總統との劇的會見の模様を「ヒットラー總統及びドイツ國民は凱旋將軍の如くムツリニ首相を迎ふ」とか「強國ドイツ・フアシスト、イタリアの建設者を熱狂的に歓迎す」とか「ムツリニ首相萬歳、ヒットラー總統萬歳」とかいふ大見出しで詳細に報道し殆ど全紙面を割いて獨伊兩國の親善を謳歌してゐる

兩王大演習統監

ベルリン(ハ)ニ(ニ) ムツリニ首相並びにヒットラー總統はチアノ伯、フォン・ノイラト男、フォン・リツペントロツプ大使等を隨へ廿六日朝特別列車でドイツ陸軍大演習統監のためメクレンブルグ地方ロストツク南方約四十軒のラルレンドルフの小驛に到着した、驛頭にはフォン・ブロンベルグ國防相、ゲーリング空軍、ドイツ國防軍總司令フリツツ將軍、

聯合總隊司令長官レーダー提督及びイタリア參謀總長パドリオ元帥等隨隊海軍の將星多數出迎へ兩獨裁王は直ちに大演習場に向つた、同方面は森林多し所々に湖沼を點綴する風光明媚の土地で兩巨頭はフォン・ブロンベルグ國防相、パドリオ元帥等と共に丘の上に立ち繪の如き風景の間を繞つて展開される青赤兩軍の壯烈な大攻防戦を統監した青軍は砲兵隊空軍並に戰車隊の共同作戦で猛烈な攻撃に出れば赤軍も亦近代兵器の精銳を總動員して邀撃壯烈な遭遇戦は兩巨頭の眼前に展開された終つてヒットラー總統は特別列車内でパドリオ元帥はじめヴァレ、パリアニ兩將軍、カヴァグナリ提督等イタリア陸海軍の將星を午餐會に招待し一方ムツリニ首相はフォン・ブロンベルグ將軍ゲーリング空軍等ドイツ軍の將星と午餐を共に交誼を遂げた

クルツツ兵器工場參觀

エツセン(ハ)ニ(ニ) ムツリニ首相は廿七日午前八時七分特別列車でルーレ地帯重工業の中心地エツセンに到着驛頭先着のヒットラー總統の出迎を受けた後兩獨裁王は驛前廣場に待ちうけた數萬市民の歡呼に答へつゝ相携へて停車場を出でフォン・ノイラト男、チアノ伯、アルファエリ宣傳相、ゲツベルス宣傳相、スタラーチニ黨書記長、(ス無任所相、アットリニコ大使、フォン・ハツセル大使と共に自動車に分乗、獨伊兩國國旗の波に埋められたエツセン市街を徐行しつゝ工場には兵器工場に赴いた、クルツツ工場入口には取締役會長クルツツ、フォン・ポールン・ウント・ハルバツハ氏が出迎へてクルツツ兵器工場の歴史並に機構を説明した後、ドイツ技術の最高水準を誇る賦延機工場、エンデン工場、重、輕砲製造工場等を限なく案内した、この日従業員は各工場内で通常通り作業を續け詳らかに作業

狀況を參觀に供した、又非勞働者は工場内通路の兩側に整列、獨伊兩國国歌を齊唱して遠來の賓客を歓迎した

ム首相ベルリン入り

ベルリン(ハ)ニ(ニ) ムツリニ首相並にヒットラー總統は廿七日午後五時四十分エツセンからベルリン近郊ヘールシュネトラーセ停車場に到着ドイツ政府差し廻しの無蓋自動車に同乗五十臺の隨行自動車に従へてベルリン中央のヒンデンブルグ宮に向つた沿道約八キロの間は獨伊兩國國旗の波に埋られ數十萬の群衆は口々に「ハイル・ヒットラー!ハイルドツツエ!」と歡呼して兩巨頭晴れの到着を迎へた、灰色のフアシスト民團軍の制服に身を固めたムツリニ首相、褐色のナチス黨服を着たヒットラー總統は何れも車上に立上り市民の熱狂的歓迎に一時會釋したが凱旋道路にさしかゝるや當日の歓迎のため特に休校した可憐な兒童達が獨伊兩國國旗を打振つて歡聲を浴びせたのでムツリニ首相は殊に満悦の態であつた

總統官邸大歡迎會

ベルリン(ハ)ニ(ニ) ヒットラー總統は廿七日午後八時半總統官邸に於てムツリニ首相歓迎の大晩餐會を催したが席上兩獨裁王は和氣籠々裡に乾杯交々起つてベルリン・ローマ驅馳を禮讚し

獨伊兩國はボルシエヴァイズム克服なる共同の政治的理想の下に固く結ばれ世界の平和並に歐洲文化の確保を希求する旨を強調した、ヒットラー總統は先づ起つて歡迎の挨拶を述べ曰く

獨伊兩國政府は今世界が極度の緊迫状態にある現在不壞の親善關係を締結した兩國の協力は兩國國民に共通する「生活し且つ自己を主張せんとする」確平

たる決意に基づいてゐるばかりでなく兩國共通の政策と密接な關係あり、共通の政策こそは兩國の内部的強固性の基礎をなすと云へよう、更に獨伊兩國間を阻隔する重大利害の相違は全く存在せず、却つて凡ゆる要因が兩國を結合し乃至相互に補足し合つて其強力強化に寄與して居る、ムツリニ首相の訪問と數次に亘る會談により右事實が再び確認されたことは欣快に堪へぬ然し乍ら平和を確保し歐洲文化を促進しようとする兩國の政治的活動を歐洲の第三國に對するプロツクと見做すことは當らない、獨伊兩國間の協力は兩國の事業に實獻するばかりでなく兩國國民が衷心から希望する一般的な國際協調の事業にも役立つであらう、この精神に則り獨伊兩國政府は兩國關係を分離しようとする凡ゆる策動に反對し一切の政治問題を檢討處理する意向である

續いてムツリニ首相起つてドイツ朝野の熱誠なる歓迎に對しヒットラー總統に謝辭を述べナチス黨の業績とドイツ國民の不屈果敢な精神に讃辭を呈した後次の如く述べた

獨伊兩國の連帶性は活潑且つ積極的であるこの連帶性は政治的結合乃至外交的工作の結果ではなく兩國間に存する共同の利益の表現でありその結果である、更に兩國は右連帶性を閉鎖し孤立させて爾餘の世界に懸念と不安を與へる意思無く好意ある一切の諸國と協力するに資でない、兩國の希望する所は唯、世界は兩國の缺乏、必要並に正當な要求を尊重し理解せよといふに過ぎない、他國が兩國との親善を要望する場合唯一つ光輝ある歐洲文化の基本的諸原則に打撃を與へぬ様要求するに止めよう過去數日間總統閣下との會談により獨伊兩國の友好關係は如何なる

方面から來るにもせよ一切の分裂の企圖に對しても不壞であるといふことを確認した

ベルリン兵器廠見學

ベルリン(ハ)ニ(ニ) ムツリニ首相は隨員を從へ廿八日午前九時ベルリン造兵廠を訪問廠長ローレイ提督の案内で廠内を隈なく見學特にフレデリック大王、鐵血宰相ビスマルク公及びヒンデンブルグ元帥の遺品の前には暫く立ち留り興味深げに觀覽した、首相の造兵廠訪問は公表されなかつたが聞き傳へた數千の民衆は造兵廠前に集り首相に歡呼の聲を浴せた、次いでポツダムに赴き舊王宮サンズンI並にフレデリック大王の遺骸の安置してある有名なガリソン教會を見物した、ベルリン歸還後ムツリニ首相はイタリア大使館に立ち寄り次いで(ス總領事代理同道徒歩でマルガレーテン、ヴィクトリア街を経てフアシスト黨海外支部、「フアツツの家」を訪問更に午後零時十五分首相は女婦チアノ伯を伴ひ自動車でベルリン郊外シヨルハイドのゲーリング空軍の私邸カリン・ホルを訪問、イタリア外相チアノ伯ドイツ外相フォン・ノイラト男を交へ午餐を共にし乍ら長時間に亘り會談を遂げた

無名戰士の墓に

ベルリン(ハ)ニ(ニ) ムツリニ首相は廿九日午前十時分宿舎ヒンデンブルグ宮を出で、ドイツ陸、海、空三軍兵士の堵列する無名戰士の墓に花環を捧げた

歡迎デモンストレーション

ベルリン(ハ)ニ(ニ) ムツリニ首相の歡迎の歴史的デモンストレーションは廿八日夜オリムピック・スタジアム前の五月廣場に於て行はれた、この日ムツリニ首相はヒットラー總統と自動車に同

乗廿八日午後六時十分ワイルヘルム街の
 ヒンデンブルグ宮を出發自動車でオリ
 ビック・スタデアムに向つた、ムツ
 リーニ首相ドイト訪問最後の書入れ日と
 てドイト宣傳得意、總動員は果然奏効
 兩アツシヨ巨頭通過の沿道はナチス親
 衛隊突撃隊ヒットラー青年團、ドイト婦
 人聯盟を始め一般市民に文字通りに埋め
 られ通過道路は恰も凱旋將軍を歓迎する
 が如く一面にイルミネーション裝飾を施
 し美麗を極めた、兩巨頭は車より「ハ
 イルヒットラーハイル・ドゥウチエ」と歡呼
 する群衆に右手高くアツシヨ敬禮で應答
 しつゝ進んで行く、午後六時四十分愈々
 スタデアム前の五月廣場に到着した、流
 石はナチス式廣大な廣場も無慮百萬の群
 衆の海だ、到着を報するサイレンにどつ
 と歡聲があがる、間もなく正面一段高
 い壇から會する兩獨裁王と群衆の熱狂
 は八方から放射されるサーチライトの下
 に折柄の驟雨に色どられ劇的場面を更に
 高潮させる、やがてゲツベルス宣傳開
 會の辭に次いでヒットラー總統は平常に
 似ず極めて莊重な朗讀口調で演説を進め
 た、終つてアツシヨ國歌吹奏裡にムツ
 リーニ首相が壇上に立つた、イタリヤ
 獨裁王の口を衝いて出た言葉は全く豫期
 に反して流暢なドイト語であつた、恐ら
 くムツリーニ首相の生涯に最初にか、然
 も一言一句極めて明々として大衆の喜び
 は絶頂に達した、兩は本格的となつたが
 ムツリーニ首相は堂々の態度で約四十
 分の獅子吼を終つたが誠に歴史的な感激
 シーンであつた

▲ヒ總統演説要旨

今日の如き大示威は歴史上未だ前例を見
 ぬところ今こそ獨伊兩民族共通の信念を
 二人の指導者の口を通し世界に宣布すべ
 き好機である、獨伊兩國の念願するこ

ろは歐洲平和の確保に他ならない、茲に
 平和とは單なる否認乃至法權に非ずして
 實に國民の道義的、物質的資産並に文化
 の全體に對する責任を保證しようとの
 決意の成果でなければならぬ、平和を希
 求する熱心に於てドイト人に勝る國民は
 あるまい、同時にドイト人ほどの脆弱
 と盲目的他人信頼の衰れた結果を體驗し
 た國民もないと思ふ、願ひれば戦後のド
 イツを頽廢せしめた元兇はデモクラシー
 と自由主義とである、ドイト人より人類
 當然の權利を奪つたのも列強のデモクラ
 シーと自由主義とである、イタリヤ殊に
 アシスト・イタリヤは此の如き屈辱
 は蒙らなかつた、然し過去幾年間イタリ
 ヤも大國としての自國の存在と名譽に對
 する均等權要求の何であるかをよく諒解
 させられて來た、斯かる風潮の唯中でド
 イツに同情したのはアツシヨ・イタリヤ
 である、今や兩國が如上の苦しい事實を
 過去のものとして想起する時節に到來し
 たことは衷心満足に堪へぬ、今日イタリ
 ヤ帝國の創設者ムツリーニ首相を國賓
 として迎へるのは寔に欣快の至りである
 アシスト革命とナチス革命には相互に
 共通性あり、ドイトが世界の一大強國に
 躍進した今日「獨伊兩國帝國」の提議は今
 や歐洲文化の擁護、發展の最も強力な保
 證となつた、然も歐洲は今日尙或る意味
 に於ける文化的使命を擔ひ破壊的作用に
 屈服することを肯しない、デモクラシー
 的、マルクスのインターナショナルは依
 然民族間の憎惡強化に懸命の努力を續け
 てゐるが斯く一つのものを他のものと對
 立せしめ又實在せざる計畫に難惑を抱く
 ことにより社會を破壊せんとする凡ゆる
 試みは此の大示威を構成する一億一千五
 百萬人の團結した意思と將又此の壇上に
 起つて諸君に叫びかけてゐる二人の人間
 の意思によつて潰滅するは必定である

▲ム首相演説要旨

今日余がドイトを訪問したことは明日他
 國を訪問することを意味せず、余はイタ
 リヤ首相としてのみならずイタリヤ國民
 の指導者として諸君に會ふために來たの
 である、余のドイト訪問は何等秘密な意
 圖を藏せず乃至歐洲を更に分裂させよう
 とするでもない、歐洲は既に分裂して
 ゐるではないか、ベルリン・ローマ・樞
 軸は他の如何なる國家をも敵對の目標とせ
 ず、アシストとナチスとは平和を欲求
 し常に平和の爲に努力するに在り、
 全世界は余のドイト訪問が平和を成し
 争かとも如何なる結果を齎すかを神經過
 敏に注視してゐるが、ヒットラー總統も
 余も大聲で「平和」と答へるに躊躇しな
 い、獨伊兩國の政體は道徳的にも又經濟
 的にも共通點を持つてゐる、兩國は自給
 自足經濟の同一目的に向つて邁進してゐ
 る、經濟的獨立を確保しなければ國家の
 存在は脅威され、軍事的に強力な國家と
 雖も經濟封鎖の犠牲となるであらう、彼
 の伊エ戦争當時イタリヤは各國から制裁
 の重壓を受けたがドイトは制裁國に参加
 しなかつた、イタリヤ國民は決して此の
 事實を忘却しない、斯くて獨伊兩國間に
 於る協力の絶對的必要が生れた獨伊兩國
 も獨裁國と非難するのを聞くが歐洲に兩
 國程眞にデモクラチックな國家はない蓋
 し如何なる政府と雖も獨伊兩國政府の如
 く國民の信任を受けて居ないからである
 獨伊兩國の民族思想は共產主義排斥によ
 つて表示されてゐる、アシストは言論
 を以て闘つたのは言論を以てしては不十
 分であり且つ四圍の情勢が要求する時に
 は武力に訴へることが必要だからである
 スペインに於ては既に武力を行使シイタ
 リヤ義勇兵一千餘名は歐洲文化擁護の爲
 に命を捨てた歐洲文化は今や重大危機に

▲ム首相歸國

ベルリン【電】 ムツリーニ首相は廿
 五日ミュンヘン到着以來前後五日間に亘
 りドイト各地で熱誠な歓迎を受け獨伊兩
 國提携強化の重大使命を果したが廿九日
 午後四時特別列車でベルリンのレルター
 停車場を出發、ヒットラー總統を初めド
 イツ官吏の熱狂的歡送裡に一路ローマに
 向け歸國の途に就いた

ローマ【電】 ヒットラー總統と歴史的
 會見を遂げてベルリン、ローマ樞軸強化
 の大使命を果したイタリヤ首相ムツリ
 ーニ氏は廿八日午後六時卅分ローマに歸着
 した、歸國には政府高官及びドイト、オ
 ーストリア、ハンガリー、スペイン革命
 政權等の大公使が迎出へ教會の鐘、砲
 サイレン等で首相の歸着が市民に報せら
 れた、ムツリーニ首相は午後七時ヴェ
 ネチア宮に到着市民に挨拶するため直ち
 にバルコニーに姿を現はし熱狂せる群衆
 の歡呼に應へた後演説して曰く
 黒襪衣黨員諸君！余はヒットラー總統
 との會見に於て得たる深き印象と忘れ
 得ざる思出とを土産に本日歸國した、
 ベルリン、ローマ樞軸は一層固きを加
 へ獨伊兩國の友情は兩國國民の胸奥に深
 く刻み込まれて永久に残るであらう、
 而して斯る友情は獨伊兩國の緊密な連
 帯更に進んで歐洲の復興及び諸國間の
 平和の招來を目的とするに外ならぬ
 首相は更にスペイン問題に言及し
 アシスト革命及びナチス革命に酷似
 せる國民革命が成就してこそ初めてス

ペインは歐洲文化を讀る第三の支柱と
 なり得るのである
 と叫んだ

▲ム首相謝電

クラフシニク(オーストリア)【電】
 ムツリーニ首相は獨伊兩國の國境ク
 フツラインからヒットラー總統に宛て
 るの如き鄭重な謝電を發した

左の如き鄭重な謝電を發した
 余は閣下並に閣下の國民の熱誠こめた
 歡迎に對し茲に深甚なる謝意を表明す
 る、余がドイトに滞在した教日間にナ
 チス・ドイトとアシスト・イタリヤ
 との精神的連帯は愈々強固を加へた、
 閣下に對する余の個人的親交は一段と
 深められ獨伊兩國國民の友好關係は今や
 如何なる障礙を以つても絶ち得な
 い、余は近く再び閣下をイタリヤに迎
 へ得ることを衷心希望する

▲兩王交驛の成果

ベルリン【電】 ムツリーニ首相は前
 後五日に亘りヒットラー總統を初めナチ
 ス黨首腦と會見反共戰線の強化策に付き
 重要協議を重ねたがベルリン政界、外交
 界ではムツリーニ首相は今回のドイト
 訪問で近年の外交史稀有の大成功を収め
 たと折紙をつけてゐる、今回の會談でベ
 ルリン、ローマ樞軸が愈々強化されたこ
 とは勿論だがその他次の成果を収めた
 見られる

- 一 獨伊兩國政府は正式な軍事協定乃至
 舊式の同盟の形式によらず實質的に此
 等に相當する緊密な協力を確保した
- 一 ベルリン、ローマ樞軸は飽迄保持す
 るが、第三國の参加を歓迎する、第一
 に英國政府の参加を希望するがフラン
 ス政府もソヴェト政府との相互援助同
 盟を破棄するに於ては参加して差支へ
 ない
- 一 獨伊兩國相互の政治哲學を支持する

思想的同盟を結成する

一 反共戦線の強化に邁進する

一 スペイン革命軍に對する援助は中止せず

一 オーストリア政府の動向を嚴重視する

ヒトラーを招待

ベルリン(九・二六) ムツソリーニ首相は今日ドイツ訪問中に於けるドイツ官民の熱誠な歡迎に答へる爲めヒトラー総統に對しヒトラーを訪問する機招待したと言はれる、ヒトラー総統は欣然右招待を受諾近くイタリアを訪問すると見られる



海軍軍令部長更迭

モスクワ(九・二六) A.P通信社モスクワ支局の報道によればソヴェト海軍軍令部長イサコフ提督は最近バルチック艦隊司令長官に轉出軍令部長の後任にはソヴェト提督が任命されたと言はれる、但し確報は無い

新國防次官任命

モスクワ(九・二六) ソヴェト政府は昨日赤軍政治局長P.A.スミルノフ將軍を國防人民委員部次長に任命した

選挙カンパニア

モスクワ(九・二六) スターリン新憲法に基づくソヴェト聯邦最高會議の總選挙も目下迫り、ソヴェト政府は目下選挙區決定投票者名簿作成、投票準備等の諸準備に大軍であるが更に新選挙法を人民に納得せしめる爲め選挙法宣傳カムパニアを起し既に全土の各都市、協同組合に多數の研究會が組織された、又數十萬の宣傳員が工場、商店、家庭、協同農場、赤軍兵營、船舶、北極無線電その他邊陲區域等に

に派遣され各新聞紙は解説記事を掲載し投票者の質疑に應じ説明を與へてゐる

八月迄の貿易統計

モスクワ(九・二六) ソヴェト政府外國貿易人民委員部は廿一日本年一月より八月迄の外國貿易統計を發表したが貿易總額十九億二千九百廿萬留で前年度同期に比し一億六千三百七十萬留の増加を示してゐる、輸出入内譯左の通り(單位百萬留)

輸出 一〇一六・六

輸入 九二二・六

差引輸出超過 一〇四・〇

但し輸入にはクレジット契約及び北滿鐵道運賃協定に基くものを含む貿易品目について見るに昨年に比し棉花木材、自動車材料、マンガン鐵、肥料機械類の輸出は増加し、機械類、金屬、精密機械化學製品の輸入は減少を示した而して各國別貿易額に於ては英國が第一位、米國が第二位を占めてゐる

エストニア駐割公使急逝

タリン(エストニア) (九・二六) エストニア駐割ソヴェト公使アレクセイ・ウストノフ氏は廿七日心臓麻痺で急逝した、享年五十八、同氏は一九二〇年中央執行委員に擧げられ次いで二四年ギリシャ駐割公使に轉出三四年以後はエストニア公使としてソヴェト、エストニア兩國の接近に盡力した

北樺太利権會社を誣告

モスクワ(九・二六) タス通信社は廿四日北樺太アレクサンドロフスクからの報道として北樺太石油會社と北樺太鐵業會社とが最近相次いで利権契約を疎離してゐると發表した

一 北樺太に在る日本の石油並に石炭の利権會社は近來頻々としてソヴェト法律蹂躪の舉に出でゐるが最近に至りその行爲は公然利権讓渡契約を疎離する

るの性質を帯びるに至つた、日ソ兩國の關係惡化に努力してゐる或る方面の指令に基く行動と見られる

一 一九三七年春皇軍工業人民委員部は石油利権會社の要請に基き約二千名のソヴェト労働者を募集したに浦陽の要求を提出して労働者の職乗込みを阻止し八月中旬に至りソヴェト政府の強硬なる要求により漸く樺太に輸送した、然るに九月初旬會社は自ら募集したこれらソヴェト労働者の大量解雇を開始し近く約二千五百名のソヴェト労働者が解雇の運命に直面してゐる

三 石油會社はかかる措置に出たこと理由として事業の縮小並に試掘計畫の無期延期を擧げてゐるが會社は北樺太に於ける石油試掘利権契約の五年間延長を執拗に要求、ソヴェト政府は日本政府の要請に基つき一九三六年右延長に同意を與へた

四 一方北樺太鐵業會社も突然労働者の多數解雇を開始し九月中に千五百名以上の解雇方を通告し來つた、利権契約には利権會社が自己の意思のみにより其の事業を縮小乃至中止し得ない規定あるに鑑み兩社の斯る行爲は明白に利権契約違反である

五 會社側はソヴェト地方機關との數次の會談に於てソヴェト側から事業遂行上妨害を受けてゐると言明して自己の違法行爲を無視せんとしたが斯る主張が全く誤謬なることは明白である

肅正工作

銃殺罷免續く

モスクワ(九・二六) ソヴェト聯邦の獨裁首スターリン書記長の肅清工作は依然全聯邦の各層に亘つて峻厳に繼續され全國民

を震駭させてゐるがハヴァス通信社モスクワ支局の報道する所によれば八月四日から九月四日迄の一ヶ月間に間諜テロ陰謀其の他各種の罪名により銃殺された反革命分子は極東方面の九十三名、レニングラッド方面の五十一名を筆頭に合計百八十三名に達したと言はれる、此の外昨年以來罷免された聯邦内共和國の人民委員會議長(首相)は十名、中央執行委員會議長(大統領)は五名に及び内最近罷免されたのは左の通りだと言はれる

△パシニキル共和国中央執行委員會議長タギロフ氏

△キルギズ共和国人民委員會議長イサケエフ氏

△カレクアン共和国人民委員會議長フンニエフ氏

△デニケルス自治領中央執行委員會議長カミゼレフ氏

罷免された各共和国の人民委員に至つては殆ど枚舉に遑なく内には回教の傳統に従ひ一夫多妻主義を實行した爲罷免された委員もあると言はれる

反革命工作者死刑

モスクワ(九・二六) ハバロフスク「太平洋の星」紙の報道によれば又復シベリア鐵道従業員紙名は反革命的意業工作の罪で浦陽に於て一括死刑に處せられ一方ロストフ市の「モロト」紙に依ればミレコゾオに於て八名の反革命主義者が穀物浸水の罪で死刑を宣言されたといはれる

ジャーリ首魁逮捕

モスクワ(九・二六) コーカサス共産黨機關紙ザリヤ・ヴォストロカ東方の曉の報道に依ればジャーリ自治共和國中央執行委員會議長ザンチャリアー・ロルドキパニゾフ氏外十名が共資本主義國の援助の下にジャーリ共和國の分離と資本主義復活を策した罪により逮捕されたと言はれる

アルメニア首相罷免
モスクワ(九・二六) アルメニア共和国中央執行委員會議は廿八日ステパナバッド協同農場員十四名を殺害せるアルメニア・テロリストのギヤング・ロンドン氏、農業人民委員會議長グーロイアン氏、農業人民委員グメディアン氏、共産黨書記アマチエニス氏、共産黨中央書記アポポフ氏等を罷免したと言はれる

レニングラッド發電所爆破陰謀
モスクワ(九・二六) 共産黨機關紙フラウダ紙廿九日の報道によれば最近レニングラッドの發電所に於て又復反革命テロリストの妨害陰謀が發覺し連累者十名は一括銃殺に處せられたと云はれる、軍法會議の判決によれば被告一昧はドイツ秘密警察の手先となり發電所の爆破を企圖する九月十九日にはレニングラッド全市を暗黒と化し市民を死傷せしめた他更に某國のため間諜行爲を働いてゐたと云はれる

オルロフ提督罷免
モスクワ(九・二六) A.P通信社モスクワ支局の報道によれば國防人民委員部次長ソヴェト海軍總司令官ウラジミール・オルロフ提督は現職を罷免され後任にはソヴェト極東艦隊司令長官ウイクトロフ提督が任命される豫定と言はれる、オルロフ提督は英帝冠艦中にソヴェト代表として參列陸軍部内に於ける國防人民委員部次長エゴロフ元帥に相當する赤色海軍の最高官職である



大統領カナダ訪問

モスクワ(九・二六) 米國太平洋岸視察旅行中のルーズヴェルト大統領は廿日驅逐艦フェルプス號に坐乗驅逐艦ボータ

一號を從へヴィクトリアに到着した。ジアン・ド・フカ海峽迄出迎へたカナダ驅逐艦二隻に導かれつゝ、フェルプス號がヴィクトリアに入港するや各砲臺からは廿一發の禮砲が發射され埠頭に五千餘の群集が出迎へ非常な賑ひだつた

ハル長官カナダ訪問

ワシントン【六】ハル國務長官はカナダ政府の招待により来る十月廿日カナダ訪問の途に就くこととなつた、右につきハル長官は語る

オッタワに於てカナダ總督トウイズ、ミュー卿並にマッケンジー・キング首相と會見するが今回のカナダ訪問は今春キング首相がワシントンを訪問されたに對する答禮の意味に過ぎず、政治問題を討論する爲ではない、トロント大學で講演を行ひ廿二日ワシントンに歸還する豫定である

海軍作戦の重大變化

サンディゴ【六】米國海軍は最近航空機の異常な發達に鑑み超速航空機を以つて第一線の驅逐艦隊に代位させやうとする作戦上の劇期的變更を考慮してあると傳へられるが海軍當局も右報道を確認し目下の所差迫つた問題ではないが將來航空機の使用増大により作戦上に重大變化が起るだらうと言明した、海軍航空界の權威ジョセフ・キング提督は語る

米國海軍は過去の經驗により偵察機が最も優秀な偵察用兵器であることを證明し得た從つて最前線にあつて敵艦隊と接觸を保つ偵察機として將來航空機を以て驅逐艦に代位させる計畫である、航空機は偵察、攻撃の兩性能を具備しその攻撃力に於ては驅逐艦に比し敵て遙かに優秀である、新作戰計畫による航空機の使用増大はかくて會に

艦隊の戰鬥力を増加するのみでなくその偵察力も増加し得ることゝならう

空軍太平洋飛行計畫

ワシントン【六】應に米本國布哇間長距離飛行に成功した米國陸軍では明年一月を期し太平洋に於て更に大規模の長距離飛行演習を行ふ計畫を進めてゐると傳へられる、使用飛行機は發動機四臺附機團五基乘組員七乃至九人の大型ボーイング爆撃機で南カリフォルニアの根據地を出發シヤトル、アラスカ、布哇その他二の太平洋中の島嶼を経て再び根據地に歸還するといふ大仕掛の飛行である、陸軍の某高官は以上の計畫に關して語る

米國陸軍爆撃機は既に布哇迄十二時間を有してゐるからこの爆撃機こそ米國布哇間の重要防禦手段であらう、又このスピードを以てすれば布哇で爆撃を搭撃すれば約千五百哩の距離にある敵軍を攻撃して悠々布哇に歸還し得る

兩新艦就役

ワシントン【六】米國海軍の新艦として最近進水した航空母艦ヨークタウン號(九、九〇〇噸)及び一等巡洋艦アルツクリン號(一〇、〇〇〇噸)は艦裝を完了し卅日正式に就役した、因みにヨークタウン號の飛行機搭載能力は七十二機といはれる

政府船々員に特別手當

ワシントン【六】米國海軍委員會は廿三日布告を發表し政府が運轉する船舶にして日支等並にスペイン紛争水域内に航行する場合に乘組員に對して五十弗の特別手當を支給すべき旨指令した



廿三國委員會

日支獨濠四國招請決定

ジュネーヴ【六】廿三國諮問委員會は廿一日午後六時第一回會議を開催頭ラトビア代表ムンテルス外相を議長に推し議事を進めた結果、日本、支那、濠洲、ドイツ四ヶ國政府に對し委員會の諮事参加を招請し併せて次期會合は廿七日開會の豫定なる旨通告する

ことを決議して散會した

▲四國招請と濠府の觀測 ジュネーヴ【六】廿三國諮問委員會は日、支、獨、濠四ヶ國政府を招請するに決定したがジュネーヴ各方面の觀測を綜合するに右決定は支那を委員會に引き入れるのが目的だがそれにしても日本の輿論を刺戟する下手法な處置だとの意見が強い、委員會は理論上は當事國を除外すべきだが支那を入れるのを目立たぬやう上記四ヶ國に招請狀を出すといふ方法をとつたといはれる

表面の理由ではドイツ政府は滿洲事變當時の十九國委員會に入つて居たこと、又濠洲は太平洋國といふ譯である、然し日本政府が参加せぬ事は判つて居りドイツ政府も恐らく出席しないだらうから結局支那と濠洲だけが参加することにならう同じく太平洋國ソヴェト聯邦は既に委員會に加つて居るから結局日支紛争議題に太平洋國のソヴェト聯邦と濠洲とが加り日本の死活問題は當事國間で解決するといふ方針に對して挑戰する結果とならう

支那代表集議

ジュネーヴ【六】廿三國委員會は次回を廿七日迄延期したが米國政府がオプザヴァーを派遣しながらも極めて留保的態度を持してゐることゝ相俟つて焦燥氣味の支那代表を痛く失望させてゐる、支那代表の一人は廿一日新聞記者に對して不滿の面持で次の如く語つた

我々は随分辛棒してゐるのだ、支那の運命に重大關心を持つ歐米各國はやがて現實の事態を認識するに至るだらう

支那空爆を訴ふ

ジュネーヴ【六】支那代表顧維鈞氏は廿一日聯盟事務總長に通牒を送り日本空軍の南京爆撃を非難すると同時に廿三國委員會に付致して空爆阻止の方策を審議され度い旨要求した、支那代表の通告内容左の如し

日本が國際法の凡ゆる原則を無視して破壊とテロ行為に遂行しつゝある新證據として余は閣下に對し左の事實を通告する

一 廿一日午前日本第三艦隊司令長官は南京を大規模な爆撃の對象となす旨發表し各國大公使館に對し廿一日以前に撤收を勸告した

二 日本空軍は右期限以前即ち十九、廿の兩日に亘り既に南京に大爆撃を加へ殊に廿日の爆撃に於ては約八十臺の軍用機が大舉して來襲人命並に財産に多大の損傷を與へた

若し都市に對する斯る攻撃が許容されるならば將來の空中戦に最も危險な先例を開くことゝならう

余は閣下が余の通告を直ちに諮問委員會に傳達し同委員會が以上の如き不法的・非人道的行為を阻止すべき緊急對策を審議するやう要請する

ドイツ政府招請拒否

ジュネーヴ【六】ジュネーヴ駐在ドイツ總領事館當局は本國政府の訓令に基き廿三日聯盟事務總長ジョセフ・アヴァノール氏に對しドイツ政府は廿三國諮問委員會の招請を拒否する旨正式通告した、通告要旨次の通り

ドイツ政府は廿三國諮問委員會に對する聯盟の招請は受諾出来ない、右はドイツ政府從來の態度に徴し明白である

帝國不出席開議決定

【六】日支紛争に關する聯盟廿三ヶ國諮問委員會議長ムンテルス氏は廿一日附公文書を以て帝國政府に對し該委員會への参加方を正式に招請し來つたので外務當局に於てはこれに對する回答案について協議した結果

帝國政府は聯盟脫退當時より聯盟とは政治的問題に就いては協力せず唯人道的・文化的問題についてのみこれと協力するの方針に何ら變更するの要なきため依然獨自の確乎たる態度を採ることを當然と思惟すると同時に今回の日支事變に聯盟を介入せしむることは却つて事態を紛糾に陥らしむるものである故帝國は代表を送らぬこと

に方針を決定廿四日の開議に於て廣田外相より右主旨を説明各關係の諒解を得た

帝國不出席回答文

【六】日支事變に關する支那側の聯盟提議は十六日ジュネーヴ聯盟理事會で審議された結果廿三ヶ國委員會に附託された同委員會は去る廿一日會合その決議に基き聯盟事務總長アヴァノール氏は同日、日支、獨、濠の四ヶ國に参加方を要請し來つた、即ち帝國政府に對しても應に廣田外相宛に

支那政府の要請に基き極東問題調査のため招集されたる諮問委員會は貴國政府に對しその事業参加方を招請する様

本官に委託せり、諮問委員會は貴國政府に於て参加せらるゝことを希望しつゝ、その事務を次の月曜日まで延期することに決定せり

との旨を通告し來つたこれに對し帝國政府は過日來關係を協議を進めつゝあつたが帝國政府としては聯盟態度に何ら變更を見せるものではなく聯盟の政治的專業には不参加の確乎たる方針を廿五日次の如く正式に通告した

▲帝國回答内容

帝國政府に諮問委員會の事業参加を招請せられたる廿一日附貴電正に接到すは茲に左の如く貴下に回報するの光榮を有す

抑も日支兩國の協調に依る東亞の平和確立は帝國政府不變の方針にして帝國は之が爲むる努力を盡し來れるに拘らず支那政府は排日抗日を以て其の國策と爲し排日挑発行為は全支に亘り頻々として相繼ぎ遂に不幸今次事變の發生を見るに至れる次第なり仍て帝國政府は支那政府が深く茲に思を致し速に反省せんことを要するものなり

而して今次事變の解決に關しては帝國政府は其の從來中外に披瀝し來れる如く日支間の問題は日支兩國間に於て現實に即せる公正妥當なる解決方法を發見し得べしとの確信を堅持するものにして從て帝國政府としては從來國際聯盟の政治的專業に對し執り來れる其の方針を今日改むべき何等の理由をも有せざるを以て遺憾なく諮問委員會の招請を受諾するを得ず

九月廿五日

大日本帝國外務大臣 廣田 弘毅
國際聯盟事務總長「アヴノル」殿

日本非難を決議

ジュネーヴ(三三) 廿三國諮問委員會は

廿七日夜議長ラトヴィア外相ヴイル(ヘルムス・ムンテルス氏)同會、米國オプザイヴァ、ハリソン公使、支那代表顧維鈞氏、歐洲代表スタンレー・ブルース氏を初め各國代表出席の下に開會、支那代表顧維鈞氏の要求で公開會議を以て討議に入つたが傍聴代表は起つて

聯盟は少くも日本の國際法並に人道の基本的原則侵犯を非難し戰闘行為を停止するため支那を激勵すべきであると述べた、續いて英國代表クランボーン卿は

日本空軍の支那無防備都市爆撃非戰闘員殺傷に對し委員會は深刻なる畏怖の念を禁じ得ぬ旨意思表示を爲すべきである

と提案しフランス代表デルボス外相、ソヴエト代表リトヴィノフ外務人民委員、スエーデン代表サンドラー外相等いづれもクランボーン卿の提案を支持した、次いで委員會は決議案を起草する爲め一旦休會した後再開更に長時間に亘る討議の後遂に全會一致で次ぎの決議案を採擇した

諮問委員會は日本空軍の支那無防備都市爆撃問題につき緊急検討を加へた結果これら爆撃が多數の婦女子を含む無辜の人民に死傷を惹起せる事實に對し深き感動を表明す、全世界に對し畏怖の念と義憤を招來せるかゝる行動に對しては何等鮮明の餘地存せず、依つて委員會はかゝる行動を嚴厲に非難す

表ケヴエード氏は決議文中に「嚴厲に非難する旨」の辭句を挿入する機提案し委員の賛成を得た、次いで支那代表顧維鈞氏は「日本人は支那民衆に對する爆撃を遂行して居る」旨明示する必要があると主張したが英國代表クランボーン卿は反對して

決議の辭句はそれ自體充分明瞭で別に曖昧な點はないと思ふ
と述べた
ソヴエト代表リトヴィノフ外務人民委員は顧代表の要求を支持する旨言明したが歐洲代表ブルース氏はクランボーン卿の見解を擁護して左の如く述べた

日本に對し直接挑発的の行爲に出ると日本との間に面倒な問題が起る懼れがある、委員會としては或る種爆撃に反對する旨の決議を起草一般的原则を表示することに限定するべきであらう
然るにニュージランド代表ジョルダン氏は頗る憤慨して

各國委員は一般的原则を起草する爲めに此處に集つたのではなく極東紛争を處理する爲に會合してゐる日本といふ辭句が決議に挿入されなければなら決議の意義は全く失はれよう、かくては余は投票に際し棄權せざるを得ない
と詰りつた、茲に於てベルギー代表スバーク氏が妥協案として「日本」なる辭句の代りに「日本空軍」なる言葉を使用する機提案遂に妥協案採擇されたと傳はれる

各國代表の演説

ジュネーヴ(三三) 廿七日夜の廿三國諮問委員會席上における各國代表の演説は左の通りである

▲支那代表演説

支那代表顧維鈞氏は日本軍の行動につき通告の長廣告を振つた要旨左の通り

△極東に於ける現時の事態は極めて重大で支那の安寧福祉を脅威するのみならず聯盟の將來並に世界平和一般を脅威する、去る十五日我が總會に於て演説をして以來日本は更に支那へ軍隊を増派した、日本空軍は平和的人民を畏怖せしめる目的を以て集團的虐殺なる非人道的手段に訴へたがいかゝる空爆は國際法の諸原則並に人道の良心に對する侮辱である、海陸空軍による支那侵入は紛争勃發當初に起れる事件が如何なるものにせよ明白なる侵略行爲である

△然もこれら紛争初期の事件は虚構なる口實を構へて領土的征服を企圖する日本人によつて惹起されたに他ならぬ、過去に於ても日本は平和的解決を期待する支那の努力を無視して武力政策を遂行した、聯盟は規約第十條により一切の侵略に對し聯盟國の領土保全並に政治的獨立を擁護すべきを誓約して居る、日本の政策はかゝる聯盟に對する挑戦である、日本の眞意は明白だ、日本は支那を奴隸化し征服せんと企圖して居る、支那の征服はアジア、太平洋そして結局は全世界を支配しようとする日本の所謂神聖な使命を實現する途上に於る最も重要な段階である、人或は日本の意圖を夢に過ぎぬと断定するかも知れないが、かゝる夢こそ世界の平和と安寧に對する現實の脅威なのだ

△日本の政治家は支那は誠意を缺くが故に憤懣せねばならぬと宣言したが一體支那は憤懣されねばならぬ様な如何なる犯罪を日本に對し敢てしたか、日本の足下に跪きその足に接吻することを支那が拒絶しに爲めであるか、日本が支那に期待するのは如何なる底の誠意であるか、日本の言ふ支那の誠意とは東京の命令に唯々諾々として服従することであるか、廿三國諮問委員會の招

請拒否の回答に於て廣田外相は支那の排日運動を不服とし支那が願意することを希望したが廣田外相の意見する所が支那は日本に親愛の念を専ら更に日本が間斷なき支那領土侵略、何萬といふ無辜の婦女子の虐殺、數億ドルの財産の破壊、強力なる軍隊による支那から一省又一省の奪取等に對してすら感謝せよといふにあることは明白だ

△日本の行動は第一に國際法並にケロット不戰條約、九國條約を侵犯し第二に支那を荒廢せしめ、國民を苦しめる現在の戰闘行為を惹起し、第三に爾餘の諸國の平和と安寧を脅威するが故に彈劾されねばならぬ、聯盟は假令武力阻止の法則を擁護し得ないとしても少くも世界の面前に於て侵犯者を非難することは出来る、國際法及び聯盟規約の原則を實行出來ずとも少くも聯盟が之等諸法則を放棄しないことを明かにすることは出来る、又假令不法且つ非人道的な空襲による無辜民衆の殺戮、財産の破壊を阻止し得ずとしても少くも斯かる暴舉を速時停止せねばならぬとの文明世界の聲を更に大にするため聯盟の意のあるところを明確にすることは出来る

△聯盟が日本の侵略並にその方法即ち空軍による支那諸都市の爆撃を非難することは聯盟の威信と平和の維持の爲め重大なことである、日本は支那が毒ガスを使用してゐるといふがいかゝる事實は無根で日本こそかゝる風説を流布して却つて自己の眞意を暴露して居るではないか、空爆の脅威は恐るべきで斯くの如き無差別の市民の殺戮は未だ前例を見ないところで實に文明自體に對する脅威延いては歐米諸國にも累を及ぼすに至らう、余は規約第廿三條及び第廿五條に基く人道的義務の遂行を聯

合して至らう、余は規約第廿三條及び第廿五條に基く人道的義務の遂行を聯

盟に期待する
 △最後に聯盟としてはこの際無辜民衆に對する不法且つ非人道的な空襲に對する判決を認許し聯盟各國政府に對して斯かる民衆殺行爲停止に必要な手段を竭すべき旨勸告せねばならぬ、侵略を停止し侵略者に對する抵抗を援助すべき方策の如きは聯盟規約に基く聯盟各國の義務に屬して明白だ、支那政府は過去の經驗にも拘らず聯盟が何等か具體的且つ實際的な方策を勸告すると思考する、當面の問題として支那を援助するに最も有効且つ妥當な方策は如何といふに廿三國委員會が先づ此の問題を運籌なく審議せねばならぬ、支那が侵略の犠牲たることは明瞭だから支那を援助するため可能な凡ゆる手段を竭すべきを要求する、人道、正義並に世界平和の爲め余は茲に本委員會が本質的諸問題を迷宮中に見失ふことなく速かに且つ有効に議事を進めんとを衷心期待する

▲英國代表演説
 次いで英國代表クランボーン卿は無防備都市爆撃非難の動議を提出し左の如く述べた
 委員會が現在直ちに採り得る手段は支那人員に對する爆撃に付き深刻な異議を奏し得る旨明確な言葉で表明することである、英國政府は既に英國國旗の下に保護される人民並に財産の蒙るべき損害に付き抗議したが今回の問題は最早や各國の個別的利害の範圍を越え全世界の關心事となつた、若し斯かる行爲が今後も繼續されるならば「文明は果して存續し得るか」との重大問題が提起されることにならう

▲フランス代表演説
 フランス代表デルボス外相はクランボーン卿の動議を支持し左の如く述べた
 若し委員會が無防備都市爆撃の事實の前に眼を蔽ふならばこの悲しむべき事態に加擔して支那のみならず我々自身に對しても罪を肩することにならう、委員會は斯かる戰闘方法を諦絶せねばならぬ、フランス政府は茲に再び空襲反對を聲明し文明世界に於て擧げらるべき非難の聲に對しては何時でも賛成する用意ある旨を聲明する

紛争自體は小委員會で
 ジュネーヴ【六〇】 廿三國諮問委員會は廿七日日本空軍の支那都市爆撃を非難する旨の決議を行つたが更に兩國間の紛争自體については廿八日小委員會は主として支那に關係ある各國代表を以て組織紛争解決に關する具體案を作成し廿三國委員會に上程する段取である

委員會可決と今後の観測
 ジュネーヴ【六〇】 廿三國諮問委員會が廿七日の第二回會合に於て早くも日本の空襲非難決議を採擇する如き案外強硬な空氣を示した結果消息通間には結局可成り明確な制裁勸告案が採擇されるのではないかとの観測が強い、但し米國政府は従來共同動作に無非薄の態度を示し英國政府の態度も結局米國政府に左右されると見られる

ジュネーヴ【六〇】 諮問委員會今後の處置については太平洋關係諸國を網羅した小委員會を設置して審議し委員會自身は當分息抜きするのではなからと傳へられ、小委員會の候補には英米佛日各國カナダ、支那、ソヴェト聯邦、オランダ、豪洲、ニュージーランド等下馬評に上つて居る、南京その他の空襲以來小國は勿論英國を初め大國の態度も相當硬化して居るので一度聯盟の齒車にのせられた支

那事變が其の機轉の運轉の儘に何處まで行くか見透しは未だつかないが日本政府としては聯盟を袋小路に追込まず融通の道を片方にあけて曖昧な態度を採るのがよいとの意見も出て居る

總會も委員會決議を可決
 ジュネーヴ【六〇】 聯盟總會は廿八日午前聯盟新會館の總會議場に於て印度代表アガ・カン司會の下に開會頭アガ・カン議長より廿三國諮問委員會で可決された日本の支那都市爆撃非難決議を報告し次いでスペイン代表デルブアヨ氏の賛成演説あり表決の結果清場一致で同案を採擇した、表決が終るや支那代表顧維鈞が登壇お世辭たらたらの感謝演説を行つた此の間僅かに十分各國代表の出席も四分の一に過ぎず定に呆氣なかつたが右決議は新總會議場使用第一日に第一番目に可決された歴史的決議となつた譯である

天羽公使米公使と會談
 ジュネーヴ【六〇】 スイス駐刺帝國公使天羽英二氏は廿八日午後五時卅八分米國公使レランド・ハリソン氏を訪問最近支那に於ける日本の立場及び米國の輿論等に付き約二時間に亘り懇談を遂げた、席上ハリソン公使は廿七日ジュネーヴ發アヴァス電報が傳へたロンドンに太平洋會議開催説並に米國政府の参加受諾説等は全然開知せぬ旨を言明したと確聞する

と主張しフランス代表フランソア・ド・テッサン氏は
 委員會は日本軍の空襲非難に關し何等の異論もなく容易に意見一致を見たのだから次の手段として極東の一般的情勢を検討し對策を決定する爲め小委員會を設置すべきである

と述べた、英國代表クランボーン卿決定に賛意を表明し
 日支兩國間の紛争は單に兩當事國のみ問題でなく諸外國にも關係ある國際的紛争である、從つて委員會は戰闘中止に向つて努力を續けねばならぬと述べた後更に「英國政府はブルース濠洲代表が連總會の席上で提唱した、極東關係國會議議集を受諾する」旨言明した支那代表顧維鈞氏は

小委員會設置
 ジュネーヴ【六〇】 廿三國諮問委員會は廿九日午後五時半開會先づムンテルス議長より日本空軍の支那都市爆撃非難決議の總會を通して旨報告あり次いで米國公使ハリソン氏は空襲に對する米國政府の意圖を陳述した、エックアドル代表ケヅエード氏は

と叫びソヴェト代表リトヴィノフ外務人民委員も同様の所見を披瀝した、かくて甲論乙駁の小田原評定と化し小委員會の權限、委員國の選定は未決定のまま卅日の委員會へ持ち越すこととなり午後七時十五分散會した

▲米國決議支持を表明 ジュネーヴ【六〇】 廿三國諮問委員會の米國オブザーヴァー、ハリソン公使は廿九日委員會の席上日本空軍の支那都市爆撃非難決議に關し左の如く言明米國政府が右決議を支持する旨を表明した
 余は國務省に對し日本空軍の支那都市爆撃非難に關する廿七日の諮問委員會決議を通過した、米國政府は既に數回に亘り日本政府へ通告し日此の種の爆撃は不當にして國際法並に人道の諸法則に背馳すると思惟する

支那列國の援助誘致を企圖
 ジュネーヴ【六〇】 支那代表部は聯盟が日本空軍の空襲非難を決議したのに勢を得て更に暗闘を續けてゐるが從來聯盟各國の動きから見れば聯盟の制裁案を強行することには到底期待し難いとの見透しをつけたが支那代表部は今後専ら人道の見地から日本の支那に於ける行動を諷告し各國の同情を喚起して聯盟の支那援助を誘致しやうと企てゝゐる様子である、某支那代表は廿九日アヴァス通信社記者に對し次の如き意向を漏した
 現在の情勢下にあつて聯盟が日本に對し制裁規定を發動することは到底望み得ない、然し聯盟が日支紛争に付き何事も出来ぬと結論するのは尙早だ、聯盟は既に日本空軍の支那都市爆撃を非難したではないか、聯盟は今後積極的には物資供給により支那を援助出来るし又積極的に日本に對する武器の禁輸就中航空機材の供給停止により支那

を間接的に援助出来る經濟斷交を規定した規約第十六條の發動の如きは最早不必要となつた、今迄聯盟が爲した所及びその承認した人道上の原則から推論してこの次に聯盟が何を爲すか自ら明白であらう

支那代表英國へ泣きつく

ジュネーヴ【九・三】支那代表部は諮問委員會の議事を支那に有利に導く爲め盛んに暗躍各國代表の泣落しに躍起となつてゐるが顧維鈞氏は卅日午後英國代表クランボーン卿を訪問一日の委員會に於て日本の支那領土侵略非難の決議を採擇する援助力方を要請して左の如く哀訴したと言はれる

一 支那代表部は極東問題は全聯盟國に關係ある一般の問題として處理されねばならぬと思惟するが太平洋關係國で小委員會を構成することに反對せぬ

一 規約第十六條に基き日本に制裁を加へることは斷念する

一 但し諮問委員會は小委員會に討論を移す前に日本の支那領土侵略を記録し、且つ非難する旨決議されたい

一 小委員會に對しては支那援助に關する手段を検討する權限を賦與されたい

消極的援助としては日本への石油禁輸の如き手段に出ることを希望する、石油禁輸の斷行は必ずしも制裁を意味せず聯盟が空爆非難を表明した以上、日本軍飛行機に對する燃料供給を停止することは當然の措置である

然るに克蘭ボーン卿は支那代表部の提案は恐らく諮問委員會で過半数の賛成を得ることは出来ないが、兎に角本國政府に訓令を仰ぐことにしやう

と受け流した爲め顧維鈞代表は更に執拗に右要求の考慮方を要望

委員會で満足な結果が得られなければ支那は彼來の穩健な態度を棄て、強硬方針を採ることにならうと述べたと言はれる

技術委員會

報告書作成

ジュネーヴ【九・六】聯盟技術協力委員會は廿九日午前開會支那に對する保健援助に付き協議を續けたが日本の思惑を懸念して何等決定に到達しなかつた、尤も廿三國諮問委員會の内部には廿七日顧維鈞代表が「淫欲がなければ僅なりとも與へよ」と哀訴したのを利用支那の顔を立てるために衛生隊を支那に派遣する位でお茶をにごし一切煩冠り主義で押通さうとする説もあると傳へられる

ジュネーヴ【九・六】聯盟技術協力委員會は廿九日午前午後二回に亘り開會支那に對する保健援助に關し協議を遂げた結果報告書を作成聯盟理事會に提出するに決定した、右報告書は支那に對する援助方法として

一 聯盟の資金による援助

二 若しくは聯盟國の特別融資による援助

を報告してゐるが最初第二案を支持してゐた英國委員が最後に至り約變して第一案支持に傾き見るに理事會では結局第一案が採擇されると見られるに至つた、支那代表は非常な失望し、保健援助の爲には少くとも約百萬元を必要とするが聯盟の資金を以てしてはかかる巨額の流用は到底不可能であり有効な援助は思ひもよらぬと見てゐる

支那代表阿片委員會でも毒舌

ジュネーヴ【九・七】廿七日の聯盟阿片諮問委員會に日本代表が出席するか否かは多大の注目を惹いてゐたが日本代表は遂に姿を見せず「日本は聯盟の技術的機關にも代表派遣を止めた」のだとの観測さへ傳へられて居る、更に委員會席上支那代表何傑才氏は日本代表のゐないのを奇貨としたり「日本は廢棄をのまないのを毒しつゝあり正にパブリック・エネミー・ナンバー・ワンだ」と當り散らした

聯盟と帝國

委員會決議と海軍の見解

【九・六】廿三國諮問委員會が「日本空軍の爆撃」に對する決議を正式に採擇した事實につき帝國海軍當局は左の如く見解を表明してゐる

一つの國家が全機能を擧げて國家の生存と發展を阻害する不正不義を打破し急速に事態を收拾せんがために多大の犠牲を拂つて奮戦を續けてゐる嚴肅な事實を前にして單なる一部の新聞報道乃至一方的主張のみを以て是非の判定を公言するが如きは輕率の譏りを免れず、殊に國際聯盟は過去に於ける累次の失敗をこゝに再び重ねるものである、而もこれがため誤りたる印象を一般人に與ふに至つては寧ろ有害無益も甚しと言ふ可きである、今次事變勃發以來帝國國軍隊の攻撃目標は嚴重に支那軍隊及軍事關係施設に限定せられこれが敢行に當つては慎重を旨とし之がため我方としては軍事上多大の不利をも忍んで來たのである、かの南京空爆に當つて第三國人及無辜の支那市民に對し軍事施設破壊に必然的に伴ふ危険を豫告し避退を勸告したるが如き又軍事上極めて重要な役割を演じつゝある

る粵漢鐵道の爆撃に際しても同鐵道が連日連夜多數軍隊及莫大な軍需品を北方戰線に輸送しつゝあり、これが爲我軍の犠牲は當然測測せられる情況にも拘らず避難者の無事輸送を待ち豫告期間に更に除隊を與へて初めて線路破壊軍需品輸送貨物の爆撃を決定したる如き、更に又某方面空爆に向ひたる飛行機は目的地上空に到達したるに不拘その軍需目標の判然ならざるために空しく爆撃を抱いたまゝ基地に歸還せるが如き次第である、尙又軍事目標の爆撃に際しても弾着を目標に極力限定せんがために防禦砲火の危険を冒して急降下の爆撃を行ひ之がため犠牲の増加を來せる如きこれらの事實に鑑みても日本の空爆が如何に軍隊が軍事施設に限定してゐるかを知らることが出来る

帝國事務局コミニエテ発表

ジュネーヴ【九・七】國際會議帝國事務局は廿八日の聯盟總會後コミニエテを發し「日本空軍の南京、廣東爆撃は決して無防備都市に對する爆撃に非ず作戦根據地に對し正々々と遂行されて居る」旨を詳細に説明各國代表團並に新聞記者に配布啓蒙に努めた

パリ大使館及駁聲明

パリ【九・六】パリ駐劄帝國大使館は廿八日左のコミニエテを發表した

日本軍の行動は南京政府内部に於ける反日運動を抑壓し且つ支那の平和と繁榮を回復し以て支那在留各國國民が安全に自己の業務に勤み得る様にすることを目標として居る、以上の目的を達成する爲め日本軍は全く餘儀なく武力により支那の重要都市の軍事施設を破壊して居るので支那民衆を殺戮し又は其の幸福を傷ける如き意圖は毫もない、根據地無き誹謗は到底黙視出来ぬ、日本

軍の武士道精神と嚴格な規律とを認識すれば斯かる非難が全くの見當違ひであることが容易に諒解されやう、南京廣東その他の都市は無防備どころか各種の軍事施設で圍まれて居り日本空軍は正確に之等軍事施設を目標としてゐる、日本軍飛行機が如何なる危険をも辭せず低空飛行を敢行してゐるのも一に附近住民の損傷を避けるために他ならない、日本軍は常に軍事施設の所在をマークした地圖を携へて居るし謀本部でも攻撃の目的は軍事施設に限る旨を命じてゐる

外務當局談話發表

【九・六】廿三國委員會が日本空軍を非難する決議を行つたことに對し外務省は廿九日午後左の如き當局談話を發表した

ジュネーヴでは日本空軍の南京、廣東攻撃を非難し聯盟諮問委員會に於て日本空軍が無防備の都市を空襲したとして嚴肅に非難する決議を採擇した

我が日本としては聯盟の處置に對し何ら關心を寄する必要はない、併し聯盟でもあるものが確實な證據もなく偏頗にして然も不正確極まる處の記事を眞面目に取上げて無責任にも我國を非難する態度に出ることに對しては日本國民は甚しき憤懣を禁じ得ざるものである

一 南京、廣東などは無防備都市だと謂ふ聯盟委員會決議の論據それ自體が既に虛妄なことであつて、これら都市が要緊その他軍事施設を有してゐることは公知の事實である

二 我が空軍の活動に對して如何に荒唐無稽の報道が行はれるかは去る廿七日の香港に於けるサウス・チャイナ・モーニングポスト紙の記事を見れば一目瞭然である、同紙は曰く

九月廿四日の極東ロイタル通信は日本空軍の襲撃に依り無辜の市民が數千名

の武士道精神と嚴格な規律とを認識すれば斯かる非難が全くの見當違ひであることが容易に諒解されやう、南京廣東その他の都市は無防備どころか各種の軍事施設で圍まれて居り日本空軍は正確に之等軍事施設を目標としてゐる、日本軍飛行機が如何なる危険をも辭せず低空飛行を敢行してゐるのも一に附近住民の損傷を避けるために他ならない、日本軍は常に軍事施設の所在をマークした地圖を携へて居るし謀本部でも攻撃の目的は軍事施設に限る旨を命じてゐる

も死傷したと報したが針小棒大も甚しい、記者が直接廣東の支那當局や外人から聞いたところでは廣東市内の死者は百名にも達してゐない、土曜、日曜の兩日は廣東では間断なく空襲警備を鳴らしてゐたが日本空軍の爆撃は市内には投下されなかつたのだと

三 日本空軍の空襲は我が國が支那の挑戦をうけて止むなく起した軍事行動の一部であつて我が空軍の空襲の目標が決して非敵國員に對するものでなく狙ふのはたゞ支那軍及びその軍事施設にとどまることは我が政府屢次の聲明及びその後の我が軍の行動に徴して明白である、我が空軍は最も嚴密に命令を厳守し非敵國員その他軍事關係以外の人命財産に損害を及ぼさざるやう極力注意してゐるものである

我が國は以上の精神に基き不公正なる非難などには耳をかさず一路その目的に邁進するものである、虚傳の事實に基き非難は斷乎として排撃することを聲明す

我出先警察に活躍

ジュネーヴ(三) 支那代表部の宣傳工作は「世界通信社」を中心として猛烈に極めジュネーヴ製造の上海電等を矢鋒に撒布してソヴエト聯邦保護下の「ジュルナル・ド・ナシオン」等と連絡し日本に對する反感を煽つてゐるが天羽公使、宇佐美總領事等帝國外交機關も深更まで活動防戦に大奮た、宇佐美總領事は卅日午後四時聯盟記者を帝國事務局に招致し約一時間に亘り支那代表部の虚構宣傳を完膚なきまで曝露反駁空襲に對する帝國政府の聲明書を配布したが特に左の如く帝國政府の斷乎たる決意を表明した

日本軍は必要と認めれば今後も支那都市の爆撃を續行する積りである、支那問題は日本にとつては國家の運命に關する重大問題で第三國の干渉は徒らに

事態を紛糾させ若しくは紛争を永引かせるに過ぎない、

各國動向

ハル國務長官聲明

ワシントン(三) 聯盟總會及び廿三國諮問委員會が日本空軍の支那都市爆撃を非難する決議を採擇したとの報道に附きハル國務長官は廿八日新聞記者との定例會見に於て左の聲明を發表した

米國政府はスイス駐劄ハリソン公使より日本空軍の支那無防備都市爆撃に關し廿七日聯盟廿三國諮問委員會が全會一致で採擇した決議文の報告を接受した、米國政府の見解は日本政府に對し數次に亘り表明した所であり殊に去る廿二日附通牒に於て述べた通り平和的職業に従事する人民が多數居住する廣汎な地域に亘り一般的爆撃を加ふることは公正ならず且つ國際法及び人道上の諸原則に違反すると思惟す

ハル聲明の意圖

ワシントン(三) ハル國務長官の聲明を見るに米國政府の態度は別段著しい變化を示して居ないが日本軍の空襲に對する懸念が従前に比し更に明瞭となつたことは概ひ確く米國政府としては、

- 一 日本が空襲を最小限度に手控える事
- 一 空襲に際しては非敵國員に死傷を及ぼさぬ極大の考慮を拂ふこと
- 一 希望してゐる、又ハル長官が聯盟の決議に對して聯盟には何等意見述べず單に新聞記者團に對する聲明の形式を以て態度を闡明したことは米國政府が聯盟に深入りせず飽く迄獨自の政策に據らうとする意向なることを明示して居る

英、九國會議を考慮

ジュネーヴ(三) 英國代表部スポークスマンは廿二日英國政府が極東の紛争を速かに終結せしむる爲め九國條約の適用を考慮して居る旨を示唆し左の如く述べた

英國政府は目下極東に於ける紛争の終結を圖る爲め日支紛争に九國條約を適用することを考慮して居り廿七日の廿三國諮問委員會席上九國條約締約國會議を招請する機提案することになるかも知れぬ

右英國代表部の言明に付き聯盟の構政府では大要左の如き觀測を下してゐる

- 一 聯盟機構外に於て九國條約國會議の如き會議を開催すれば米國、イタリヤ、日本、支那各國政府の参加を一層容易に確保することが出來聯盟に於ける討議に比し一層積極的且つ統一的な紛争處理案を作成することが出來やう
- 一 但し英國政府が紛争終結の爲め何處迄九國條約締結各國を引きつづけて行けるかに付ては多大の疑問がある

米開催を困難視

ワシントン(三) 英國政府が極東の紛争を速かに終結させる爲め九國條約の適用を考慮して居るとの報道につきハル國務長官は單に米國政府は九國條約並にケロッグ不戰條約に含まれた諸原則は「太平洋領域にも適用されねばならぬ」と思惟する

と述べたのみで批評を差控へてゐるが、九國條約の國政府の間に今回事變に付き情報の交換されてゐることは事實らしく、然し目下の處單なる情報交換に過ぎず同條約の發動問題は起つてゐないと言はれる、英國政府が九國條約の發動を考慮してゐるとの報道は米國政界でも種々批評的となつてゐるが大體左の如き悲觀的觀測に一致してゐる模様である

九國條約は締約國會議が決定した

決議を實行する機構に付いては何種も規定してゐない

- 一 日本政府が右締約國會議に参加を拒否することは殆んど必至と見られるが、かくては徒らに事態を紛糾させるだけだらう
- 一 締約各國の極東に於ける利害は極めて錯雜してをり共同動作に出ることは殆んど不可能と見られる
- 一 假令會議を開くとしても締約國間で先づ充分豫備交渉を遂げた後でなければ成功は覺東ない従つて各國は極めて慎重な態度をとるだらう、米國政府も亦ステイムン前國務長官の二の舞を演ずることのない様注意するだらう

英、太平洋會議を提唱

ロンドン(三) 英國政府は廿九日の定例閣議に於て太平洋國際會議に關する聯盟代表クラボーン卿の提案を審議承認したが最初氣配薄の様に見えた英國政府が速かに會議召集のイニシヤテイズをとるに至つた事情につきロンドンの消息源は左の如き觀測を下してゐる

最初米國政府が太平洋會議の招請を拒絶するのを恐れて二の足を踏んだが内外の情勢に鑑み英國政府が此際イニシヤテイズをとるのが政策上最も有利と見込をつけた結果愈々出たのだらう

聯盟の會議には米國政府は正式に参加し難いだらうが太平洋會議なら米國の輿論を動かして米國政府の参加を得ることも全然不可能ではない、又獨伊兩國も招請出來るといふ便宜がある一方國內の輿論は相當硬化し日本品ポイコット案も暗しく唱へられて居るので此際英國政府が問題拾收のため積極的に乗出せば英國國民も満足するであらう、かくて愈々太平洋會議が開かれることになると日本政府としても無下に無視する譯には行かないし右會議に於て何

等かの決議に到達し得れば少くも日本に對し道義的壓力を加へ得ることになる、以上の諸事情から英國政府は愈々太平洋會議提唱に腹を極めたと見られる

國際聯盟

聯盟總會

ジュネーヴ(三) 聯盟總會は廿一日午前再開、一般討議を續行したが傍頭ルーミア代表アントネスコ外相登壇聯盟主義を強調して曰く

ルーミア政府をはじめ小協商國は聯盟に萬幅の信頼を置いてゐる、領土の保全と國家の獨立が脅かされることを希望するのは各國共通の感情であつて安全感が生ずれば軍備競争を中止することが出来る、今直ちに聯盟規約の改正に着手する必要はないと思ふ、なほ小協商國は資源委員會の決定を支持し既に専門委員の示唆の實行に着手した

次に、歐洲代表ブルース氏は、最近聯盟規約の原則が實施されなかつたのは遺憾である

と冒頭して日支問題を提出し聯盟第十一條の適用を要求轉じて經濟問題に入り各國の經濟狀態に關する國際的調査案を提示した、歐洲代表の後を受けてソヴエト代表リトヴィノフ外務人民委員が登壇スベイン問題及び日支紛争に言及得意の毒舌を揮つて曰く

昨年の總會以來「侵略」は姿を消す所か却つて擴大スベインから極東へ波及するに至つた、最近聯盟内に侵略國が非聯盟國の場合に議論してもはしまらないといふやうな觀念が有力化してゐるが斯る考へ方は大間違である、スベイン問題を例にとつて見て明か

で

ある、スペイン問題は不干渉委員会に附託されたが協定は調印されると同時に際際され委員会は結局何等の目的をも達成し得なかつた、聯盟の普遍性を支持する人々以上以上の事實を忘れてはならぬ、反對に會議參加國が平和確立の共通の理想によつて結合された場合には會議は急速に成果を収めることが出来る、モントルー會議やニヨン會議は其の例である、某々三國が平和の理想を放棄したことは世界平和に重大な害を與へて居る、彼等は共產主義と戦ふと稱してゐるが其の實自國生産品の市場獲得の爲戦つてゐるに過ぎぬ、ソヴエト政府は外國の政體の如何によつて同國との通商を拒絶したことがあるだらうかやデモクラシーがボルシェヴィズムによつて危殆に瀕してゐるといふやうな反共主義宣傳が外間に流布されてゐるが實に馬鹿げたことである、ソヴエト政府は専ら各國が自由なることを欲するのみ、最後に余は世界の重大危機に當り米國が聯盟に加入してゐないことを最も遺憾に思ふ。

政治委員會

ジュネーヴ(見二) 聯盟總會政治委員會は廿八日午後開會スペイン問題を審議した、當初フランス代表デルボス外相は不干渉體制弱体化の經過を説明した後目下英佛兩國政府が事態の改善に努めてゐる旨を述べた。

英佛兩國政府は目下義勇軍の撤收をの他完全有効な不干渉體制を確保する爲め努力してゐるが余は委員會が英佛兩國政府の努力に援助を與へることを希望する、但し以上の企圖が失敗に歸した場合には改め不干渉問題を再検討することに何等反對しない、

エリオット英國代表も同様の観言を言明、ノルウェー、ポーランド、オーストリア、

ハンガリー各國代表は英佛兩國政府の方針を支持する旨述べたがソヴエト代表リトヴィノフ外務人民委員、メキシコ代表アラベラ氏は不干渉體制の即時再検討を要求して同案に反對した、スペイン代表デルヴァヨ氏は

スペイン政府は聯盟が速かに外國の干渉によるスペイン人民の苦難を阻止し且つスペイン政府の國際的權利を回復するやう要求する

と悲壯なる演説を行つた、次いで午後五時半から起草委員會を開會エリオット英國代表から

- 一 現行不干渉體制を強化する
- 一 但し右企圖が失敗に歸した場合には不干渉問題を總括的に再検討する

旨の決議案を右提した、フランス代表デルボス外相は右決議案を支持したがスペイン代表デルヴァヨ氏は強硬に反對した、爲め決議案は遂に成立を見なかつた、反對論の根據としてスペイン代表デルヴァヨ氏は左の五項目を要求した

- 一 獨伊兩國のスペイン侵略事實の承認
 - 二 右侵略阻止手段に關する速かなる検討
 - 三 軍需品購入に關するスペイン政府の權利回復
 - 四 スペイン内外國人戰闘員の撤收
 - 五 地中海協定のスペインへの適用
- 委員會は廿九日午前九時再開、スペイン代表の要求を審議するに決定した

ジュネーヴ(見三) 聯盟政治委員會は廿九日午後七時十五分開會、スペイン問題の審議を續行した、後決議案を採擇總會に提出するに決定した、決議案の表決に當り、アイルランド、オーストリア、ハンガリー、ポルトガル各國代表は棄権、南阿聯邦、ブルガリア兩國代表は本國政府に訓令の要ありとして投票を留保した、決議案の要旨左の通り

- 一 各國は規約に基き他國の領土保全並に政治的獨立を尊重する義務を有す
- 一 各國は他國の内政に干渉せざる義務を有す
- 一 不干渉委員會參加各國が特殊の誓約を行つたことを想起する
- 一 不干渉委員會參加各國が外國義勇兵のスペイン撤收を實現し得なかつた事を遺憾とする、スペイン領土内に現實在に外人部隊が存在することはスペイン内政に關する外國の干渉を構成すると思惟する
- 一 五月廿九日の聯盟決議が外國義勇兵の撤收並に完全な不干渉の實行を勸告した事實を想起する
- 一 不干渉協定參加國中は協定が完全に實施されなければ不干渉政策を放棄する意志のやうであるが各國政府が協定の實施に努力を傾倒するに於て、理事會に對しスペインに於ける事態の推移を嚴重監視する様を請する

ベルギー理事國に立候補

ジュネーヴ(見三) スペイン、チリ、トルコ三非常任理事國の任期満了に伴ふ改選の結果トルコとスペインの再立候補が否決され、イランとペルーが當選したが、ベルギー政府は残りの一席に立候補するに決定した、ベルギーの當選は確實と見られる

近衛子米國で放逐

ロサンゼルス(見四) 先般來ハリウッドに滞在各方面で大持の近衛秀麿氏は廿四日午後零時十五分から十五分間HJJ放逐局を通じて「日本の音楽と日本文化」と題しラヂオ・インタヴューを放送好評を博した、近衛氏は十月一日シヤトル出帆の水川丸で一旦歸國する

日本の教育状態を賞讃

セント・ポール(見四) 米國父兄教師聯盟年次大會は目下ミネソタ州セント・ポールで開會されて居るが世界教育會議代表として來朝した同聯盟會長J.K.ベツテンギル夫人は廿四日の會議席上日本の教育状態を報告「教育日本」を賞讃して次の如く述べた

日本は教育について非常に熱心で日本の父兄達は子弟教育の近代化を百パーセント支持してゐる、殊に不良少年感化事業は米國よりも遙かに進んでゐる

門野氏紐育出發

ニューヨーク(見四) 日本經濟使節團長門野重九郎氏は廿七日ニューヨーク出發十月十四日サンフランシスコ出帆の秩父丸で歸國の途に就くこととなつた、出發に先立ち門野氏は廿四日米通商審

議會會長ユージン・トーマス氏外有力實業家四十名をホテル・ビニールのコクテール・パーティに招待した、一同和氣籠々門野氏を中心に四方山の話がはつみ自然支那問題に及んだが「戰鬪の速かな終結を希望する」といふのが出席者全部の一致した意見であつた、散會後民間使節として再出馬要望の議があるとの東京電報を齎して感想を求めると門野氏は次の如く語つた

兎に角一度歸つてゆつくり御相談した上でなくては何とも御返事出来ぬ、ずつと長い旅で老人少々參つてゐるよ

近衛子米國で放逐

ロサンゼルス(見四) 先般來ハリウッドに滞在各方面で大持の近衛秀麿氏は廿四日午後零時十五分から十五分間HJJ放逐局を通じて「日本の音楽と日本文化」と題しラヂオ・インタヴューを放送好評を博した、近衛氏は十月一日シヤトル出帆の水川丸で一旦歸國する

日本の教育状態を賞讃

セント・ポール(見四) 米國父兄教師聯盟年次大會は目下ミネソタ州セント・ポールで開會されて居るが世界教育會議代表として來朝した同聯盟會長J.K.ベツテンギル夫人は廿四日の會議席上日本の教育状態を報告「教育日本」を賞讃して次の如く述べた

日本は教育について非常に熱心で日本の父兄達は子弟教育の近代化を百パーセント支持してゐる、殊に不良少年感化事業は米國よりも遙かに進んでゐる

日伯新航路開設

リオデジャネイロ(見三) 日伯新航路の開拓の途にある山下汽船會社派遣員米田健一郎氏はブラジル諸港の實狀調査のため北ブラジルの諸港經由飛行機で廿七日

リオデジャネイロに到着したが米田氏は新航路の目的に關し次の如く語つた

山下汽船會社は出来るだけ新しい港から新しい貨物を持つて行く事を方針とするので大阪商船會社方面の既得權は出来るだけ侵害しないうにしたい、追々は日貨を従とし外貨を主とする國際航路に活躍したい

尙ほ山下汽船の南米進出は船舶不足の折柄貿易業者間に多大の好印象を與へてゐる模様である、寄港地はベレム、ベルナンプロ、パビア、リオデジャネイロ、サントス、リオグランデで配船数は一隻何れも一萬噸級の貨物船、第一回船の山里丸は十二月來伯の協定である

ブラジル大學で日本語講座

リオデジャネイロ(見三) サンパウロ市法科大學では最近古谷善光氏を招聘して日本語講座を開講し一週二回、各時間宛日本語の教授を始めたが古谷氏の名講義振りは俄然學生の人氣を博し最初三十名に過ぎなかつた聽講生は最近六十名に達し益々増加する模様である、講義はイロハの手引から大學の希望で各種の日本文化の紹介にも及び頗る好評である、他方リオデジャネイロの日伯文化協會でも近く日本語の教授を開始する筈である

鳥居博士研究旅行

ラパス(見三) 鳥居龍藏博士はインカ文明遺跡研究のため去る十四日よりペルーのクスコに滞在してゐるが廿一日午前十時半同地より空路ポリヴィア首都ラパスに到着した

クスコ(見三) 鳥居龍藏博士は去る廿一日ポリヴィア首都ラパスに滞在してゐるが廿九日インカ文明遺跡研究のため再びペルーのクスコに歸還した

海外日本人

門野氏紐育出發

ニューヨーク(見四) 日本經濟使節團長門野重九郎氏は廿七日ニューヨーク出發十月十四日サンフランシスコ出帆の秩父丸で歸國の途に就くこととなつた、出發に先立ち門野氏は廿四日米通商審

リオデジャネイロに到着したが米田氏は新航路の目的に關し次の如く語つた

山下汽船會社は出来るだけ新しい港から新しい貨物を持つて行く事を方針とするので大阪商船會社方面の既得權は出来るだけ侵害しないうにしたい、追々は日貨を従とし外貨を主とする國際航路に活躍したい

尙ほ山下汽船の南米進出は船舶不足の折柄貿易業者間に多大の好印象を與へてゐる模様である、寄港地はベレム、ベルナンプロ、パビア、リオデジャネイロ、サントス、リオグランデで配船数は一隻何れも一萬噸級の貨物船、第一回船の山里丸は十二月來伯の協定である

◎もしも〜廢止運動

【「ニューヨーク發同盟郵便」】 ニューヨーク電話株式會社は此の程電話使用語に就きパンフレットを發行、電話發明以來傳統の「もしもし」を時聞潰しの無駄語だといつて「時は金なり」の米國人にその使用廢止を勸めてゐる。即ち「皆さんが電話口に立つた場合もしも〜とかいふ古い用語は使はないことにしませう、それは唯不正確で時間を潰すだけです。唯名前や勤め先の會社や局の名前を言ふだけで充分ではないでせうか」といつてゐる。これが實現したら大變革と云ふべく交換嬢が「もしも〜ガール」と言はれた初期時代とは雲泥の相違とならう。

◎メツセンジャーに接吻委託

【「アトランチック市（ニュージャーシー州）發同盟郵便」】 米國アトランチック市の海濱ホテルに滞在中のアリス・ジョーンズと呼ぶお嬢さん、或る日友達と誕生日祝ひの御茶の會を開いて居るとコツ〜と彼女の部屋のドアを叩く者がある。出て見ると可愛らしい顔付をした一人のメツセンジャーボーイが立つて居て言ふのは

「貴女はミス・ジョーンズですか」
アリス嬢「ジョーンズは私です」といふと、その少年彼女の兩肩に手をかけ彼女の左頬にキツスしたと思ふと次の様な電報を差し出した。
「貴女の誕生日に、このメツセンジ

ャボーイ君に託して僕の心からのキツスを送ります、シカゴのジミー」つまり遠くシカゴに住む彼女の戀人たる青年が、彼女の誕生日にメツセンジャーボーイ君に託してキツスを贈つたもの。この少年、アリス嬢から澤山のチップを買つたのは言ふ迄もない。

◎効果百%の選姪法

【「ニューヨーク發同盟郵便」】 米國産兒科腫瘍醫學主任エリック・マツツナ博士は豫て英國醫學界を視察中であつたが最近興味深いお土産を携へて歸國した。

即ち産制に關心をもつ英國醫學界には、このほど婦人の腕に單に一回ホルモンの皮下注射を行ふことによつて、二ヶ月間完全に選姪の効果を擧げ得る新方法が發見されたといふ。これを雌猿について實驗した結果この方法は安全、無痛且つ確實性百パーセントである事が確認されたが、近く人體について實驗を行ふ事になつた。

尙この方法は從來發表された選姪注射、例へばソヴェト聯邦の「スベルマトキシシ」等とは別個の學理に基づく全然新しいものだと言つた博士は説明してゐる。

◎半姉家鴨玉子御法度

【「ベルリン發同盟郵便」】 ドイツ内務省では、この程全國民に對して「家鴨の玉子は少くとも八分間は茹でるべし」との警告を發し、一方玉子業

者に對しては「家鴨玉子は半茹にすべからず」と嚴重なる命令を出した其の理由はドイツ全土の防疫萬全を期するため、家鴨玉子の半茹は大腸腸カタルの原因となり、延いては腸チフスや赤痢等の傳染病患者を出した事實が無数にあるからだ。

◎エヂプト王妃選ばる

【「カイロ發同盟郵便」】 エヂプト國王ファールーク一世陛下は、去る七月卅日盛大な戴冠式を舉行されたが、この程將來のエヂプト王妃たるべき女性を御選定、明年を期しカイロに於て華燭の盛典を擧げられることゝなつた。

「グレオパトラの國」の王妃として白羽の矢を立てられた女性は、アレキサンドリア混合控訴院顧問官ユーセフ・ベイ・ツルファイカル氏の愛娘サシ・ナズ嬢で、芳紀正に十七歳。美人の多いエヂプトでも評判の美しい女性であるが、ナズ嬢とファールーク陛下はいはゞ幼な馴染み、この夏も御一緒に歐洲旅行をされた程で、御二人のロマンスはエヂプト國民の久しく御噂申上げて居た所である。

因みに「サシ・ナズ」がベルシヤ系の語で「清純な薔薇」を意味する如く、ナズ嬢は非常に美しくも氣高いが、嬢のツルファイカル家はエヂプトに於ける屈指の名門で、母堂は皇太后の女官長、祖父は元首相モハメッド・パシヤ・サイド氏である。

同盟通信社
海外通信網

支局所在地

歐羅巴

倫敦 巴黎 里斯本 馬尼拉 宿務 菲律賓 橫濱 神戶 東京 大阪 京都 名古屋 青島 天津 北京 漢口 廣州 香港

通信員所在地

米洲

桑港 羅府 晚香 柏林 倫敦 里昂 巴黎 里斯本 馬尼拉 宿務 菲律賓 橫濱 神戶 東京 大阪 京都 名古屋 青島 天津 北京 漢口 廣州 香港

南洋

マニラ 宿務 仰光 泗水 巴達維亞

同盟通信社
東亞通信網

支社

支局

通信員

上海 天津 漢口 廣州 香港 北京 青島 濟南 煙台 營口 瀋陽 長春 哈爾濱 滿洲里 海拉爾 齊齊哈爾 吉林 遼寧 山東 江蘇 浙江 安徽 湖北 湖南 四川 雲南 貴州 陝西 甘肅 寧夏 青海 新疆 察哈爾 綏遠 熱河 遼北 冀東 魯南 豫南 皖南 贛南 閩南 粵南 桂南 雲南 貴州 陝西 甘肅 寧夏 青海 新疆 察哈爾 綏遠 熱河 遼北 冀東 魯南 豫南 皖南 贛南 閩南 粵南 桂南

同盟に継承される新一年鑑

法人 同盟通信社編纂

時事年鑑

〔昭和三十三年〕

四六六倍判
八四〇餘頁

定價貳圓五拾錢

同盟に継承されて

愈々完璧を期した

昭和十三年版は

十月中旬出来

御申込は

同盟通信社「出版部」へ

同盟旬報

(毎月三回発行)

定部 卅五錢 送料一部
一ヶ月分前納 壹圓 壹錢五厘
半年分同 五圓五十錢 (國內長期契約は別)
壹年分同 拾圓 (社費控)

編輯發行 大川幸之助

印刷所 濱中製版所

東京市京橋區銀座西七丁目一番地

發行所 法人 同盟通信社

讀者へ御願

同盟旬報其他本社出版部刊行物の御申込は、なるべく振替貯金によつて戴きたいのであります。が、葉書または電話で御申込み下されば、後日集金郵便を差上げることにして、早速御送本申上げます。

營業所

東京市京橋區銀座西八ノ九

法人 同盟通信社出版部

振替貯金口座東京八五〇〇番

營業所用

電話銀座(03)二二五

電話東京(03)編福用

電話銀座(03)四八七〇

同報旬報編輯用

電話銀座(03)四九九六

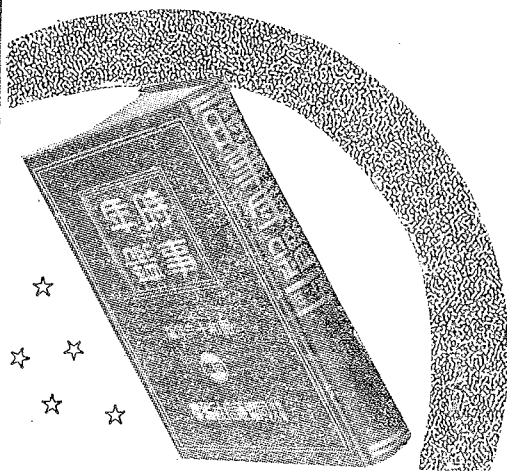
年鑑は選擇が第一

★信用ある時事年鑑

★實用的な時事年鑑

【内容見本進呈】

- ◇最優越の誇り——政治、經濟、外交、軍事、勞働、統計、人名、教育、工業、演藝の諸年鑑が丸となつて渾和されて居る。如何なる年鑑と雖どもこれ以上多方面に亘り、精細且つ懇切に集録記述した年鑑はないといふ誇りを持つております。
- どの頁を開いても取材の斬新、精確、親切な年鑑!
- 趣味と實益とを兼ね誰にも判り易い重寶な年鑑!
- 他の年鑑に比べて最大の内容を有する年鑑!
- どんな疑問でも之さへあればすぐ氷解する年鑑!
- まだ御利用のない方は是非一度御覽下さい。



★
★
★
★

國際寫真新聞

本社の世界「ニュース」網から集る内外寫真を中心とした寫真畫報。毎月二回發行。全アト菊倍判五十二頁。一部金五拾錢。一ヶ年金九圓。

經濟小冊子

毎年四、五回發行する世界經濟問題の解説。四六版八十頁内外。定價金五拾錢。最新刊「大英帝國の經濟」「世界は何處へ」「金の悲喜劇」

同盟パンフレット

時事問題解説書。四六版七、八十頁内外。隨時發行定價金貳拾錢。最新刊「増稅稅整は國民にどう響くか」「世相から見た新時代のソ聯邦」

ジャパン・ガイド

日本商品を全世界に紹介する目的で發行する英文貿易年鑑我生産品數百を網羅して解説す。四六倍判八百頁定價金貳拾五圓。

國際經濟週報

本社に入電した外電、國內經濟「ニュース」を編輯し、之に時事關係記事を盛つた週刊經濟雜誌。毎週木曜日發行。一部金貳拾五錢。一ヶ年金拾貳圓五拾錢。

新聞寫真年鑑

(ジャパン・フォト・アルマナック) 全國各新聞社寫真班の手になるニュース寫真中心の寫真年鑑。毎年一回十一月發行。菊倍判總アト二百頁。定價金五圓。

人絹年鑑

レイヨン、ステープル・ファイバ、バルブに關する綜合辭典で企業家は素より全商業家の好伴侶を以て任ずる。毎年一回四月發行。菊判千五百餘頁總布表紙。定價金五圓。

◎御申込は振替口座東京八五〇〇〇番又は本社各地支社局御利用を!

昭和十二年七月廿三日第三種郵便物認可

發行所 東京市京橋區銀座西七丁目一番地

社同人盟通信社 電話銀座代表番號(分)二二二番(5) 振替貯金口座東京八五〇〇〇番

國 際 經 濟 週 報

第十八卷四十號
十月七日出來

「同盟」の世界的通信網による經濟雜誌・豊富新鮮なる内外政治經濟資料統計

近衛内閣強化策と

企畫院の誕生

日本の戰爭繼續能力——(エコノミスト)——歐洲大戰における獨逸の戰時財政

イギリスの軍需工業統制 (ルフト)

棉花を繞る統制諸問題

棉花輸入爲替許可と輸入統制
棉花清算取引廢止と價格公定

米國の農産物豐作と農業政策

再燃する銀問題

△時の人 津田信吾

見本進呈

購讀御希望の方に
は郵券三錢封入御
申越次第パツク・ナンバ一贈呈します

- ▲每週 木曜日發行
- ▲定價 一部廿五錢(送料一錢)
- ▲半ヶ年前金六圓五十錢(送料共)
- ▲一ヶ年前金十二圓五十錢(送料共)

東京市京橋區銀座西八丁目九番地

社同人盟通信出版部

振替口座東京八五〇〇〇番 電話銀座代表番號(分)二二二番(5)